

REGZA

レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクレコーダー取扱説明書

DBR-W2009
形名 DBR-W1009
DBR-W509



◆ お客様登録サイト <東芝 レグザ メンバース> に登録をお願いします ◆

「東芝 レグザ メンバース」は、東芝映像商品のお客様登録サイトです。

ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※ Web限定のサービスです。

<https://store.toshiba-visual.com/members/>



スマートフォンからも
ご登録できます

- ❖ 電源を「入」にしたとき
電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- ❖ 本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…
「困ったときは」[202](#)、「仕様と総合さくいん・用語解説・保証書」[224](#)をご覧ください。
- ❖ 必ず最初に「安全上のご注意」[8](#)～[11](#)をご覧ください。
- ❖ このたびは東芝ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのブルーレイディスクレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- ❖ 保証書はこの「取扱説明書」の[237](#)～[238](#)についておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

ご使用前に必ずお読みください
はじめに： **2**

接続と設定

レコーダーを準備する： **15**

時短機能を使う

時短で録る： **44**

時短で見る： **46**

時短で残す： **50**

視聴する： **51**

録画する： **57**

再生する： **81**

削除する： **99**

編集する： **103**

ダビングする： **117**

スマホ de レグザや LAN 機能を使う： **137**

外部機器を使う： **159**

さまざまな情報： **167**

ご注意と参考資料： **217**

仕様と総合さくいん・
用語解説・保証書： **224**

見る

「時短で見る」機能で効率よく再生

- 内蔵HDDや通常録画用USB-HDDに録画した番組を、お好みの再生コースで効率よく再生できます。 **46** 

ブルーレイなどの再生

- 録画した番組や、3D映像のブルーレイディスクなど、さまざまな映像を再生できます。 **82** **87**



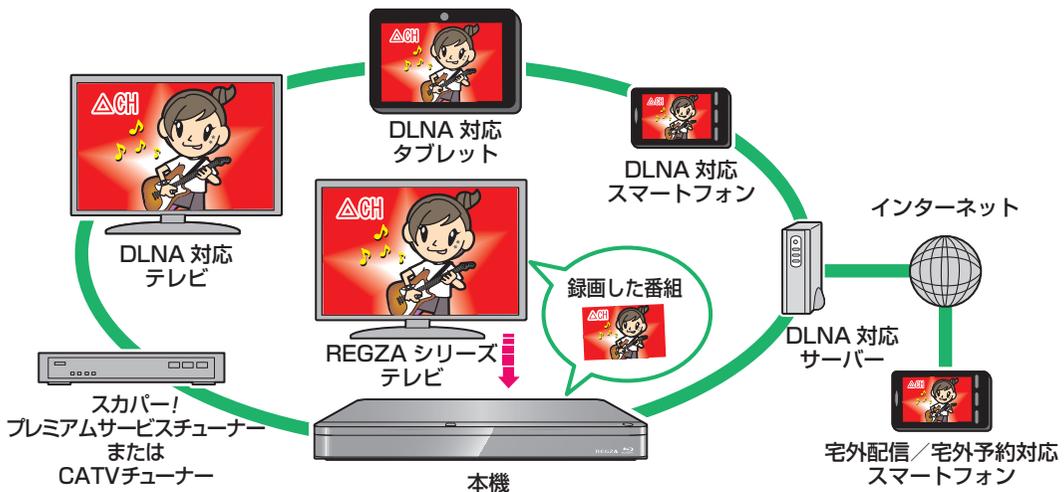
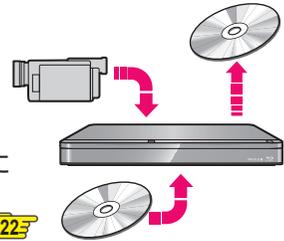
残す

さまざまな方法でダビング



- 時短機能の[らく見]で再生される部分を自動的に選んでダビング(おまかせダビング)できます。 **50**

- ディスクにダビングした映像やビデオカメラの映像を、内蔵HDDにダビングできます。 **118**
- ディスクの容量に合わせてダビング(ぴったりダビング)できます。 **122**



はじめに 2

ご使用の前に	6
安全上のご注意	8
各部のなまえとはたらき	12

レコーダーを準備する 15

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ	16
はじめての設定をする	25
リモコンを設定する	31
チャンネルの設定を変更する	33
映りが悪いチャンネルを調整する	34
地域設定を変更する	35
視聴可能年齢を設定する	35
メディアを用意する	36
画面表示の見かた	38
画面に表示されるアイコンについて	39
スタートメニューについて	40
スタートメニュー「簡単モード」について	41

時短機能を使う 43

時短で録る	44
時短で見る	46
時短で残す	50

視聴する 51

視聴の前に	52
番組を見る	53

録画する 57

録画の前に	58
放送中の番組を録画する	59
番組表について	60
番組表からワンタッチで録画予約する(一発予約)	63
番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)	64
番組を検索して予約する	66
手動で入力して予約する(日時指定予約)	68
予約を確認・変更・削除する	69
自動で録画する(おまかせ自動録画)	72
ネットdeレック機能で録画する	74
録画を一時停止・停止する	76
録画についての補足説明	77

再生する 81

録画した番組を再生する	82
ディスクを再生する	87
再生するときの操作	90
再生するとき便利な機能	94
写真を再生する(スライドショー)	97
再生についての補足説明	98

削除する 99

番組を削除する	100
---------	-----

編集する 103

編集の前に	104
チャプターを編集する	105
番組を分割・結合する	107
気に入った場面だけを集める(プレイリスト作成)	108
番組名を変更する・番組を保護する	110
番組をフォルダーで管理する	111
文字入力のしかた	114
録画モード変換/スマホ持ち出し変換/ DVD持ち出し(VR)変換をおこなう	116

ダビングする 117

目的別ダビングガイド	118
番組を1つだけダビングする (かんたんダビング・おまかせダビング)	120
複数の番組をまとめてダビングする	121
VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする	124
東芝テレビからダビングする(レグザリンク・ダビング)	125
本機からネットワーク上の機器にダビングする (ネットdeダビングHD)	126
AVCHD方式の動画を取り込む(ダビングする)	127
SeeQVault対応USB-HDDを使う	128
ダビングについての補足説明	129

スマホdeレグザやLAN機能を使う 137

ネットワークを接続・設定する	138
スマートフォンやタブレットで視聴する	151
スマホdeレグザの機能を使う	154
eメールで録画予約する	155
宅外配信を使う	158

外部機器を使う 159

USB-HDDを接続・設定する.....	160
AVアンプとつなぐ.....	164
レグザリンク機能について.....	165

さまざまな情報 167

本機や放送局からのお知らせを確認する.....	168
視聴制限を設定する.....	169
いろいろな設定を変える(本体設定).....	170
ソフトウェア情報と更新について.....	176
放送関連の設定を変える(放送受信設定).....	177
本機で使えるメディアについて.....	179
本機を初期化する.....	182
ディスクを初期化する.....	183
メディアを管理する.....	184
同時にできること.....	187
記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について.....	193
各メディアに関するその他のお知らせ.....	194
記録時間一覧表.....	198
テレビ画面に表示されるメッセージ.....	200
困ったときは.....	202
症状に合わせて解決法を調べる.....	205

ご注意と参考資料 217

使用上のお願い.....	217
商品の保証とアフターサービス.....	223

仕様と総合さくいん・用語解説・保証書 224

仕様.....	224
総合さくいん・用語解説.....	229
保証書.....	237

ご使用の前に

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本機や本機の操作画面などで「ブルーレイディスク」を「BD」と表現していることがあります。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本書では専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については、「総合さくいん・用語解説」[229](#)をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- インターネットによるお客様登録サービスにご協力ください。
(インターネットによるお客様登録アドレス <https://store.toshiba-visual.com/members/>)
- 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞきDBR-W2009です。

本書で使用するマークの意味



機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。



取扱上のご注意を記載しています。



関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。



決定 や **▶** などを選択すること、または次の動作に移行する場合に記載しています。

メディアやフォーマットを表すマーク

HDD 内蔵ハードディスク

USB-HDD 外付けハードディスク

↳ **通常録画用 USB-HDD** 通常録画用として登録された外付けハードディスク

↳ **SeeQVault対応 USB-HDD** 引越し・バックアップ用として登録されたSeeQVault対応外付けハードディスク

BD BDAV方式のBD-RE／BD-Rディスク

BD-Video 映画ソフトなど、市販品のBD-Videoディスク

DVD-Video 映画ソフトなど、市販品のDVD-Videoディスク

CD 音楽用CD

AVCフォーマット AVCREC™方式のDVD-RW／DVD-Rディスク

VRフォーマット VR方式のDVD-RW／DVD-RまたはDVD-RAMディスク

Videoフォーマット Video方式のDVD-RW／DVD-Rディスク

AVCHDフォーマット AVCHD方式の映像が記録された以下のメディア

- DVD-RW／DVD-Rディスク
- DVD-RAMディスク
- USB機器^{*1,2}
- SDカード

JPEGフォーマット JPEGが記録された以下のメディア

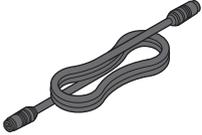
- BD-RE／BD-Rディスク
- DVD-RW／DVD-Rディスク
- CD-RW／CD-Rディスク
- USB機器^{*2}
- SDカード

*1 USB機器またはSDカードに記録されたAVCHD形式の映像は、本機の内蔵ハードディスクにダビングしてから再生してください。USB機器またはSDカードから直接再生することはできません。(くわしくは [127](#) をご覧ください。)

*2 USB機器については、[196](#) をご覧ください。

付属品の確認

□の中に、チェックマーク(✓)を付けてご確認ください。欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

<input type="checkbox"/> リモコン(SE-R0466)／1個 	<input type="checkbox"/> 単四形乾電池(R03)／2本 ※動作確認用 	<input type="checkbox"/> miniB-CASカード／1枚 (台紙に貼り付けてあります。) BS・110度CS／地上デジタル共用 
<input type="checkbox"/> 同軸ケーブル(1.5m)／1本 (地上デジタル放送専用) 	<input type="checkbox"/> かんたんガイド／1枚 <input type="checkbox"/> 取扱説明書／1冊 <input type="checkbox"/> BS・110度CSデジタル放送 受信契約申込書一式	

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表 示	表示の意味
 警告	「取扱いを誤った場合は、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること」を示します。
 注意	「取扱いを誤った場合は、人が軽傷(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が出るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図 記 号	図記号の意味
 禁 止	「  」は、 禁止 (してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	「  」は、 指示 する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	「  」は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

次のときは、直ちに電源プラグを抜く

- ・ 煙が出ていたり、変なおいがしたりするとき
- ・ 内部に水や異物がはいったとき
- ・ 落としたり、キャビネットを破損したりしたとき
- ・ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したまま取り扱っていると、けがの恐れがあります。



プラグを抜け

設置するとき

<p>電源プラグは交流 100V のコンセントに接続する</p> <p>交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。</p>  指 示	<p>本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する</p> <p>万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。</p>  指 示
<p>ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない</p> <p>本機が落ちて、けがの原因となります。</p>  禁 止	<p>屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>  風呂、シャワー室での使用禁止
<p>上にものを置かない</p> <p>金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合は、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合は、けがの原因となります。</p>  上載せ禁止	

警告

使用するとき

<p>電源コードは</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>火災・感電の原因となります。</p>  <p>禁止</p>	<p>可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない</p> <p>清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生する恐れがあります。</p>  <p>禁止</p>
<p>雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない</p> <p>感電の原因となります。</p>  <p>接触禁止</p>	<p>修理・改造・分解はしない</p> <p>火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。</p>  <p>分解禁止</p>
<p>電池は乳幼児の手の届かないところに保管する</p> <p>誤って飲み込むと窒息などの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。</p>  <p>指示</p>	<p>ディスクトレイなどから異物を入れない</p> <p>金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合は、火災・感電の原因となります。 特にお子様がいらっしゃる際にはご注意ください。</p>  <p>異物挿入禁止</p>
<p>miniB-CASカードを取りはずしておく場合は、乳幼児の手の届かないところに保管する</p> <p>誤って飲み込むと窒息などの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。</p>  <p>指示</p>	<p>ディスクトレイ開閉口の前にものを置かない</p> <p>ディスクトレイが開いたときに、ものに当たって倒れたり破損したりしてけがの原因となります。</p>  <p>禁止</p>
<p>無線LAN機能を使用する場合は、心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位から本機を22cm以上離す</p> <p>本機の無線LANの電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。</p>  <p>指示</p>	<p>無線LAN機能は、病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない</p> <p>本機の無線LANの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。</p>  <p>禁止</p>
<p>コンセントや配線器具の定格をこえる使い方はしない</p> <p>たこ足配線などにより定格をこえると、火災の原因となります。</p>  <p>禁止</p>	

お手入れ

ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの差込口にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。また、接触不良による故障の原因となります。
(電源プラグを抜く際は、リモコンの  を押しながら本機上面の  を押して、電源ボタンのランプが消灯したことを確認してから、電源プラグを抜いてください。)



安全上のご注意・つづき

⚠ 注意

設置するとき

<p>風通しの悪い場所に置かない 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁に押しつけないでください。 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 テーブルクロス・カーテンなどを掛けしないでください。 じゅうたんや布団の上に置かないでください。 あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。 	<p>湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>温度の高い場所に置かない 直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。</p>	<p>背面の内部冷却用ファンの通風孔をふさがない 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。</p>
<p>本機に接続するケーブルは正しく接続する 正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。</p>	<p>高い場所に設置しない 本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。</p>

使用するとき

<p>移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をははず 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、ひっかかるなどして、けがの原因となることがあります。</p>	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。</p>
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>	<p>旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。</p>
<p>電源を入れる前には音量を最小にする 電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。</p>	<p>テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない 音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になったりします。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。</p>
<p>ディスクトレイに手を入れない 指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいらっしゃる場合にはご注意ください。</p>	<p>ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>
<p>リモコンに使用している乾電池は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定以外の乾電池は使用しない 極性 [(+)と(-)] を間違えて挿入しない 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしない 乾電池に表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切ったりした乾電池はリモコンに入れておかない 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない <p>これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p>	

⚠ 注意

本機で3D映像を楽しむときには、以下の注意事項をお守りください。

3D映像視聴の際には、3D対応テレビ(ディスプレイ)および3D対応メガネに付属の取扱説明書などに記載の説明事項・注意事項も十分ご確認のうえ、これらの事項を守って視聴してください。

3D映像を見るとき

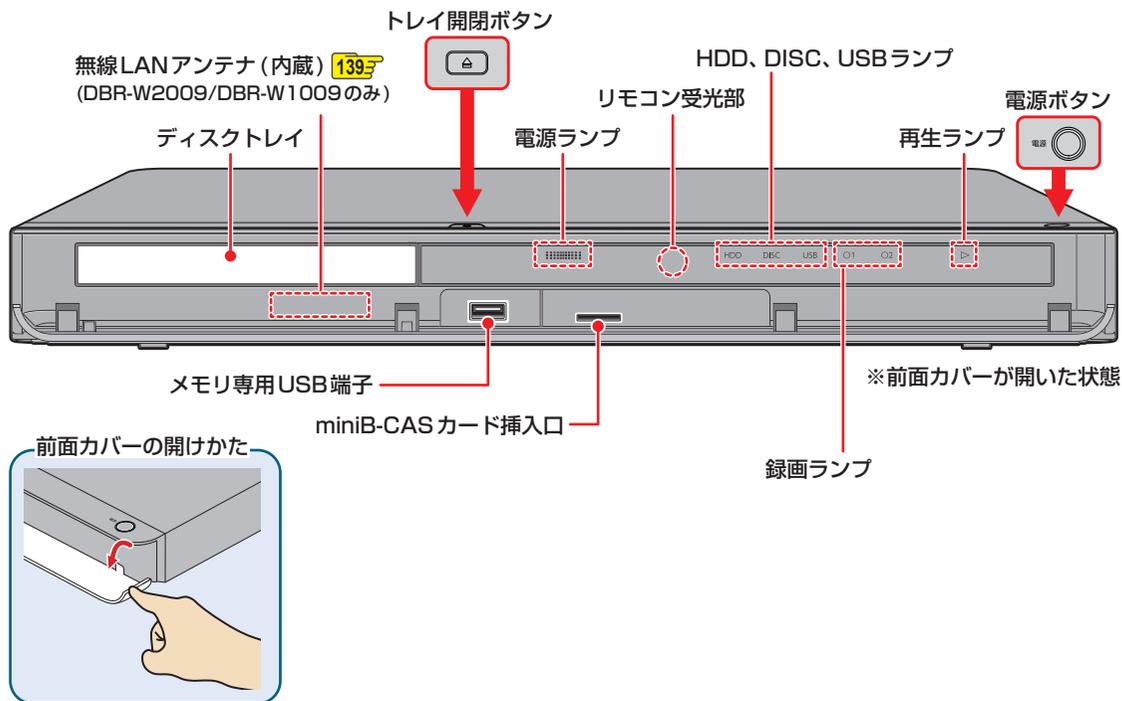
<p>てんかんの可能性がある人、光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調の悪い人は3D映像を見ない 症状悪化の原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>近視の人、遠視の人、左右の視力が異なる人、乱視の人は、視力矯正メガネなどを着用し視力を矯正したうえで3Dメガネを着用する 視力を矯正しないで3D映像を見ると、目の疲れや、視力がより低下する原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 指示</p>
<p>画面(映像)から適正な距離で視聴する 近づいて視聴すると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。使用するテレビ(ディスプレイ)に付属の取扱説明書などで推奨される距離で視聴するようにしてください。</p> <p style="text-align: right;"> 指示</p>	<p>長時間の視聴は避け、適度に休憩をとる 長時間の視聴は目の疲れの原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 指示</p>
<p>3D映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる そのまま見続けると体調不良の原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 指示</p>	<p>3D映像が二重の映像に見えたり、立体感が得られなかったりしたら見るのをやめる そのまま見続けると目の疲れの原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 指示</p>
<p>3D映像の視聴年齢は6歳以上を目安にする お子様は3D映像を視聴する場合は、保護者の方の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。</p> <p style="text-align: right;"> 指示</p>	<p>周囲の人や物に注意する 3D映像で距離感を誤って手を伸ばしたり、3D映像を実際の物と間違えて急に身体を動かしたりすると、周囲の人にけがをさせたり、周囲の物を壊してけがをしたりする原因となることがあります。周囲に壊れやすいものを置かないようにしてください。</p> <p style="text-align: right;"> 注意</p>



- 「安全上のご注意」をお読みになったあとは、217ページの「使用上のお願い」も同様に、必ずお読みください。

各部のなまえとはたらき

本機前面



本機が動作中のとき

以下のようにランプが点灯・点滅します。

HDD、DISC、USBランプ

点灯： 電源「入」のときに操作できるメディア
 点滅(HDDのみ)：ダウンロードしたソフトウェアの更新中

録画ランプ(●1、●2)

点灯： 録画中、等速ダビング中、ネットdeレック中
 点滅： 予約録画準備中(待機状態)、録画一時停止中、高速ダビング中、ネットワークを使ったダビング中、ディスクのファイナライズ中

再生ランプ(▶)

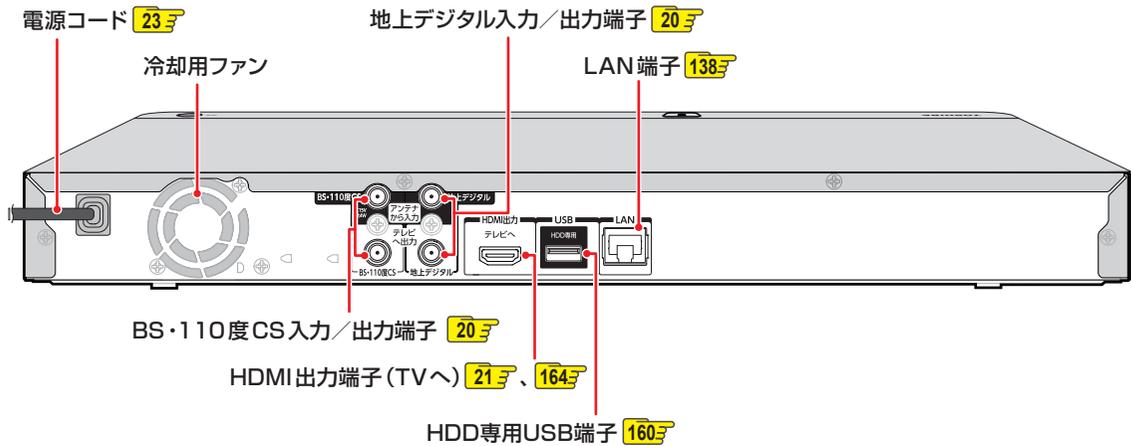
点灯： 再生中、等速ダビング中
 点滅： 再生一時停止中、高速ダビング中

電源ランプ

点灯(緑)： 動作中
 点滅(緑)： 電源「入」にしてから動作可能になるまで(起動中)
 点灯(橙)： 電源「切」の状態、以下のような場合
 ・【瞬速起動】設定時間帯、ソフトウェアのダウンロード中、番組データ取得中、番組を配信、録画モード変換中、スマホ持ち出し番組変換中、自動バックアップ中、メンテナンス動作中
 消灯： 電源「切」(電源プラグをコンセントから抜いても問題ない状態)

※ 使用状況によっては、電源を「切」にしてから点灯(橙)または消灯になるまで時間がかかることがあります。

本機背面



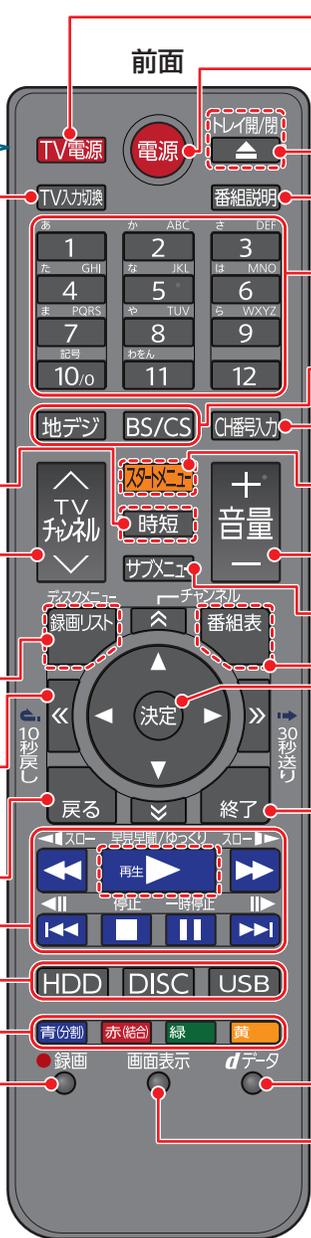
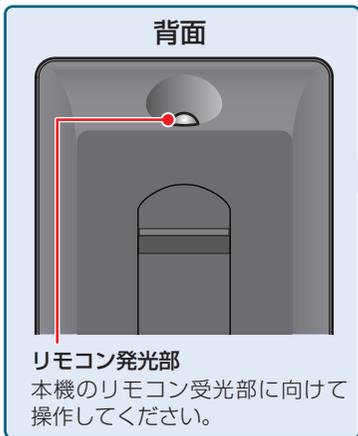
- 本機内部の放熱をよくするために、背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm以上空けてください。



- 背面の冷却用ファンは、本機の電源が「入」、【瞬速起動】設定時間帯、予約録画時間帯および、番組データ受信時に常時回ります。

各部のなまえとはたらき・つづき

リモコン



- テレビの入力を切り換える
- 時短機能を利用する
- テレビのチャンネルを順送りまたは逆送りで選局する(本機のチャンネルを選局することはできません。)
- ディスクメニューまたは録画リストを表示する
- ⏪・⏩・⏮・⏭: 番組表などでページを切り換える
- ⏪: 本機のチャンネルを順送りで選局する
- ⏩: 本機のチャンネルを逆送りで選局する
- ⏮: ワンタッチリプレイを実行する (⏪, 10秒戻し)
- ⏭: ワンタッチスキップを実行する (⏩, 30秒送り)
- 1つ前の画面に戻る
- 再生や再生中の操作で使用する
- メディアを切り換える
- 操作画面などで使用する
- 録画する

- テレビの電源を入れる/切る
- 本機の電源を入れる/切る
- ディスプレイを開く/閉じる
- 番組情報を表示する
- チャンネル番号を選ぶ
番号や文字を入力する
- 地デジ: 地上デジタル放送に切り換える
BS/CS: 押すたびにBSデジタル/110度
CSデジタル放送を切り換える
- チャンネル番号入力で選局する
- スタートメニューを表示する
- テレビの音量を調節する
- サブメニューを表示する
- 番組表を表示する
- ▲・▼・◀・▶: 選ぶ
決定: 決定する
- 設定を終了して、メニューや画面表示を消す
- データ放送に切り換える
- 本機の情報を表示する



- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単四形の乾電池(1.5V 2本)をお使いください。
- 乾電池の入れかたについては、**23**をご覧ください。



- 以外でも、図の で囲われているボタンを押して本機の電源を入れることができます。

レコーダーを準備する

本章では、本機を操作する前に設定おきたい内容を説明しています。

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ 16

はじめての設定をする

1  押す

2 画面の指示に従って ▲・▼・◀・▶ と  押す

くわしくは 25

リモコンを設定する

1  →【設定】→ 押す 【本体設定】を選び  を押す

2 【その他】→【リモコン設定】→ 【テレビリモコン設定】を選び  を押す

3  を押したまま 数字ボタンを 押す

くわしくは 31

チャンネルの設定を変更する 33

映りが悪いチャンネルを調整する 34

地域設定を変更する 35

視聴可能年齢を設定する 35

メディアを用意する 36

画面表示の見かた 38

画面に表示されるアイコンについて 39

スタートメニューについて 40

スタートメニュー「簡単モード」について 41

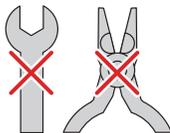
テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ

アンテナ・同軸ケーブルについて

- デジタル放送用のアンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・110度CSアンテナは電源の供給を必要とします。本機はBS・110度CSデジタル放送用アンテナへ電源の供給ができます。くわしくは「BS・110度CSデジタル放送用(新4K8K衛星放送含む)アンテナ端子につなぐ」[165](#)をご覧ください。
- BS・110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナに付属の取扱説明書をお読みください。
- 平行フィーダー線は、受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。



- 同軸ケーブルがF型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけしないでください。
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子、本機の地上デジタル入力／出力端子やBS・110度CS入力／出力端子などが破損する恐れがあります。



HDMIケーブルについて

- 映像・音声信号をケーブル1本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。
また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
- 東芝のレグザリンク対応テレビと接続すると、レグザリンク機能が使えます。くわしくは「レグザリンク機能について」[165](#)をご覧ください。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。(ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声途切れてしまいます。)接続確認済みHDMIケーブルについては、以下になります。(2019年1月現在)
 - ・ オーディオテクニカ HDMIケーブル AT-HMHシリーズ
 - ・ JVCケンウッド HDMIケーブル Eシリーズ
 ※ 東芝のテレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- HDMIケーブルは、タイプCなどプラグの大きさや形状によって接続できないものもあります。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI-HDMIケーブルには対応していません。HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。

電源プラグについて

- 電源プラグを抜く際は、リモコンの  を押しながら本機上面の  を押して、電源ボタンのランプが消灯したことを確認してから、電源プラグを抜いてください。
- 本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子に接続したテレビなどで放送を受信できなくなる場合があります。その場合は、本機の電源プラグは常にコンセントに差し込み(通電状態にして)、【放送受信設定】⇒【一般設定】の【アンテナ出力】を【入】にしておいてください。くわしくは「アンテナ出力」[178](#)をご覧ください。
- 本機の動作中は電源プラグを抜き差ししないでください。正常に録画できなかったり、録画中、編集中、ダビング中のHDDやディスクが使用できなくなったりする恐れがあります。

リモコンについて

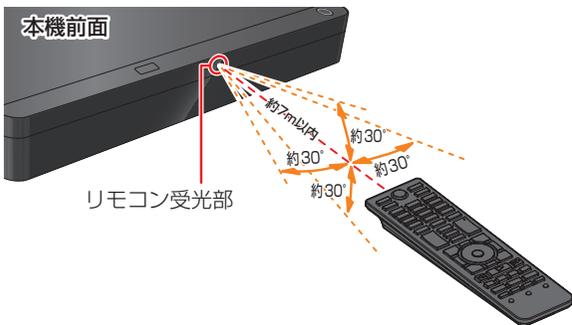
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
 - ・ リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
 - ・ リモコンコードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(【リモコンコード1】、「東芝A」)に戻ってしまうとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- リモコンの乾電池を交換するとリモコンコードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(【リモコンコード1】、「東芝A」)に戻ることがあります。この場合は、もう一度設定してください。**31**、**32**
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

リモコンが効かない場合について

- 本機とリモコンのリモコンコードが合っていない可能性があります。リモコンのリモコンコードを設定してください。**32**
- 乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。**23**

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。



距離… 本機正面から7m以内

角度… 本機正面から上下 約30°以内(5m以内)
左右 約30°以内(5m以内)

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

リモコンの取扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

お知らせ

- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3Dメガネは、どちらも赤外線信号を使用します。本機のリモコン受光部とテレビの3Dメガネ用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがありますので、なるべく離して使用してください。

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

miniB-CASカードについて

本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属のminiB-CASカードが必要です。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に差し込んでおくことをおすすめします。

付属のminiB-CASカードのID番号は本書の「miniB-CASカードID番号記入欄」にも記入しておいてください。**223**

- 本機に同梱されているminiB-CASカードは、本機以外で使用しないでください。

miniB-CASカードの取扱い

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 金色の端子部分には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。



- 本機のminiB-CASカード挿入口に付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴や録画ができなくなる場合があります。
- miniB-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 付属のminiB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与されたたいせつなカードです。破損や紛失などの場合は、直ちにB-CAS「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。



- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先 (2019年1月現在)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター
TEL 0570-000-250
(IP電話からの場合は045-680-2868)
<http://www.b-cas.co.jp/>

有料放送の契約をする

- 有料放送をご契約されるときは、miniB-CASカードのID番号が必要になります。
- お持ちの機器に付属のB-CASカードでBS・110度CSデジタルの有料放送を契約済みの場合は、有料放送の契約を本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のID番号に変更してください。
- 「はじめての設定をする」**25**を実行してから、確認してください。

1 本機とBS・110度CS対応アンテナを接続する

- くわしくは**20**をご覧ください。

2 本機にminiB-CASカードを挿入する

- くわしくは「miniB-CASカードを入れる」**23**をご覧ください。

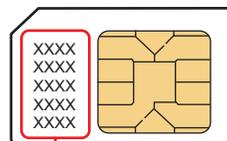
3 miniB-CASカードのID番号を確認する 設定メニューから確認するときは

25 → [設定] → [放送受信設定] → [一般設定]
[B-CASカード番号表示]の順番に選ぶ

miniB-CASカード裏面から確認するには

本機からminiB-CASカードを取りはずし、miniB-CASカード裏面に記載されているID番号をご確認ください。

miniB-CAS カード



カード ID 番号

4 有料放送事業者と契約する

- 有料放送事業者によって、契約方法が異なります。くわしくは右ページをご覧ください。

5 契約が完了したことを確認する

- 有料放送チャンネルを選び、映像と音声为正しく出力されているかご確認ください。



- くわしくは有料放送事業者にお問い合わせください。

WOWOW

① 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ネットから → 「WOWOW」で検索
- お電話から → WOWOWカスタマーセンター
0120-816-440

② 手続き完了後、WOWOW BS-9ch(191ch)を選局して15分程度お待ちください。

(左ページの手順5で契約ができているかご確認ください。)

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

① CS161 QVCチャンネルを選局して、視聴できるかを確認してください。

リモコンのBS/CSを押す → を押す → ・・の順に押す

② 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ネットから → スカパー!公式サイト <http://www.skyperfectv.co.jp> 加入手続き内新規加入申し込み
- お電話から → スカパー!カスタマーセンター(総合窓口)
0120-039-888 または 03-4334-7777
- 本機から → チャンネルをCS100 スカパー!プロモ100に合わせて、案内に従ってお申し込みください。

お申し込み完了後は、申し込み時の案内に従い、ご契約いただいたチャンネルを選局し、視聴可能になるまでしばらくお待ちください。



① BSデジタルでスター・チャンネルをご覧いただくには、まずスカパー!にご加入いただく必要があります。

- 具体的なお加入のフロー、加入のお申し込みについては、スカパー!の加入案内サイトをご確認ください。
<http://www.skyperfectv.co.jp/guide/>
- スカパー!をすでに見ている方は、加入者専用Myスカパー!から加入申し込みできます。
<https://my.skyperfectv.co.jp/login/>

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

- ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送用アンテナ端子につなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

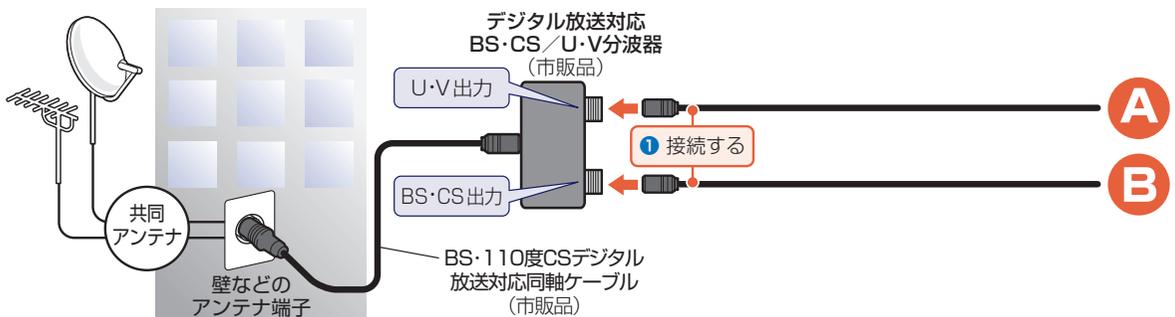


BS・110度CSデジタル放送用(新4K8K衛星放送含む)アンテナ端子につなぐ

地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送(新4K8K衛星放送含む)のアンテナ端子が1つのときと、アンテナ端子が別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

アンテナ端子が1つのときは

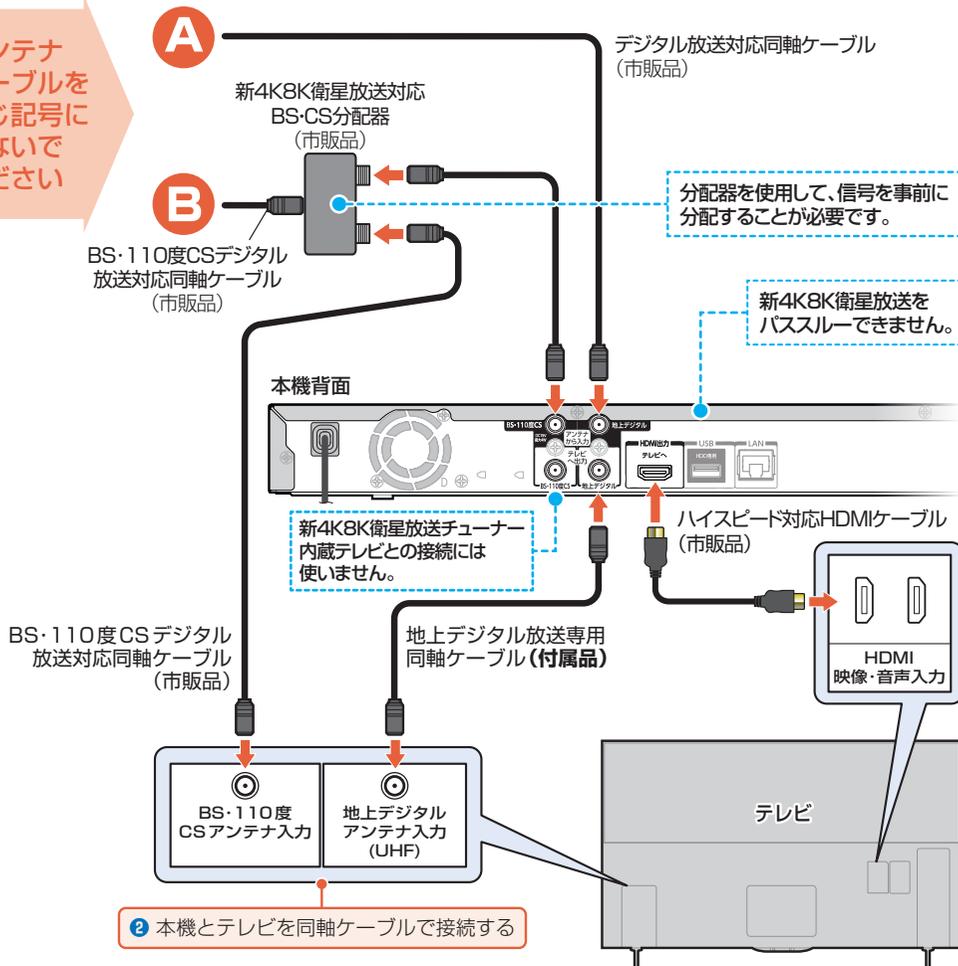
マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送(新4K8K衛星放送含む)の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送(新4K8K衛星放送含む)の信号を分けてください。



アンテナ端子が別々のときは



アンテナケーブルを
同じ記号につないで
ください



お知らせ

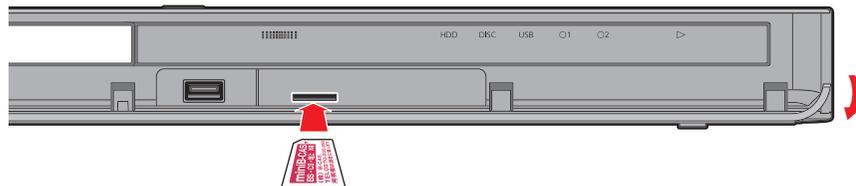
- 新4K8K衛星放送をテレビで受信しない場合は、かんたんガイドの「①アンテナとつなぎます。」をご覧ください。
- 付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用です。BS・110度CSデジタル放送の接続には使用しないでください。
- 分波器 (市販品) には、ケーブル一体型のもや3分波タイプのものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・U/V分波器・分配器は、金属シールドタイプ (垂鉛ダイカスト製など) で110度CS帯域 (2150MHz) まで対応の、電流通過型のもをご使用ください。くわしくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 新4K8K衛星放送を含むアンテナ端子と接続する場合は、分波器・分配器はSHマーク  のついているものをご使用ください。また、アンテナケーブルも4K8K対応品をご使用ください。
- 本機は新4K8K衛星放送には対応しておりません。新4K8K衛星放送対応のアンテナを本機のBS・110度CS入出力端子に接続し、本機を経由して新4K8K衛星放送受信用のテレビに接続した場合、新4K8K衛星放送の全て、または一部のチャンネルが受信できない場合があります。
- 「新4K8K衛星放送」とは、2018年12月からBS・110度CSで開始された新しい4K放送、8K放送のことです。詳しくは、以下のホームページでご確認ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 <http://www.apab.or.jp/4k-8k/>

miniB-CASカードを入れる

1 前面カバーを開ける

2 miniB-CASカードの赤色面を上に向け、★マークのある側から本機のカード挿入口にまっすぐ差し込む

- ・「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。



電源プラグを差し込む

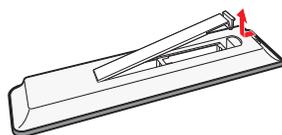
1 電源プラグを交流 (AC) 100Vのコンセントに差し込む

- ・本機が通電状態になり、本体の電源ランプ(緑)が点滅します。
- ・電源ランプ(緑)の点滅中は、本機の操作はできません。電源ランプが消えると、本機の電源を「入」にすることができます。

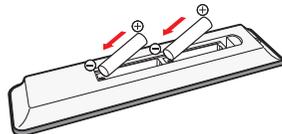


リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側のふたをはずす

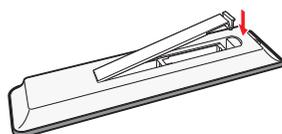


2 乾電池の⊖側を入れたあと、⊕側を入れる



- ・乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単四形の乾電池(1.5V 2本)をお使いください。

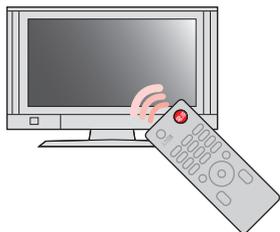
3 裏面のふたを取り付ける



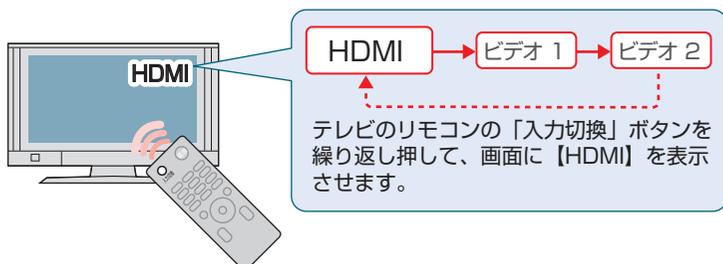
テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

テレビの入力を切り換える

1 電源を入れる



2 外部入力に切り換える



本機の電源を入れる

1 リモコンの電源 または本機の電源 を押す



- 電源が入ると、本機上面の電源ランプ(緑)が点滅し、使用可能になると電源ランプ(緑)が点灯します。(画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。)
- 【はじめての設定】の開始画面が表示されるので、続けて「はじめての設定をする」**25**をご覧ください。



- リモコンの設定は、**31**をご覧ください。

はじめての設定をする

【はじめての設定】を開始する

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に【はじめての設定】の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- 【はじめての設定】は、必ずアンテナが接続された状態で放送がある時間帯におこなってください。放送がない時間帯におこなうと、チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 【はじめての設定】実行中は、電源プラグを抜かないでください。
- 【はじめての設定】実行中に、**電源**を押すと本機の電源は切れますが、【はじめての設定】が完了したことにはなりません。次回起動時に【はじめての設定】を最後まで設定してください。

ネットワークを利用するときは

あらかじめ本機をネットワークに接続してください。**138**

1 **電源**を押して本機の電源を入れる

- 【はじめての設定】の開始画面が表示されます。

はじめて電源を入れたときに画面が表示されないときは

次のことを確認してください。

- アンテナ⇄本機⇄テレビをつないでいますか。また、ケーブルやコードが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。ケーブルやコードの接続方法については、**16**をご覧ください。
- テレビの入力切替で本機を接続した入力に切り換えていますか。

2 【次へ】が選ばれているので、**決定**を押す

基本設定

3 【決定】が選ばれているので、**決定**を押す

- **決定**を押してもエラーメッセージが表示される場合は、もう一度miniB-CASカードを挿入してください。

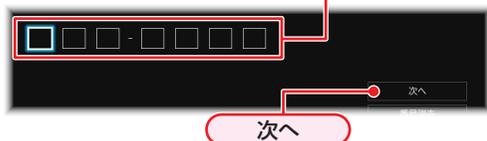
4 リモコンコードを選び **決定** を押す

リモコンコードを変更する場合は

【リモコンコード2】～【リモコンコード5】のいずれかを選び **決定** を押してください。その後、画面に表示されたメッセージに従ってリモコンの設定をおこない、最後に **決定** を押してください。

5 **1** ～ **10** でお住まいの地域の郵便番号を入力し、【次へ】を選び **決定** を押す

郵便番号を入力する



入力を間違えたときは

【番号消去】を選び **決定** を押して、一括消去するか、**▲**・**▼**・**◀**・**▶** で戻って入力しなおしてください。

6 お住まいの地域を選び **決定** を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、【東京都(島部)】を選びます。
- 鹿児島県の南西諸島地域は、【鹿児島県(島部)】を選びます。
- お住まいの地域を選び **決定** を押すと、確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押すとスキャンが始まります。(スキャンが完了するまで10分程度かかることがあります。)

【いいえ】を選び **決定** を押すと地デジチャンネルのスキャンをおこないません。**26**の手順 **8** に進んでください。

はじめての設定をする・つづき

基本設定

7 【次へ】を選び **決定** を押す

チャンネルの設定一覧

- チャンネルの設定一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。

チャンネルがスキャンされなかったときは

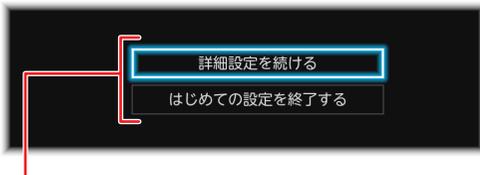
アンテナ⇄本機⇄テレビの接続をご確認後、【やりなおす】を選び **決定** を押してください。再度、スキャンが始まります。

8 BS・CSデジタル放送を利用するかしないかを選び **決定** を押す

- 次へ： BS・CSデジタル放送の情報取得をおこないます。
- 利用しない： BS・CSデジタル放送の情報取得をおこないません。

情報が取得できず確認画面が表示されたときは

画面の案内に従って、アンテナ⇄本機⇄テレビの接続をご確認後、再度情報の取得をおこなってください。(あとで確認する場合は、手順 8 で【利用しない】を選び **決定** を押してください。)

9 詳細設定を続けるか、はじめての設定を終了するかを選び **決定** を押す

詳細設定を続ける：

詳細な設定を続ける場合は、こちらを選択し「①一般設定」の手順 10 に進んでください。

はじめての設定を終了する：

はじめての設定を終了する場合は、こちらを選択してください。

① 一般設定

10 テレビリモコン設定をするかしないかを選び **決定** を押す

- 【いいえ】を選んだときは、手順 12 に進んでください。

11 画面の指示に従って操作する

- 例：東芝B(01)の場合は、**地デジ**を押したまま、**10** → **1** を押してください。(**10** は番号「0」になります。)

メーカー番号が複数あるときは

いずれかの番号で設定してテレビの電源が「入」/「切」できないときは、別の番号を設定してください。



- テレビによっては、本機のリモコンでは、テレビメーカーの設定や操作ができないことがあります。また、テレビメーカーの設定ができても一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

② ネットワーク設定

12 ネットワーク設定をおこないます

LANケーブルを接続しているときは
(DBR-W2009/DBR-W1009のみ)

- LANケーブルの接続が自動検出されますので、「有線LANで設定をおこなう」**27** をご覧ください。

LANケーブルを接続していないときは
(DBR-W2009/DBR-W1009のみ)

- 「無線LANで設定をおこなう」**28** をご覧ください。

DBR-W509の場合は

- 「有線LANで設定をおこなう」**27** をご覧ください。



- ご使用にはインターネット環境が必要です。

② ネットワーク設定

有線LANで設定をおこなう

① 設定する環境を選び を押す

- DBR-W509のみ、【ネットワーク設定をおこなわない】を選んだ場合は、手順 17 に進んでください。

【インターネットに接続する】を選んだときは

ブロードバンド常時接続環境でつなぐ必要があります。
くわしくは [138](#) をご覧ください。

【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んだときは

本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ必要があります。
くわしくは [138](#) をご覧ください。

② 設定モードを選び を押す

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク設定】の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。【次へ】を選び  を押して、「③ レグザリンク設定」 [29](#) の手順 13 に進んでください。

【手動設定】を選んだときは

以下の項目が表示されるので、項目を選び  を押して、設定してください。



IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① 設定方法を選び を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、【手動】を選び設定してください。

【自動(DHCP)】を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス：	パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。 (3桁まで入力可能です。)
サブネットマスク：	パソコンと同じ数値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ：	パソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

① 設定方法を選び を押す

【自動(DHCP)】を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

- プライマリDNS：パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- セカンダリDNS：パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定してください。

① 設定方法を選び を押す

【有効】を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

- 設定が終わったら、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると、確認画面が表示されるので、【次へ】を選び  を押して、「③ レグザリンク設定」 [29](#) の手順 13 に進んでください。

【無効】を選んだときは

自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。【次へ】を選び  を押して、「③ レグザリンク設定」 [29](#) の手順 13 に進んでください。

はじめての設定をする・つづき

② ネットワーク設定

無線LANで設定をおこなう

【無線LAN設定をおこなう】を選び を押す

- 【ネットワーク設定をおこなわない】を選んだ場合は、手順 17 に進んでください。

【かんたん接続設定(WPS)]を選んだときは

【プッシュボタン方式(PBC)]または【PINコード方式]で、かんたんに無線LANを設定できます。

プッシュボタン方式(PBC)

画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。【次へ】を選び を押して、「③ レグザリンク設定」 29 の手順 13 に進んでください。

PINコード方式

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選び を押す
- 2 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



この数字をアクセスポイントに入力する

- PINコードの入力のしかたは、お使いの機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。【次へ】を選び を押して、「③ レグザリンク設定」 29 の手順 13 に進んでください。

【無線LAN自動検出]を選んだときは

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選び を押す
- 2 セキュリティキーを入力し、 を押す



- 確認画面が表示されるので、【次へ】を選び を押してください。

③ 設定モードを選ぶ

- 【自動設定】を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。【次へ】を選び を押して、「③ レグザリンク設定」 29 の手順 13 に進んでください。
- 【手動設定】を選んだときは、27 の「【手動設定】を選んだときは」をご覧ください。

【手動接続設定]を選んだときは

【手動接続設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。

- 1 SSIDを入力して、 を押す



- 2 セキュリティを選び を押す
- 3 セキュリティキーを入力し、 を押す
 - 確認画面が表示されるので、【次へ】を選び を押してください。
- 4 設定モードを選ぶ
 - 【自動設定】を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。【次へ】を選び を押して、「③ レグザリンク設定」 29 の手順 13 に進んでください。
 - 【手動設定】を選んだときは、27 の「【手動設定】を選んだときは」をご覧ください。

③ レグザリンク設定

13 ネットワーク連携設定を利用するかしないかを選び **決定** を押す



- 【利用しない】を選んだ場合は、手順 16 に進んでください。

14 デバイス名前を変更するかしないかを選び **決定** を押す

【はい】を選んだときは



15 ネットワーク連携接続設定を利用するかしないかを選び **決定** を押す

【利用する】を選んだときは

- 1 各項目を選び **決定** を押す
- 2 それぞれの項目を設定する



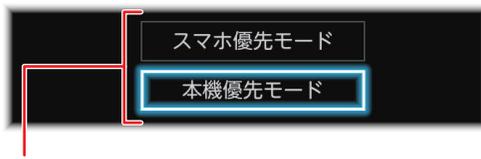
ユーザー名：端末機器から本機にアクセスするためのユーザー名を設定します。ユーザー名は半角16文字までで入力してください。

パスワード：端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。パスワードは、半角で8～64文字で入力してください。

ポート番号：通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。

- 3 設定が終わったら、【次へ】を選び **決定** を押す

16 スマホ優先モードか本機優先モードかを選び **決定** を押す



スマホ優先モード：

予約録画にあわせてスマホ持ち出し番組を作成します。

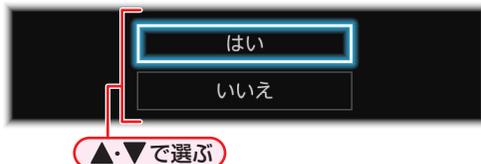
- 本機の同時動作によって、スマホ持ち出し番組の作成を中断する必要がある場合は、中断前に確認画面を表示します。

本機優先モード：

予約録画時にスマホ持ち出し番組は作成しません。

- 本機優先モードでは自動的にスマホ持ち出し番組を作成しませんが、番組表から予約するときなどにスマホ持ち出し番組作成の設定は可能です。

17 レグザリンク・コントローラ機能を使用するかしないかを選び **決定** を押す



- レグザリンク・コントローラ機能を使うためには、本機と東芝のレグザリンク対応テレビを、HDMIケーブル(市販品)で接続してください。レグザリンク機能についてくわしくは 165 をご覧ください。

はじめての設定をする・つづき

④ 待機設定

18 お好みの待機方法を選び **決定** を押す



以下の場合、【省エネ待機】を選ぶことはできません。

- 29頁の手順13でネットワーク連携設定を【利用する】に設定した場合
- 29頁の手順17でレグザリンク・コントローラ機能を【はい】に設定した場合

19 瞬速起動を設定したい時間帯を選び **決定** を押す



ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を【待機設定】の【通常待機】設定時よりさらに短縮できます。くわしくは174頁をご覧ください。

- **決定** を押すたびにチェックあり 、なし が切り換わります。

20 設定が終わったら、【次へ】を選び **決定** を押す

21 【完了】を選び **決定** を押す

- 【はじめての設定】が完了します。

【はじめての設定】をやりなおす

1 **スタートメニュー** を押して、【設定】を選び **決定** を押す

2 【はじめての設定】を選び **決定** を押す



【はじめての設定】を選ぶ

3 【基本設定】または【詳細設定】を選び **決定** を押す

- 【基本設定】を選んだ場合は25頁～26頁の手順3～9をおこなってください。
- 【詳細設定】を選んだ場合は26頁～30頁の手順10～21をおこなってください。
- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。

リモコンを設定する

本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する

テレビメーカーを設定する

テレビを操作する前に、お使いのテレビメーカーを設定してください。

1 を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【その他】** → **【リモコン設定】** → **【テレビリモコン設定】**を選び を押す

2 画面の指示に従って操作する

- 例：東芝B(O1)に設定する場合は、を押したまま、 → を押したあと、から指を離してください。
(は番号「0」です。)

メーカー番号が複数あるときは

いずれかの番号で設定してテレビの操作ができないときは、他の番号を設定してください。



- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。また、テレビメーカーの設定ができて、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

テレビを操作する

リモコンをテレビの受光部に向け、そのままテレビを操作します。

1 リモコンをテレビの受光部に向け、テレビを操作する

- テレビ操作には以下のリモコンボタンを使用します。



リモコンを設定する・つづき

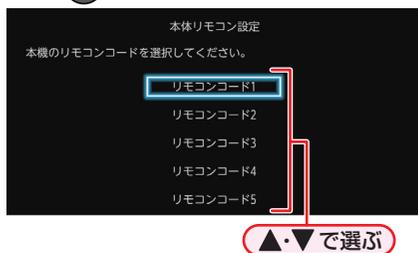
本機のリモコンが他の東芝レグザサーバー(またはレコーダー)を操作しないようにする

東芝のレグザサーバー(またはレコーダー)を2台以上使用するとき、本機のリモコンに他のレグザサーバー(またはレコーダー)が反応してしまうことがあります。その場合は、本機とリモコンのそれぞれにリモコンコードを設定することで、他のレグザサーバー(またはレコーダー)が反応しないように設定できます。(お買い上げ時の設定は、本機、リモコンとも【リモコンコード1】になっています。)

- 本機以外のレグザサーバー(またはレコーダー)でリモコンコードを設定するときは、その機器に付属の取扱説明書をお読みください。先に本機のリモコンコードを変更し、リモコンのリモコンコードを本機に合わせて変更してください。

1 **スタートメニュー** を押して、【設定】→【本体設定】→【その他】→【リモコン設定】→【本体リモコン設定】を選び **決定** を押す

2 本機に割り当てるリモコンコードを選び **決定** を押す



3 手順2で設定したリモコンコードをリモコンに設定する

【リモコンコード1】を選んだとき

決定 を押したまま、**1** を押す

【リモコンコード2】を選んだとき

決定 を押したまま、**2** を押す

【リモコンコード3】を選んだとき

決定 を押したまま、**3** を押す

【リモコンコード4】を選んだとき

決定 を押したまま、**4** を押す

【リモコンコード5】を選んだとき

決定 を押したまま、**5** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。

お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないようにするときは

一時的にリモコン信号を受け付けないようにできます。

1 **スタートメニュー** → **番組説明** → **画面表示** の順に押す

- 解除するときは、もう一度同じ操作をしてください。

ご注意

- 本機のリモコンで、ブルーレイディスク/DVDプレーヤーやビデオの操作はできません。

お知らせ

- 本機とリモコンのリモコンコードが異なる場合
 - 本機の電源が「入」のときにリモコンの操作をすると、画面にリモコンコード設定方法が表示され、本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。リモコンコード設定方法を非表示にする場合は、**スタートメニュー** → **設定** → **本体設定** → **その他** → **リモコン設定** → **リモコン不一致表示** を選び **決定** を押して、**表示しない** を選び **決定** を押してください。(【リモコン不一致表示】の設定に関わらず、本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。)
 - 本機の電源「切」のときは本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。

チャンネルの設定を変更する

リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる

1 **サブメニュー** を押して、【設定】→【放送受信設定】を選び **決定** を押す

地上デジタル放送の場合

【地上デジタル設定】→【チャンネルの設定】を選び **決定** を押す

BS・110度CSデジタル放送の場合

【BS・CSデジタル設定】→【BSチャンネルの設定】または【CSチャンネルの設定】を選び **決定** を押す

2 【チャンネルの割り当て設定】を選び **決定** を押す



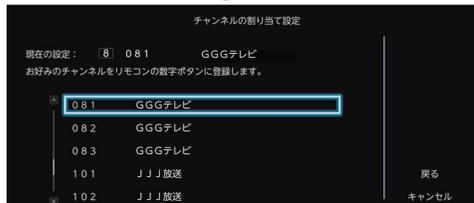
チャンネル割り当て一覧

- チャンネル割り当て一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。
- 【ページ1】【ページ2】【ページ3】に割り当てたチャンネルは、サブメニューの【選局ガイド】から選ぶことができます。 **53**

3 チャンネルを割り当てたい番号のマスを選び **決定** を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

4 手順3で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを選び **決定** を押す



- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てを解除する場合は、【チャンネルの割り当てをしない】を選び **決定** を押してください。

5 設定が終わったら、【完了】を選び **決定** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。

チャンネルをスキップする

チャンネル を押したときに、視聴しないチャンネルをスキップできます。

1 **サブメニュー** を押して、【設定】→【放送受信設定】を選び **決定** を押す

地上デジタル放送の場合

【地上デジタル設定】→【チャンネルの設定】を選び **決定** を押す

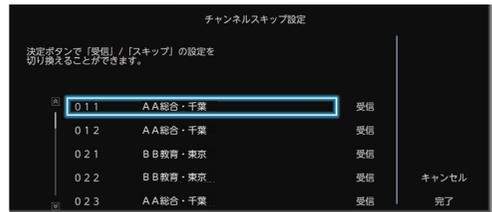
BS・110度CSデジタル放送の場合

【BS・CSデジタル設定】→【BSチャンネルの設定】または【CSチャンネルの設定】を選び **決定** を押す

2 【チャンネルスキップ設定】を選び **決定** を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

3 スキップしたいチャンネルを選び **決定** を押す



- チャンネル名の右が【受信】から【スキップ】に切り換わります。
- **決定** を押すたびに【受信】と【スキップ】が切り換わります。

4 設定が終わったら、【完了】を選び **決定** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。



- 【スキップ】に設定したチャンネルは、番組表に表示されなくなります。

映りが悪いチャンネルを調整する

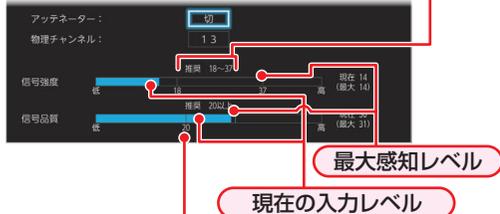
地上デジタル放送のアンテナを調整する

【アッテネーター】の設定を【入】にすると、状況が改善されることがあります。

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 **スタートメニュー**を押して、【設定】→【放送受信設定】→【地上デジタル設定】→【アンテナの設定】を選び **決定** を押す3 アッテネーター欄を選び **決定** を押す

放送受信のための信号強度の目安(18~37)



放送受信のための信号品質の目安(20以上)

- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル(13 ~ 62CH)のことです。

地上デジタル放送用のアンテナレベルについて

この画面で信号強度を確認しながら、UHFアンテナの向きを調整できます。強度の数値が最大となるようにアンテナの向きを調整してください。

- この画面で【物理チャンネル】を選び **決定** を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを入力できます。

4 【入】を選び **決定** を押す

- CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は、CATVの13~63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順3で、【物理チャンネル】の先頭に「C」が表示されます。

5 調整が終わったら、**戻る** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押しください。

お知らせ

- 信号品質の数値は受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

ご注意

- 地域により、受信状況が異なる場合があります。

BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する

【BS・CSデジタル設定】の【アンテナの設定】画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整できます。(マンションなどの共聴アンテナやCATVをご利用の場合は、この調整は不要です。)

1 BS・110度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 **スタートメニュー**を押して、【設定】→【放送受信設定】→【BS・CSデジタル設定】→【アンテナの設定】を選び **決定** を押す

3 「アンテナレベル」の数値が「20」以上になるように、アンテナの向きを調整する



放送受信のためのアンテナレベルの目安(20以上)

- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合は、放送の映像と音声は確認できません。
- 決定** を押すと、チャンネルを選ぶことができます。他のチャンネルに切り換えたいときは **▲・▼** でチャンネルを選び **決定** を押しください。

4 調整が終わったら、**戻る** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押しください。

ご注意

- 【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定を【供給する(個別)】にしたときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、【アンテナ電源】の設定が自動的に【供給しない(共聴)】に切り換わることがあります。

お知らせ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。178

地域設定を変更する

お住まいの地域を設定します。

- データ放送サービスなど、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために、郵便番号とあわせて設定してください。

1 **ｽｰﾊﾞｰ**を押して、【設定】→【放送受信設定】を選び **決定** を押す

地域の設定

- 【一般設定】→【地域の設定】を選び **決定** を押す
- お住まいの都道府県を選び **決定** を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、【東京都(島部)】を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、【鹿児島県(島部)】を選びます。

郵便番号の設定

- 【郵便番号の設定】を選び **決定** を押す
 - 郵便番号入力画面が表示されます。
- 1** ~ **10.0** でお住まいの地域の郵便番号を入力し、【完了】を選び **決定** を押す

入力を間違えたときは

【番号消去】を選び **決定** を押して、一括消去するか、▲・▼・◀▶で戻って入力しなおしてください。

2 すべての設定が終わったら、**終了**を押す



- 地域設定に誤りがあると、放送が正しく受信できない場合があります。

視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。

視聴制限を解除するためのパスワードを設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限をこえる番組を視聴するときに、パスワードの入力が必要となります。56

パスワードを設定していない場合は、視聴年齢が制限されたスカパー!の録画番組は本機の【録画リスト】画面に表示されません。

ここで設定するパスワードは、デジタル放送の視聴制限を解除するためのパスワードとなります。【BD視聴制限レベル】や【DVD視聴制限レベル】、【インターネット接続制限】169を設定するためのパスワードとは異なります。

1 **ｽｰﾊﾞｰ**を押して、【設定】→【放送受信設定】→【一般設定】→【視聴年齢制限】を選び **決定** を押す

- パスワード入力画面が表示されます。

2 **1** ~ **10.0** でパスワード(4桁)を入力する

- 初めてパスワードを登録する場合は、確認のためにもう一度パスワードの入力が求められます。最後に確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。
- 入力した数字は、「*」で表示されます。

入力中に番号を間違えたときは

◀で戻るか、【すべてクリア】を選び **決定** を押してください。

パスワードを忘れたときは

4、7、3、7を入力してください。新しいパスワードを設定できます。

3 設定したい年齢を選び **決定** を押す

- 視聴年齢が制限されたスカパー!の録画番組がある場合は、設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は、本機の【録画リスト】画面や、ネットワークを利用して別の機器で視聴する場合の再生リストに表示されません。
- 制限を解除する場合は、【無制限】を選び **決定** を押してください。

4 すべての設定が終わったら、**終了**を押す

パスワードを変更するときは

手順 1 で【視聴年齢制限】の代わりに【パスワード変更】を選び **決定** を押して、画面の指示に従ってください。



- パスワードは忘れないようにご注意ください。

メディアを用意する

ディスクの入れかた

1  を押して、ディスクトレイを開く

2 ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイの上に置く



両面ディスクを再生するときは

再生する面を下にしてください。

3  を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みをおこなうため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。



- 新品(未使用)のディスクを入れると初期化(フォーマット)画面が表示されるので、BDは「新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する」[183](#)を、DVDは「新品のDVDを初期化(フォーマット)する」[183](#)をご覧ください。

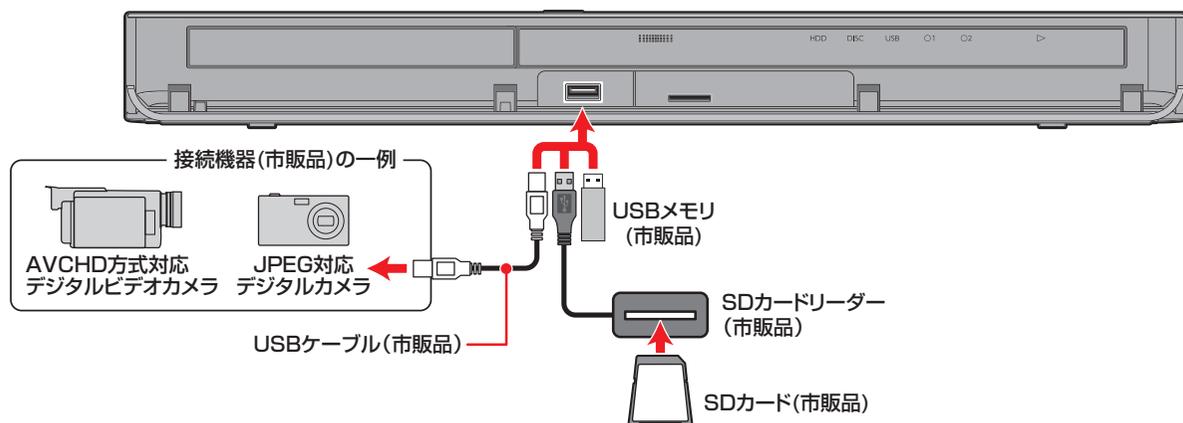
SDカードを入れる／USB機器と接続する

本機ではUSB機器やSDカードに記録されたJPEGファイルを再生できます。[97](#)
また、AVCHD方式の動画を本機へ取り込む(ダビングする)ことができます。[127](#)

- USB-HDDやUSBハブは、必ず本機背面のHDD専用USB端子に接続してください。[160](#)
写真やAVCHD方式の動画を保存した**USB機器**を再生やダビングに使用したい場合は
- 本機前面のメモリ専用USB端子に接続してください。
- 写真やAVCHD方式の動画を保存した**SDカード**を再生やダビングに使用したい場合は
- USBケーブルまたはUSB端子で本機と接続可能なSDカードリーダー(市販品)を本機前面のUSB端子に接続してください。

1 SDカードを挿入する／USB機器を接続する

本機前面



- SDカードの向きを確認して、奥まで差し込んでください。
- 複数のSDカードスロットを持つUSBカードリーダーに複数のSDカードを入れている場合は、読み込むSDカードを特定できません。複数のSDカードスロットを持つUSBカードリーダーをお使いの場合は、SDカードは1枚ずつ入れてください。
- USB機器は必ず本機前面のメモリ専用USB端子に接続してください。
- 接続する機器に専用のケーブルが指定されている場合は、そのケーブルを使用してください。
- 接続した機器に設定画面が表示されることがあります。その場合は、パソコンを接続するモードに設定してください。(くわしくは接続するUSB機器に付属の取扱説明書をお読みください。)
- 本機前面のメモリ専用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 認識するまでに、数10秒かかる場合があります。

2 SDカードを取り出す／USB機器を取りはずす

- USB機器からSDカードを取り出す際は、再生、ダビングが停止していることを確認し、SDカードをまっすぐに引き出してください。
- USB機器を取りはずす際は、再生が停止していることを確認し、ゆっくりと引き抜いてください。

お知らせ

- 対応するSDカードについては、[196](#)をご覧ください。

ご注意

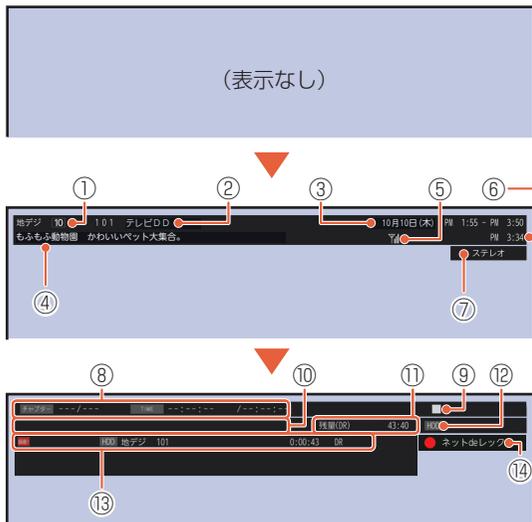
- USB機器やSDカードは、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器やSDカードの認識中・読み込み中は、次のことをおこなわないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
 - SDカードを取り出す／USB機器を取りはずす／USBケーブルを抜く
- SDカードに記録するデジタルカメラやデジタルビデオカメラの場合は、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用して写真の再生や映像取り込み(ダビング)をおこなってください。

画面表示の見かた

現在の本機の状態や情報を表示する

リモコンの  を押すたびに、画面が次のように切り換わります。

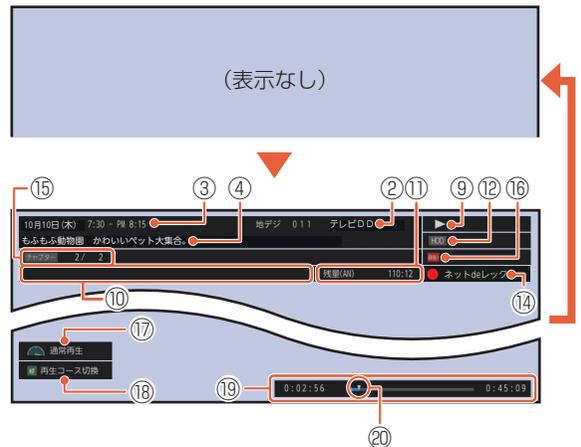
放送を視聴中の表示例



- ① リモコンの数字ボタンの割当
- ② 放送局の情報
- ③ 番組の放送日時
- ④ 番組名
- ⑤ アンテナレベル
受信状況が良いときは  が、
受信状況が悪いときは  が表示されます。
- ⑥ 現在時刻
- ⑦ 番組の音声情報
- ⑧ 記憶しているレジュームポイントの情報
(レジュームポイントについては、**83** をご覧ください。)
- ⑨ 動作状態
- ⑩ ダビング情報表示
- ⑪ 現在設定されている録画モードの残量時間

- 時間は、時間：分：秒 で表示されます。

番組再生中の表示例



- ⑫ メディアの種類
- ⑬ 録画情報表示
録画メディアの種類／放送の種類／チャンネル
番号／録画モードまたは持ち出し設定を表示
します。
- ⑭ ネットdeレック中
- ⑮ 現チャプター番号／総チャプター数
- ⑯ 録画状況のアイコン表示
- ⑰ 再生コース
- ⑱ 操作ガイド
- ⑲ タイムバー
- ⑳ 再生中の現在位置



- 本機の動作状態(放送の視聴中や再生中、録画中など)によって、表示される情報が変わります。
- 本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。
該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。

画面に表示されるアイコンについて

メディアの種類

HDD	HDD
USB○*	通常録画用USB-HDD
SeeQVault○*	SeeQVault対応USB-HDD
	ディスク
BD-RE	BD-RE
BD-R	BD-R
BD-Video	BD-Video
BDAV_ORG	BDAV(オリジナル)
BDAV_PL	BDAV(プレイリスト)
DVD-RW	DVD-RW
DVD-R	DVD-R
DVD-Video	DVD-Video
DVD-RAM	DVD-RAM
VR_ORG	VRモード(オリジナル)
VR_PL	VRモード(プレイリスト)
Video	ビデオモード
AVCREC_ORG	AVCREC™モード(オリジナル)
AVCREC_PL	AVCREC™モード(プレイリスト)
DATA	USB機器
CD-DA	音楽用CD
CD DATA	データCD
AVCHD	AVCHD方式のディスク

※ ○には番号が表示されます。

主な動作

	録画
	録画一時停止
しばらくお待ちください	番組の編集処理中など
	停止
レジューム	つづき再生の停止(レジューム停止)
	再生
	再生一時停止
	早見早聞再生 (音声付き約1.3倍速再生)
	ゆっくり再生 (音声付き約0.8倍速再生)
	早送り、早戻し
	スロー、逆スロー再生
	正方向、逆方向のスキップ
	ワンタッチスキップ/リプレイ
	1/20スキップ/リプレイ
	1/20スキップ/リプレイ
HDD → DISC	ダビング 例: HDDからディスクへダビングするとき
USB○* → HDD	ダビング 例: 通常録画用USB-HDDからHDDへダビングするとき

※ ○には番号が表示されます。

その他

	起動中...	電源が入ったとき
		ディスクトレイ開、閉
読み込み中		メディアの読み込み中
番組		番組
チャプター		チャプター
トラック		トラック
TIME		再生時間(タイム)



● 画面に が表示されるときは、現在その操作をおこなうことができません。

スタートメニューについて

以下に示す機能は、スタートメニュー画面を表示してから操作します。

- スタートメニュー画面は、リモコンの **START** を押すと表示されます。
- 操作ができない項目はグレー表示されます。



機能名(一例)		できること
	予約	録画予約します。 【録画予約一覧】 69 【おまかせ自動録画】 72
	番組表	現在の番組表を表示します。 60
	放送中の番組へ	現在放送されている番組に切り換えます。 53
	ダビング	複数の番組をまとめてダビングできます。 121
	録画リスト	【録画リスト】画面を表示します。 84
	HDD/ディスクの管理	以下のメディアの編集をおこないます。 <ul style="list-style-type: none"> • HDD 186 • ブルーレイディスク/DVD 184 ~ 186 • 通常録画用USB-HDD/SeeQVault対応USB-HDD 160 ~ 163、184、186
	設定	さまざまな機能の設定などをおこないます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「本体設定」 170 • 「放送受信設定」 177 • 「診断モード」 206 • 「はじめての設定」 25
	時短で見る	時短機能を利用して録画した番組を時短で見ることができます。 46
	お知らせメール	本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送の情報や案内を確認します。 168

スタートメニュー「簡単モード」について

「簡単モード」に切り換える

- 1 スタートメニュー表示中に、**サブメニュー**を押す
 - ・「通常モード」に戻すには、「簡単モード」表示中にもう一度 **サブメニュー** を押してください。



「簡単モード」を使う

「簡単モード」では、本機の基本操作をかんたんに操作できるようにご案内します。また、録画した番組を見たり、番組の録画予約やダビングをしたりすることができます。

録画した番組を見る

- 1 **【録画した番組を見る】**を選び **決定** を押す
 - 2 **メディアを選び** **決定** を押す
 - ・USB-HDD一覧が表示されたときは、見たい番組が入ったUSB-HDDを選び **決定** を押してください。
- ▲・▼で選ぶ**
-
- 3 **見たい番組を選び** **決定** を押す
 - ・再生が始まります。

番組を録画予約する

- 1 **【番組を録画予約する】**を選び **決定** を押す
 - 2 **予約方法を選び** **決定** を押す

▲・▼で選ぶ
- 【番組表から予約】**を選んだときは
録画したい番組を選び、**録画**を押す
- 【日付を選択して予約】**を選んだときは
録画したい番組の日付を選ぶ



- ・日付を選んだあとは、録画したい番組を選び、**録画**を押してください。
- ・番組表についてくわしくは **60** をご覧ください。

【番組を検索して予約】を選んだときは

録画したい番組を検索して、録画できます。
検索方法は、**66** の手順 **3**以降をご覧ください。

【録画予約一覧】を選ぶと・・・

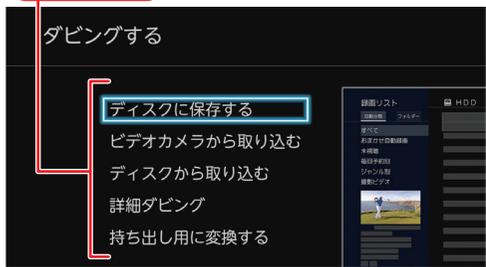
何の番組がいつ録画予約されているかなどを確認できます。

スタートメニュー「簡単モード」について・つづき

ダビングする

- 1 【ダビングする】を選び **決定** を押す
- 2 ダビング方法を選び **決定** を押す

▲・▼で選ぶ



【ディスクに保存する】を選んだときは

HDDに録画した番組をブルーレイディスクなどに保存します。くわしくは「番組を1つだけダビングする(かんたんダビング・おまかせダビング)」[120](#)の手順1以降をご覧ください。

【ビデオカメラから取り込む】を選んだときは

ビデオカメラの動画を、本機のHDDに取り込みます(ダビングします)。くわしくは「USB機器やSDカードから取り込む(ダビングする)」[127](#)の手順1以降をご覧ください。

【ディスクから取り込む】を選んだときは

ブルーレイディスクなどから本機のHDDに取り込みたい(ダビングしたい)番組をダビングします。くわしくは「番組を1つだけダビングする(かんたんダビング・おまかせダビング)」[120](#)の手順1以降をご覧ください。

【詳細ダビング】を選んだときは

2つ以上の番組をダビングしたり、ネットワークを使ってダビングしたりすることができます。くわしくは「複数の番組をまとめてダビングする」[121](#)の手順3以降、「本機からネットワーク上の機器にダビングする(ネットdeダビングHD)」[126](#)の手順3以降をご覧ください。

【持ち出し用に変換する】を選んだときは

HDDに録画した番組をスマホ持ち出し番組に変換できます。くわしくは「録画した番組をスマホ持ち出し番組に変換する」[153](#)の手順5以降をご覧ください。

放送中の番組を見る

- 1 【放送中の番組を見る】を選び **決定** を押す
- 2 放送の種類を選び **決定** を押す

チャンネルを選ぶときは

「チャンネルを選ぶ」[53](#)の手順2をご覧ください。

録画した番組を消す

- 1 【録画した番組を消す】を選び **決定** を押す
- 2 削除したい番組が入っているメディアを選び **決定** を押す

▲・▼で選ぶ



- 3 【番組の削除】を選び **決定** を押す

- 4 削除したい番組を選び **決定** を押す

- ・ 選択された番組に✓が付きます。同じ番組を選び **決定** を押すと✓が消え、選択が解除されます。
- ・ 手順4を繰り返して、削除したい番組をすべて選んでください。

- 5 【削除実行】を選び **決定** を押す

- ・ 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押してください。
- ・ 削除が終わったら、**終了** を押してください。

時短機能を使う

本章では、時短機能について説明しています。
時短機能とは、「録る・見る・残す」をかんたんにおこない、従来それらに費やしていた時間を短縮できる機能のことです。

時短で録る..... 44

時短で見る

The diagram consists of three numbered steps in light blue boxes:

- 1**: A dark button labeled "時短" (Time-saving) with the instruction "押す" (Press).
- 2**: Shows navigation icons: left and right arrows, and up and down triangles. Below them are the instructions "カテゴリーを選ぶ" (Select category) and "見たい番組を選ぶ" (Select program to watch).
- 3**: Shows a "再生" (Play) button and a "決定" (Confirm) button. Below them are the instructions "再生コースを選ぶ" (Select playback course) and "または 決定を押す" (or Press Confirm).

くわしくは..... 46

時短で残す..... 50

時短で録る

「時短で見る」初回設定について

HDD

通常録画用
USB+HDD

お買い上げ後、初めて「時短」を押すと、時短機能の初回設定画面が表示されます。効率よく録画、再生するために最後まで設定してください。

「時短で見る」初回設定

1 「時短」を押す
 ・時短機能の初回設定画面が表示されます。

2 【設定をはじめめる】が選ばれているので、「決定」を押す
 ・【「再生コース」を選ぶ】画面が表示されます。

3 【通常再生】または【らく見】を選び「決定」を押す
 ・録画後の再生コースを設定します。再生コースは再生前にも変更できます。**47**
 ・本設定は、初回設定完了後にも一括で変更できます。**49**



4 お好みのカテゴリーを選び「決定」を押す



- ・「決定」を押すと右枠に選択したカテゴリーが表示されます。最大21個までカテゴリーを選択できます。
- ・カテゴリーの優先順位を変更する場合は、カテゴリー選択画面で▶を押して右枠に移動し、▲・▼で移動したいカテゴリーを選び「決定」を押し、▲・▼で移動先を選び「決定」を押してください。
- ・左枠のカテゴリーを選んだ状態で■を押すと、カテゴリーの編集ができます。「カテゴリーを編集する」**45**をご覧ください。
- ・左枠のカテゴリーを選んだ状態で■を押すと、カテゴリーが削除されます。
- ・⊕カテゴリーを選ぶとカテゴリーを新規追加できます。「カテゴリーを新規追加する」**45**をご覧ください。



● 設定したお客様の「お好みの情報」は本機に記録されますので、本機を譲渡または廃棄される場合は、【すべての初期化】をおこなって消去することをおすすめします。

カテゴリーを編集する

1 各項目を選び **決定** を押す

ジャンル： ジャンルを指定します。
人物・キーワード： 人物・キーワードを指定します。人物・キーワードは複数設定することも可能です。人物リストから追加する場合は、**◀▶** で「あ」行～「わ」行、および「数字・アルファベット」を選び、**▲▼** でページを切り換え、**▲▼▶◀** で好みの人物名を選び **決定** を押してください。

番組記号： 番組記号を指定します。

再生コース： 【通常再生】、【らく見】、【らく早見】、【飛ばし見】から再生コースを指定します。

2 【決定】を選び **決定** を押す

- 再生コースを変えた場合は、該当カテゴリー内の番組の再生コースがすべて変更となります。
- 再生コースはカテゴリー別に設定可能です。この設定が番組追加時の基本設定になります。
- さらにカテゴリーの編集をしたい場合は、この手順を繰り返します。

カテゴリーを新規追加する

1 各項目を選び **決定** を押す

- 各項目の設定方法は「カテゴリーを編集する」の手順①を参考に操作してください。

2 【決定】を選び **決定** を押す

- 再生コースはカテゴリー別に設定可能です。この設定が番組追加時の基本設定になります。
- さらにカテゴリーの編集や新規追加をしたい場合は、この手順を繰り返します。

5 【設定完了】を選び **決定** を押す

- おまかせ自動録画の設定をおこなうかどうかの確認画面が表示されます。【はい】を選んだ場合は、手順 6 へ進んでください。【いいえ】選ぶと、時短機能の設定が完了します。

6 おまかせ自動録画するカテゴリーを選び **決定** を押す



▲・▼で項目を選ぶ

- 選んだカテゴリーは **おまかせ** に変わります。
- 選んだカテゴリーの数により検索が終わるまで、数分かかります。

詳細設定をおこなう

1 カテゴリーを選んだ状態で **おまかせ** を押す

- 詳細設定画面が表示されます。

2 【自動録画】、【録画先】、【フォルダー設定】、【録画モード】、【持ち出し設定】、【番組の長さ】、【チャンネル】、【時間帯】を選び **決定** を押す

- くわしくは **72P** をご覧ください。

3 【設定完了】を選び **決定** を押す

- 他のカテゴリーについての詳細設定をおこなう場合は、この手順を繰り返します。

7 【設定完了】を選び **決定** を押す

- 時短機能の設定が完了します。
- おまかせ自動録画機能により、お好みのジャンルやカテゴリーの番組が自動的に録画されます。



- 人名が、音読みと訓読みの違いで、正しい並びで表示されないことがあります。

時短で見る

HDD

通常録画用
USB-HDD

時短機能を設定して録画した番組を効率よく再生することができます。

準備

- 時短機能を設定し、番組を自動録画しておく **44**

【時短で見る】画面について

【時短で見る】画面の見かた

1

時短 を押す

- 【時短で見る】画面が表示されます。



- ① 選択中のカテゴリー
- ② カテゴリータブ
- ③ サブメニューの「再生時間で絞り込み」で設定した時間（「すべて」を設定している場合は、表示されません。）
- ④ 今週の節約時間
- ⑤ 再生コース
- ⑥ 録画種別アイコン
- ⑦ 番組リスト
- ⑧ 操作ガイド
- ⑨ 容量不足時に自動削除される番組

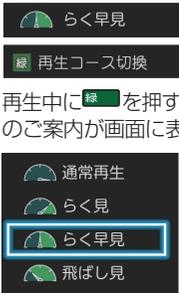
- 最初から再生するには、**サブメニュー** を押してから、▲・▼で【最初から再生】を選び **決定** を押してください。
- ◀・▶ を押すと、番組リストのページが切り換わります。**1** ~ **10** を押すとページ番号指定画面が表示されます。ページ番号を入力して、**決定** を押すと、ページが切り換わります。
- 番組リストを選択中に、◀・▶ を押すと、再生コースが切り換わります。
- 番組リストを選択中に、◀・▶ を押すと、カテゴリータブが切り換わります。
- 番組リストの一番上の番組を選択中に、▲ を押すと、カテゴリータブが選択されます。◀・▶ または ◀・▶ でカテゴリータブが切り換わります。このとき、▼ または **決定** を押すと、選択中のカテゴリーの一番上の番組が選択されます。
- 再生コースでは各コースの再生時間が表示されます。再生できない場合は[×]、再生時間が取得できない場合は[-分]が表示されます。

お知らせ

- 「今週の節約時間」とは通常再生の時間から再生したコースでかかる時間を引いた時間です。
- 「今週の節約時間」や「各コースの再生時間」はおよその時間です。目安としてお考えください。
- 「今週の節約時間」には、その週(月曜日の午前0時から日曜日の24時まで)に節約した合計時間を表示します。合計時間は毎週月曜日の午前0時にリセットします。
- 録画中の番組は番組リストに表示されません。
- 録画種別アイコンには以下の種類があります。
おまかせ : おまかせ自動録画
- 【らく見】時の番組の長さが10分未満となる番組は、【飛ばし見】再生はできません。

【時短で見る】画面から再生する

- 1 **時短** を押す
 - 【時短で見る】画面が表示されます。
- 2 **◀・▶** を押して、お好みのカテゴリーを選ぶ
- 3 **▲・▼** で再生したい番組を選ぶ
- 4 **◀▶** でお好みの再生コースを選ぶ

通常再生：録画したそのままの時間で番組を再生します。
らく見：通常再生に比べて、再生時間が短くなります。
らく早見：早見／早聞(約1.3倍速)で【らく見】再生します。
飛ばし見：【らく見】再生をしながら1/20スキップを繰り返しおこないます。
- 5 **決定** を押す
 - 再生開始時に、左下に現在の再生コースが表示されます。
 - 再生中に **緑** を押すとすべての再生コース切替へのご案内が画面に表示されます。

お好みを追加・設定する (おまかせ自動録画設定)

お好きなカテゴリーを追加したり、カスタマイズしたりすることができます。ジャンルや人物、気になるワードなどを指定すると、新規カテゴリーを作成できます。

- 1 **時短** を押す
- 2 **◀・▶** で **⊕** を選ぶ
- 3 **【お好み設定へ】** を選び、**決定** を押す
- 4 「時短で見る」初回設定の手順 **4~7** をおこなう

詳細設定をおこなう
「自動で録画する(おまかせ自動録画)」 **72** をご覧ください。

お知らせ

- マジックチャプターでチャプター分割できなかった番組は、【らく見】再生できません。

ご注意

- 再生コースで【らく見】、【らく早見】、【飛ばし見】を選び再生中に、通常再生や特殊再生をおこなうと「今週の節約時間」が正しく計算されません。
- 通常再生以外の再生中に以下のボタンを押すと、再生コースが切り換わる場合があります。
 - 、、、、、、、

時短で見る・つづき

視聴制限を一時的に解除する

視聴制限のある番組の制限を一時的に解除し、再生できるようにします。

1 【時短で見る】画面を表示中に **サブメニュー** を押す

2 【視聴制限一時解除】を選び **決定** を押す

- パスワードを入力すると、視聴制限が解除されます。
- パスワードを忘れたときは、「視聴可能年齢を設定する」**35** をご覧ください。



- 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。

再生時間で絞り込む

1 【時短で見る】画面を表示中に **サブメニュー** を押す

2 【再生時間で絞り込み】を選び **決定** を押す

3 お好みの時間を選ぶ

- すべて： 再生時間で絞り込みをおこないません。
すべての番組を表示します。
- 60分以内： 60分以内の番組を表示します。
- 30分以内： 30分以内の番組を表示します。
- 15分以内： 15分以内の番組を表示します。



- 【60分以内】 / 【30分以内】 / 【15分以内】を選んでいる場合は・・・
 - すべての再生コースが選択できない番組は【時短で見る】画面には表示されません。
 - 【時短で見る】画面に再生時間絞り込みアイコンが表示されます。
 - 【飛ばし見】は選択できません。

並び順を変更する

1 【時短で見る】画面を表示中に **サブメニュー** を押す

2 【並び順】を選び **決定** を押す

- 並び順の種類が表示されるので、お好みの並び順を選び **決定** を押してください。
- 「あなたに」「いつもの」の 카테고리 を選択中の場合のみ「おすすめ順」が表示されます。
- 現在録画中の番組は、並び順の最後に表示されます。

おすすめ順：本機がおすすめする順に表示されます。

新しい順：日付の新しい順に表示されます。

古い順：日付の古い順に表示されます。

- 並び順は、選択カテゴリーごとに設定できます。

時短の条件を変更する

1 【時短で見る】画面を表示中に **サブメニュー** を押す

2 【お好み追加・変更】を選び **決定** を押す

- 【お好み設定】画面が表示されます。くわしくは「時短で録る」**44**の手順4以降をご覧ください。
- 「あなたに」「いつもの」「視聴途中」の 카테고리 を選択中の場合は、**サブメニュー** を押しても、【お好み追加・変更】は表示されません。

再生コースを一括で変更する

1 【時短で見る】画面を表示中に **サブメニュー** を押す

2 【再生コース一括切替】を選び **決定** を押す

- 再生コースが一括で切り換えできます。お好みの再生コースを ◀▶ で選び **決定** を押すと、確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押してください。



- 選んだ再生コースに切り換えられない番組は【通常再生】になります。
- 【再生コース一括切替】でコースを切り換えると各番組に設定していた再生コースは無効となります。

時短で残す

HDD

通常録画用
USB-HDD

【時短で見る】画面から、かんたんに番組をダビングすることができます。ダビングしてできた番組は、番組によってはより短い再生時間で再生できます。

準備

- 時短機能を設定し、番組を自動録画しておく [44](#)

1 【時短で見る】画面を表示中にダビングしたい番組を選び **サブメニュー** を押したあと、**【ダビング】** を選び **決定** を押す

2 【おまかせダビング】を選び **決定** を押す
【かんたんダビング】を選んだときは

1つの番組だけをダビングします。くわしくは [120](#) をご覧ください。

【詳細ダビング】を選んだときは

2つ以上の番組をダビングしたり、ネットワークを使ってダビングしたりすることができます。くわしくは [121](#)、[126](#) をご覧ください。

3 ダビング先を選び **決定** を押す

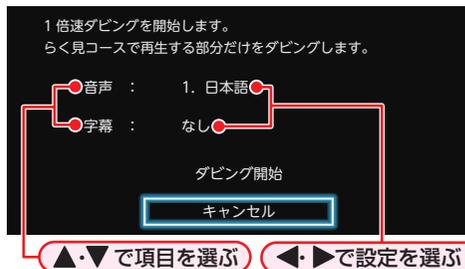
- ダビング先によっては、高速ダビングする場合と等速ダビング場合があります。くわしくは [131](#) をご覧ください。
- 高速ダビングの場合は、確認画面が表示されるので【はい】を選び **決定** を押してください。
- 等速ダビングの場合は、【ダビング開始】を選び **決定** を押してください。
- おまかせダビングが開始されます。
- 「時短で見る」の再生コース【らく見】で再生される部分がダビングされます。 [47](#)
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

マルチ番組の音声・字幕をダビングするときは

ダビング先メディアなどによっては、ダビングできる音声・字幕が1つになります。 [193](#)

その場合は、手順 **3** のあとにダビングする音声・字幕を選んでください。

1 変更する項目とお好みの設定を選ぶ



▲・▼で項目を選ぶ ◀▶で設定を選ぶ

2 設定し終わったら、【ダビング開始】を選び **決定** を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

実行中のダビングを中止するときは

停止 を押すと確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押す

- くわしくは「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」 [136](#) をご覧ください。

DVD-RW(Video)/DVD-R(Video)へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

注意

- 【おまかせダビング】では、一度に1つの番組しかダビングできません。
- 以下の場合、おまかせダビングができません。
 - 本編区間がない番組
 - ダビング先メディアがない
 - 現在のカテゴリーに番組が存在しない

視聴する

本章ではテレビ放送を視聴するための方法などを説明しています。

視聴の前に.....	52
番組を見る.....	53

チャンネルを選ぶ

1

2

くわしくは..... 53

視聴中の番組の音声を切り換える

1

2

3

くわしくは..... 54

視聴中の番組の字幕を切り換える

1

2

3

くわしくは..... 54

視聴の前に

本機で受信できる放送の種類

各テレビ放送の主な特徴とサービスについて

放送の種類	特徴	本機で利用できる主なサービス
地上デジタル放送	<ul style="list-style-type: none"> ● 地上波のUHF放送の周波数帯域を使っておこなうデジタル放送です。また、本機はCATV(ケーブルテレビ)パススルー方式に対応しています。CATV局が再送信する地上デジタル放送も受信できます。 ● 最新のデジタル技術を活用することで、高画質(ハイビジョン放送)5.1chサラウンド・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。 ● 本機ではワンセグは受信できません。 	番組表 データ放送 字幕放送
BSデジタル放送	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。放送衛星(Broadcasting Satellite)を使っておこなわれる放送のため、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。 	番組表 データ放送 字幕放送 ラジオ放送
110度CSデジタル放送	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信衛星(Communications Satellite)を使っておこなう放送です。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどの番組は有料です。「スカパー！」を視聴するには、加入申し込みと契約が必要です。 	番組表 データ放送 字幕放送 ラジオ放送

デジタル放送の「データ放送」「ラジオ放送」「双方向サービス」について



小画面ではほとんどの場合は、放送中の番組が表示されます。

- データ放送(地域設定：**35**)

データ放送には「番組連動データ放送」「独立データ放送」などがあり、番組連動データ放送は、例えば野球放送中の他球場の速報や、歌番組などでの勝敗投票といった、番組に関連したデータ放送です。(番組連動データ放送には、「双方向通信」機能を使う番組があります。接続や設定が必要です。)独立データ放送は、天気予報、ショッピング情報(オンライン通販)などの、番組とは無関係の内容です。



静止画などが表示されます。

- ラジオ放送

ラジオ放送は、BSデジタルおよび110度CSデジタル放送でおこなわれています。放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によって音楽用CD並みの高音質を楽しむことができます。



(例)青、赤、緑、黄ボタンを使って、投票などができます。

- 双方向通信(接続と設定：**138**、**142**)

デジタル放送では、「双方向通信」機能を使って、クイズ番組に参加したり、買い物をしたりできます。双方向通信をするには、ブロードバンド常時接続環境が必要です。

※ 本機はインターネットを経由して利用する双方向通信サービスに対応していますが、電話回線を使用する双方向通信サービスには対応していません。



- 双方向サービスをご利用になるには、インターネット環境が必要になります。



- 「WOWOW」や「スカパー！」などは加入申し込みと契約が必要です。受信契約については、各放送事業者にお問い合わせください。

番組を見る

放送中の番組を見る

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【放送中の番組へ】** を選び **決定** を押す
- 3 放送の種類を選び **決定** を押す
チャンネルを選ぶときは
下記「チャンネルを選ぶ」の手順 2 をご覧ください。

チャンネルを選ぶ

- 1 **地デジ** または **BS/CS** を押して、見たい放送の種類を選ぶ
- 2 チャンネルを選ぶ
順送り / 逆送りで選ぶときは
チャンネル
↑ ↓ を使います。
リモコンの1~12ボタンに設定されているチャンネルを選ぶときは
1 ~ 12 を使います。
 - 102チャンネルのようにデジタル放送の3桁のチャンネルを選ぶときは、以下のように押してください。
0番組切 → 1 → 10.0 → 2

選局ガイドからチャンネルを選ぶ

- 1 **地デジ** または **BS/CS** を押して、お好みの放送の種類を選ぶ
- 2 **サブメニュー** を押して、**【選局ガイド】** を選び **決定** を押す
- 3 1 ~ 12 または ▲・▼・◀・▶ でお好みのチャンネルを選び **決定** を押す
 - ▲・▼ で「ページ1」「ページ2」「ページ3」を切り換えることができます。ページへのチャンネル割り当ては、**【チャンネルの割り当て設定】** で設定できます。 **33**

- 注意**
- 以下の場合、視聴中の番組は録画中の番組に切り換わります。
 - 番組視聴中に異なるチャンネルの録画が始まり、2番組が同時録画中になった場合

番組表からチャンネルを選ぶ

- 1 **番組表** を押す
 - 番組表の見かたは、**60** をご覧ください。
- 2 **地デジ** または **BS/CS** を押して、お好みの放送の種類を選ぶ
- 3 ▲・▼・◀・▶ で現在放送中の視聴したい番組を選び **決定** を押す
- 4 **【見る】** を選び **決定** を押す
番組の詳細内容を確認するには
以下の方法で確認できます。
 - 番組表で確認したい番組を選んだ状態で、**番組説明** または **決定** を押す。
 - 番組視聴中に **番組説明** を押す。
 - 表示を消すには、**【閉じる】** が選ばれているので **決定** を押してください。

- 注意**
- 以下の場合には録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることができません。
 - 2番組を同時録画中
 - 録画と変換配信の同時動作中は、チャンネルの切替ができないことがあります。
 - 再生中は放送やチャンネルの切替はできません。

- お知らせ**
- 枝番号があるチャンネルを選局した場合
 - 枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に追加される番号のことです。
(例)入力した3桁のチャンネルに枝番号がある場合は、**【チャンネルの枝番号の選局】** 画面が表示されるので、▲・▼ でお好みのチャンネルを選んでください。



番組を見る・つづき

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っていろいろな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。録画が始まると、データ放送の画面が消えます。

1 データ放送のある番組を視聴中、**dデータ**を押す

- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。

2 ▲・▼・◀・▶や **青**・**赤**・**緑**・**黄**、または **1** ~ **10.0** などを使って、画面の案内に従って操作する

データ放送での文字入力について

- **戻る**を押すと、入力した文字を消去できます。
- 漢字や半角カナは入力できません。

3 データ放送を見終わったら、**dデータ**を押してテレビ放送に戻す

録画した番組を最初から再生する

番組の視聴中に、最後に再生していた番組を最初から再生することができます。

1 番組を視聴中に **サブメニュー**を押して、**【最初から再生する】**を選び **決定**を押す

視聴中の番組の音声を切り換える

複数の音声がある番組は、視聴中に音声の切り換えができます。

1 番組を視聴中に **サブメニュー**を押して、**【音声】**を選び **決定**を押す

2 お好みの設定を選び **決定**を押す



- 複数の音声が用意されていない番組もあります。

視聴中の番組の字幕を切り換える

字幕がある番組は、視聴中に字幕の表示／非表示、言語の切り換えができます。

1 番組を視聴中に **サブメニュー**を押して、**【字幕】**を選び **決定**を押す

2 お好みの設定を選び **決定**を押す

- 字幕言語は、**【日本語】**または**【英語】**を選んでください。



- 字幕が用意されていない番組もあります。

視聴中の番組のアングルを切り換える

アングルが複数ある番組は、視聴中にアングルの切り換えができます。

- 1 番組を視聴中に **サブメニュー** を押して、**【映像】** を選び **決定** を押す
 - アングル情報が表示されます。

- 2 お好みの設定を選び **決定** を押す



- 複数のアングルが用意されていない番組もあります。

マルチ番組の映像、音声などを切り換える

視聴中の番組が、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある【マルチビュー】のときは、この項目を切り換えることで、それぞれの項目が一度に切り換わります。

- 1 番組を視聴中に **サブメニュー** を押して、**【マルチビュー】** を選び **決定** を押す
 - 設定情報が表示されます。

- 2 お好みの設定を選び **決定** を押す



- 【マルチビュー】に対応していない番組もあります。

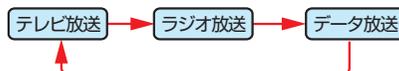
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶことができます。

- 1 **地デジ** または **BS/CS** を押して、**見たい放送の種類** を選ぶ
 - BSデジタルの独立データ放送を見たい場合は、**BS/CS** を押してBSデジタル放送を選んでください。

- 2 番組を視聴中に、**サブメニュー** を押す

- 3 **【サービス切換】** を選び **決定** を押す
 - この操作を繰り返すたびに下記の順でサービスが切り換わります。(存在していないサービスはスキップされます。)



チャンネルを切り換えるときは

チャンネル **↑**・**↓** を使います。

- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記手順を繰り返して、テレビ放送に切り換えてください。



- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
 - ネットワークの接続と設定
 - miniB-CASカードの登録
 - 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴できません。
- デジタル放送録画中は、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴できません。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向サービスもあります。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。

番組を見る・つづき

XDE

視聴中の番組の画質を切り換える

映像をアップコンバートする際に、精細感の高い画質に補正します。

- 1 番組を視聴中に **サブメニュー** を押して、**【XDE】** を選び **決定** を押す
 - 設定情報が表示されます。
- 2 **【オン】** または **【オフ】** を選び **決定** を押す

視聴中の放送のアンテナレベルを確認する

視聴中の放送のアンテナレベルを確認できます。

- 1 番組を視聴中に **サブメニュー** を押して、**【アンテナレベル表示】** を選び **決定** を押す
 - アンテナレベルが表示されます。
 - 確認が終わったら、**終了** を押してください。

録画モードを変更する

番組の視聴中に録画モードを変更できます。

- 1 番組を視聴中に **サブメニュー** を押して、**【録画モード】** を選び **決定** を押す
- 2 お好みの設定を選び **決定** を押す
 - 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。

デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する

番組の視聴中にパスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力すると、その番組を視聴できるようになります。

- 1 **1** ~ **10.0** で、**35** で設定したパスワードを入力する
 - 制限を解除するには、**サブメニュー** → **【設定】** → **【放送受信設定】** → **【一般設定】** → **【視聴年齢制限】** を **【無制限】** に設定してください。 **35**

ご注意

- パスワードは忘れないようにご注意ください。

録画する

本章では、番組表の機能や使い方、便利な録画予約や録画のしかたなどを説明しています。

録画の前に..... 58

放送中の番組を録画する



くわしくは..... 59

番組表について..... 60

番組表からワンタッチで録画予約する(一発予約)



くわしくは..... 63

番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)..... 64

番組を検索して予約する..... 66

手動で入力して予約する(日時指定予約)..... 68

予約を確認・変更・削除する..... 69

自動で録画する(おまかせ自動録画)..... 72

ネットdeレック機能で録画する..... 74

録画を一時停止・停止する



くわしくは..... 76

録画についての補足説明..... 77

録画の前に

本機では、デジタル放送をハイビジョン画質で2番組まで同時に録画でき、ネットdeレック機能を含めると最大3番組まで同時に録画できます。

録画するメディアについて

下記の表を参照のうえ、目的に合ったメディアを選んでください。番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限	HDD	BD
	通常録画用 USB-HDD	SeeQVault対応 USB-HDD
制限なしに録画可能	○	○
1回だけ録画可能	○	○
ダビング10	○	○*
録画禁止	×	×

○：できる ×：できない

* ダビング10番組をブルーレイディスクまたはSeeQVault対応USB-HDDに直接録画すると、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります(移動はできます)ので、ブルーレイディスクまたはSeeQVault対応USB-HDDに録画するときは、HDDに録画してから、ダビングすることをおすすめします。

録画モードについて

録画モードとは番組の画質のことです。録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けことができます。

● 一度録画した番組の録画モードを、変換することもできます。**116**

DR	DR	放送そのままの画質になります。 ● デジタル放送を、そのままの画質で録画したいときにおすすめです。
AVC (HD画質)	AF 高画質	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質になります。 ● デジタル放送をきれいなまま、容量を節約して録画したいときにおすすめです。 ● 画質レートを選ぶことができます。
	AN	
	AS	
	AL	
	AE 長時間	
標準 (標準画質)	XP 高画質	標準画質になります。 ● 容量を節約して録画したいときにおすすめです。 ● 画質レートを選ぶことができます。
	SP	
	LP	
	EP	
	EP 長時間	

録画モード【AF】～【AE】で録画すると・・・

- 録画モード【DR】よりも電波の影響を受けやすく、録画できないことや失敗することがあります。
- 録画時の画質レートが低い場合は、映像によってはブロック状のノイズが目立ったり、色が変わるなど映像が乱れたりすることがあります。そのようなときは、画質レートを上げて録画することをおすすめします。
- ディスクにダビングするときは、録画モード【DR】で録画することをおすすめします。

録画モード【SKP】や【AVC】とは

スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組をネットdeレック機能で録画すると、番組に応じて録画モードが【SKP】または【AVC】になります。



【SKP】 または 【AVC】



- 同時録画時の録画モードの組み合わせによっては、選択した録画モードで録画できないことがあります。くわしくは**190**をご覧ください。
- 録画モード別の記録時間については、**198**をご覧ください。
- 他社機でBDやSeeQVault対応USB-HDDに録画した番組において、録画圧縮方式がMPEG-2で、録音圧縮方式がMPEG-2 AAC以外の番組は、録画モード表記が【MPEG2】となる場合があります。その番組を本機で動作させたりすることは保証しておりません。

放送中の番組を録画する

HDD USB-HDD BD

1 HDD、DISCまたはUSBを押して、録画したいメディアを選ぶ

- USB-HDDを複数接続している場合は、**USB**を押すと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選び **決定** を押してください。

2 地デジまたはBS/CSを押して、録画したい放送を選ぶ

3 チャンネルまたは 1 ~ 12 で録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画 を押す

- 【番組終了時の録画自動停止】を【する】に設定しているときは、番組が終了すると自動的に録画を停止します。

録画モードを変更するときは

録画を始める前に、あらかじめ録画モード(画質)を設定してください。変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。録画中は、録画している番組の録画モードは変更できません。

- 1 番組を視聴中に **サブメニュー** を押して、【録画モード】を選び **決定** を押す
- 2 お好みの設定を選び **決定** を押す

録画を一時停止するには(HDD/USB-HDDのみ)

録画中のメディアとチャンネルに切り換えてから、**II** を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。

録画を停止するときは

II を押す

- 停止した位置までが、1つの番組となります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押してください。



- ダビング中は、**録画** を押しても録画できない場合があります。



- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、放送視聴中に **画面表示** を2回押して画面表示を表示すると確認できます。

指定した時間で録画を終了するには (ワンタッチタイマー録画)

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。

- ワンタッチタイマー録画を利用するときは、【番組終了時の録画自動停止】を【しない】に設定してください。 **173** 「放送中の番組を録画する」の手順4で、**録画** を2回以上押すと、15分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。(2回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します。)
- 最大4時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻りたいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か **録画** を押してください。
- HDDとUSB-HDDへの録画の場合は、録画時間を設定しないときは、15時間で録画が自動的に停止します。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。
- ワンタッチタイマー録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、放送視聴中に **画面表示** を2回押してください。

ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは

- 1番組だけ録画中の場合は、**II** を押してください。
- 同時録画中/追っかけ再生中の場合は、**76** をご覧ください。
- ワンタッチタイマー録画中の一時停止はできません。

番組表について

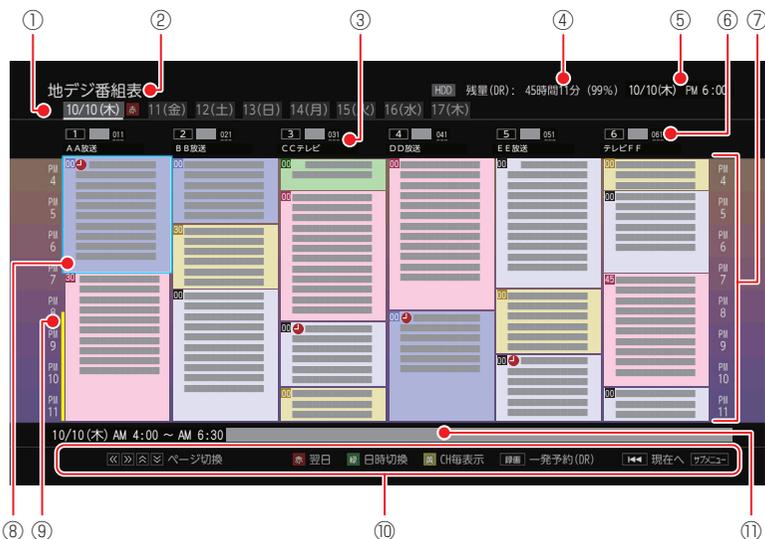
番組表を表示する

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表を表示することができます。

1 **番組表** を押す

2 **地デジ** または **BS/CS** で好みの放送の種類を選ぶ

番組表の見かた



- ① 現在の日付から8日分の日付表示
- ② 放送の種類
- ③ 折たたみ表示
- ④ HDD残量表示
- ⑤ 現在の日時
- ⑥ 放送局のロゴ/放送局の3桁のチャンネル番号/放送局名
- ⑦ 時間
- ⑧ 選択中の番組
- ⑨ 録画予約の重複がある時間帯
録画番組の重複により、これ以上録画予約できない時間帯を赤ラインで表示し、重複のためすでに録画できない番組が存在する時間帯を濃い赤ラインで表示します。
- ⑩ 操作ガイド
- ⑪ 選択中の番組の放送日時、かんたんな情報

- 色分け設定したジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色に変わります。

注意

- 次の場合は、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
 - ・ チャンネル設定をやりなおしたとき
 - ・ 約1週間以上、本機の電源プラグを抜いて使用していなかったとき
- 地上デジタル放送で番組情報が表示されない放送局がある場合は、そのチャンネルを選局して数分間視聴したあと、再度番組表を開いてください。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。この場合は、実際の放送と番組表の内容が異なることがあります。
- 【表示チャンネル数切り換え】を【9チャンネル】以上にしたときは、高精細テレビでご覧ください。

お知らせ

- 番組表は、最大8日分まで表示できます。
- 地上デジタル放送/BSデジタル放送/CSデジタル放送の番組表を表示できます。
- 番組表の表示対象は【テレビ】/【ラジオ】/【データ】から選択できます。ただし、存在していないサービスは選択できません。なお、視聴中のサービスの切り換えについて、くわしくは「独立データ放送やラジオ放送を楽しむ」**55**をご覧ください。

番組表の表示を切り換える

サブメニューを使うと、以下の表示を切り換えることができます。

- 表示する日付(日付切り換え)
- 表示するチャンネルの数(表示チャンネル数切り換え)
- 表示する時間数(表示時間数切り換え)
- 番組名などの文字の大きさ(文字サイズ切り換え)
- 表示するチャンネルの並び順(チャンネル並び順)
- 番組の概要表示(番組概要表示設定)
- テレビ放送のサービス(表示対象切り換え)

- 1 サブメニューを押す
- 2 切り換えたい項目を選び(決定)を押す
- 3 お好みの表示を選び(決定)を押す

日付を切り換える

- 青を押すと、前日の番組表に切り換えます。
- 赤を押すと、翌日の番組表に切り換えます。

日付を指定して切り換える

- 1 サブメニューを押して、【日付切り換え】を選び(決定)を押す
- 2 お好みの日付を選び(決定)を押す

現在の番組を表示する

番組表を再度表示すると、現在視聴中の放送波の番組表が表示されます。

- 左向き矢印を押すと、現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。

マルチチャンネルを表示する

デジタル放送の中には、1つの放送局で複数の番組を放送できる、マルチチャンネル放送があります。

- 1 マルチチャンネルを表示したい番組を選び(サブメニュー)を押す
- 2 【マルチ表示】を選び(決定)を押す
 - 同様に1チャンネル表示にしたい場合は、手順②で【1チャンネル表示】を選び(決定)を押します。
 - マルチチャンネル放送をおこなっていない放送局や【チャンネルスキップ設定】で【スキップ】に設定されている放送局は、【1チャンネル表示/マルチ表示】で切り換えることはできません。

CH毎表示に切り換える

選んだチャンネルの8日分の番組表を表示させることができます。

- 1 チャンネルを選び(決定)を押す
 - 【CH毎表示】では、曜日表記の【土】と【日】の背景色が、他の曜日表記と異なる色で表示されます。
 - 【全CH表示】に戻すには、もう一度(決定)を押します。

ページを切り換える

- 上・下向き矢印を押すと、【表示時間数切り換え】で設定された時間に応じて、上下にページが切り換わります。
- 左・右向き矢印を押すと、【表示チャンネル数切り換え】で設定されたチャンネル数に応じて、左右にページが切り換わります。
 - 【スキップ】したチャンネル数やお住まいの地域で受信できるチャンネル数によっては、前後のページが表示されない場合があります。

表示するチャンネルの並び順を切り換える

チャンネルの並び順を【チャンネルの割り当て設定】での設定に合わせて表示するかしないかを切り換えることができます。

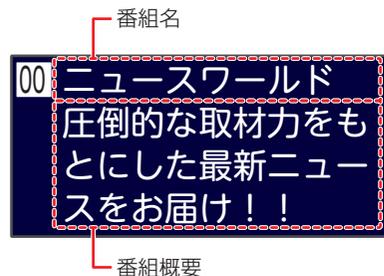
- 1 サブメニューを押して、【チャンネル並び順】を選び(決定)を押す
 - 2 お好みの設定を選び(決定)を押す
- 【通常】：本機標準の並び順で表示する
【チャンネルボタン優先】：

【チャンネルの割り当て設定】での設定に合わせて表示する

番組概要の表示を切り換える

番組表で番組概要を表示するかしないかを切り換えることができます。

- 1 サブメニューを押して、【番組概要表示設定】を選び(決定)を押す
 - 2 【表示する】または【表示しない】を選び(決定)を押す
- 【表示する】：番組名と番組概要を表示する
【表示しない】：番組名のみを表示する



番組表について・つづき

番組のジャンルを色分けして表示する

- 番組をジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すときに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更できます。

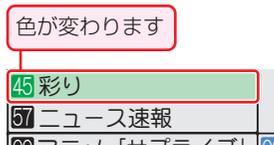
① **サブメニュー** を押して、**【ジャンル色分け】** を選び **決定** を押す

- 色分け設定一覧が表示されます。

② 表示する色を選び **決定** を押す

③ **【ジャンル項目】** と **【詳細ジャンル項目】** を選び **決定** を押す

- 番組表に戻るには **戻る** を2回押してください。番組表に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。



他の色を続けて設定するときは

手順②～③を繰り返す

色分けを解除したいときは

手順③で**【指定しない】**を選ぶ



- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合は、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。

予約一覧を確認する

予約一覧の確認ができます。

① **サブメニュー** を押して、**【録画予約一覧】** を選び **決定** を押す

69 字

番組の詳細内容を確認する

① 確認したい番組を選び **決定** を押す

- 表示を消すには、**戻る** を押してください。

番組についてのアイコン一覧

1080i 16:9	:	番組の映像信号情報 (上: 信号方式 / 下: 画面の縦横比)
有料	済	: 有料放送未契約 / 有料放送契約済み
D コピ	D 出力	: デジタルコピー禁止 / デジタル出力禁止
コピー 制限	:	ダビング10または コピーワンス(1回だけ録画可能)番組
A コピ	A 出力	: アナログコピー禁止 / アナログ出力禁止
4才~	20才~	: 4歳から視聴可能 ~ 20歳から視聴可能
●●● 信号	:	マルチ番組(映像や音声などが複数ある番組)
モノラル 音声	ステレオ 音声	: モノラル音声 / ステレオ音声
主+副 音声	マルチ チャンネル 音声	: 主+副 音声 / マルチチャンネル音声
字幕 有り	:	字幕有り



- 番組を視聴しているときに **番組説明** を押すと、視聴している番組の詳細内容を確認できます。

指定した日時の番組表を表示させる

日付と時間帯を選び番組表を表示させることができます。

① **緑** を押す

② 日時を選び **決定** を押す



- 選択した時間帯の番組表が表示されます。
- ↑**・**↓** を押すと、選択した時間帯が時間枠分移動します。
- 選択した時間帯の大きさは、**【表示時間数切り換え】**の時間数設定と連動しています。

番組表からワンタッチで録画予約する(一発予約)

HDD

- 1 番組表 を押す
- 2 地デジ または BS/CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ
- 3 予約したい番組を選び、録画 を押す
 - HDDへの録画予約が確定し、選んだ番組に【録画】が表示されます。
 - 番組表に【録画】を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線(|)が表示されます。
 - 予約録画が始まると、【録画】が【録画済】に変わります。

●に変わります



- 録画 を使った一発予約では、録画先はHDDになります。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり、予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、終了 を押してください。

予約の内容を変更したいときは

- 1 一発予約した番組を選び、録画 を押す
- 2 【予約修正】を選び、録画 を押す
- 3 予約の内容を変更する
 - かわしくは「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」64の手順5以降をご覧ください。

予約の確認・削除や録画停止をするときは

予約の確認 69、予約の削除 71、録画の停止 76 をご覧ください。

番組表から録画モードを変更する

番組表を表示中に録画モードを変更できます。

- 1 番組表を表示中にサブメニュー を押して、【録画モード設定】を選び、録画 を押す
- 2 お好みの設定を選び、録画 を押す
 - 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。



▲・▼で選ぶ

ご注意

- 録画中の予約の内容は変更できません。

お知らせ

- 予約が重なったときは、78 をご覧ください。

番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)

HDD USB-HDD BD

番組表から録画予約したい番組を選び、お好みの設定で録画予約できます。

- 1 **番組表** を押す
- 2 **地デジ** または **BS/CS** を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ
- 3 録画予約したい番組を選び **決定** を押す

- 4 **【録画予約】** を選び **決定** を押す
 - 放送が確定していない番組の場合は、確認画面が表示されるので、**▲・▼** で **【はい】** を選び **決定** を押してください。
 - 毎週／毎日録画をする場合は、**【毎回予約】** を選び **決定** を押してください。**【録画日時】** が自動で設定されます。もし、ご希望の内容と異なった設定になった場合は **【変更する】** を選び、**【録画日時】** を変更してください。
 - このまま設定を変更せず予約する場合は **【予約する】** を選び **決定** を押してください。設定を変更したい場合は、**【変更する】** を選び手順5に進んでください。

- 5 設定内容を変更したい項目を選び **決定** を押す
 - お好みに合わせて項目を変更してください。

番組表予約で設定できる項目一覧

録画日時	当日の日付(3月16日など)
	毎週○(○は曜日を表示)
	月～金
	月～土
	火～土
	毎日
日時指定予約	

毎週／毎日録画をするときは

【毎週○】(○は曜日を表示) や **【月～金】**、**【月～土】**、**【火～土】**、**【毎日】** を選ぶ

- フォルダ作成確認画面が表示されます。録画予約したい番組の名前を使ってフォルダを作成したい場合は **【はい】** を、既存のフォルダ名を使用したい場合は **【いいえ】** を選んでください。**【はい】** を選んだ場合は、**【フォルダ設定】** の **【新規フォルダ(番組名)】** を選ぶとをご覧ください。
- 日曜日以外に放送される番組を毎日録画する場合は **【月～土】** を、月曜から金曜の深夜番組(日付が変更してから放送される番組)を毎日録画する場合は **【火～土】** をおすすめします。

日時指定予約をするときは

- 1 **【日時指定予約】** に設定したあと、確認画面が表示されるので **【はい】** を選び **決定** を押す
- 2 **◀▶** で変更したい項目を選び、**▲・▼** で値を変更する
 - 手順3で選んだ番組の **【録画日】**、**【開始時刻】**、**【終了時刻】**、**【チャンネル】** が設定されています。
- 3 **【決定】** を選び **決定** を押す
 - 予約が確定し、**【録画予約一覧】** 画面が表示されます。

録画先	HDD
	BD
	USB○ : XXX※
	SeeQVault○ : XXX※

※ **【USB】**、**【SeeQVault】** の「○」は番号、「X」はHDD名を表示します。

フォルダ設定	設定しない
	新規フォルダ
	新規フォルダ(番組名)
	作成したフォルダ

- 録画先を **【BD】** に設定したときは選べません。

【設定しない】を選ぶと

- **【すべて】**、**【未分類】** および **【ジャンル】** に保存されます。

【新規フォルダ】を選ぶと

- お好みの名前のフォルダを作成できます。



【新規フォルダ(番組名)】を選ぶと

- 録画予約する番組と同じ名前でフォルダを作成して、録画できます。(フォルダ名はお好み名前にも変更できます。)

録画モード	自動
	放送画質(【DR】)
	HD画質(【AF】～【AE】)
	標準画質(【XP】～【EP】)

- 変更した録画モードは、通常録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先が通常録画用USB-HDDの場合は、録画モードを **【自動】**、**【XP】**～**【EP】** に設定できません。
- 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、録画モードを **【DR】** 以外に設定できません。
- 録画モードを **【自動】** に設定するときは、「ディスクの容量に合わせて録画する」 **65** をご覧ください。
- 録画モードを **【DR】** 以外に設定したときは、次の手順で、記録する音声・字幕・映像を設定してください。

録画モードを【DR】以外に設定したときは

- 1 録画モードを【DR】以外に設定したあと、【詳細設定】を選び \odot を押す
- 2 変更する項目を選び \odot を押す
- 3 お好みの設定を選び \odot を押す
- 4 【確定して前の画面へ】を選び \odot を押す
 - 設定できる内容は、設定された録画モードによって異なります。 193

持ち出し設定	スマホ持ち出し
	DVD持ち出し(VR)
	しない

スマホ持ち出し： 151

予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成します。【スマホ優先モード】に設定時、【持ち出し設定】の初期値は本設定になります。

DVD持ち出し(VR)： 124

予約録画しながらVRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

しない：持ち出し設定をしません。

- 録画先は【HDD】または【USB】を選んでください。
- 録画モードは【DR】～【AE】を選んでください。
- 持ち出し設定についてくわしくは「持ち出し設定とバックアップ設定について」 80 をご覧ください。

バックアップ設定	する
	しない

する： 予約録画が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

しない： バックアップしません。

- 録画先は【HDD】を選んでください。
- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるのでお好みのバックアップ先を選び \odot を押してください。
- バックアップ設定についてくわしくは「持ち出し設定とバックアップ設定について」 80 をご覧ください。

6 すべて設定し終わったら、【設定完了】を選び \odot を押す

- 番組表に戻り、選んだ番組に 1 が表示されます。(番組表に 1 を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線(|)が表示されます。毎週/毎日録画をした場合は、該当する番組すべてに 1 が表示されます。)
- 設定が終わったら、 終了 を押してください。

予約が重なったときは

「予約が重なったときは」 78 をご覧ください。

他の番組を続けて予約するときは

このあと、 64 ～ 65 の手順 2～6 を繰り返します。

予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは

69 、 76 をご覧ください。

録画後にバックアップ設定を解除するときは

録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を【録画リスト】画面から解除する場合は、「バックアップ設定を解除する」 86 をご覧ください。

ぴったり録画

ディスクの容量に合わせて録画する

HDD BD

【録画モード】を【自動】に設定すると、本機で初期化直後のディスクの容量ぴったり収まるように、自動的に画質を調節して録画します。

録画先メディアがブルーレイディスクの場合

本機でディスクの容量を自動的に計算し、その容量に合わせて録画します。

録画先メディアがHDDの場合

録画したあとにダビングするときのブルーレイディスクやDVDの容量を選んで録画します。

- 1 「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」 64 の手順 5 で、【録画モード】を選ぶときに、【自動】を選び \blacktriangleright を押して、つづけて \odot を押す
 - 【録画モード自動設定】画面が表示されます。
- 2 ディスクの容量を選び \odot を押す
 - ディスク容量と対応しているディスクは以下になります。(BD-RE(3層)とBD-R(3層/4層)もダビングはできますが、ディスク容量に合わせることはできません。)

HD 画質	4.7GB(1層)	DVD-RW/DVD-R(AVCREC™)
	8.5GB(2層)	DVD-R(AVCREC™)
標準 画質	25GB(1層)	BD-RE/BD-R
	50GB(2層)	BD-RE/BD-R
標準 画質	4.7GB(1層)	DVD-RW/DVD-R(VR)

番組を検索して予約する

録画したい番組を検索して予約できます。

【人物・キーワード】や【ジャンル】などで検索、または【人物・キーワード】と【ジャンル】を組み合わせて検索することもできます。

- 1 **番組表** を押す
- 2 番組表を表示中に、**サブメニュー** を押す
- 3 **【番組検索】** を選び **決定** を押す

人物リストから追加する場合

- 1 **【人物・キーワード】** → **【+ 人物リストから追加】** を選び **決定** を押す
- 2 人物名を選び **決定** を押す
 - 手順 4 に進んでください。

新しいキーワードを登録する場合

- 1 **【人物・キーワード】** → **【+ 新規入力】** を選び **決定** を押す
- 2 キーワードを入力して、**緑** を押す



- 以下の手順でも、新しいキーワードを登録して検索できます。

- 1 **【人物・キーワード】** を選び **青** を押す
- 2 **【+ 新規登録】** を選び **決定** を押す
- 3 キーワードを入力して、**緑** を押し、さらに **決定** を押す

登録済みのキーワードで検索する場合

- 1 **【人物・キーワード】** を選び **決定** を押す
- 2 お好みのキーワードを選び **決定** を押す
 - 以下の手順でも、登録済みのキーワードで検索できます。
- 1 **【人物・キーワード】** を選び **青** を押す
- 2 お好みのキーワードを選び **決定** を押す
 - 手順 4 に進んでください。

キーワードでは検索しない場合

- 1 **【人物・キーワード】** を選び **決定** を押す
- 2 **【指定なし】** を選び **決定** を押す
 - **【キーワード】** を **【指定なし】** に設定すると、**【ジャンル】** だけで検索します。手順 4 に進んでください。

キーワードを編集したい場合

- 1 **【人物・キーワード】** を選び **青** を押す
- 2 編集したいキーワードを選び **青** を押す
- 3 キーワードを編集して、**緑** を押す



キーワードを削除したい場合

- 1 **【人物・キーワード】** を選び **青** を押す
- 2 削除したいキーワードを選び **赤** を押す
- 3 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び **決定** を押す
 - 登録済みのキーワードのうち **【新番組】** は削除できません。

4 **【ジャンル】** を選び **決定** を押す

5 **【ジャンル項目】** と **【詳細ジャンル項目】** を選び **決定** を押す

▲・▼で項目を選び **決定** を押してから



▲・▼で詳細を選ぶ

- **【ジャンル項目】** を **【すべて】** にすると、**【キーワード】** だけで検索します。



- 人物リスト画面において、人名が、音読みと訓読みの違いで、正しい並びで表示されないことがあります。
- 人物・キーワード画面に登録済みのキーワードが4つまで表示されますが、1つのキーワードあたり、最大で15文字（全角文字または半角カナの場合）／半角30文字までになります。

同じ番組名を検索して予約する

番組表の【番組説明】画面から、選んだ番組の名前をキーワードにした検索条件を設定できます。

- 1 を押す
- 2 検索したい番組を選び を押す
- 3 【同一番組名検索】を選び を押す
- 4 「番組を検索して予約する」の手順3～13をおこなう

6 【日付】を選び を押す

7 検索する日付を選び を押す

8 【放送種別】を選び を押す

9 検索する放送種別を選び を押す

10 【有料番組】を選び を押す

11 【含む】または【含まない】を選び を押す

含む： 検索対象番組に有料番組を含みます。
含まない： 検索対象番組に有料番組を含みません。

12 【検索開始】を選び を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

番組の詳細内容を確認するには

内容を確認したい番組を選び を押す **62**

今すぐ番組を見たいときは

現在放送中の番組を選び を押して【番組説明】画面を表示してから【見る】を選び を押す

13 ▲・▼で予約したい番組を選ぶ

「一発予約」をするには

- を押す
- 選んだ番組に が表示されます。
- 設定が終わったら、 を押してください。

お好みの設定で予約するには

を押して【番組説明】画面を表示してから【番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)】**64**の手順4以降をおこなう



- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、ジャンルが一致しても検索できない場合があります。
- 検索結果は最大300件まで表示できます。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。



- 【キーワード】／【ジャンル】／【放送種別】／【有料番組】の設定は、再度番組検索を表示しても記憶されていますが、【日付】の設定は【すべて】に戻ります。
- キーワード指定画面では、最大14個までキーワードを登録できます。

手動で入力して予約する(日時指定予約)

HDD USB-HDD BD

番組表が利用できない番組を録画予約したいときに、手動で番組を録画予約できます。

1 **スマボ**を押して、【予約】→【録画予約一覧】を選び **決定** を押す

- 【録画予約一覧】画面が表示されます。

2 **赤** を押す

- 【録画予約設定】画面が表示されます。

3 各項目を選び設定する



▲・▼ で時刻やチャンネルなどを設定します。

- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせてください。

毎週/毎日録画をするときは

【録画日】のところで▼を押していくと、【毎日】、【火～土】、【月～土】、【月～金】、【毎週○】(○は録画予約する番組の曜日が表示されます。)などを選べます。

4 設定内容を変更したい項目を選び **決定** を押す

- お好みに合わせて項目を変更してください。

録画予約設定で設定できる項目一覧

録画モード	自動
	放送画質([DR])
	HD画質([AF]～[AE])
	標準画質([XP]～[EP])

- 変更した録画モードは、通常録画や番組表からの録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画先が通常録画用USB-HDDの場合は、録画モードを【自動】、【XP】～【EP】に設定できません。
- 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、録画モードを【DR】以外に設定できません。

録画モードを【自動】にするときは

「ディスクの容量に合わせて録画する」 **65** をご覧ください。

フォルダー設定	設定しない
	新規フォルダー
	新規フォルダー(番組名)
	作成したフォルダー

- 録画先を【BD】に設定したときは選べません。
- 【新規フォルダー】を選ぶと、お好みの名前のフォルダーを作成できます。



持ち出し設定	スマホ持ち出し
	DVD持ち出し(VR)
	しない

スマホ持ち出し： **151**

予約録画しながらスマホ持ち出し番組を作成します。【スマホ優先モード】に設定時、【持ち出し設定】の初期値は本設定になります。

DVD持ち出し(VR)： **124**

予約録画しながらVRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組を作成します。

しない：

持ち出し設定をしません。

- 録画先は【HDD】または【USB○】を選んでください。
- 持ち出し設定についてくわしくは「持ち出し設定とバックアップ設定について」 **80** をご覧ください。

バックアップ設定	する
	しない

する： 予約録画が終わったあと、電源「切」時にバックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDにバックアップします。

しない： バックアップしません。

- 録画先は【HDD】を選んでください。
- バックアップ先が設定されていない場合は、確認画面が表示されるのでお好みのバックアップ先を選び **決定** を押してください。
- バックアップ設定についてくわしくは「持ち出し設定とバックアップ設定について」 **80** をご覧ください。

5 すべて設定し終わったら、【決定】を選び **決定** を押す

- 予約が確定し、【録画予約一覧】画面に戻ります。
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

予約が重なったときは

「予約が重なったときは」 **78** をご覧ください。

他の番組を続けて予約するときは

このあと、 **68** の手順 **2**～**5** を繰り返します。

録画後にバックアップ設定を解除するときは

録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を【録画リスト】画面から解除する場合は、「バックアップ設定を解除する」 **86** をご覧ください。

予約を確認・変更・削除する

設定済みの予約を確認する

録画予約一覧で予約を確認することができます。

1 **サブメニュー**を押して、【予約】⇒【録画予約一覧】を選び **決定** を押す

- ・【録画予約一覧】画面が表示されます。
- ・確認が終わったら、**終了**を押してください。

録画予約一覧の見かた



- 録画先メディア
- 予約のお知らせ
- 番組名
- 予約日時、放送局名
- 録画モード
- 現在の日時
- 持ち出し設定アイコン
■ スマホ持ち出しアイコン
■ DVD 持ち出し (VR) アイコン
- スキップ設定をしている予約
- 【終】最終回を検知した予約
- おまかせ自動録画
- 操作ガイド
- 自動バックアップ設定アイコン

- 録画中の予約には、**録画**が表示されます。
- 【▲】や【①】が表示されたときは、**78**、**80**をご覧ください。

- 【終】が表示されたときは、**77**をご覧ください。
- 【予約のお知らせ】フォルダについてくわしくは**80**をご覧ください。

設定済みの予約の内容を変更する

録画予約一覧または番組表から予約内容の変更をすることができます。

録画予約一覧から予約の内容を変更する

1 **サブメニュー**を押して、【予約】⇒【録画予約一覧】を選び **決定** を押す

- ・【録画予約一覧】画面が表示されます。

2 変更したい予約を選び **サブメニュー** を押す

3 【予約修正】を選び **決定** を押す

4 変更したい項目へ移動し、▲・▼で内容を変更する



- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

5 設定内容を変更したい項目を選び **決定** を押す

- お好みに合わせて項目を変更してください。
- 【録画モード】、【フォルダー設定】、【持ち出し設定】、【バックアップ設定】についてくわしくは「録画予約設定で設定できる項目一覧」**68**をご覧ください。

予約を確認・変更・削除する・つづき

6 すべて設定し終わったら、【決定】へ移動し、を押す

- 予約が確定し、【録画予約一覧】画面に戻ります。
- 設定が終わったら、を押してください。

予約が重なったときは

「予約が重なったときは」[78](#)をご覧ください。

番組表から予約の内容を変更する

1 を押す

2 変更したい予約を選び を押す

3 【予約修正】を選び を押す

4 予約の内容を変更する

- 「番組表からお好みの設定で予約する(番組表予約)」[64](#)の手順5～6をご覧ください。
- 設定が終わったら、を押してください。



- 毎日／毎週予約の内容は【持ち出し設定】と【バックアップ設定】のみ変更できます。【持ち出し設定】と【バックアップ設定】以外の設定を変更したいときは、一度予約を削除してから、毎日／毎週予約をしなおしてください。ただし、【録画先】を【BD】または【SeeQVault○】に設定しているときは【持ち出し設定】と【バックアップ設定】も、【録画先】を【USB○】に設定しているときは【バックアップ設定】も変更できません。
- 番組表から録画予約した番組の場合は、【開始時刻】または【終了時刻】を変更すると、番組の自動延長や自動追跡ができなくなります。番組表から予約した録画予約の特徴は、[80](#)をご覧ください。
- 【持ち出し設定】を【しない】以外に設定して番組表から予約した録画予約は、【録画先】と【録画モード】を変更できません。
- 日時指定予約の場合は、予約録画が実行中でも終了時刻のみ変更できます。

予約スキップ

一時的に毎週／毎日録画をやめる

祝日などでその週／日の番組の放送がない場合は、予約をそのまま残して次回の録画だけ実行されないように設定できます。

1 **メニュー**を押して、【予約】→【録画予約一覧】を選び **決定**を押す

- 【録画予約一覧】画面が表示されます。

2 一時的に毎週／毎日録画を解除したい予約を選び **サブメニュー**を押す

3 【予約スキップ】を選び **決定**を押す

- スキップを設定した予約に【スキップ】と表示され、次回の予約がスキップされます。
- 【予約スキップ】を解除するには、もう一度手順2～3をおこなってください。
- 設定が終わったら、**終了**を押してください。

ご注意

- 予約のスキップ設定は、1回スキップすると自動的に解除されます。

不要な予約を取り消す

番組表または録画予約一覧から不要な予約を取り消すことができます。

一発キャンセル

番組表から予約を取り消す

- 予約の取り消しは1予約ずつとなります。

1 **番組表**を押す

2 予約を取り消したい番組を選び **録画**を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定**を押してください。録画予約が取り消され、選んだ番組から **録画**が消えます。
- **録画**の代わりに **決定** または **番組説明** を押して【番組説明】画面を表示させ、【予約取消】を選び **決定** を押して予約を取り消すこともできます。
- 設定が終わったら、**終了**を押してください。

【録画予約一覧】画面から予約を取り消す

1 **メニュー**を押して、【予約】→【録画予約一覧】を選び **決定**を押す

- 【録画予約一覧】画面が表示されます。

2 **録画**を押す

3 予約を取り消したい番組を選び **決定**を押す

- 選んだ番組に【✓】が付きます。
- **録画**を押すと、すべての番組を選ぶことができます。
- **録画**を押すと、すべての番組の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、予約を取り消したい番組を選んでください。

4 番組を選び終わったら、【削除実行】へ移動し、**決定**を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定**を押してください。
- 設定が終わったら、**終了**を押してください。

自動で録画する(おまかせ自動録画)

HDD **USB-HDD**

キーワードやジャンルを設定して、条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

おまかせ自動録画は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表などから予約してください。

1 スイッチを押して、【予約】⇒【おまかせ自動録画】を選び決定を押す

- ・ カテゴリー選択画面が表示されます。

2 お好みのカテゴリーを選び決定を押す

- ・ ジャンル、人物キーワード、番組記号、再生コースが設定できます。くわしくは **44** をご覧ください。

3 【次へ】を選び決定を押す

4 おまかせ自動録画するカテゴリーを選び決定を押す



- ・ カテゴリーを選び決定を押すと **おまかせ** に変わります。

詳細設定をおこなう

- 1 カテゴリーを選んだ状態で **決定** を押す
 - ・ 詳細設定画面が表示されます。
- 2 設定内容を変更したい項目を選び決定を押す
- 3 【設定完了】を選び決定を押す

詳細設定について



① 自動録画

1日に自動録画する時間と自動削除を設定します。

- ・ 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、自動削除を【しない】以外に設定できません。

① 録画する時間を選び決定を押す

② 自動削除を【する】または【しない】を選び決定を押す

する： 録画先の容量が少ないときに、おまかせ自動録画した番組を自動的に削除します。
録画した番組には、**削除**が表示されます。

しない：自動的に削除されません。

② 録画先

番組の録画先を設定します。

- ・ 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります。

③ フォルダー設定

録画先のフォルダーを設定します。

- ・ 【新規フォルダー】を選ぶと、お好みの名前のフォルダーを作成できます。



④ 録画モード

録画モードを設定します。

- ・ 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、録画モードを【DR】以外に設定できません。
- ・ 録画先を通常録画用USB-HDDに設定した場合は、録画モードを【AF】～【AE】に設定しても一時的に【DR】で録画されます。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。) また、録画モードを【XP】～【EP】に設定できません。

⑤ 持ち出し設定

持ち出し設定をします。

- 録画先は、72の手順4の「②録画先」にて【HDD】または【USB○】を選んでください。
- 持ち出し設定についてくわしくは「持ち出し設定とバックアップ設定について」80をご覧ください。
- 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、持ち出し設定はできません。

⑥ 番組の長さ

検索する番組の長さを指定します。

- ◀・▶で“下限” / “上限”を切り換え、▲・▼で10分単位で時間が増減します。
- “下限”の範囲は【指定なし】～【7時間50分】です。
- “上限”の範囲は【10分】～【8時間00分】です。ただし、“下限”の値+10分より小さな値には設定できません。

⑦ チャンネル

番組を検索するチャンネルを指定します。

- 【地デジ】 / 【BS】 / 【CS】を選び▶を押すと個別のチャンネルの選択ができます。◀を押すと放送種別の選択に戻ります。
- 設定が終わったら、【設定完了】を選び決定を押してください。
- 初期値は指定チャンネル(地デジ-すべて、BS-101～183、211、222、258)になります。

⑧ 時間帯

番組を検索する時間帯を設定します。

- 1 検索開始時間帯を▲・▼で指定する
- 2 検索終了時間帯を◀・▶で選ぶ
- 3 検索終了時間帯を▲・▼で指定して決定を押す

5 【設定完了】を選び決定を押す

- 2日先までの番組を検索し、自動録画予約します。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

検索された予約を確認する

- 1 スタメニューを押して【予約】⇒【録画予約一覧】を選び決定を押す



が付きます。

- 確認が終わったら、終了を押してください。



- 「自動で録画する(おまかせ自動録画)」72の手順4で、自動削除を【する】に設定して自動録画された番組を編集すると、自動削除が解除されます。
- 一部でも重複する予約があるときは自動録画予約されません。
- ダビング準備中、または等速でダビング中におまかせ自動録画設定をおこなっても、検索・予約登録はできません(設定内容は保持します)。電源オフ時の番組データ取得時に、自動的におまかせ自動録画の検索／予約登録をおこないますが、すぐに検索／予約登録をおこないたい場合は、ダビングが完了したあとに、再度おまかせ自動録画の設定をおこなってください。

ネットdeレック機能で録画する

HDD

「ネットdeレック」機能を使うことで、ネットワークに接続したスカパー！プレミアムサービスチューナーまたはCATV（ケーブルテレビ）チューナーからの映像をハイビジョン画質で録画できます。

準備

- スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画するときは、本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーをLANでつないでおく **138**
- CATVチューナーから録画するときは、本機とCATVチューナーをLANでつないでおく **138**

1 スカパー！プレミアムサービスチューナー側またはCATVチューナー側で、録画予約する

- テレビ画面には、録画している映像は表示されません。
- 録画が終了すると、【録画リスト】画面に番組が表示されます。

録画予約できているか確認するには

【録画予約一覧】で確認できます。



放送局名が【外部チューナー】と表示されます。

- 確認が終わったら、**終了**を押してください。

録画されているか確認するには

画面表示 **●** を押す

(現在の画面によっては、画面表示 **●** を数回押してください。)



ネットdeレック中

- 確認が終わったら、**終了**を押してください。

録画を停止するには

■ を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **●** を押してください。
- ネットdeレックと通常録画の同時動作中は、停止する録画を選び **●** を押してください。



- 外部チューナー側でのみ、録画予約を変更できます。(外部チューナー側で録画予約を削除しても本機の録画予約一覧から削除されないときは、本機の【録画予約一覧】画面から録画予約を削除してください。)
- 録画中にネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。(録画予約は削除されます。)
- ネットdeレック中は、以下の操作ができません。
 - 市販品のBD-Videoの再生
 - AVCHDディスクの再生
 - 写真の再生
- 本機の視聴年齢制限機能を使用していない場合は、視聴年齢が制限された録画番組は本機の【録画リスト】画面に表示されません。 **35**

お知らせ

- ラジオ放送やデータ放送は録画できません。
- ネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。また、ネットワークの通信速度が遅い場合も録画を停止することがあります。
- 録画した番組は、字幕とデータ放送の表示ができない場合や、本機以外で再生できない場合があります。
- 録画した番組は、番組の終わりが数秒間欠けることがあります。
- 録画が終了しても、本機の電源は「入」のままになっています。(外部チューナー側の操作によって本機の電源が自動的に切れる場合もあります。)くわしくは外部チューナーに付属の取扱説明書をお読みください。
- 視聴年齢が制限された録画番組の番組名と放送局名は、配信先の機器によっては、「*」で表示されることがあります。

録画を一時停止・停止する

一時停止する

HDD USB-HDD

録画中に、録画を一時停止できます。

1  を押す

- 録画が一時停止します。
- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 予約録画中またはワンタッチタイマー録画中は録画の一時停止はできません。

同時録画中に録画を一時停止するときは

録画中のメディアに切り換えて、一時停止したい番組にチャンネルを切り換えたあと、 を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 同時録画している番組を追っかけ再生している場合は、 を押して、あらかじめ追っかけ再生を停止してください。

停止する

1  を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び  を押してください。録画が停止します。
- 停止した位置までが1つの番組となります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)

同時録画中に録画を停止するときは

 を押して、▲・▼で停止する録画を選ぶ

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び  を押してください。
- 同時録画している番組を追っかけ再生している場合は、 を押してあらかじめ再生を停止してください。



- 番組録画中に一度停止を選択し録画を再開した場合は、番組が分割されます。

録画についての補足説明

録画全般

- DVDには直接録画できません。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- ニカ国語・マルチ番組・字幕を含む番組の録画制限については、**193**をご覧ください。
- ブルーレイディスクに直接録画すると、【CHAPTER自動生成】を【マジックCHAPTER】に設定しても無効になります。**172**
- 録画の2番組目以降は、録画モード【XP】～【EP】で録画すると、【CHAPTER自動生成】を【マジックCHAPTER】に設定してもCHAPTER分割されない場合があります。
- 以下の場合は、USB-HDDに録画予約しても、HDDに録画されません。
 - 本機にUSB-HDDを設定していないとき
 - 録画開始時に、USB-HDDの電源が入っていないとき
 - 同時動作できないとき **187**
- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- ブルーレイディスクに2番組以上を同時に録画できません。

録画予約全般

全般

- 録画予約の設定完了後、本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)
- 予約は200件まで登録できます。HDDとUSB-HDDへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。

予約録画があるときの本機の動き

予約開始時刻の直前になると

- 本機の電源が「入」のとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を「切」にしても録画は中断されません。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま録画が実行されます。(録画準備中は録画ランプが点滅し、録画中は録画ランプが点灯します。)

予約終了時刻になると

- 自動的に録画が終わります。

番組表を使った予約(番組検索)

- 番組検索は、番組データの情報(日によって変わることがあります。)をもとにおこなわれるため、同じ番組でも日によっては検索できないことがあります。

最終回判定

毎日録画や毎週録画の中で、その番組が最終回を迎えると、録画予約一覧に(終)を表示します。最終回を迎えた録画予約を未確認の状態では本機の電源を「入」にした場合は、または【録画予約一覧】画面を表示した場合は、確認メッセージを表示しますので、【録画予約一覧】画面にて録画予約を確認してください。

代理録画

予約録画が実行できない状態でも、HDDが録画可能な状態であれば、HDDに代理で録画します。

(代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。)

以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。

(他にも代理録画される場合があります。)

- ディスクに予約録画するとき…
 - ディスクの残量時間が足りない
 - 録画不可のディスクが入っている
 - ディスクが入っていない
- USB-HDDに予約録画するとき…
 - USB-HDDの残量時間が足りない
 - 録画可能なUSB-HDDが接続されていない

録画/ワンタッチタイマー録画/等速ダビングと、予約録画が重なったときは

- 以下の場合は、録画(●録画を押した録画)やワンタッチタイマー録画は予約開始2分前に取り消されます。
 - 2番組を同時録画できる場合は、1番組のみ取り消されます
 - 2番組をすでに同時録画中の場合
 - 2番組が同時録画できない条件の場合(くわしくは「同時録画時の録画モードについて」の「2番組を同時録画の場合」**190**をご覧ください。)
- 等速ダビングは、予約開始2分前に取り消されます。

録画についての補足説明・つづき

予約が重なったときは

予約を決定するときに、確認画面が表示されます。

重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し(番組表予約の場合は確認画面で【はい】を選び) **決定** を押し、【録画予約一覧】画面が表示されます。
重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には【▲】が付いて表示されています。

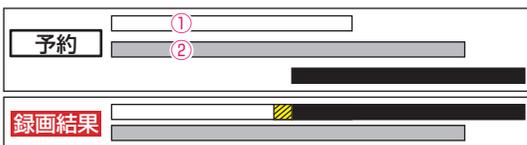
予約が重なった場合は

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。



※ **▲**の部分(約20秒)は録画されません。

- 開始時刻が同じ場合は、【録画予約一覧】画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。



※ **▲**の部分(約20秒)は録画されません。

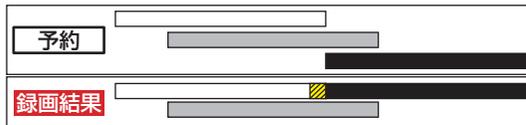
- ① 【録画予約一覧】画面で上に表示されている番組
- ② 【録画予約一覧】画面で下に表示されている番組

同時録画できない場合は

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、【録画予約一覧】画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合は、後の予約と重なる部分の手前約20秒以降は録画されません。
(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む)

1番目の予約の終了時刻と3番目の予約の開始時刻が同じときは

連続する予約(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ)の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。



※ **▲**の部分(約20秒)は録画されません。

番組表について

番組データの受信について

番組データは、「はじめての設定」の【④地デジチャンネル設定】中に取得されます。取得中に【スキップ】を選択した場合は、「はじめての設定」完了後、本機の電源が「切」(通電状態)のときに受信されます。受信中は、本機上面の電源ランプが点灯(橙)します。

- 電源プラグは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。(更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。)なお、電源が「入」であっても、視聴中チャンネルの番組データは取得されます。
- 特定のチャンネルの番組データが未取得の場合は、【決定ボタンで選局し、放送番組がある場合は、番組データを取得します。】と表示されます。チャンネルを選び(決定)を押すと、選んだチャンネルを選局し、番組データの取得が開始されます。ただし、本機の状態によっては選んだチャンネルを選局できないことがあります。
- 受信には、通常、数10分かかります。
- メンテナンス時刻に設定した時間に本機の電源が「切」(通電状態)になっているとき、取得可能な放送局の番組情報が取得されます。なお、未取得のデータがある場合は、電源を「切」にした約10分後に取得することがあります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。
- 番組データの受信中は、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。
- 番組データの受信が完了していても、本機上面の電源ランプが消えることがあります。
- 録画中や停電したとき、電源プラグを抜いたときは、番組データを受信できず、番組表が最新ではない場合があります。
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。

デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示できます。

CATV(ケーブルテレビ)の番組表について

CATVは、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できない場合があります。その場合は、ご利用のCATV会社にご相談ください。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って復帰処理をおこないます。
- 停電によって予約録画が中断したときは、【録画予約一覧】画面でお知らせします。【69】

録画の種類別では

録画中やワンタッチタイマー録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- 復帰処理終了後は、電源が切れます。

予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時計が自動修正されると予約内容が復活します。

予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源が切れます。

録画先別では

HDD/USB-HDD

- 停電前後の番組は分割されて【録画リスト】画面に登録されます。
- 停電直前の数10秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、【すべての初期化】【182】が必要となることがあります。
- USB-HDDへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によっては、停電復帰後の予約録画の続きがHDDに代理録画されることがあります。

BD-RE/BD-R

- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。
- 停電復帰後に予約した番組をディスクへ録画できない場合は、HDDに代理録画されます。HDDに代理録画された場合は、HDDの【録画リスト】画面に登録されます。

録画についての補足説明・つづき

予約録画が正常におこなわれなかったときは

- 重なりや停電などの要因で録画が正常におこなわれなかった予約に【①】が付き、【予約のお知らせ】フォルダーにまとめられます。【録画予約一覧】画面で、【予約のお知らせ】フォルダー内の番組を選び を押すとお知らせ内容が表示されます。【戻る】を選ぶと、そのまま【録画予約一覧】画面に戻り、【お知らせ消去】を選ぶと予約のお知らせが一覧から消去されます。
- 複数の予約のお知らせを消去するには、【予約のお知らせ】フォルダー内の番組を選び を押しします。選んだ番組に【✓】が付くので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、【削除実行】を選び を押しします。確認画面が表示されるので【はい】を選び を押してください。（【録画予約一覧】画面の表示方法については、「設定済みの予約を確認する」[69](#)をご覧ください。）
- 【予約のお知らせ】フォルダーにまとめられる番組は、最大30件です。30件をこえた場合は、古い番組から順に削除されます。



- 最大記録可能数/登録数については、[226](#)をご覧ください。

番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合（eメールの番組指定予約およびスマホdeレグザでの番組指定予約・番組表予約を含む）、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。
（例）
 - 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
 - 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなる時。
 - 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
 - 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなる時。
- 自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。（イベントリレー）
（例）
 - 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
 - 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」[78](#)の例に従って録画されます。
 - 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合だけ有効となります。

持ち出し設定とバックアップ設定について

- スマホ持ち出し用の画質は【スマホ持ち出し用画質】に設定してある画質に変換されます。
 → 【設定】 → 【本体設定】 → 【録画設定】の【スマホ持ち出し用画質】[173](#)で変更できます。
- DVD持ち出し(VR)用の画質は【DVD持ち出し(VR)用画質】に設定してある画質に変換されます。
 → 【設定】 → 【本体設定】 → 【録画設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】[173](#)で変更できます。
- 持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。（電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。）
- スマホ持ち出し、DVD持ち出し(VR)を選択した場合は、予約録画時の録画状況によっては、録画と同時に持ち出し番組が作成されないことがあります。
- バックアップ先は、 → 【設定】 → 【本体設定】 → 【録画設定】の【バックアップ先設定】[173](#)で変更できます。
- コピーワンス(1回だけ録画可能)番組の場合は、【持ち出し設定】を【しない】以外に設定しているときは、【バックアップ設定】を選ぶことができません。
- 【持ち出し設定】を【スマホ持ち出し】または【DVD持ち出し(VR)】に設定し、【バックアップ設定】を【する】に設定できる番組でも、【持ち出し設定】の設定のみが優先される場合があります。
- 【バックアップ設定】を【しない】以外に設定すると、録画先の【HDD】では番組が以下ようになります。
 - ダビング10番組は、コピー回数が1回減るため、ダビングが最大9回(コピー8回と移動1回)できる番組になります。
 - コピーワンス番組は、番組が残りません。
- 以下の番組が多く存在する場合は、バックアップ設定ができないことがあります。
 - 録画モード変換予定の番組
 - スマホ持ち出し番組に変換予定の番組
 - DVD持ち出し(VR)番組に変換予定の番組
 - バックアップ予定の番組

再生する

本章では、録画した番組の再生や、ディスクの再生などについて説明しています。

録画した番組を再生する

- 1  押す
- 2  見たい番組を 選ぶ
- 3  または  押す

くわしくは..... 82

ディスクを再生する

- 1 再生したい ディスクを 入れる
- 2  押す

くわしくは..... 87

再生するときの操作.....	90
再生するとき便利な機能.....	94
写真を再生する(スライドショー).....	97
再生についての補足説明.....	98

録画した番組を再生する

HDD USB-HDD BD AVCフォーマット VRフォーマット Videoフォーマット

本機では、HDDやUSB-HDD、ブルーレイディスクに録画した番組を再生することができます。

- 本機で引越越し・バックアップ用として登録して、引越越し・バックアップまたはダビングで記録したSeeQVault対応USB-HDDは東芝の他のSeeQVault対応機器で再生できます。
- 本機で記録した通常録画用USB-HDDは、他の機器では再生できません。
- 見終わった番組をディスクから削除する場合は「番組を削除する」**100**を、HDDやUSB-HDDのフォルダーにある番組を削除する場合は、「番組をフォルダーで管理する」**111**をご覧ください。また、再生した番組を編集する場合は、**103**をご覧ください。
- 本機で録画した番組をDVDにダビングすると、DVDから再生することもできます。ダビングについては、**118**をご覧ください。

1 録画リストを押す

2 見たい番組を選ぶ



- 最初から再生するには、サブメニューを押してから、【最初から再生】を選び決定を押してください。

3 決定を押す

- HDD、USB-HDDに録画した番組は▶で再生コースが選べます。◀▶で再生コースを選んでから決定を押してください。再生コースについてくわしくは**47**をご覧ください。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、レジュームポイントから再生が始まります。くわしくは「レジューム機能(再生開始位置)について」**83**をご覧ください。

次回放送を録画予約する場合

① 番組を再生中に録画を押す

② お好みの録画日を選ぶ

- 録画日は【○月○日のみで予約登録】(○は放送日)や【毎週○で予約登録】(○は曜日)、【月～金で予約登録】、【月～土で予約登録】、【火～土で予約登録】、【毎日で予約登録】を選んでください。

副音声と字幕を切り換えるには

くわしくは**94**をご覧ください。



- 複数の音声を用意されていない番組もあります。
- 字幕が用意されていない番組もあります。

再生中に番組説明を見る

HDD USB-HDD BD AVCフォーマット VRフォーマット

番組説明を押す

- 番組説明が表示されます。



- DVD-RW/DVD-R(VR)は録画日/録画開始時刻/録画終了時刻/番組名のみ表示されます。

再生を一時停止する

IIを押す

チャプターを分割・結合する

HDDと通常録画用USB-HDDの場合は、一時停止中にチャプターを分割・結合できます。(再生コースを【通常再生】に切り換えている場合のみ)

- 操作ガイドは一時的に表示されます。もう一度表示するには、画面表示を押してください。
- 再分割を押すと、一時停止位置でチャプターを分割します。
- 一時停止中に録または戻を押して、結合したいチャプターの境界に位置を合わせた状態で凍結を押すと、チャプターを結合します。
- 録を押すと、前のチャプターに戻ります。
- 戻を押すと、次のチャプターに進みます。

再生を停止する

■を押す

- 再生が停止し、【録画リスト】画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)



- 本機以外で録画したDVDを再生するには、録画したレコーダーなどでファイナライズしておく必要があります。



- 再生中にメディア(HDD、DISC、USB)を切り換えると、再生が停止します。

レジューム機能(再生開始位置)について

- 再生中に  を1回押して再生を停止すると、再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されます。
(レジュームポイントを解除するには、【録画リスト】画面が表示されていない状態で停止中にもう一度  を押してください。
ただし、HDDとUSB-HDDの番組ごとのレジュームポイントは解除しません。)
- 【録画リスト】画面を表示せずに  を押すと、最後に視聴していた番組/トラックのレジュームポイントから再生が始まります。(つづき再生)
- レジュームポイントの再生は、メディアなどによって異なります。

HDD/USB-HDDの場合

録画リストの番組ハイライト中に、 を押す

- 番組ごとのレジュームポイントから再生します。

ディスクの場合

録画リストの番組ハイライト中に、 を押す

- 最後に再生していた番組を再生すると、レジュームポイントから再生します。
(他の番組を再生した場合は、番組の最初からの再生となります。)

音楽用CDの場合

再生リストのトラック表示中に、 を押す

- 最後に再生していたトラックを再生すると、レジュームポイントから再生します。
(他のトラックを再生した場合は、トラックの最初からの再生となります。)



-  を押して再生すると、トラックの最初から再生します。

写真の再生の場合

ディスクから再生

録画リストのサムネイル表示中に、 を押す

- レジュームポイントから再生します。

USB機器やSDカードから再生

レジュームポイントは記憶されません。



- ディスクによっては、レジューム機能に対応していないものがあります。



- 記憶したレジュームポイントは、以下の場合などに解除されます。

- 【録画リスト】画面が表示されていない状態で停止中に、 を押したとき
(HDDやUSB-HDDの場合は、そのとき選ばれている番組のレジュームポイントが解除されます。)
- 番組やディスクを編集したとき
- 視聴年齢制限のある番組を一時的に制限解除して再生したあとに、電源を「切」にしたとき
- 初期化をしたとき
- 番組の終わりまで再生したとき
- 録画リストを開き、レジュームのある番組以外にハイライトを移動してから録画リストを閉じたとき

(以下はディスクのみになります。)

- ディスクトレイを開いたとき
- ファイナライズをしたとき
- トップメニューを表示中に  を押したとき

スマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し(VR)番組の録画リストを表示する

1 **サブメニュー**を押してから**【録画リスト】**を選び**決定**を押す

2 **【スマホ持ち出し番組】**または**【DVD持ち出し(VR)番組】**を選び**決定**を押す

お知らせ

- スマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組は再生できません。
- スマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組を削除したい場合は、**100**をご覧ください。
- 録画中、ダビング中などに**【スマホ持ち出し番組】**または**【DVD持ち出し(VR)番組】**は選択できません。

フォルダー内で番組を連続で再生するかを設定する

1 録画リスト表示中に**サブメニュー**を押して、**【フォルダー内連続再生】**を選び**決定**を押す

2 **【オン】**または**【オフ】**を選び**決定**を押す

オン： フォルダー内の番組を現在の並び順に従って連続再生をおこなう。

オフ： 番組の再生が終了すると録画リストが表示されます。

おまかせプレイリストを作成してから再生する

HDD USB-HDD

番組の本編のみを作成し、再生できます。

① 録画リスト表示中に番組を選び**サブメニュー**を押す

② **【おまかせプレイリスト】**を選び**決定**を押す

- 本編部分のプレイリストが作成されたあと、自動的に再生が開始されます。

注意

- すでに作成されたおまかせプレイリストを表示させるには、録画リストの表示中に**100**を押してください。
- 以下の場合は、**【おまかせプレイリスト】**を選ぶことができません。
 - HDD、通常録画用USB-HDDの残量時間が足りない
 - 変換予定の番組
 - スマホ持ち出し用変換予定の番組
 - DVD持ち出し(VR)変換予定の番組
 - 録画中の番組
 - ダビング中
 - SeeQVault対応USB-HDDの番組
 - ディスク内の番組

視聴制限を一時的に解除する

HDD USB-HDD

視聴年齢制限のある番組を録画リスト表示で一時的に表示できます。

1 録画リスト表示中に、**サブメニュー**を押す

2 **【視聴制限一時解除】**を選び**決定**を押す

- パスワードを入力すると、視聴制限が解除されます。
- パスワードを忘れたときは、「視聴可能年齢を設定する」**35**をご覧ください。

お知らせ

- 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。

並び順を変更する

1 録画リスト表示中に、**サブメニュー**を押す

2 **【並び順】**を選び**決定**を押す

- 並び順の種類が表示されるので、お好みの並び順を選び**決定**を押してください。
- 現在録画中の番組は、並び順の最後に表示されます。

記録順： 記録した順(ディスクの場合は番号順)に並び替わります。

番組名順： 番組名順に並び替わります。

新しい順： 録画日が新しい順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最後に配置されます。)

古い順： 録画日が古い順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最初に配置されます。)

メディアを切り換える

録画リストを表示したあとでも、メディアを切り換えることができます。

① 録画リスト表示中に**サブメニュー**を押して、**【HDD/ディスク切換】**を選び**決定**を押す

② **メディア**を選び**決定**を押す

- 選んだメディアの録画リストに切り換わります。
- USB-HDDを複数接続している場合は、**【USB-HDD】**を選ぶと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選び**決定**を押してください。

録画した番組を再生する・つづき

ディスク情報を確認する

ディスク情報を確認することができます。

1 録画リスト表示中に **DISC** を押す

2 **サブメニュー** を押す

3 **【ディスク情報】** を選び **決定** を押す

- 挿入されているディスクの情報が表示されます。

お知らせ

- ディスクが挿入されていない場合は、**【ディスク情報】**は選択できません。

バックアップ設定を解除する

HDD

バックアップ設定をおこなった番組の録画後、バックアップ実行前にバックアップ設定を解除することができます。

1 録画リスト表示中に **HDD** を押す

2 バックアップ設定をおこなった番組を選び **サブメニュー** を押す

3 **【編集／管理】** → **【バックアップ解除】** → **【解除する】** を選び **決定** を押す

フォルダーを切り換える

HDD **USB-HDD**

番組が複数のフォルダーに保存されているときに、その番組が含まれるフォルダーを指定して、表示フォルダーを切り換えることができます。

1 録画リスト表示中に番組を選び **サブメニュー** を押す

2 **【フォルダージャンプ】** を選び **決定** を押す

3 ジャンプしたいフォルダーを選び **決定** を押す

- 選んだフォルダーに表示が切り換わります。

お知らせ

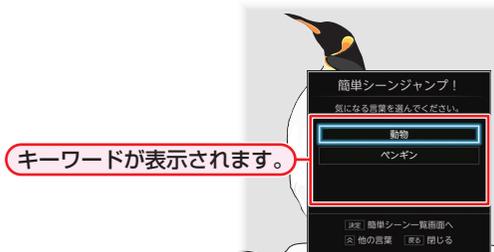
- フォルダーを作成していない場合や選んだ番組が他のフォルダーに含まれていない場合は、**【フォルダージャンプ】**は選択できません。

簡単シーン検索で番組のシーンを頭出しする

視聴中の番組や録画されたすべての番組の字幕情報を任意のキーワードで検索して、そのキーワードが登場するシーンへの頭出しをすることができます。

1 視聴中または再生中に **サブメニュー** を押して、**【簡単シーン検索】** を選び **決定** を押す

- 画面にキーワードが表示されます。
- キーワードは最大4個まで表示されます。
- キーワードを表示中に **△** を押すと別のキーワードが最大4個まで表示されることがあります。



2 キーワードを選び **決定** を押す

3 再生したい番組のシーンを選び **決定** を押す

▲・▼ で選び、他のキーワードを表示する



▲・▼ で選び再生する

- **【他のキーワードを表示】** を選ぶと **【+ 新規入力】** でキーワードを入力することができます。



お知らせ

- 録画番組が少ない場合は、キーワードが表示されません。

ディスクを再生する

ブルーレイディスクやDVDを再生する

BD BD-Video DVD-Video AVCフォーマット VRフォーマット
Videoフォーマット

1 再生したいディスクを入れる

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 を押す

- **BD** **AVCフォーマット** **VRフォーマット**
最初から再生するには、**サブメニュー**を押してから、**▲・▼**で【最初から再生】を選び **決定**を押してください。

再生を停止するときは

を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
(レジュームポイントについては、**83**をご覧ください。)

メニューを操作する

BD-Video DVD-Video Videoフォーマット

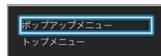
(メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。また、BD-Videoの場合は再生中にポップアップメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

1 を押す

- メニュー選択画面が表示されます。

2 表示したいメニューを選ぶ

BD-Videoの場合



DVD-VideoまたはDVD-RW/DVD-R(Video)の場合



3 お好みの番組や項目を選び **決定**を押す

ブルーレイ3D™ディスクを再生する

BD-Video

本機でブルーレイ3D™ディスクを楽しむことができます。

▶ 準備

- 本機と3D対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく **21**
- 3D対応テレビの設定を3Dに切り換えておく(必要な場合のみ)

1 ブルーレイ3D™ディスクを入れる

2 を押す

再生を停止するときは

を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
(レジュームポイントについては、**83**をご覧ください。)

3Dの再生設定を変更するときは

メニュー → **設定** → **本体設定** → **3D設定**をお好みの設定に変更してください。 **172**

- 設定が終わったら、**終了**を押してください。

2D映像で再生するときは

メニュー → **設定** → **本体設定** → **3D設定** → **3D映像視聴設定**を **2D**に設定してください。

- 設定が終わったら、**終了**を押してください。



- 市販品のソフトの再生中は、テレビ放送と比べて音量が小さく感じられます。再生中にテレビの音量を上げたときは、再生停止前に必ず音量を下げてください。

ディスクを再生する・つづき

AVCHD方式の動画が記録されたディスクを再生する

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに記録されたAVCHD方式のハイビジョン画質の動画を、本機で再生できます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけが再生可能です。)

また、本機のHDDにダビングしたAVCHD方式のハイビジョン画質の動画を再生できます。

1 ディスクを入れる

- ディスクにAVCHDが入っている場合は、自動的にAVCHDファイルの再生が始まります。始まらない場合は、を押してください。
- ディスクを入れると自動的にディスクのメニュー画面が表示される場合があります。ディスクによってメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクを録画した機器に付属の取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

2 お好みの番組や項目を選び を押す

再生を停止するときは

を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。(レジュームポイントについては、[83](#)をご覧ください。)

注意

- AVCHD方式(AVCHD Ver2.0)に準拠していない動画は再生できません。
- USB機器に記録されたAVCHD方式の動画は、本機では直接再生できませんが、本機のHDDに取り込む(ダビングする)ことができます。
- HDDにダビングしたAVCHD動画の再生方法は、通常の番組の再生方法と同じですので、「録画した番組を再生する」[82](#)をご覧ください。

音楽用CDを再生する

1 再生したいディスクを入れる

- トラックリストが表示されます。
- すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は、を押してください。

2 お好みのトラックを選び または を押す

再生を停止するときは

を押す

- レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。(レジュームポイントについては、[83](#)をご覧ください。)

番号を指定してから再生する

ディスクを再生するときに、番号を指定してから再生できます。

- 放送中の番組を視聴しているときは、以下のディスクのみ番号を指定して再生できます。
 - BD-RE/BD-R
 - DVD-Video
 - DVD-RW/DVD-R(VR)
 - DVD-RW/DVD-R(AVCREC™)

1 を押す

2 【ディスクサーチ】を選び を押す

3 ▲・▼または 1 ~ 10. で番号を変更し、を押す

- 指定した番号から再生が始まります。

注意

- 指定した番号がないときは、再生できません。
- 以下の場合は、【ディスクサーチ】は選ぶことができません。
 - 本機がディスクモード以外の場合
 - ディスクを挿入していない場合

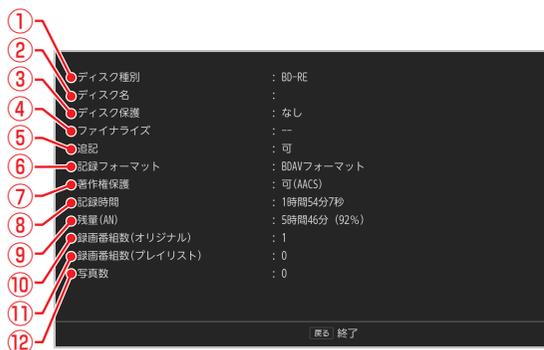
ディスク情報を確認する

ディスクの情報や残量、ダビングできるかどうかなどを確認できます。

1 放送番組を視聴中に、**サブメニュー**を押す

2 【ディスク情報】を選び **決定** を押す

- 挿入されているディスクの情報が表示されます。



番号	説明
①	ディスク種別
②	ディスク名
③	ディスクが保護されているかどうかを表示
④	ファイナライズされているかどうかを表示
⑤	追記して記録できるかどうかを表示
⑥	ディスクの初期化(フォーマット)形式
⑦	コピー制限のある番組をダビングできるかどうかを表示
⑧	現在記録されている時間
⑨	設定している録画モードで記録できる残時間
⑩	ディスクに記録されている番組の数
⑪	ディスクに記録されているプレイリストの数
⑫	ディスクに記録されている写真の数

お知らせ

- ディスクが挿入されていない場合は、【ディスク情報】は選択できません。

ご注意

- ファイナライズされていないディスクは、再生できない場合があります。

再生するときの操作

速度を変えて再生する

- 一部のぞき、音声は出ません。

早戻し／早送り
早く見る／聞く

再生中に、・を押す

- 押すたびに、再生速度を4段階(音楽用CDは3段階)で切り換えます。
- 一段階目の早送りのみ、音声付きで再生できます。
- 音楽用CDの早戻し／早送り中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が出続けます。
- を押すと通常再生に戻ります。



- 写真の再生中は、早戻し／早送り再生はできません。

早見早聞／ゆっくり
音声付きで早く見る／ゆっくり見る

再生中に、を押す

- 押すたびに、約1.3倍速→約0.8倍速→通常再生と切り換わります。



- 以下の場合、早見早聞／ゆっくり再生はできません。
 - ・ BD-Videoを3Dで再生中
 - ・ 録画モード【AVC 3D】の番組を3Dで再生中
 - ・ 録画モード【AVC PRO】の番組を再生中
 - ・ 音楽用CDや写真の再生中

再生一時停止
再生を一時的に止める

再生中に、を押す

- 再生が一時停止します。
- またはを押すと再生に戻ります。

逆スロー／スロー再生
ゆっくり見る

再生一時停止中に、・を押す

- 押すたびに、再生速度を3段階で切り換えます。
- を押すと通常再生に、を押すと再生一時停止に戻ります。
- 長押しすると、早戻し／早送り動作となります。



- 以下の場合、逆スロー再生は2段階切り換えになります。
 - ・ 録画モードが【AF】～【AE】で録画された番組
 - ・ MPEG-4 AVC/H.264 で記録された映像
 - ・ スマホ持ち出し用画質の番組
- 音楽用CDや写真の再生中は、逆スロー／スロー再生はできません。

コマ戻し／コマ送り
コマを戻す／進める

再生一時停止中に、・を押す

- 押すたびに、コマが戻り／進みます。



- 音楽用CDや写真の再生中は、コマ戻し／コマ送り再生はできません。



- 以下の場合、逆スロー再生とコマ戻し再生はできません。
 - ・ 録画モード【AVC 3D】(3D再生中)
 - ・ 録画モード【AVC PRO】
 - ・ BD-Video
 - ・ DVD-Video
 - ・ DVD-RW(AVCHD)／DVD-R(AVCHD)

見たい番組や場面までとばす(頭出し)

スキップ

見たい/聞きたいところまでスキップする

再生中に、**◀▶**を押す

- 押すたびに、前の、または次のチャプターやトラックなどにスキップします。
(**◀**を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターやトラックの頭にスキップします。)

1/20リプレイ/スキップ

再生中に、**◀▶**を押す

- 番組の長さの1/20のポイントを、再生中に1つずつたどっていく機能です。
- 戻る方向と進む方向、どちらの場合も一番近いポイントへスキップします。



- 番組の長さが1分以下の場合、スキップできません。
- BD-Videoや音楽用CD、写真の再生中は、1/20リプレイ/スキップはできません。

ワンタッチリプレイ/ワンタッチスキップ

再生中に、**◀▶**を押す

- 押すたびに、【再生設定】の【ワンタッチリプレイ】、【ワンタッチスキップ】で設定した時間だけ再生がスキップします。

172



- 音楽用CDや写真の再生中は、ワンタッチリプレイ/ワンタッチスキップはできません。

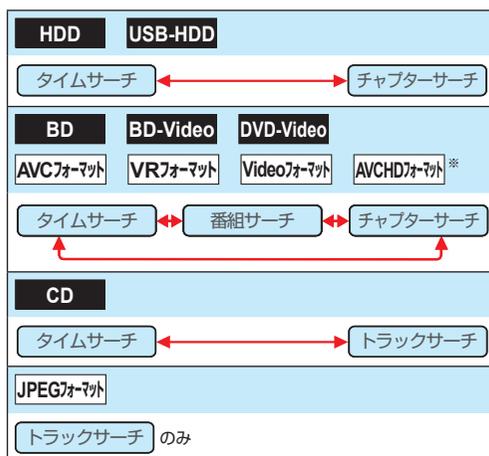
サーチ

番号や時間を指定してスキップする

1 再生中に **サブメニュー** を押して、【サーチ】を選び **決定** を押す

2 お好みのサーチを選ぶ

- **▲・▼** を押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- サーチの種類は、再生しているメディアによって異なります。



* AVCHD方式の映像が記録されたDVDのみになります。

3 **▶** で数値の入力欄へ移動し、**▲・▼** または **1** ~ **10.0** で数値を変更し、**決定** を押す

- 指定した番号または時間まで再生がスキップします。

入力を間違えたときは

◀ を押す



- 指定した番号や時間のチャプターやトラックがないときは、スキップはできません。
- BD-Videoの場合は、**1** ~ **10.0** を押してスキップできないことがあります。



- 再生中に、**1** ~ **10.0** を押して、チャプターをスキップすることもできます。(音楽用CDや写真の再生をのぞく)
画面左上に数値が表示されるので、スキップしたい番号を入力してください。

再生するときの操作・つづき

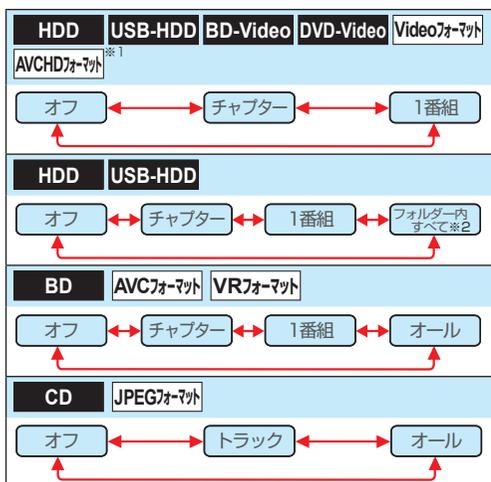
リピート再生
繰り返して見る

再生中の映像を繰り返して再生することができます。

1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【リピート】** を選び **決定** を押す

2 お好みのリピート再生を選び **決定** を押す

- リピートの種類は、再生しているメディアによって異なります。



※1 AVCHD方式の映像が記録されたDVDのみになります。

※2 録画リストのサブメニュー画面で【フォルダー内連続再生】を【オン】にする必要があります。

リピート再生をやめるときは

手順 2 のときに、**【オフ】** を選ぶ

• リピート再生をやめて、再生も停止するときは **□** を押します。



- リピート再生を設定したあとに以下の操作をおこない、リピート再生の範囲をこえた場合は、リピート再生が解除されます。
 - スキップ
 - チャプター／番組／トラック／タイムサーチ
 - 1/20 リプレイ／スキップ
 - ワンタッチリプレイ／ワンタッチスキップ
- 飛ばし見再生中の場合は、リピート再生はできません。

再生コースを切り換える

HDD USB-HDD

HDD、USB-HDDに録画した番組は、再生中に再生コースを切り換えることができます。

再生コースについてくわしくは **47** をご覧ください。

1 再生中に **緑** を押す

2 お好みの再生コースを選び **決定** を押す



- 再生コースを切り換えた場合は、リピート再生は解除されます。

プレイリストを再生する

HDD USB-HDD BD AVCフォーマット VRフォーマット

1 **プレイリスト** を押す

2 **黄** を押す

- 【プレイリスト】画面に切り換わります。

3 お好みのプレイリストを選び **決定** を押す

追っかけ再生

録画中の番組を最初から見る

HDD USB-HDD

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見ることができます。

1 HDD または USB を押して、録画中のメディアに切り換える

- USB-HDDを複数接続している場合は、**USB**を押すと一覧が表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選び **決定** を押してください。

2 録画リストを押す

3 録画中の番組(録画1、録画2)を選び **決定** を押す

追っかけ再生を一時停止するときは

II を押す

- 再生が一時停止します。(録画は続きます。)

追っかけ再生中にチャプターを分割・結合する

HDD 通常録画用 USB-HDD

追っかけ再生の一時停止中にチャプターを分割・結合することができます。(メニュー → 【設定】 → 【本体設定】 → 【録画設定】 → 【チャプター自動生成】を【切】に設定している場合のみ。)

- 操作ガイドは一時的に表示されます。もう一度表示するには、**画面表示** を押してください。
- **再分割** を押すと、一時停止位置でチャプターを分割します。
- 操作についてくわしくは「チャプターを分割・結合する」**82** をご覧ください。

追っかけ再生をやめるときは

■ を押す

- 再生が停止します。(録画は続きます。)

録画も停止させるときは

追っかけ再生を停止して、【録画リスト】画面が表示されたら **録画リスト** を押して放送画面に戻ってから、**■** を押す

- 確認画面が表示されますので、【はい】を選び **決定** を押してください。



- 再生が録画に追いつくと、早送りや次への頭出しができなくなります。(録画は続きます。)
- 再生中にメディア(HDD、DISC、USB)を切り換えると、再生が停止します。

再生するときに便利な機能

音声(言語)、字幕(言語)、カメラアングル(映像)を切り換える

音声(言語)を切り換える

再生中の番組に複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

- 写真の再生は、音声を切り換えることができません。

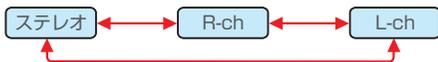
1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【音声】** を選び **決定** を押す

2 お好みの音声を選ぶ

BD-Video 以外の場合

▲・▼・◀・▶ で音声を切り換えてください。

- 選択している音声ステレオで、右側に選択項目が表示される場合は、▲・▼ で切り換えてください。



- 選択している音声二カ国語で、右側に選択項目が表示される場合は、▲・▼ で切り換えてください。



BD-Video の場合

1 **【プライマリ】**か**【セカンダリ】**を選び **決定** を押す

2 ▲・▼ で音声を切り換える

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。



- **【音声設定】**の**【BD-HD音声設定】**を**【HD音声】**に設定して、BD-Videoを再生すると、セカンダリ音声は出力されません。

字幕(言語)を切り換える

再生中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入/切を選んだりすることができます。

- 音楽用CDの再生や写真の再生は、字幕を切り換えることができません。

1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【字幕】** を選び **決定** を押す

2 お好みの字幕を選び **決定** を押す

- ◀▶ で最後に選んだ字幕設定を入/切できます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

BD-Videoの字幕などを切り換える

- BD-Videoの場合は、プライマリ映像用の字幕、セカンダリ映像用の字幕、また、字幕のスタイルを、それぞれ設定できます。

1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【字幕】** を選び **決定** を押す

2 **【プライマリ】**、**【セカンダリ】**または**【スタイル】**を選んだあとに、**決定** で字幕へ移動し、▲・▼で設定を切り換え、**決定** を押す

- ◀▶ で最後に選んだ設定を入/切できます。



- 以下の場合、音声や字幕を切り換えることはできません。

- 早戻し/早送り
- 早見早聞/ゆっくり再生
- 一時停止
- 逆スロー/スロー再生

カメラアングル(映像)を切り換える

HDD USB-HDD BD BD-Video DVD-Video

AVCフォーマット

再生中の番組に複数のカメラアングル(映像)が記録または収録されているときは、お好みの映像を選ぶことができます。

1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【アングル】** を選び **決定** を押す

2 お好みのカメラアングル(映像)を選び **決定** を押す

- 押すたびに、カメラアングル(映像)が切り換わります。

お知らせ

- カメラアングル(映像)が選べる場面では、画面に **【アングル】** が表示されます。(**【アングル】** を表示しないようにすることもできます。くわしくは **【アングルアイコン】** **172** をご覧ください。)
- BD-Video/DVD-Videoの場合は、音声/字幕/カメラアングル(映像)の内容はディスクによって異なりますので、ディスクに付属の取扱説明書もお読みください。

ノイズリダクション 再生映像のノイズを低減する

1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【ノイズリダクション】** を選び **決定** を押す

2 お好みの設定を選び **決定** を押す

お知らせ

- 映像を1080p24の画質で出力している場合は無効になります。

XDE 再生映像の画質を鮮明な画質に補正する

映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。

1 再生中に **サブメニュー** を押して、**【XDE】** を選び **決定** を押す

2 お好みの設定を選び **決定** を押す

お知らせ

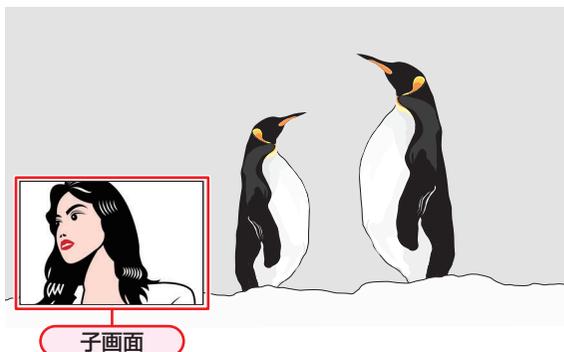
- 再生映像をアップコンバートするときのみ効果があります。

BD-Videoの子画面を切り換える

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応のみ)

子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BD-Videoに付属の取扱説明書をお読みください。



1 BD-Videoの再生中に **サブメニュー** を押して、**【セカンダリビデオ】** を選び **決定** を押す

- 子画面の設定は、親画面/子画面の同時再生中にだけ設定できます。

2 お好みの設定を選び **決定** を押す

お知らせ

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

再生するときに便利な機能・つづき

BD-Videoのバーチャル・パッケージ
を利用する

(バーチャル・パッケージ対応のみ)

バーチャル・パッケージに対応しているBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして、再生しながらいろいろな機能を楽しむことができます。

本機では、USBメモリをローカルストレージとして使用します。

» 準備

- USBメモリを接続しておく [37](#)

- 他のデータが入ったUSBメモリや、他機でフォーマットされたUSBメモリを使うと、BD-Videoが正しく再生されないことがあります。
その場合は、本機でUSBメモリを初期化してください。
[182](#)
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機からUSBメモリを抜くと、BD-Videoの再生が停止します。
- BD-Videoの再生中に、映像や音声の再生が停止することがあります。
- USBメモリに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、[設定](#) → [【設定】](#) → [【本体設定】](#) → [【その他】](#) → [【初期化】](#) → [【BDビデオデータ消去】](#)の順に選び [【バーチャルパッケージ消去】](#)をおこなってください。
[182](#)

BD-Live™について

本機は、BD-Live™機能付きのBD-Video(BD-ROM Profile 2.0)に対応しています。

本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、さまざまな機能を楽しむことができます。

- BD-Live™で利用できるさまざまな機能は、ディスクにより異なります。くわしい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定をおこなってください。
接続のしかたについては、「ネットワークを接続設定する」
[138](#)をご覧ください。設定のしかたについては、「ネットワーク接続設定」
[142](#)をご覧ください。
- ディスクによっては、[【BD-Live接続設定】](#) [169](#)を変更する必要があります。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live™対応ディスクの再生中、ブルーレイディスクレコーダーやディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、[【BD-Live接続設定】](#) [169](#)を変更してください。

PINコードを入力する

BD

AVC7フォーマット

他社のブルーレイディスクレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは、本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されますので、設定されたPINコードを入力してください。(本機では、PINコードの設定や変更はできません。)

1

1

~

10

0

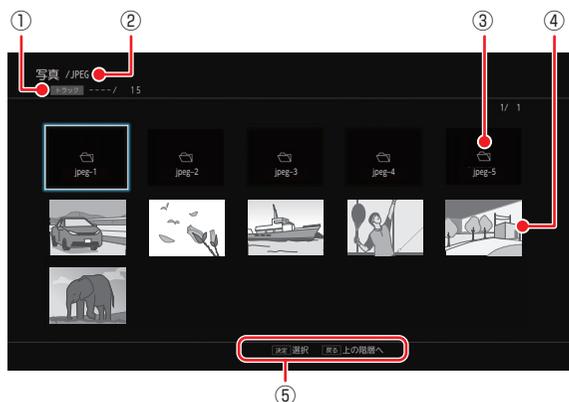
でPINコードを入力する



- PINコードとは、ディスクの視聴を制限するための4桁のパスワードです。

写真を再生する(スライドショー)

JPEG用【録画リスト】画面の見かた



- ① 現在のトラック／総トラック数
- ② 現在の階層
- ③ フォルダ名
- ④ サムネイル
- ⑤ 操作ガイド

JPEGフォーマット

ディスクやSDカード、USB機器に記録されたJPEGファイルを本機で順番に表示(スライドショー)することができます。拡張子に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1 準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。

1 ディスクを入れる、または本機前面のメモリ専用USB端子にUSB機器、USB接続したSDカードを接続する

2 ファイルタイプ選択画面が表示されるので、【写真】または【写真を見る】を選び **決定** を押す

例：ディスクのとき



- 【録画リスト】画面が表示されます。
- ディスクの場合は、JPEGファイルしか入っていない場合は、ファイルタイプ選択画面は表示されません。(自動的に【録画リスト】画面が表示されます。)

ファイルタイプ選択画面が表示されないときは

- ① **カメラ** を押す
- ② 【録画リスト】を選び **決定** を押す
- ③ 【ディスク】または【USB(前面)】を選び **決定** を押す

3 見たい写真を選び **決定** を押す

- 選んだ写真と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。
- 再生中に **画面表示** を2回押すと、ファイル名を表示できます。
- 再生のスピードは、**カメラ** → 【設定】 → 【本体設定】 → 【再生設定】 → 【JPEGスライドショー】で設定できます。 **172**

フォルダー内を見たいときは

見たいフォルダーを選び **決定** を押す

別のページを表示するときは

前 (前ページ)、**次** (次ページ) を押す

再生中の写真を回転させたいときは

再生中に、**90度** で画像を90°ずつ回転する
(回転させた情報は記憶されません。)

再生を一時停止するときは

停止 を押す
(**再生** または **停止** を押すと、再生に戻ります。)

再生を停止するときは

- **停止** を押す
- ディスクの場合は、レジュームポイントを記憶して、再生が停止します。
(レジュームポイントについては、**83** をご覧ください。)
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して【録画リスト】画面に戻ります。



- ブルーレイディスクにJPEGファイルと録画した番組の両方が入っている場合は、写真を再生できません。
(録画した番組は、再生できます。)

再生についての補足説明

再生全般

- 2層や3層/4層のディスクは、ディスクの層が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマとびして再生されないことがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますので、ご注意ください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングル(映像)の切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。
- ファイナライズ中や初期化中は、再生できません。
- Cinavia™
Cinaviaの通告
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。
この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2019 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバーズ・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

【録画リスト】画面

- ファイナライズされたDVD-RW/DVD-R(Video)は【録画リスト】画面を表示できません。ディスクメニューから再生してください。
- リピート再生中に【録画リスト】画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- 他の機器で作成したディスクから本機のHDDにダビングする場合は、ディスクに番組情報(チャンネル名、録画モードなど)が記録されていなければ、【録画リスト】画面での番組情報表示箇所は空白になります。

つづき再生(レジューム停止)

つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

音声/字幕/カメラアングル(映像)の切り換え

音声/字幕

- ビデオソフトによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、設定が【本体設定】→【再生設定】→【音声言語設定】の設定に戻ります。(ビデオソフトによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- 早送り/早戻し再生中の字幕表示はできません。

カメラアングル(映像)

- 変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは、設定が「1」に戻ります。

JPEG用【録画リスト】画面

- 1つあたりのファイルの再生時間(表示間隔)は5秒です。10秒に変更することもできます。くわしくは【JPEGスライドショー】172頁をご覧ください。
- JPEG用の【録画リスト】画面には、JPEGファイルだけが表示されます。
- 写真の再生中に再生できないファイルがあった場合は、を表示して次のトラックにスキップします。
- 写真の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- 写真の再生中に予約録画開始2分前になると、写真の再生は自動的に停止します。
- 以下の場合は、写真の再生はできません。
 - 通常録画中
 - ダビング中
 - ネットdeレック中

削除する

本章では、番組やプレイリストの削除について説明しています。

番組を削除する

- 1  を押し
削除したい番組を選ぶ
 - 2 
押す
 - 3 
押す
- くわしくは..... 100

番組を削除する

- 削除された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。
- HDDやUSB-HDDの場合は、フォルダーの中に番組やプレイリストが入っています。

HDD USB-HDD

番組やプレイリストを削除する

録画リストから、フォルダー内にある不要な番組やプレイリストを削除できます。

1 録画リストを押す

- スマホ持ち出し番組を削除する場合は **スマホメニュー** を押してから【録画リスト】→【スマホ持ち出し番組】を選び **決定** を押してください。
- DVD持ち出し(VR)番組を削除する場合は **VRメニュー** を押してから【録画リスト】→【DVD持ち出し(VR)番組】を選び **決定** を押してください。

2 番組を選び **決定** を押す

- **サブメニュー** を押して、【番組の削除】を選んで表示することもできます。

3 番組を選び **決定** を押して、削除したい番組をすべて選び終わったら、▶で【削除実行】を選び **決定** を押す

- **緑** を押すと、フォルダー内にあるすべての番組またはプレイリストを選ぶことができます。(他のフォルダーの番組やプレイリストは含まれません。)
- **黄** を押すと、すべての番組またはプレイリストの選択を解除できます。

自作フォルダー以外から削除するときは

確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押す

自作フォルダーから削除するときは

削除方法を選び **決定** を押す

- 【このフォルダーから番組を削除】を選ぶと、選んでいるフォルダー内の番組またはプレイリストだけ削除します。
- 【すべてのフォルダーから番組を削除】を選ぶと、別のフォルダー(【すべて】フォルダーを含む)内に入っている番組またはプレイリストもまとめて削除します。
- 削除が終わったら、**終了** を押してください。

ご注意

- ダビング中は、番組を削除できません。
- 保護された番組と録画中の番組は削除できません。
- プレイリストに含まれる番組を削除すると、プレイリストから削除されます。
- プレイリストを削除してもプレイリストに含まれる番組は削除されません。

お知らせ

- 自作フォルダー以外(【すべて】フォルダーなどの)番組やプレイリストを削除すると別のフォルダー内に入っている番組やプレイリストもまとめて削除します。

【すべて】フォルダーの番組を削除すると



他のフォルダーの番組も削除されます

- 自作フォルダー以外のフォルダー内にある番組を削除すると、残量時間が増えます。(プレイリストを削除しても、残量時間は増えません。)

フォルダー内の全番組を削除する

録画リストから、フォルダー内にあるすべての番組を削除できます。

1 を押す

2 自作フォルダーを選び を押す

- を押して【フォルダー編集】→【フォルダー削除】を選んで表示することもできます。

3 【フォルダー内番組全削除】を選び を押す

4 【このフォルダーから番組を削除】または【すべてのフォルダーから番組を削除】を選び を押す

- 【このフォルダーから番組を削除】を選ぶと、選んでいるフォルダー内の番組またはプレイリストだけ削除します。別のフォルダーの同じ番組またはプレイリストは削除されません。【すべて】、【未分類】または【ジャンル】フォルダーの番組は削除できません。
- 【すべてのフォルダーから番組を削除】を選ぶと、保護されている番組とスマホ持ち出し番組、DVD持ち出し(VR)番組をのぞき、別のフォルダー(【すべて】フォルダーを含む)内に入っている番組またはプレイリストもまとめて削除します。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び を押してください。
- 削除が終わったら、を押してください。

お知らせ

- 自作フォルダー以外では、フォルダー内番組全削除はできません。

番組を削除する・つづき

ディスクの番組を削除する

BD

AVCフォーマット

VRフォーマット

録画した番組を削除することができます。

1

録画リストを押す

2

□を押す

- ・ **サブメニュー** を押して、【番組の削除】を選んで表示することもできます。

3

削除したい番組を選び **決定** を押す

- ・ 選んだ番組を解除したいときは、番組を選んだ状態で **決定** を押してください。
- ・ **緑** を押すと、すべての番組を選びます。
- ・ **黄** を押すと、すべての番組を解除します。
- ・ 手順 **3** を繰り返しおこない、削除したい番組をすべて選んでください。

4

番組を選び終わったら、▶を押して、【削除実行】を選び **決定** を押す

- ・ 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押してください。選んだ番組が一括削除されます。
- ・ 削除が終わったら、**終了** を押してください。

ご注意

- ダビング中は、番組を削除できません。
- 保護された番組と録画中の番組は削除できません。
- プレイリストに含まれる番組を削除すると、プレイリストから削除されます。

お知らせ

- 番組を削除するとメディアによっては、残量時間が増えます。

メディア	残量時間
BD-RE	増えます
DVD-RW(VR)	
BD-R	増えません
DVD-RW(AVC)*	
DVD-R(AVC)	
DVD-R(VR)	

* DVD-RW(AVC)の場合は、初期化(フォーマット)すると残量時間を増やすことができます。**186** (ただし、初期化をおこなって消去された記録内容は、元に戻せません。記録内容をよく確認してから初期化してください。)

編集する

本章では、チャプターやプレイリストなどの編集機能について説明しています。

編集の前に.....	104
チャプターを編集する.....	105
番組を分割・結合する.....	107

気に入った場面だけを集める(プレイリスト作成)

1 録画リスト 番組を 選び サブメニュー 押す	2 【プレイリスト作成】 を選び 決定 押す	3 【おまかせプレイ リスト作成】 を選び 決定 押す
--	---	---

くわしくは.....108

番組名を変更する・番組を保護する.....	110
-----------------------	-----

番組をフォルダーで管理する

1 録画リスト 押す	2 サブメニュー 押す	3 【フォルダー作成】 を選び 決定 押す
-------------------------	--------------------------	--

くわしくは.....111

文字入力のしかた.....	114
---------------	-----

録画モード変換／スマホ持ち出し変換／DVD持ち出し(VR)変換をおこなう...	116
---	-----

本機でできる編集について

できること(メニュー項目)	HDD	通常録画用 USB-HDD	SeeQVault対応 USB-HDD	BD	AVCフォーマット	VRフォーマット	Videoフォーマット
フォルダー作成・フォルダー名変更・ フォルダー削除・フォルダー表示順変更	○	○	○	×	×	×	×
保存フォルダー変更	○	○	○	×	×	×	×
番組名変更	○	○	○	○	○	○	×
編集 /管理 チャプター分割・チャプター結合・全チャプター結合	○	○	○	○	○	○	×
チャプター削除	○	○	×	×	×	×	×
番組分割／結合	○ ^{*1}	○ ^{*1}	×	×	×	×	×
番組保護／保護解除	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○	○	○	○	×
プレイリスト作成	○	○	×	×	×	×	×
チャプター名変更	○	○	○	×	×	×	×
HDD /ディスクの 管理 番組全消去	○	○	○	×	×	×	×
番組全消去(保護番組以外)	○	○	○	×	×	×	×
初期化	×	×	○	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
ファイナライズ	×	×	×	○ (Rのみ)	○	○ ^{*4}	○ ^{*5}
ディスク名変更	×	×	×	○	○	○	○ ^{*6}
ディスク保護／保護解除	×	×	×	○	○	○	×
USB-HDD名変更	×	○	○	×	×	×	×
番組の削除	○	○	○	○	○	○	×

○：できる　×：できない

*1 本機で録画した番組を分割・結合できます。(プレイリストは分割・結合できません。)

*2 録画モード変換予定の番組やスマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組は、番組を保護できません。バックアップ予定の番組は、番組を保護できません(HDDのみ)。

*3 BD-RやDVD-Rは、ディスクを入れて初期化をしていないときのみ初期化できます。

*4 DVD-RW(VR)のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除できます。

*5 ダビング後に、自動的にファイナライズされます。

*6 ダビング時にディスク名を変更できます。



- 以下の場合、上記の編集はできません。
 - ・ディスクが保護されている場合
 - ・ダビング中
- 録画中に【HDD／ディスクの管理】のすべての項目と【編集／管理】の「番組分割／番組結合」はできません。録画中以外の番組の「番組名変更」、「チャプター編集」、「番組保護／保護解除」は編集可能です。

チャプターを編集する

HDD USB-HDD BD AVCフォーマット VRフォーマット

チャプターを分割する

番組をチャプターで分割することができます。

- 1 **録画リスト** を押す
- 2 番組を選び **サブメニュー** を押す
- 3 **【編集/管理】** → **【番組編集】** → **【チャプター編集】** を選び **決定** を押す
- 4 チャプターを分割したいところまで再生し、**II** を押す
- 5 **【チャプター分割】** を選び **決定** を押す
 - チャプターが分割されます。
 - 続けてチャプターを分割するときは、手順4～5を繰り返してください。
 - 編集が終わったら、**終了** を押してください。

チャプターを削除する

HDDと通常録画用USB-HDDの場合は、チャプターを削除できます。

- 1 「チャプターを分割する」の手順4で**【チャプター削除】**を選び**決定**を押す
- 2 削除したいチャプターまで再生し、**II**を押す
- 3 **決定**を押す
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び**決定**を押してください。チャプターが削除されます。
 - 編集が終わったら、**終了**を押してください。

ご注意

- 分割できるチャプター数が最大数をこえる場合は、チャプター分割できません。分割できるチャプター数については、**226**をご覧ください。
- チャプター間が短すぎる場合は、チャプター削除できないことがあります。
- 番組の先頭または終端のチャプターは、長さに関係なくチャプター削除できます。
- チャプターが1つだけの番組は、チャプターを結合したり削除したりすることはできません。

お知らせ

- チャプター編集画面で**▶▶**（一時停止中の場合は**II**）を押すと、次のチャプターへスキップできます。（番組の終わりへスキップすると一時停止になります。）
- HDDやUSB-HDDの場合は、チャプターを編集すると、編集した番組が含まれる別のフォルダーの番組も同じようにチャプターが編集されます。
- HDDと通常録画用USB-HDDの場合は、チャプターを削除すると、削除したチャプターを含むプレイリストのチャプターも削除されます。プレイリストのチャプターを削除しても元の番組のチャプターは削除されません。

チャプターを結合する

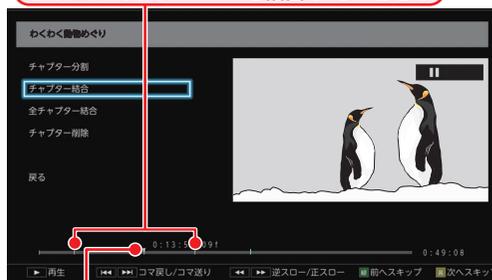
すべてのチャプターを結合する

- 1 「チャプターを分割する」の手順4で**【全チャプター結合】**を選ぶ
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び**決定**を押してください。
 - すべてのチャプターが結合され、チャプター境界がなくなります。

前後のチャプターを結合する

- 1 「チャプターを分割する」の手順4で**II**を押して、**緑**・**黄**でチャプターの境界に位置を合わせる

この2つのチャプターを結合したいときは



ここに▽を合わせる

- 2 **【チャプター結合】**を選び**決定**を押す
 - チャプターが結合されます。
 - 編集が終わったら、**終了**を押してください。

お知らせ

- 再生中に一時停止でチャプター分割・結合することもできます。くわしくは「チャプターを分割・結合する」**82**をご覧ください。

チャプターを編集する・つづき

チャプター表示からチャプターを編集する

HDD USB-HDD

チャプター表示に切り換えるとチャプターの名前を変更できます。(チャプター結合、削除もできます。)

チャプターの名前を変更する

- 1 を押す
- 2 番組を選び を押す
- 3 名前を変更したいチャプターを選び を押す
- 4 【チャプター名変更】を選び を押す
- 5 チャプター名を入力して、 を押す



- 編集が終わったら、 を押してください。

チャプターを結合する

- 1 を押す
 - 2 番組を選び を押す
 - 3 結合したいチャプターを選び を押す
 - 4 【前のチャプターと結合】または【全チャプター結合】を選び を押す
- 前のチャプターと結合： 選んでいるチャプターを前のチャプターと結合します。
- 全チャプター結合： すべてのチャプターを結合します。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び を押してください。
 - チャプターが結合されます。
 - 編集が終わったら、 を押してください。

チャプターを削除する

- 1 を押す
- 2 番組を選び を押す
- 3 を押す
 - を押して【チャプター削除】を選び を押して表示することもできます。
 - SeeQVault対応USB-HDDの場合は、【チャプター削除】が選べません。
- 4 削除したいチャプターを選び を押す
 - すべての不要なチャプターを選ぶまでこの手順を繰り返してください。
 - 選んだチャプターを解除したい場合は、チャプターを選んだ状態で を押してください。
- 5 すべての不要なチャプターを選んだら、 を押し【削除実行】を選び を押す
 - 確認画面が表示されるので、【はい】を選び を押してください。
 - 選んだチャプターが一括削除されます。
 - 編集が終わったら、 を押してください。

番組を分割・結合する

HDD

通常録画用
USB-HDD

1つの番組を2つに分けたり、2つの番組を1つにまとめたりすることができます。

番組を分割する

1つの番組を2つに分けることができます。

1 を押す

2 番組を選び を押す

3 **【編集/管理】** → **【番組編集】** → **【番組分割】**
を選び を押す

4 番組を分割したいところまで再生し、
を押す

- 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び を押してください。
- 編集が終わったら、を押してください。

ご注意

- 以下の番組は分割できません。
 - 録画モード変換待ちの番組
 - スマホ持ち出し番組への変換待ちの番組
 - DVD持ち出し(VR)変換待ちの番組
 - 番組保護された番組
 - 自動バックアップ予定の番組
- 以下の場合は、番組は分割できません。
 - 録画中
 - 分割する箇所が番組開始位置や終了位置に近い(1秒以内)場合
 - 最大番組数をこえる場合
 - メディアの空き容量が少ない場合
- 結合した番組の場合は、結合箇所では分割できません。

お知らせ

- 番組に「自動削除」が設定されている場合は、「自動削除」は解除されます。(分割した前半部分の番組のみ)
- プレイリストに含まれる番組を分割すると、分割した番組はプレイリストから削除されます。
- 【番組分割】**すると、分割した番組が含まれる別のフォルダーの番組も分割されます。

番組を結合する

2つの番組を1つにまとめることができます。

1 を押す

2 元となる番組を選び を押す

3 **【編集/管理】** → **【番組編集】** → **【番組結合】**
を選び を押す

4 結合したい番組を選び を押す

- 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び を押してください。
- 編集が終わったら、を押してください。

ご注意

- コピー制限の異なる番組を結合するとコピー回数
が少ない番組情報が優先されます。
(例えば、コピーが残り4回可能なダビング10
番組とコピーワンス(1回だけ録画可能)番組を
結合すると、コピーワンス番組になります。)
- 以下の番組は結合できません。
 - 録画モード変換待ちの番組
 - スマホ持ち出し番組への変換待ちの番組
 - DVD持ち出し(VR)変換待ちの番組
 - 番組保護された番組
 - 自動バックアップ予定の番組
 - 画質(DR/AVC/標準/SKP)が異なる番組
 - AVCHD方式で取り込んだ(ダビングした)
1080/60pの番組
 - 3D番組(AVCHD 2.0)と2D番組
- 以下の場合は、番組を結合できません。
 - 録画中
 - 番組が1つしかない場合
 - 番組保護された番組
 - 番組結合後の総再生時間が15時間をこえる場合
 - 番組結合後の総チャプター数が999をこえる場合
- 他の機器からダビングした番組は結合できない
場合があります。

お知らせ

- 結合したあとの番組情報は手順 **2** で選んだ番組
情報が基準になります。
- 番組に「自動削除」が設定されている場合は、
「自動削除」は解除されます。(後から選んだ番組
のみ)
- 【番組結合】**すると結合される番組(後から選んだ
番組)はすべてのフォルダーから削除されます。

気に入った場面だけを集める(プレイリスト作成)

HDD

通常録画用
USB-HDD

録画した番組やチャプターのお好みの場面だけをリストにしてまとめることができます。

プレイリストにまとめることによって、少しの録画容量で、録画した番組やチャプターを編集することなく、番組の場面や順序など、お好みの状態で再生できます。

録画した番組やチャプターは元のままなので、同じ番組やチャプターから何度でもプレイリストを作成することができます。作成したプレイリストに対してチャプターの編集やプレイリスト名の変更ができます。

- 作成したプレイリストを見るには、【録画リスト】画面の表示中に **録** を押してください。 **84**
- プレイリストは、作成したフォルダー内のみで作成されます。(同じ番組を含む別のフォルダーには作成されません。)
- プレイリストでおこなったチャプターの編集は、元の番組やチャプターには影響しません。チャプターを編集するには、**105** をご覧ください。
- プレイリスト名を変更するには **110** をご覧ください。
- HDDや通常録画用USB-HDDのプレイリストを削除するには、**100** をご覧ください。
- プレイリストの作成や削除をおこなっても、録画した番組はそのまま残ります。また、残量はほとんど変わりません。

おまかせプレイリスト作成 プレイリストを自動で作る

本編以外の部分をのぞいたプレイリストを自動で作成できます。

- **メニュー** → 【設定】 → 【本体設定】 → 【録画設定】 → 【チャプター自動生成】を【マジックチャプター】に設定して録画された番組のみ、【おまかせプレイリスト作成】でプレイリストを自動で作成できます。
- 【マジックチャプター】については、**172** をご覧ください。

1 **録画リスト** を押す

2 番組を選び **サブメニュー** を押す

3 【プレイリスト作成】 → 【おまかせプレイリスト作成】を選び **決定** を押す

- プレイリストが作成されたあと、自動的に【プレイリスト】画面に切り換わります。

ご注意

- 以下の場合、【プレイリスト作成】を選ぶことができません。
 - HDD、通常録画用USB-HDDの残量時間が足りない
 - 変換予定の番組
 - スマホ持ち出し用変換予定の番組
 - DVD持ち出し(VR)変換予定の番組
 - 録画中の番組
 - ダビング中

偶数または奇数番号のチャプターで プレイリストを作る

必要なチャプターと不要なチャプターが、交互に並んでいる番組からプレイリストを作成するときに便利です。

- 1 「プレイリストを自動で作る」の手順 **3** で【偶数チャプタープレイリスト作成】または【奇数チャプタープレイリスト作成】を選び **決定** を押す

偶数チャプタープレイリスト作成

偶数のチャプターだけを取り出したプレイリストを作成します。

奇数チャプタープレイリスト作成

奇数のチャプターだけを取り出したプレイリストを作成します。

- プレイリストが作成されたあと、自動的に【プレイリスト】画面に切り換わります。

お好みのプレイリストを作る

【プレイリスト編集】画面の見かた



お好みの番組やチャプターを選びプレイリストを作成できます。

- ① 「プレイリストを自動で作る」の手順 3 で【**手動選択(プレイリスト編集画面)**】を選び **[決定]** を押す
 - ・【プレイリスト編集】画面が表示されます。
- ② 番組(またはチャプター/プレイリスト)を選び **[決定]** を押す
 - ・ **[<<]** / **[>>]** を押すと、ページが切り換わります。
 - ・ **[緑]** を押すと、番組表示とチャプター表示が切り換わります。
 - ・ **[黄]** を押すと、番組表示とプレイリスト表示が切り換わります。
 - ・ **[決定]** を押すと、選んだ番組(またはチャプター/プレイリスト)が下部に表示されます。

他の番組やチャプターを続けて選ぶときは

この手順を繰り返す

番組やチャプターの選択を解除したいときは

画面下部で解除したい番組を選び **[決定]** を押し、【**選択をやめる**】を選び **[決定]** を押す

- ・ サブメニュー画面から同様の操作をおこなうこともできます。
- ・ 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **[決定]** を押ししてください。

- ③ すべての番組(またはチャプター)を選び終わったら、【**完了**】を選び **[決定]** を押す

プレイリストから番組やチャプターをすべてキャンセルする

- ① 【**全キャンセル**】を選び **[決定]** を押す
 - ・ 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **[決定]** を押ししてください。

- ① 登録されたすべての番組やチャプターを、左から順にプレイリストにまとめます。
- ② プレイリストとしてまとめた①のすべての番組やチャプターをキャンセルします。
- ③ プレイリストを作成した上で、【**かんたんダビング**】します。くわしくは **120** の手順 4 をご参照ください。
- ④ 操作ガイド

プレイリスト内の番組やチャプターの順番を変更する

- ① 画面下部で順番を変更したい番組を選び **[決定]** を押し、【**順番変更**】を選び **[決定]** を押す
- ② 変更したい位置へ移動し、**[決定]** を押す

ディスク残量の表示を切り換える

- ① **[サブメニュー]** を押す
- ② 【**残量計算対象ディスク選択**】を選び **[決定]** を押す
- ③ お好みの表示させたいディスク容量を選び **[決定]** を押す



- プレイリスト数が2000をこえる場合は、プレイリストを作成できません。
- 以下の場合、同じプレイリストにまとめることはできません。
 - ・ 各番組やチャプターの画質(DR/AVC/標準/SKP)が異なる場合
 - ・ 1080/60pで記録された映像や3Dで記録された映像が他の画質と混ざっている場合
 - ・ 番組やチャプター数が99個をこえる場合
 - ・ 再生時間の合計が15時間をこえる場合
- 録画モード変換予定の番組、スマホ持ち出し用変換予定の番組およびDVD持ち出し(VR)変換予定の番組は、プレイリストに追加できません。
- 他の機器からダビングした番組は、プレイリストに追加できない場合があります。
- プレイリスト上ではチャプターの追加はできません。
- HDD、通常録画用USB-HDDの残量時間が足りない場合は、【おまかせプレイリスト作成】、【偶数チャプタープレイリスト作成】、【奇数チャプタープレイリスト作成】、【手動選択(プレイリスト編集画面)】を選ぶことができません。

番組名を変更する・番組を保護する

HDD

USB-HDD

BD

AVCフォーマット

VRフォーマット

番組名を変更する

録画した番組の番組名を変更することができます。

- 1  を押す
- 2 番組を選び  を押す
- 3 **【編集/管理】** → **【番組編集】** → **【番組名変更】** を選び  を押す
 - 編集画面が表示されます。
- 4 番組名を入力して、 を押す



- 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び  を押してください。番組名が変更されます。
- 番組名を変更すると、変更した番組が含まれる別のフォルダーの番組名も変更されます。
- 変更が終わったら、 を押してください。

番組を保護する

録画した番組を保護することができます。

- 1  を押す
- 2 番組を選び  を押す
- 3 **【編集/管理】** → **【番組編集】** → **【番組保護】** を選び  を押す
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び  を押してください。番組が保護されます。
 - 保護された番組には、**【録画リスト】** 画面で  が付きます。
 - 変更が終わったら、 を押してください。

番組保護を解除するときは

手順 3 で **【番組保護解除】** を選ぶ

- **【番組保護】** すると、すべてのフォルダーに入っている同じ番組も保護されます。
- 保護された番組は、以下の操作ができません。
 - フォルダー移動
 - 番組の削除
 - 番組名の変更
 - チャプターの分割
 - チャプターの結合
 - チャプターの削除
 - 番組の分割/結合
 - 録画モードの変換
 - ダビング10番組のダビング(移動)
 - コピーワンス(1回だけ録画可能)番組のダビング
- 録画モード変換予定の番組やスマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組、自動バックアップ予定の番組は保護できません。
- プレイリストは保護できません。

番組をフォルダーで管理する

HDD USB-HDD

番組をフォルダーに入れて管理できます。

【すべて】／【未分類】フォルダーについて

録画時やダビング時などで、【フォルダー設定】を【設定しない】にすると、番組は【すべて】フォルダーと【未分類】フォルダーに入ります。

【未分類】フォルダーに入った番組は、他のフォルダーに移動すると【未分類】フォルダーから削除されます。

そのため【未分類】フォルダーは、各フォルダーに入っていない番組の一覧としてお使いいただけます。

【ジャンル別】フォルダーについて

録画時やダビング時、番組の情報に従って、自動的に番組が各ジャンルフォルダーに分類されます。分類されるフォルダーは以下になります。

映画：	映画、劇場／公演のジャンルの番組
ドラマ：	ドラマのジャンルの番組
スポーツ：	スポーツのジャンルの番組
音楽：	音楽のジャンルの番組
バラエティ：	バラエティのジャンルの番組
ニュース：	情報／ワイドショー、ニュース／報道、ドキュメンタリー／教養のジャンルの番組
アニメ：	アニメ／特撮のジャンルの番組

【自動分類】タブについて

録画時やダビング時、番組の情報に従って、自動的に番組が以下の各フォルダーに分類されます。

すべて：	すべての番組
おまかせ自動録画：	【録画リスト】画面で おまかせ が表示されている番組
未視聴：	未視聴の番組
毎回予約別：	毎週や毎日など、周期的に予約録画した番組 ※ HDDと通常録画用USB-HDDのみ表示されます。
ジャンル別：	ジャンル別のフォルダー
撮影ビデオ：	AVCHDの番組

自作フォルダーについて

【フォルダー作成】で作成したフォルダーを本書では自作フォルダーと呼びます。

フォルダーを作る

番組を管理するためのフォルダーを作ることができます。

- 1 **録画リスト** を押す
 - ・ フォルダーの一覧が表示されていない場合は、【フォルダー】タブに切り換えてください。
 - 2 【フォルダー】タブを選び **サブメニュー** を押す
 - 3 【フォルダー編集】→【フォルダー作成】を選び **決定** を押す
 - ・ フォルダーが作成されます。
 - ・ 【フォルダー】タブ内の【新規フォルダー⊕】を選んで同様の操作をすることもできます。
 - ・ 作成が終わったら、**終了** を押してください。
- お知らせ** ● 最大99個まで作成できます。

番組をフォルダーで管理する・つづき

フォルダーの名前を変更する

作成したフォルダーの名前を変更できます。

- 1 を押す
- 2 名前を変更したい自作フォルダーを選び
を押す
- 3 【フォルダー編集】→【フォルダー名変更】
を選び を押す
- 4 名前を変更したいフォルダーを選び
を押す
- 5 フォルダー名を入力して、を押す



- 変更が終わったら、を押してください。
- 自作フォルダー以外の名前は変更できません。
- 録画予約やおまかせ自動録画の録画先に指定しているフォルダーは、予約録画の2分前になるとフォルダー名を変更できません。

お知らせ

番組を他のフォルダーに追加する

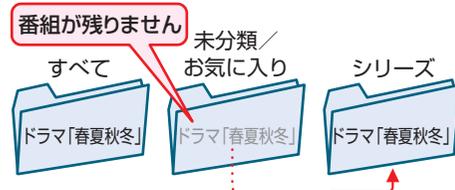
- 1 を押す
- 2 を押す
- 3 【編集/管理】→【保存フォルダー変更】
を選び を押す
 - 変更先のフォルダー一覧が表示されます。
- 4 変更先のフォルダーを選び を押す
- 5 フォルダーを変更したい番組を選び
を押す
- 6 【決定】を選び を押す
 - 追加が終わったら、を押してください。

お知らせ

- 【ジャンル】フォルダーの番組は他のフォルダーに追加できません。
- 【すべて】フォルダーから、作成したフォルダーに番組を追加しても【すべて】フォルダーの番組は削除されません。



- 【未分類】フォルダーや作成したフォルダーから、他の作成したフォルダーに番組を移動すると、元のフォルダーから番組が削除されます。



フォルダーの順番を変更する

- 1 を押す
- 2 順番を変更したい自作フォルダーを選択し、を押す
- 3 【フォルダー編集】⇒【フォルダー表示順変更】を選び を押す
- 4 ▲・▼で順番を変更するフォルダーを選び を押す
- 5 変更先を選び を押す
 - ・フォルダーの順番が変更されます。
 - ・変更が終わったら、を押してください。

お知らせ

- 自作フォルダー以外の順番は変更できません。

フォルダーに入っている番組について

番組を編集すると

編集した番組を含むフォルダーすべてに同じ編集が反映されます。反映される編集は以下になります。

- ・【チャプター編集】
- ・【番組分割】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)
- ・【番組結合】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)
- ・【番組名変更】
- ・【番組保護】
- ・【録画モード変換】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)
- ・【持ち出し用変換】(HDDと通常録画用USB-HDDのみ)

お知らせ

- 【番組結合】すると、結合される番組(後から選んだ番組)はすべてのフォルダーから削除されます。
- 【番組分割】すると、分割した番組が含まれる別のフォルダーの番組も分割されます。

プレイリストを作成すると

プレイリストを作成する番組が含まれているフォルダーにプレイリストが作成されます。

HDDやUSB-HDDの番組を全消去すると

を押してから、【HDD/ディスクの管理】⇒【HDDメニュー】または【HDD/ディスクの管理】⇒【USB-HDDメニュー】⇒【通常録画用】 / 【引越・バックアップ用】で【番組全消去】すると、すべての番組と自作フォルダーが削除されます。

【番組全消去(保護番組以外)】すると、保護されていない番組が削除されます。ただし、保護されている番組と保護されている番組を含む自作フォルダーは削除されません。186頁

フォルダーを解体する

作成したフォルダーを解体できます。

- 1 を押す
- 2 自作フォルダーを選び を押す
 - ・ を押して【フォルダー編集】⇒【フォルダー削除】を選んで表示することもできます。
- 3 【フォルダー解体】を選び を押す
 - ・ 確認画面が表示されるので、【はい】を選び を押してください。
 - ・ 解体が終わったら、を押してください。

お知らせ

- 自作フォルダー以外は解体できません。

漢字に変換するときは

(例) リモコンの数字ボタンで「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

- ① **2** を1回押す

か

- ② **8** を3回押す

かよ

- ③ **1** を3回押す

かよう

- ④ **↵**・**↵**を押して、漢字に変換する

火曜

(例) **▲**・**▼**・**◀**・**▶**と**●**で「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

- ① **▲**・**▼**・**◀**・**▶**で**[2 か]**を選び**●**を1回押す

か

- ② **▲**・**▼**・**◀**・**▶**で**[8 や]**を選び**●**を3回押す

かよ

- ③ **▲**・**▼**・**◀**・**▶**で**[1 あ]**を選び**●**を3回押す

かよう

- ④ **↵**・**↵**を押して、漢字に変換する

火曜

- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返してください。
- **緑**を押すと、漢字の変換が確定します。

次の文字が同じボタン上にあるときは

≫を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力続けてください。

- 数字の場合(同じ番号を続けて入力する場合は)、この操作は不要です。



- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 全角文字／半角カナで最大40文字(半角は最大80文字)まで入力できます。
- 未確定文字は最大9文字まで入力できます。
- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。

録画モード変換／スマホ持ち出し変換／DVD持ち出し(VR)変換をおこなう

HDD

通常録画用
USB-HDD

録画モード【DR】で録画した番組の画質を録画モード【AVC】に変換できます。録画モード【AVC】で録画した番組は、より低画質の録画モードに変換できます。録画モードを変換すると画質が下がりますが、HDDなどの空き容量を増やすことができます。また、スマホで持ち出すための番組やVRフォーマットのDVDへ高速ダビングするための番組にも変換できます。

- 録画モードについてくわしくは **58** をご覧ください。

1 **録画リスト** を押す2 番組をハイライト中に **サブメニュー** を押す3 【録画モード変換】または【持ち出し用変換】を選び **決定** を押す4 【録画モード変換】を選んだ場合はお好みの録画モードを、【持ち出し用変換】を選んだ場合は【スマホ持ち出し変換】または【DVD持ち出し(VR)変換】を選び **決定** を押す5 ▲▼で番組を選び **決定** を押して、変換したい番組をすべて選び終わったら、▶で【登録】を選び **決定** を押す

- すでにスマホ持ち出し番組に変換済みの場合は、**決定** を押して番組を選んだ際、変換済みの持ち出し番組を削除して良いかの確認画面が表示されますので、再作成する場合は【はい】を選び **決定** を押してください。

6 【電源オフ中に変換する】を選び **決定** を押す

変換する録画モードが表示されます。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。
- 電源「切」時に設定した内容で変換されます。(変換中は、電源ランプが点灯(橙)します。)
- 変換には、番組の再生時間と同じ時間がかかります。

変換を解除するには

- 1 **録画リスト** を押す
- 2 番組をハイライト中に **サブメニュー** を押す
- 3 【録画モード変換】または【持ち出し用変換】を選び **決定** を押す
- 4 【変換予定番組】を選び **決定** を押す
- 5 【変換を取り消す】を選び **決定** を押す
- 6 番組を選び **決定** を押して、解除したい番組をすべて選び終わったら、▶で【実行】を選び **決定** を押す

【すぐに変換する】には

変換予定の番組をすぐに変換するには、以下の操作をおこなってください。

- 1 **録画リスト** を押す
- 2 番組をハイライト中に **サブメニュー** を押す
- 3 【録画モード変換】または【持ち出し用変換】を選び **決定** を押す
- 4 【変換予定番組】を選び **決定** を押す
- 5 【すぐに変換する】を選び **決定** を押す
- 6 番組を選び **決定** を押して、すぐに変換したい番組をすべて選び終わったら、▶で【実行】を選び **決定** を押す
 - 確認画面が表示されるので、【変換開始】を選び **決定** を押してください。
 - 最大36個まで選ぶことができます。

録画モードの変換が完了しているか確認するには

【録画リスト】画面で番組を選び「○○→○変換予定」がお好みの録画モードに変更されていれば、録画モード変換は完了しています。

スマホまたはDVD持ち出しの変換が完了しているか確認するには

【録画リスト】画面で番組を選び が表示されていれば、変換は完了しています。

ご注意

- HDDの空き容量が少ないと、変換できないことがあります。HDDの空き容量が少ないときは不要な番組を削除するなどして容量を増やしてください。**100**
- 以下の番組は変換できません。
 - 保護された番組
 - 録画中の番組
 - プレイリストに使用している部分を含む番組
 - 録画モードが標準画質または録画モード不明の番組
- 【すぐに変換する】以外で変換中に電源を「入」にすると変換が中止されます。もう一度電源を「切」にすると変換が始まります。
- 以下の場合は、変換されません。
 - 予約録画の開始時刻4分前から、録画終了時まで
 - ダビング中
- 以下の場合は、【すぐに変換する】以外で本機の電源を「切」にしても変換されません。
 - 【瞬速起動】の設定時間中
 - デジタル放送電波からソフトウェアのダウンロードを開始する5分前
- 録画モードを変換すると、変換する前と比べて画質が悪くなります。

ダビングする

本章では、便利なダビング機能について説明しています。

目的別ダビングガイド..... 118

番組を1つだけダビングする (かんたんダビング・おまかせダビング)

1 録画リスト を押す	2 サブメニュー を押して 【ダビング】を選び 決定 を押す	3 【かんたんダビング】 または 【おまかせダビング】 を選び 決定 を押す	4 ダビング先 を選び 決定 を押す
--------------------------	--	---	---------------------------------------

くわしくは..... 120

複数の番組をまとめてダビングする

1 スタートメニュー 【ダビング】 を選び 決定 を押す	2 ダビング元と ダビング先を 選び 決定 を押す	3 ダビングする 番組と画質を 選び 決定 を押す	4 【ダビング開始】 を選び 決定 を押す
--	---	---	--

くわしくは..... 121

VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする..... 124

東芝テレビからダビングする(レグザリンク・ダビング)..... 125

本機からネットワーク上の機器にダビングする(ネットdeダビングHD)... 126

AVCHD方式の動画を取り込む(ダビングする)..... 127

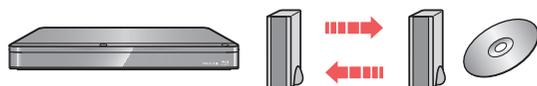
SeeQVault対応USB-HDDを使う..... 128

ダビングについての補足説明..... 129

目的別ダビングガイド

本機とディスク間で番組を1つだけダビングしたい

→ 120



※USB-USB間のダビングはできません。

本機とUSB-HDDやディスク間で複数の番組をダビングしたい

→ 121



※USB-USB間のダビングはできません。

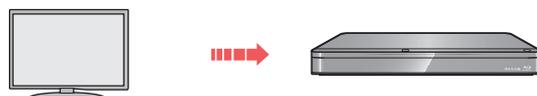
VRフォーマットのDVDへ高速ダビングしたい

→ 124



東芝テレビで録画した番組を本機にダビングしたい

→ 125



本機で録画した番組を東芝レグザサーバー(またはレコーダー)などにダビングしたい

→ 126



AVCHD方式の映像を本機にダビングしたい

→ 127



本機に録画した全番組をSeeQVault対応USB-HDDに引っ越し・バックアップしたい

→ 128



ダビング方向一覧

ダビング元メディア	ダビング先メディア
HDD	USB-HDD BD AVC7フォーマット VR7フォーマット Video7フォーマット LAN、スマホ持ち出し用変換
BD AVC7フォーマット VR7フォーマット	HDD <small>通常録画用 USB-HDD</small>
<small>通常録画用</small> USB-HDD	HDD BD AVC7フォーマット VR7フォーマット Video7フォーマット LAN、スマホ持ち出し用変換
<small>SeeQVault対応</small> USB-HDD	HDD BD
AVCHD7フォーマット	HDD

- DVD-RAMにはダビングできません。

番組を1つだけダビングする(かんたんダビング・おまかせダビング)

HDD USB-HDD BD VRフォーマット AVCフォーマット
Videoフォーマット

【かんたんダビング】では、番組を1つだけ選んで、かんたんにダビングできます。【おまかせダビング】では、番組を1つだけ選んで、本編のみをダビングできます。

1 録画リストを押す

番組を【かんたんダビング】または【おまかせダビング】するときは

① ダビングしたい番組を選び **サブメニュー** を押す

チャプターを【かんたんダビング】するときは

① ダビングしたいチャプターを含む番組を選び **録** を押す

② ダビングしたいチャプターを選び **サブメニュー** を押す
 ・チャプターを【おまかせダビング】はできません。

プレイリストを【かんたんダビング】または【おまかせダビング】するときは

① **録** を押す

② ダビングしたいプレイリストを選び **サブメニュー** を押す

2 【ダビング】を選び **決定** を押す

3 【かんたんダビング】または【おまかせダビング】を選び **決定** を押す

4 ダビング先を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押してください。
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

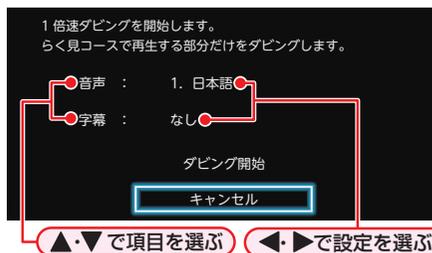
マルチ番組の音声・字幕をダビングするときは

ダビング先メディアなどによっては、ダビングできる音声・字幕が1つになります。193

その場合は、手順 4 のあとにダビングする音声・字幕を選んでください。

① 変更する項目を選ぶ

② お好みの設定を選ぶ



③ 設定し終わったら、【ダビング開始】を選び **決定** を押す
 ・ダビングが始まると放送画面に戻ります。

実行中のダビングを中止するときは

録 を押すと確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押す

くわしくは「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」136 をご覧ください。

DVD-RW(Video) / DVD-R(Video)へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

ご注意

- 保護された番組はダビング(移動)できません。保護を解除するには、110 をご覧ください。
- ダビング先がHDD / USB-HDDの場合は、再生時間が15時間を超える番組は、ダビングできません。ダビング先がディスクの場合は、再生時間が8時間以上の番組は、ダビングできません。
- 以下の場合は、ダビングできません。
 - ディスクに録画中
 - ダビング先メディアの番組数やチャプター数が最大数を超える場合
- BD / AVCフォーマット / VRフォーマットでは【おまかせダビング】はできません。

複数の番組をまとめてダビングする

HDD USB-HDD BD VRフォーマット AVCフォーマット
Videoフォーマット

ダビングしたい番組を選んで、一括でダビングできます。

1 スタートメニューを押す

- **開始**を押して【録画リスト】画面を表示し、番組ハイライト中に**サブメニュー**を押してから【ダビング】→【詳細ダビング】を選んで表示することもできます。手順4に進んでください。
- 使用済みディスクを再度初期化してからダビング先に設定する場合は、「ディスクを初期化（フォーマット）しなおす」**186**をご覧ください。

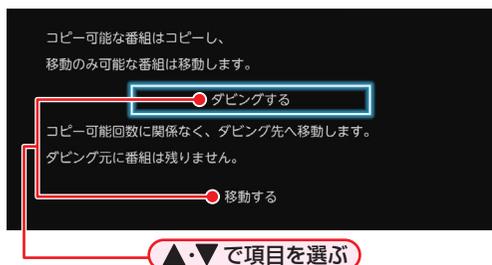
2 【ダビング】を選び **決定** を押す

3 ダビング元を選び **決定** を押す

4 ダビング先を選び **決定** を押す

HDDと通常録画用USB-HDDの間でダビングするとき

続けて、ダビング方法を選ぶ



ディスクからHDDまたは通常録画用USB-HDDへダビングするとき

ダビング元：【ディスク】、ダビング先：【HDD】
【USB○】を選ぶ

- 番組をダビングするとダビング元に番組は残りません。

5 ダビングする番組または自作フォルダーを選び **決定** を押す

- 確認画面が表示された場合は【はい】を選び **決定** を押してください。
- 番組を選び **決定** を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

自作フォルダーごとダビングするとき

ダビングしたい自作フォルダーを選び **決定** を押す

- フォルダー名の□に✓が表示されます。
- ダビング先がHDDまたはUSB-HDDの場合のみ、フォルダーを選択できます。

チャプターを選ぶときは

番組ハイライト中に **緑** を押して、チャプター表示に切り換える

- 引越し・バックアップ用に初期化したSeeQVault対応USB-HDD内の番組はチャプター表示できません。
- ディスク内の番組はチャプター表示できません。

プレイリストを選ぶときは

緑 を押して、プレイリスト表示に切り換える

他の番組を続けて選ぶときは

この手順を繰り返す

- 最大36番組まで選ぶことができます。

番組またはフォルダーの選択を解除したいときは

解除したい番組またはフォルダーを選び **決定** を押す



- ダビング元またはダビング先で【ディスク】を選び **画面表示** を押すと、ディスク情報が確認できます。

複数の番組をまとめてダビングする・つづき

6 ダビングしたい番組またはフォルダーを選び終わったら、▶を押す

7 ▲で【画質選択】を選び 決定 を押す

- ダビングの組み合わせによっては、【画質選択】を選べない場合があります。その場合は、決定 を押し、手順 10 に進んでください。

8 お好みの画質(録画モード)を選び 決定 を押す

そのまま(高速)： ダビング元と同じ画質でダビングします。

そのまま(高速)以外： ダビング元から画質を変換してダビングします。

- 録画モードは、ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の画質などによって異なります。くわしくは 133 をご覧ください。
- 画質によって、ダビング速度が変わります。 135

ぴったりダビング

ディスクへダビングする場合は、画質(録画モード)を【自動】に設定できます。

- 【自動】に設定すると、ディスクの容量に合わせて、画質が自動的に調節されます。

ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC™方式)の場合
録画モードをハイビジョン画質でダビングします。

DVD(VR方式)またはDVD(Video方式)の場合
録画モードを標準画質でダビングします。

9 画質を選び終わったら、▶で【次へ】を選び 決定 を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、123 をご覧ください。

10 【決定】を選び 決定 を押す

ダビング先のディスクがBD-RまたはVRフォーマットのDVD、AVCREC™のときは

- ファイナライズ確認画面が表示されます。ディスクにダビングした番組をほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生したい場合は、【他のプレーヤーでも再生する】を選んでください。引き続き本機で記録する場合は【ダビング後も本機で記録をする】を選んでください。

11 【ダビング開始】を選び 決定 を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)がダビング先のときは

ディスク名を変更できます。

1 【ディスク名変更】を選び 決定 を押す

- ディスク名設定画面が表示されます。

2 ディスク名を入力し、録 を押す



- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び 決定 を押してください。
- ディスクの名前が設定されます。
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

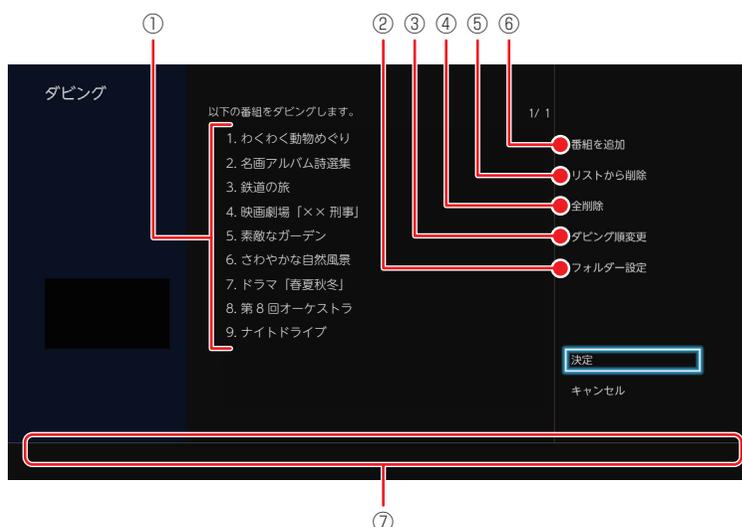
実行中のダビングを中止する

1 ダビング中に □ を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び 決定 を押してください。

くわしくは「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」136 もご覧ください。

ダビングリストの見かた



- ① ダビングする番組またはフォルダーが表示されます。
(ダビングリストの上から順にダビングされます。)
- ② ダビング先のフォルダーを指定します。
- ③ ダビングリストの順番を変更します。
- ④ ダビングリストから番組やチャプター、プレイリストをすべて削除します。
- ⑤ ダビングリストから番組やチャプター、プレイリストを選び削除します。
- ⑥ 番組選択画面に戻り、番組やチャプター、プレイリストを追加します。
- ⑦ 操作ガイド
(ダビングリストのページ数が複数あるときだけ表示されます。)

ダビングリストに番組を追加する

- ① **【番組を追加】**を選び **[決定]** を押す
- ② 追加したい番組や自作フォルダーを選び **[決定]** を押す
- ③ **【次へ】**を選び **[決定]** を押す

ダビングリストから番組を削除する

- ① **【リストから削除】**を選び **[決定]** を押す
- ② 削除したい番組を選び **[決定]** を押す
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び **[決定]** を押ししてください。

ダビングリストの番組をすべて削除する

- ① **【全削除】**を選び **[決定]** を押す
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び **[決定]** を押ししてください。



- 以下の場合、ダビングできません。
 - ディスクに録画中
 - ダビング先のメディアの番組数、チャプター数がいっぱいになっている
 - ダビング先のメディアの残量が足りない
 - ダビング先のメディアが保護されている
 - ネットdeレック機能での録画開始時刻とダビングが重なる
 - ネットdeレック中
 - 録画中の番組
- 短いチャプターや、短いチャプターを含むプレイリストはダビングできない場合があります。
- 通常録画中は高速ダビングになります。等速ダビングはできません。
- **121**の手順5でフォルダーを選んだ場合は、**【ダビング順変更】**および**【フォルダー設定】**を選択することができません。
- **【リストから削除】**でフォルダー内の番組をすべて削除すると、そのフォルダー自体も削除されます。
- 自作フォルダーごとダビングする際、ダビング先に同じ名前の自作フォルダーがある場合は、新たにフォルダーは作成されずに同じ名前の自作フォルダー内に番組がダビングされます。
- ダビング先でフォルダーが最大数作成されているときに、自作フォルダーごとダビングする場合はフォルダーはダビングされず、フォルダー外に番組がダビングされます。

ダビングの順番を変更する

- ① **【ダビング順変更】**を選び **[決定]** を押す
- ② 変更したい番組を選び **[決定]** を押す
- ③ 変更したい位置へ移動し、**[決定]** を押す

フォルダーを指定する

HDD USB-HDD

- ① **【フォルダー設定】**を選び **[決定]** を押す
- ② ダビング先に指定するフォルダーを選び **[決定]** を押す

VRフォーマットのDVDへ高速ダビングする

HDD VRフォーマット

» 準備

- DVD持ち出し (VR) 番組を作成しておく **116**

あらかじめ作成しておいたDVD持ち出し (VR) 番組をDVDに高速でダビングすることができます。DVD持ち出し (VR) 番組を確認する場合は、「スマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し (VR) 番組の録画リストを表示する」 **85** をご覧ください。

DVD持ち出し (VR) 番組およびコピー制限番組については、**130** をご覧ください。

1 DVDを入れる

- 使用済みディスクを再度初期化してからダビング先に設定する場合は、「ディスクを初期化(フォーマット)しなおす」 **186** をご覧ください。

2 **スタートメニュー** を押す3 【ダビング】を選び **決定** を押す4 ダビング元として【HDD】を選び **決定** を押す5 ダビング先として【ディスク】を選び **決定** を押す6 【DVD持ち出し (VR) 番組から選ぶ】を選び **決定** を押す7 ダビングする番組を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示された場合は【はい】を選び **決定** を押してください。
- **決定** を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

番組の選択を解除したいときは

解除したい番組を選び **決定** を押す

8 ダビングしたい番組を選び終わったら、

▶ を押して、【次へ】を選び **決定** を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、**123** をご覧ください。
- 【画質選択(高速そのまま)】は変更できません。

9 【決定】を選び **決定** を押す

- ファイナライズ確認画面が表示されます。ディスクにダビングした番組をほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生したい場合は、【他のプレーヤーでも再生する】を選んでください。引き続き本機で記録する場合は【ダビング後も本機で記録をする】を選んでください。

10 【ダビング開始】を選び **決定** を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

東芝テレビからダビングする(レグザリンク・ダビング)

「ネットdeレック」機能を使うことで、対応する東芝テレビ「REGZA」に録画した映像を、本機のHDD/USB-HDDやディスクなどにダビングできます。

- 対応する東芝テレビ「REGZA」については、当社ホームページからレグザリンク総合ナビページをご覧ください。

<http://www.toshiba.co.jp/regza/>

(操作については、それぞれに付属の取扱説明書をお読みください。)

準備

- 本機とテレビをネットワークでつなぐ **138**、**139**
- 本機の以下を設定しておく
「ネットワーク接続設定」 **142**
「ネットワーク連携設定」 **145**
- テレビをネットワークでつなぐ(くわしくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。)

※ 本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、「LANケーブルで直接つなぐ」 **144** をご覧ください。

テレビから本機へダビングする

1 テレビから本機へダビング開始の操作をする

- テレビ画面にはダビングしている映像は表示されません。

以下に示すのは、東芝テレビ「REGZA」からのレグザリンクダビング方法の一例です。くわしくはご使用の東芝テレビ「REGZA」に付属の取扱説明書をお読みください。

- 1 テレビの録画リストを表示させる
- 2 ダビングする番組を選ぶ
- 3 ダビング先として、本機を指定する
 - 例) LAN-S DBR-W2009
 - ダビング先のメディアとして、HDD、ブルーレイディスク/DVD、USB1~USB8、SeeQVault1~SeeQVault4が選択できます。
- 4 ダビング後にレコーダー側の電源を切るかを設定する
 - 【ダビング後にレコーダー側の電源を切る】を設定した場合は、ダビング完了後自動で本機の電源が「切」になります。
- 5 ダビングを開始する

ダビングされているか確認するには

画面表示 **●** を複数回押す



お知らせ

- ネットワークの環境により、通信速度が遅い場合には、録画が停止することがあります。
- ダビングした番組は、番組の先頭や末尾、チャプターの境界部分が数秒間欠ける場合があります。また、チャプター境界がなくなったりずれたりする場合があります。

ご注意

- ダビング先のメディアとして、ディスクやUSB、SeeQVault対応USB-HDDを選択した場合は、内蔵HDDに保存後、指定したメディアに高速ダビングします。各メディアへの高速ダビングに失敗した場合は、内蔵HDDに番組が保存されます。

本機からネットワーク上の機器にダビングする(ネットdeダビングHD)

本機のHDDや通常録画用USB-HDDに録画した番組をネットワーク上の機器にダビングできます。(ネットdeダビングHD)

準備

- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ **138**、**139**
- 本機の以下を設定しておく
「ネットワーク接続設定」 **142**
「ネットワーク連携設定」 **145**
- 接続する機器をネットワークでつなぐ(くわしくは接続する機器に付属の取扱説明書をお読みください。)

※ 本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、「LANケーブルで直接つなぐ」 **144** をご覧ください。

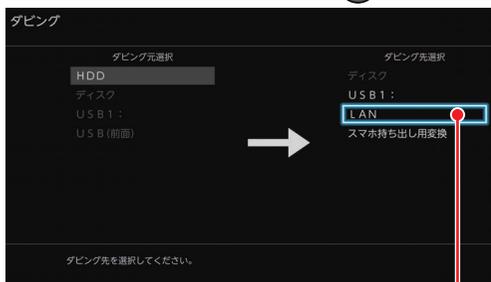
- ダビング先の機器は、ネットdeレック対応機器をお使いください。
- 本機と接続する機器は、同じルーターに接続(またはLANケーブルで直接接続)し、同一ホームネットワークに接続してください。
- あらかじめ、本機とダビング先機器の設定を合わせてください。設定が終わったら、ダビング先機器のナビ画面やスタートメニュー画面を閉じてください。

1 **スタートメニュー** を押す

2 **【ダビング】** を選び **決定** を押す

3 ダビング元に **【HDD】** または **【USB○】** を選び **決定** を押す

4 ダビング先に **【LAN】** を選び **決定** を押す



【LAN】 を選ぶ

- ネットワーク上の機器が一覧で表示されます。

5 ダビング先の機器を選び **決定** を押す

6 ダビングする番組を選び **決定** を押す

- **戻る** を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

チャプター を選ぶときは

戻る を押して、チャプター表示に切り換える

プレイリスト を選ぶときは

戻る を押して、プレイリスト表示に切り換える

他の番組を続けて選ぶときは

この手順を繰り返す

番組の選択を解除したいときは

解除したい番組を選び **戻る** を押す

7 ダビングする番組を選び終わったら、**▶** で **【次へ】** を選び **決定** を押す

- ダビングリストが表示されます。
- ダビングする番組を追加したり削除したりする場合は、**123** をご覧ください。

8 **【決定】** を選び **決定** を押す

9 **【ダビング開始】** を選び **決定** を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

注意

- 以下の番組はネットdeダビングHDでダビングできません。
 - 録画モード【XP】～【EP】の番組
 - AVCHD方式の番組
 - 東芝レグザサーバー(またはレコーダー)で作成したレート値2.0未満の録画モード【AVC】の番組
- 録画モードを【AF】～【AE】に変換した番組は、ネットdeダビングHDでダビングできない場合があります。

お知らせ

- ネットdeダビングHDでダビング中に予約録画が開始されると、ダビングが中断される場合があります。その場合は、予約録画終了後にネットdeダビングHDのダビングをやりなおしてください。
- ネットdeダビングHD機能をお使いの場合は、ネットワークのデータアクセス量が増え、本機のチューナー受信映像にノイズが入ることがあります。ネットdeダビングHD機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをおすすめします。
- ダビングした番組は番組の先頭や番組の境界部分、編集した部分などが数秒間欠けることがあります。
- ダビング10番組は、ダビング先ではコピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります。
- 以下の番組は、ダビングできない場合があります。
 - 編集で一部を削除した番組
 - 分割・結合した番組(またはプレイリスト)
 - 他の機器からダビングした番組

AVCHD方式の動画を取り込む(ダビングする)

ディスクやUSB機器、SDカードに記録された動画(AVCHD方式)を本機に取り込む(ダビングする)ことができます。

ディスクから取り込む(ダビングする)

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【ダビング】** を選び **決定** を押す
- 3 ダビング元に **【ディスク】** を選び **決定** を押す
- 4 ダビング先に **【HDD】** または **【USB○】** を選び **決定** を押す
- 5 ダビングする番組を選び **決定** を押す
 - ・ **決定** を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

他の番組を続けて選ぶときは
この手順を繰り返す

番組の選択を解除したいときは
解除したい番組を選び **決定** を押す
- 6 ダビングする番組を選び終わったら、▶で **【次へ】** を選び **決定** を押す
 - ・ ダビングリストが表示されます。
- 7 ダビングリストの内容を確認する
- 8 **【決定】** を選び **決定** を押す
- 9 **【ダビング開始】** を選び **決定** を押す
 - ・ ダビングが始まると放送画面に戻ります。

USB機器やSDカードから取り込む(ダビングする)

- USB機器を接続したり、SDカードを入れたりすると、自動的に選択画面が表示されます。
- USB機器を使うときは、USB機器に付属の取扱説明書もお読みください。

- 1 **【AVCHDを取り込む】** を選び **決定** を押す
スタートメニューから操作するときは
 - 1 **スタートメニュー** を押して、**【ダビング】** を選び **決定** を押す
 - 2 ダビング元に **【USB(前面)】** を選び **決定** を押す
 - 3 ダビング先に **【HDD】** を選び **決定** を押す
 - ・ 選択画面で **【AVCHDを取り込む】** を選んでください。
- 2 ダビングする番組を選び **決定** を押す
 - ・ **決定** を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。

他の番組を続けて選ぶときは
この手順を繰り返す

番組の選択を解除したいときは
解除したい番組を選び **決定** を押す
- 3 ダビングする番組を選び終わったら、▶で **【次へ】** を選び **決定** を押す
 - ・ ダビングリストが表示されます。
- 4 ダビングリストの内容を確認する
- 5 **【決定】** を選び **決定** を押す
- 6 **【ダビング開始】** を選び **決定** を押す
 - ・ ダビングが始まると放送画面に戻ります。

お知らせ

- デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面(シーン)でも別々の番組になることがあります。くわしくはデジタルビデオカメラに付属の取扱説明書をお読みください。
- 以下の動画も取り込む(ダビングする)ことができます。
 - ・ 3Dで記録された動画(本機に取り込む(ダビングする)と、録画モードが**【AVC 3D】**と表示されます。)
 - ・ 1080/60pで記録された動画(本機に取り込む(ダビングする)と、録画モードが**【AVC PRO】**と表示されます。)

SeeQVault対応USB-HDDを使う

SeeQVault対応USB-HDDに全番組を
引っ越し・バックアップする

- 1  を押す

- 2 【ダビング】を選び  を押す

- 3 ダビング元に【HDD】を選び  を押す

- 4 ダビング先にSeeQVault対応USB-HDD
を選び  を押す

- 5 【引越・バックアップ】を選び  を押す
 - ・番組または自作フォルダーを1つでも選択して
いると【引越・バックアップ】が選べません。
番組や自作フォルダーの選択を解除する場合は、
・・・で選択された番組や自作フォル
ダーを選び  を押ししてください。

- 6 【全番組を引越・バックアップ】または
【バックアップしていない番組だけを
バックアップ】を選び  を押す

- 7 【ダビング開始】を選び  を押す
 - ・引っ越し・バックアップが始まると放送画面に
戻ります。

お知らせ

- バックアップ先のSeeQVault対応機器を問わず、
一度でも引っ越し・バックアップした番組はバック
アップ済みと判断され、【バックアップしていない
番組だけをバックアップ】を選んだ場合は、その
番組は引っ越し・バックアップされません。

注意

- ダビング10番組を引っ越し・バックアップすると、引っ越し・バックアップ先の番組はコピーワンス(1回だけ録画
可能)番組となります。
- 番組数が多い場合は、引っ越し・バックアップにしばらく時間がかかります。
- 引っ越し・バックアップ中にネットdeレック機能での録画が開始されると、引っ越し・バックアップは中止となります。
- 引っ越し・バックアップ先のSeeQVault対応USB-HDDの空き容量が少ない場合は、引っ越し・バックアップ可能な
番組まで実行されます。
- 東芝の他のSeeQVault対応機器にて記録した番組を本機で操作する場合は、字幕切り換え/音声切り換え/早送
り・早戻し/レジューム停止/チャプター編集/ダビングができない場合があります。
- 再生時間が15時間をこえる番組の場合は、引っ越し・バックアップできません。
- 以下の場合は、引っ越し・バックアップできません。
 - ・ ディスクに録画中
 - ・ 引っ越し・バックアップ先の番組数が最大数をこえる場合

ダビングについての補足説明

ダビングする番組(コンテンツ)のダビング制限※1による動作の違いについて

ダビングする番組(コンテンツ)の制限	HDD ↕ 通常録画用 USB-HDD	HDD ↓ SeeQVault対応 USB-HDD	SeeQVault対応 USB-HDD ↓ HDD BD	BD AVCフォーマット VRフォーマット ↓ HDD 通常録画用 USB-HDD
制限なしに録画可能	◎/○ (選択可能)	◎	◎	◎
1回だけ録画可能	○	○	○	○※2
ダビング10(9回目まで)	◎/○ (選択可能)	◎	/	
ダビング10(10回目)	○	○	/	

ダビングする番組(コンテンツ)の制限	HDD 通常録画用 USB-HDD ↓ BD AVCフォーマット VRフォーマット	HDD 通常録画用 USB-HDD ↓ Videoフォーマット	HDD 通常録画用 USB-HDD ↓ LAN	HDD 通常録画用 USB-HDD ↓ スマホ持ち出し用変換
制限なしに録画可能	◎	◎	◎	◎
1回だけ録画可能	○	×	○	○
ダビング10(9回目まで)	◎	×	◎	◎
ダビング10(10回目)	○	×	○	○

◎：「コピー」になる ○：「移動」になる ×：できない

※1 「制限なしに録画可能」、「1回だけ録画可能」、「ダビング10」などのダビングする番組(コンテンツ)のダビング制限について詳しくは次のページをご参照ください。

※2 DVDディスク および ファイナライズ済みのBD-R ディスクからのダビングはできません。

ダビングについての補足説明・つづき

制限なしに録画可能番組について

- ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も元の番組はそのまま残ります。
- デジタル放送の場合は、一部の番組をのぞき、ほとんどの番組がコピーワンス(1回だけ録画可能)番組またはダビング10(コピー9回+移動1回)番組となります。

デジタル放送のコピーワンス番組について

- ダビングする場合は「移動」となり、ダビング後に元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。また、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組に変換済みの場合は、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組もスマホ持ち出し番組用の録画リストやDVD持ち出し(VR)番組用の録画リストから削除されます。

デジタル放送のダビング10番組について

- ダビングする場合は、9回目までは「コピー」となり、ダビング後も元の番組はそのまま残ります。
- 10回目は「移動」となり、ダビング後に元の番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。
- HDD⇄通常録画用USB-HDD間のダビングにおいて、9回目まではダビング時にコピーもしくは移動が選択可能です。
- スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組に変換済みの変換元番組を移動すると、スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組も、スマホ持ち出し番組用の録画リストやDVD持ち出し(VR)番組用の録画リストから削除されます。
- ダビングまたは引越越し・バックアップすると、ダビング先または引越越し・バックアップ先の番組はコピーワンス番組となります。

DVD持ち出し(VR)番組について

- DVD持ち出し(VR)番組とは、VRフォーマットのDVDに高速ダビングできる番組のことをいいます。
- 本機では、録画予約するときに設定することでDVD持ち出し(VR)番組を作成できます。
- 作成したDVD持ち出し(VR)番組を確認するには、「スマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し(VR)番組の録画リストを表示する」**85**をご覧ください。
- DVD持ち出し(VR)番組を作成した場合は、オリジナルの番組を編集すると、DVD持ち出し(VR)番組用の録画リストからDVD持ち出し(VR)番組が削除されます。

コピー制限番組について

DVD持ち出し(VR)番組に変換すると、変換前の番組は以下のようになります。

- ダビング10番組の10回目のダビング(移動)となる番組またはコピーワンス番組は、DVD持ち出し(VR)用に変換した番組をディスクにダビングすると、オリジナルの番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。



- 複数の映像がある番組は、放送局が指定した映像のみ記録されます。
- DVD持ち出し(VR)番組として予約するときに、録画モードを設定しても、【本体設定】の【DVD持ち出し(VR)用画質】**173**で設定されている画質で録画されます。

画質(録画モード)とダビング速度について

【かんたんダビング】や【おまかせダビング】の場合

【かんたんダビング】や【おまかせダビング】では、画質(録画モード)を選ぶことはできません。

- ダビング先メディアの容量が少ないと、ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングできません。その場合は、画質を自動調整します。

ダビング元		ダビング先			
メディア	録画モード	メディア/ スマホ持ち出し用変換/	録画モード	ダビング速度	
HDD	DR	→ 通常録画用 USB-HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速	
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	AF~AEの間で自動調整。	等速	
		→ AVCフォーマット	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速	
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	AF~AEの間で自動調整。	等速	
		→ スマホ持ち出し用変換	XP~EPの間で自動調整。	等速	
	AF~AE	→ 通常録画用 USB-HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速	
		→ AVCフォーマット	AF~AEの間で自動調整。	等速	
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速	
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	XP~EPの間で自動調整。	等速	
		→ スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速	
	XP~EP	→ 通常録画用 USB-HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード)	XP~EPの間。	高速
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	XP~EPの間。	等速	
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速	
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	そのまま(ダビング元の録画モード)	等速	
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	XP~EPの間で自動調整。	等速	

ダビングについての補足説明・つづき

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア/ スマホ持ち出し用変換	録画モード	ダビング速度
通常録画用 USB-HDD	DR	→ HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード) AF~AEの間で自動調整。	高速 ----- 等速
		→ AVCフォーマット	AF~AEの間で自動調整。	等速
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	XP~EPの間で自動調整。	等速
		→ スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速
	AF~AE	→ HDD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速
		→ BD AVCフォーマット	AF~AEの間で自動調整。	等速
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	XP~EPの間で自動調整。	等速
		→ スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速
XP~EP	→ HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード) XP~EPの間で自動調整。	高速 ----- 等速	
	→ VRフォーマット Videoフォーマット	そのまま(ダビング元の録画モード) XP~EPの間で自動調整。	等速 ----- 等速	
SeeQVault対応 USB-HDD	DR	→ HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速
	AF~AE	→ HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速
	XP~EP	→ HDD BD	そのまま(ダビング元の録画モード)	高速
BD	DR	→ HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(ダビング元の録画モード) AF~AE、XP~EPの間。	高速 ----- 等速
	AF~AE	→ HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(ダビング元の録画モード) AF~AE、XP~EPの間。	高速 ----- 等速
	XP~EP	→ HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(ダビング元の録画モード) XP~EPの間。	高速 ----- 等速
AVCフォーマット	AF~AE	→ HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(ダビング元の録画モード) AF~AE、XP~EPの間。	高速 ----- 等速
VRフォーマット	XP~EP	→ HDD 通常録画用 USB-HDD	XP~EPの間。	等速
Videoフォーマット	XP~EP		ダビングできません。	

ダビングリストからダビングする場合

ダビングするときの画質(録画モード)によってダビング速度が変わります。

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア/ スマホ持ち出し用変換/ LAN	録画モード	ダビング速度
HDD	DR	→ 通常録画用 USB-HDD	そのまま(高速) AF~AE, XP~EP	高速 等速
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	そのまま(高速)	高速
		→ BD	そのまま(高速) 自動, AF~AE, XP~EP	高速 等速
		→ AVCフォーマット	自動, AF~AE	等速
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	自動, XP~EP	等速
		→ LAN ^{*1}	そのまま(高速)	高速
		→ スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速
	AF~AE	→ 通常録画用 USB-HDD	そのまま(高速) AF~AE, XP~EP	高速 等速
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	そのまま(高速)	高速
		→ BD	そのまま(高速) 自動, AF~AE, XP~EP	高速 等速
		→ AVCフォーマット	そのまま(高速) 自動, AF~AE	高速 等速
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	自動, XP~EP	等速
		→ LAN ^{*1}	そのまま(高速)	高速
		→ スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速
	XP~EP	→ 通常録画用 USB-HDD	そのまま(高速) XP~EP	高速 等速
		→ SeeQVault対応 USB-HDD	そのまま(高速)	高速
		→ BD	そのまま(高速) XP~EP	高速 等速
		→ VRフォーマット Videoフォーマット	自動, XP~EP	等速
	DVD持ち出し(VR)用画質	→ VRフォーマット	そのまま(高速)	高速

^{*1} ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)がかかる場合があります。

ダビングについての補足説明・つづき

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア/ スマホ持ち出し用変換/ LAN	録画モード	ダビング速度
通常録画用 USB-HDD	DR	HDD	そのまま(高速)	高速
			AF~AE、XP~EP	等速
		BD	そのまま(高速)	高速
			自動、AF~AE、XP~EP	等速
		AVCフォーマット	自動、AF~AE	等速
		VRフォーマット Videoフォーマット	自動、XP~EP	等速
	LAN※ ¹	そのまま(高速)	高速	
	スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速	
	AF~AE	HDD	そのまま(高速)	高速
			AF~AE、XP~EP	等速
		BD	そのまま(高速)	高速
			自動、AF~AE、XP~EP	等速
		AVCフォーマット	そのまま(高速)	高速
		自動、AF~AE	等速	
VRフォーマット Videoフォーマット	自動、XP~EP	等速		
LAN※ ¹	そのまま(高速)	高速		
スマホ持ち出し用変換	12Mbps~0.6Mbps	等速		
XP~EP	HDD BD	そのまま(高速)	高速	
		XP~EP	等速	
VRフォーマット Videoフォーマット	自動、XP~EP	等速		
SeeQVault対応 USB-HDD	DR	HDD BD	そのまま(高速)	高速
	AF~AE	HDD BD	そのまま(高速)	高速
	XP~EP	HDD BD	そのまま(高速)	高速
BD	DR AF~AE	HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(高速)	高速
			AF~AE、XP~EP	等速
	XP~EP	HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(高速)	高速
AVCフォーマット	AF~AE	HDD 通常録画用 USB-HDD	そのまま(高速)	高速
			AF~AE、XP~EP	等速
VRフォーマット	XP~EP	HDD 通常録画用 USB-HDD	XP~EP	等速
Videoフォーマット	XP~EP	ダビングできません。		

※¹ ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)がかかる場合があります。



● ディスクからHDDまたは通常録画用USB-HDDにダビングするときに、ダビング元番組の画質(録画モード)が不明な場合は高速ダビングできません。(等速ダビングが可能なダビングであれば、等速ダビングされます。)

ダビング速度について

【そのまま(高速)】(高速ダビング)

ダビング時に画質(録画モード)を【そのまま(高速)】にすると高速でダビングできます。

- 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビング元番組の記録時間よりも短い時間でダビングできます。
- ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングします。
- 本機の動作音が、通常よりも大きくなります。

【そのまま(高速)】以外(等速ダビング)

ダビング時に画質(録画モード)を【そのまま(高速)】以外にすると等速ダビングになります。

- ダビング元番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)をかけてダビングします。
- 画質(録画モード)を変えてダビングできます。(ダビング元より高い画質を選んでも、画質は良くなりません。)



- ディスクの書き込み位置や特性などの条件により、所要時間や速度が変わります。

「コピー」と「移動」について

コピーワンス(1回だけ録画可能)番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をダビングすると、ダビング元番組の状態が変わります。

コピーの場合: ダビング元の番組は残り、コピー回数が減ります。

移動の場合: ダビング元の番組は残りません。

ダビングすると「移動」になる部分を含んでいる番組について

- コピーワンス部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「移動」になります。
- コピーワンス部分を含む番組を編集してコピーワンス部分を削除してからダビングしても、「コピー」にはなりません。「移動」になります。

デジタル放送のコピー制限について

コピーワンス番組

著作権保護・違法コピー防止のため、1回だけ録画することが許可されているデジタル放送の番組のことです。

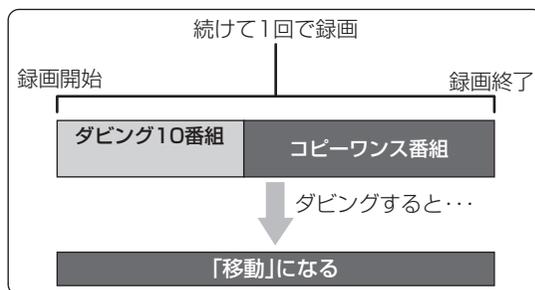
コピーワンス番組をダビングすると、ダビング元(オリジナル)の録画内容が「移動」されて、ダビング元の録画内容は消去されます。

ダビング10

著作権保護・違法コピー防止のため、10回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組のことです。

ダビング10番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「移動」となります。

- ダビング10または制限なしに録画可能番組と、コピーワンス番組を続けて1回で録画した場合は、録画の開始から終了までがコピーワンス番組になります。その番組をダビングすると、「移動」になります。



CPRM

Content Protection for Recordable Mediaの略で、コピーワンス番組に対する著作権保護技術です。

デジタル放送のコピーワンス番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。



- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。
- ダビングの所要時間は、高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる(ダビング時間がかかる)ことがあります。
- HDD(または通常録画用USB-HDD)⇒DVD-RW/DVD-R(Video)へダビングすると、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。複数の番組をダビングするときは、ダビングリストからダビングしてください。
 - HDD⇒DVD-RW(Video)/DVD-R(Video)へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、**アスペクト**⇒【設定】⇒【本体設定】⇒【録画設定】⇒【録画アスペクト(Video)】の設定を変更してダビングしてください。違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。(テレビ側で画面サイズを変更できます。)
- 本機でDVD⇒HDDにダビングする場合は、制限なしに録画可能番組のダビングだけが可能です。デジタル放送のコピーワンス番組やダビング10番組、ほとんどの市販品のソフトはダビングできません。
- 他の機器のAVCREC™方式で録画されたディスクは、本機のHDDにダビングできない場合があります。
- 他の機器で作成したディスクから本機のHDDにダビングする場合は、ディスクに番組情報(チャンネル名、録画モードなど)が記録されていないと、ダビング画面での番組情報表示箇所は空白になります。
- 本機の状態や、ブルーレイディスクなどのメディアから画質変換ダビングなどを実施した番組の状態によっては、再生などの操作で、正常に動作しない場合があります。

ダビングについての補足説明・つづき

ダビング全般

ダビングするときのチャプター

- ダビングするときには、チャプター情報も引き継ぎます。
- ダビング先のチャプター分割位置は、多少ずれる場合があります。

ダビング中に電源を「切」にすると・・・

- 電源「切」の状態でもダビングを続けます。(電源ランプ(橙)が点灯します。)

予約録画が近いと・・・

- ダビングするときには、予約録画の開始時刻が近いとダビングを途中で停止することがあります。

【かんたんダビング】と【おまかせダビング】について

- 一度に1つの番組しかダビングできません。
- スマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組に変換済みで、かつダビング10番組の10回目のダビング(移動)となる番組やコピーワンス番組など、ダビングすると移動となる番組は【かんたんダビング】または【おまかせダビング】を開始した時点で、録画リストやプレイリスト、スマホ持ち出し番組用の録画リスト、DVD持ち出し(VR)番組用の録画リストには表示されなくなります。ただし、【かんたんダビング】または【おまかせダビング】中にダビングをキャンセルすると、それぞれの画面に再び表示されるようになります。

実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは

ダビング元

ダビング元の番組はそのまま残ります。

ダビング先

メディアによって、動作が異なります。

メディア	動作
HDD	
USB-HDD	
SeeQVault対応USB-HDD	ダビングされません。
BD-RE	
DVD-RW(VR)	
BD-R	
DVD-R(VR)	ダビングを中止したところまで録画され、その分だけディスクの残量時間が減りますが、ダビングを中止した番組は再生できません。
DVD-RW(AVC)	
DVD-R(AVC)	
DVD-RW(Video)	初期化が必要になります。
DVD-R(Video)	ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

Cinavia™

Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。

Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合は、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2019 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。

リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

スマホdeレグザやLAN機能を使う

本章では、便利なスマホdeレグザ機能や、LAN機能について説明しています。

ネットワークを接続・設定する	138
スマートフォンやタブレットで視聴する	151
スマホdeレグザの機能を使う	154
eメールで録画予約する	155
宅外配信を使う	158

ネットワークを接続・設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

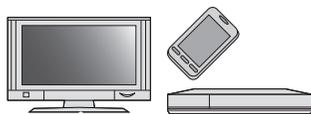
LANケーブルを使って接続する

他機を使ってダビングしたい (ネットdeレック)

録画した番組をテレビから本機にダビングしたり、本機からスマートフォンにダビングしたりできます。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 142頁
- 「ネットワーク連携設定」 145頁



他機を使って再生したい (ネットdeサーバーHD)

本機で録画した番組をスマートフォンなどで再生できます。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 142頁
- 「ネットワーク連携設定」 145頁



パソコンを使って録画したい (スマホdeレグザ)

パソコンで本機を操作し、番組を録画できます。

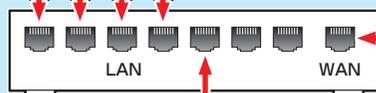
必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 142頁
- 「ネットワーク連携設定」 145頁
- 「スマホdeレグザを設定する」 149頁

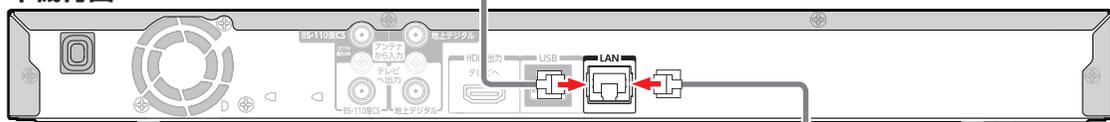


- 複数の他機を同時に接続する場合は、ルーターに他機を接続してから、本機とルーターを接続してください。

ルーター／無線LANルーター



本機背面



本機と機器をLANケーブルで直接つなぐとき

ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機と機器をLANケーブルで直接つないでください。



チューナーを使って録画したい (ネットdeレック)



パソコンを使って録画したい (スマホdeレグザ)



他機を使ってダビングしたい (ネットdeレック)



他機を使って再生したい (ネットdeサーバーHD)



- ブロードバンド常時接続環境がないと、スマホdeレグザの番組表機能、eメールでの予約録画および宅外配信はできません。

チューナーを使って録画したい (ネットdeレック)

スカパー! プレミアムサービスチューナーまたはCATV(ケーブルテレビ)チューナーからの映像をハイビジョンで録画やダビングできます。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 142
- 「ネットワーク連携設定」 145



eメールで録画予約したい

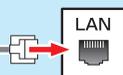
eメールで録画予約できます。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 142
- 「ネットワーク連携設定」 145
- 「スマホdeレグザを設定する」 149



ブロードバンド接続環境

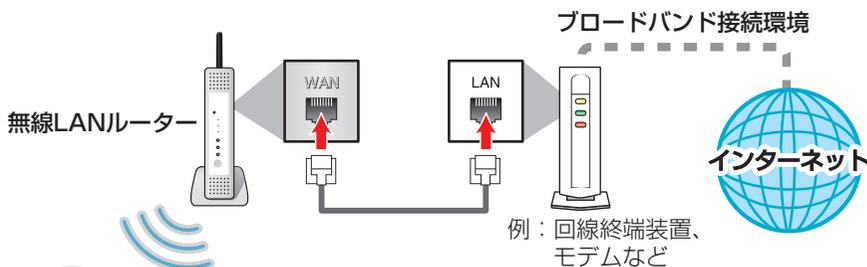


例：回線終端装置、モデムなど

無線LANを使って接続する

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。

- ブロードバンド常時接続環境があれば上図のすべての機能を使うことができます。
- 無線LANをお使いになるときは、必ず事前に「無線LANを使う際のお願い」 218をお読みください。



本機前面



無線LANアンテナ(内蔵)
(DBR-W2009/DBR-W1009のみ)

ネットワークを接続・設定する・つづき

ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

スマホdeレグザ機能に必要な動作環境
パソコン DOS/V互換パソコン(LANコネクタが必要)(市販品) OS: Windows® 7/8/8.1/10(日本語版) 上記のOS以外の環境での動作は保証していません。 カラーモニター: 16ビットカラー以上、 800×600ドット以上 必要なデバイス: LANポート (100Base-TX/10Base-T)
スマートフォン・タブレット DiXiM Play Android版、DiXiM Play iOS版が動作する スマートフォン・タブレット(Android/iOS)*
WWWブラウザ Internet Explorer 11 Google Chrome

* 動作環境に関しては、以下のホームページでご確認ください。

- DiXiM Play Android版
<http://www.digion.com/diximplay/android/>
- DiXiM Play iOS版
<http://www.digion.com/diximplay/ios/>

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。

スマホdeレグザ機能の「放送中番組を見る」、「ランキングから予約する」、「横断検索」、「番組表から予約する」、宅外配信機能やメール録画予約機能をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- ブロードバンド常時接続環境
- 設置場所からパソコンで送受信可能なeメールアカウント(POPサーバーおよびSMTPサーバーを使用したサービス) (「メール録画予約機能」使用時)
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター(DHCP機能搭載を推奨)
- 無線LANルーター(無線LAN接続の場合)

用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 7...Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Windows® 8...Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Windows® 8.1...Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Windows® 10...Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版

- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Google Chrome、Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- DLNA®およびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Alliance®の商標です。
- DiXiM Playは株式会社デジオンの商標です。

制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態、またはスマホdeレグザ機能での本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が1台に制限される場合は、すでに接続されているパソコンがあると、本機を2台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販品のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないてください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 「メール録画予約機能」をご利用になるには、POP3またはAPOPに対応したご家庭から接続可能なeメールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできないeメールのアカウントはご利用になれません。

- 本機がネットワーク経由でインターネットサービスプロバイダーのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。
- 「メール録画予約機能」を利用する場合は、パソコンの電源を入れておく必要はありません。
- パソコンの設定は、メールのコピーを一定期間メールサーバーに保存する設定にしてください。メールを受信したときサーバーにコピーを残さず自動削除する設定ですと、本機で予約メールを受信できないことがあります。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトのWebメール(POP3対応していない)はメール予約の設定には使用できません。(録画予約完了通知のアドレスには設定できます。)
- 宅外配信機能を利用する場合は、本機をFTTH(光ファイバー)回線などでブロードバンド常時接続環境につながる必要があります。ブロードバンド常時接続環境につながるには、プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。(プロバイダーまたは回線事業者が採用している接続の方式や契約の約款などによっては、ご利用いただけない場合があります。)

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合は、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書および本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
 - 必要な機器の準備
 - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどで設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
 - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
 - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
 - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

ご注意

- LANケーブルは、カテゴリ5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離れてみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、**メニュー** → **【設定】** → **【本体設定】** → **【ネットワーク設定】** → **【ネットワークステータス表示】**画面で確認できます。

ネットワークを接続・設定する・つづき

ネットワーク接続設定

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダーなどの契約と、ブロードバンド常時接続の環境に本機をつなぐことが必要です。

- 本機とDLNA対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーなどの契約は不要です。

1 **スマメニュー** を押して、【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワーク接続設定】を選び **決定** を押す

2 【有線LAN】または【無線LAN】*を選び **決定** を押す

*DBR-W2009/DBR-W1009のみ

無線LANで接続しているときは

【無線LAN】を選び「【無線LAN】を設定する」**144**の手順 2 に進んでください。

LANケーブルで接続しているときは

【有線LAN】を選び、【インターネットに接続する】または【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選び **決定** を押してから、以下の設定をおこなってください。

- 【インターネットに接続する】を選んだときは、ブロードバンド常時接続環境でつなぐ必要があります。くわしくは **138** をご覧ください。
- 【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】を選んだときは、本機と機器をLANケーブルで直接つなぐ必要があります。くわしくは **138** をご覧ください。

自動設定：本ページ「【有線LAN】を自動で設定する」の手順 1 に進んでください。

手動設定：【手動設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。 **143**



- 【有線LAN】と【無線LAN】は同時に利用できません。
- LANケーブルで接続して【ネットワーク接続設定】の各設定を【手動設定】で変更した際は、必ず接続テストをおこなってください。

【有線LAN】を自動で設定する

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストをおこないます。また、すでに設定していた場合は、設定値が自動設定で取得した値に更新されます。(このときプロキシの設定はクリアされます。)

1 【自動設定】を選び **決定** を押す



- 自動的に各項目が設定され、有線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

[有線LAN]を手動で設定する

1 【手動設定】を選び **決定** を押す

- 設定一覧が表示されるので、それぞれの項目を選び **決定** を押してください。



IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① 【IPアドレス取得方法】を選び **決定** を押す

② 設定方法を選び **決定** を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、【手動】を選び設定してください。

【自動(DHCP)]を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

- IPアドレス： パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3桁まで入力可能です。)
- サブネットマスク： パソコンと同じ数値を入力してください。
- デフォルトゲートウェイ： パソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

① 【DNS-IP取得方法】を選び **決定** を押す

② 設定方法を選び **決定** を押す

【自動(DHCP)]を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

- プライマリDNS： パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- セカンダリDNS： パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

① 【プロキシ設定】を選び **決定** を押す

② 設定方法を選び **決定** を押す

【有効】を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

プロキシアドレスを入力する



プロキシポート番号を入力する



- 設定が終わったら、手順 2 に進んでください。

【無効】を選んだときは

手順 2 に進んでください。

2 【接続テスト】を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

3 【手動設定】ですべての設定が終わったら、▶で【決定】を選び **決定** を押す

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

接続テストでエラーメッセージが表示されたときは

画面の指示に従ってネットワークの設定をなおしてください。



- パソコンに設定されている「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の確認方法については、149の①～②、またはご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

ネットワークを接続・設定する・つづき

【無線LAN】を設定する

1 **スタートメニュー** を押して、【設定】→【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【無線LAN】を選び **決定** を押す

2 設定方法を選び **決定** を押す



【無線LAN自動検出】

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選び **決定** を押す
- 2 セキュリティキーを入力し、**緑** を押す
 - 確認画面が表示されるので、【次へ】を選び **決定** を押してください。
- 3 設定モードを選ぶ

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので **決定** を押してください。

【手動設定】を選んだときは

IPアドレス、DNS-IP、プロキシを設定してください。くわしくは「【有線LAN】を手動で設定する」**143** をご覧ください。

【手動接続設定】

各項目を手動で設定します。

- 1 SSIDを入力して、**緑** を押す
- 2 セキュリティを選び **決定** を押す
- 3 セキュリティキーを入力し、**緑** を押す
 - 確認画面が表示されるので、【次へ】を選び **決定** を押してください。
- 4 設定モードを選ぶ

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので **決定** を押してください。

【手動設定】を選んだときは

IPアドレス、DNS-IP、プロキシを設定してください。くわしくは「【有線LAN】を手動で設定する」**143** をご覧ください。

【かんたん接続設定(WPS)】

プッシュボタン方式またはPINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

【プッシュボタン方式(PBC)】または【PINコード方式】を選び **決定** を押す

【プッシュボタン方式(PBC)】を選んだときは

画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

【PINコード方式】を選んだときは

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選び **決定** を押す
- 2 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



この数字をアクセスポイントに入力する

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

LANケーブルで直接つなぐ

本機と接続する機器をLANケーブルで直接つなぐときは、**スタートメニュー** →【設定】→【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【有線LAN】→【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】→【自動設定】を選び **決定** を押してください。

- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

自動設定で接続に成功しなかった場合は、【本機とTVなどの機器をLANケーブルで直接つなぐ】→【手動設定】を選び【IPアドレス取得方法】と【DNS-IP取得方法】を【手動】にしてから、【IPアドレス】は本機側に「192.168.1.15」を、接続する機器側に「192.168.1.20」を入力してください。また、【サブネットマスク】は「255.255.255.0」を、【デフォルトゲートウェイ】と【プライマリDNS】は「192.168.1.1」を本機側と接続する機器側の両方に入力してください。

本設定内容は一例です。IPアドレスの一番右の値を1~254の値に設定し、本機と本機と接続する機器の値が同じ値にならないように設定してください。



- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。

ネットワーク連携設定

ネットワークを利用した連携機能を使うための設定をします。

- これらの機能を利用するには、「ネットワーク接続設定」[142](#)を完了している必要があります。

1 [スマートメニュー](#)を押して、【設定】→【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワーク連携設定】を選び [決定](#) を押す

2 【利用する】または【利用しない】を選び [決定](#) を押す

- 【利用する】を選んだ場合は、引き続き以下の項目の設定をおこないます。

デバイス名を設定する

3 【はい】を選び [決定](#) を押す

- 【いいえ】を選んだ場合は、「ネットワーク連携接続を設定する」に進んでください。

4 デバイス名を入力して、[緑](#) を押す



ネットワーク連携接続を設定する

スマホ de レグザ機能や対応アプリを利用するか、しないかを設定します。

5 【利用する】を選び [決定](#) を押す



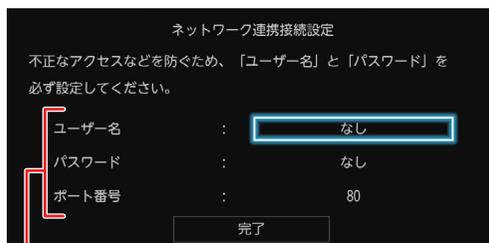
利用する： サーバー機能を利用します。また、利用中に本機の電源を「切」にしても、番組を配信できます。

利用しない： サーバー機能を利用しません。

- 【利用する】を選んだ場合は、引き続き以下の項目の設定をおこないます。
- 【利用しない】を選んだ場合は、手順 [7](#) に進んでください。

6 各項目を選び [決定](#) を押して、それぞれの項目を設定する

- スマホ de レグザや、スマートフォン、タブレットなどの端末機器と本機を接続し、本機を操作することができます。



ユーザー名： 端末機器から本機にアクセスするためのIDを設定します。

パスワード： 端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。

ポート番号： 通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。



7 すべての設定が終わったら、【完了】を選び [決定](#) を押す

8 【スマホ優先モード】か【本機優先モード】かを選び [決定](#) を押す

スマホ優先モード：

予約録画にあわせてスマホ持ち出し番組を作成します。

- 本機の同時動作によって、スマホ持ち出し番組の作成を中断する必要がある場合は、中断前に確認画面を表示します。

本機優先モード：

予約録画時にスマホ持ち出し番組は作成しません。

- 本機優先モードでは自動的にスマホ持ち出し番組を作成しませんが、番組表から予約するときなどにスマホ持ち出し番組作成の設定は可能です。



- ネットワーク連携設定を【利用する】に設定すると、【待機設定】が【通常待機】になります。
- パスワードは、半角で8～64文字で入力してください。

ネットワークを接続・設定する・つづき

アクセス制限を設定する

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

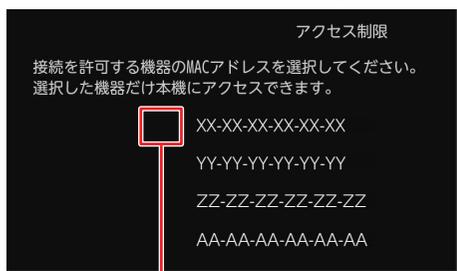
1 **スタートメニュー** を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【ネットワーク設定】** → **【アクセス制限】** を選び **決定** を押す

2 制限するか、しないかを選び **決定** を押す

制限する： 本機にアクセスできる機器を制限します。
 制限しない： アクセスを制限しません。

【制限する】を選んだときは

本機にアクセスできる機器を選び **決定** を押す



選択した機器に【✓】が付きます。

- **決定** を押すたびにチェックあり(☑)、なし(☐)が切り換わります。本機にアクセスできる機器を選択後、**【決定】**を選び **決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

メール予約設定

メールで録画予約をおこなうための設定をします。

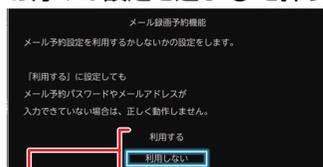
- これらの機能を利用するには、「ネットワーク接続設定」[142](#)を完了している必要があります。

- 1 [スマホメニュー](#)を押して、【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【メール予約設定】を選び [決定](#)を押す

メール録画予約機能

メール録画予約機能を利用するか、しないかを設定します。

- 1 【メール録画予約機能】を選び [決定](#)を押す
- 2 お好みの設定を選び [決定](#)を押す



- 利用する： メール録画予約機能を利用します。
利用しない： メール録画予約機能を利用しません。

メール予約パスワード

予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。6文字以上20文字以内の半角英数字で設定してください。

- 1 【メール予約パスワード】を選び [決定](#)を押す
- 2 パスワードを入力して [緑](#)を押す



POP3設定

POP3の設定をします。

- 1 【POP3設定】を選び [決定](#)を押す
- 2 各項目を選び [決定](#)を押す
- 3 それぞれの項目を設定する



POP3サーバーアドレス：

ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーアドレスを設定します。

POP3ユーザー名：

ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。

POP3パスワード：

ご利用のプロバイダーのPOP3サーバーにアクセスするときのパスワードを設定します。

APOP：

APOPを使うかどうかを設定します。

POP3アクセス間隔：

予約メールをチェックする時間の間隔(5分～120分)を設定します。

- 設定が終わったら、[戻る](#)を押してください。

ネットワークを接続・設定する・つづき

SMTP設定

SMTPの設定をします。

- 1 【SMTP設定】を選び **決定** を押す
- 2 各項目を選び **決定** を押す
- 3 それぞれの項目を設定する



SMTPサーバーアドレス：

SMTPサーバーのアドレスを設定します。

SMTPサーバーポート番号：

SMTPサーバーのポート番号を設定します。

SMTPサーバー認証：

SMTPサーバーの認証方法を設定します。

SMTPユーザー名：

SMTPサーバーのユーザー名を設定します。【SMTPサーバー認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。

SMTPパスワード：

SMTPサーバーのパスワードを設定します。【SMTPサーバー認証】が【ユーザー設定】のときのみ有効です。

- 設定が終わったら、**戻る** を押してください。

フィルタリング

受信するメールアドレスを指定します。

- 1 【フィルタリング】を選び **決定** を押す
- 2 各項目を選び **決定** を押す
- 3 それぞれの項目を設定する



アドレスフィルタリング設定：

予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。

フィルタアドレス：

フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。

- 設定が終わったら、**戻る** を押してください。

メール通知

受信結果をメールで通知する設定をします。

- 1 【メール通知】を選び **決定** を押す
- 2 各項目を選び **決定** を押す
- 3 それぞれの項目を設定する



メール通知機能：

メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。

- 【指定アドレスへ通知】：
【メール通知用の指定アドレス】で設定したアドレスへメールで通知します。
- 【送信元アドレスへ通知】：
メール録画予約に使用したアドレスへメールで通知します。
- 【指定アドレスと送信元アドレスへ通知】：
両方のアドレスへメールで通知します。

失敗しそうな予約の通知：

録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。(本機能は目安です。失敗しそうな予約すべてをお知らせするものではありません。)

おまかせ自動録画の通知：

「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。

メール通知用の指定アドレス：

メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。

- 設定が終わったら、**戻る** を押してください。

メールアドレス

メール予約する際の送信者のメールアドレスを設定します。

- 1 【メールアドレス】を選び **決定** を押す
- 2 アドレスを入力して **緑** を押す



【メール予約設定】の設定が終わったら、**終了** を押してください。



- ご利用のプロバイダーによっては、メール予約ができない場合があります。

スマホdeレグザを設定する

スマホdeレグザを使うパソコン側の設定は、OSの種類によって異なりますので、くわしくはパソコンに付属の取扱説明書をお読みください。以下は、Windows® 7を例に説明しています。

パソコンの設定をする (ブロードバンド常時接続している場合)

ブロードバンド常時接続しているパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側の設定は必要ありません。「スマホdeレグザの設定」に進みます。

パソコンの設定をする (パソコンを直接接続している場合)

あらかじめ、パソコンで以下の設定をしてください。

① 「コントロールパネル」⇒「ネットワークとインターネット」⇒「ネットワークと共有センター」⇒「アダプターの設定の変更」⇒「ローカルエリア接続」の「プロパティ」をクリックする

② 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」をダブルクリックする

「次のIPアドレスを使う」を選びIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。(すでに値が設定されているときは、設定を戻せるようにその値をメモに残しておくことをおすすめします。)

IPアドレス：

「192.168.1.10」を入力してください。(本機のIPアドレスとは異なるアドレスを設定します。)

サブネットマスク：

「255.255.255.0」を入力してください。

③ 「OK」をクリックする

④ 下記の「スマホdeレグザの設定」に進む

スマホdeレグザの設定

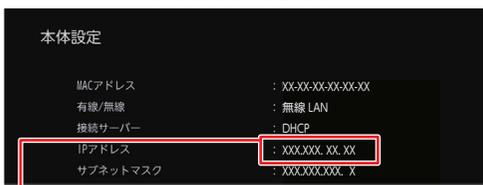
スマホdeレグザの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンを使うと、設定や表示が正しくおこなわれない場合があります。

1 パソコンや端末機器で、スマホdeレグザ対応のブラウザを起動する

- 専用アプリを起動した場合は、手順2の操作は不要です。

2 アドレスに「http://DBR-W2009」、 「http://DBR-W1009」または 「http://DBR-W509」を入力して、 パソコンの「Enter」を押す

- 「ネットワーク連携接続設定」¹⁴⁵でユーザー名とパスワードを設定している場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- アドレスには、お使いの機器名を入力してください。
- 上記のアドレスを入力してもスマホdeレグザが起動しない場合は、**戻る**⇒【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワークステータス表示】で表示されている本機のIPアドレスを上記アドレスの代わりに入力してください。
- スマホdeレグザが起動します。



この数値をブラウザのアドレスバー (http://) に続けて入力してください。

デバイス名前を変更している場合

アドレスバー (http://) に続けてデバイス名前を入力してください。

- デバイス名を確認するには、**戻る**⇒【設定】⇒【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワーク連携設定】⇒【利用する】を選択すると、デバイス名設定画面でデバイス名が表示されます。

3 「スマホdeレグザ設定」をクリックする

4 設定が終わったら、「登録」をクリックする

- 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックしてください。

その他の設定

形名	形名を表示します。
デバイス名	デバイス名を表示します。
MACアドレス	MACアドレスを表示します。



- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- プロキシが設定されていると、アクセスできない場合があります。
- 本機側が動作中のときは、スマホdeレグザが操作できても設定できない場合があります。



- スマホdeレグザの詳細や操作方法は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

ネットワークを接続・設定する・つづき

宅外配信の設定をする

スマートフォンやタブレットなどを本機に登録する(ペアリング)

宅外配信のためには、本機とスマートフォンやタブレットなどを事前に同一ホームネットワークに接続しておき、スマートフォンやタブレットなどを本機に登録しておく必要があります。

》 準備

- 本機とネットワークを接続しておく **138**
- ネットワークの接続設定をしておく **142**
- ネットワーク連携設定をしておく **145**
- 本機とスマートフォンやタブレットなどを同一ホームネットワークに接続しておく
- スマートフォンやタブレットなどに宅外配信対応アプリをダウンロードしてインストールしておく

1 スマートフォンやタブレットなどで宅外配信対応アプリを起動する

2 宅外配信対応アプリの画面に従い、本機に登録する

- 本機に対応した宅外配信用アプリに関しては、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- アプリ側から見た本機の表示名は、デバイス名となります。本機のデバイス名は、**スマホ** → **【設定】** → **【本体設定】** → **【ネットワーク設定】** → **【ネットワーク連携設定】** → **【利用する】** を選択すると、デバイス名設定画面でデバイス名が表示されます。



- ペアリングは最大6台まで可能です。
- 再ペアリングせずに利用できる期間は3ヶ月となります。
- ペアリングした子機の登録台数とペアリング有効期間は、一般社団法人 電波産業会(ARIB)により公開された「地上デジタルテレビジョン放送運用規定ARIB TR-TR-B14(6.2改定版)」および「BS/広帯域CSデジタル放送運用規定ARIB TR-B15(7.1改定版)」に記載の「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件」に従っています。

宅外配信リストを確認する

宅外配信のために本機に登録してあるスマートフォンやタブレットといった機器が宅外配信リストから確認できます。

1 **スマホ** を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【ネットワーク設定】** → **【宅外配信リスト】** を選び **決定** を押す

- 宅外配信リストが表示されます。ただし、1台も登録されていない場合は確認画面が表示されますので**【了解】**を選び **決定** を押してください。

宅外配信リストから機器の登録を解除するには

- 1** 宅外配信リストを表示中に、削除したい機器を選ぶ
- 2** **【削除】**で **決定** を押す
- 3** 確認画面が表示されるので**【はい】**を選び **決定** を押す

登録機器を全削除する

宅外配信リストから登録機器をすべて削除することができます。

1 **スマホ** を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【その他】** → **【初期化】** → **【宅外配信設定初期化】** を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、**【はい】**を選び **決定** を押してください。
- 登録してある機器がすべて削除されます。再度、宅外配信するには再登録が必要です。
- 機器が1台も登録されていないなくても、**【宅外配信設定初期化】**は可能です。

スマートフォンやタブレットで視聴する

スマートフォンやタブレットの宅外配信対応アプリ(有料)を用いて、HDDやUSB-HDDに録画した番組を端末機器で再生したり、持ち出ししたりすることができます。(おでかけいつでも視聴)

また、端末機器を使用すれば、放送中の番組をテレビのない部屋でも視聴できます。(家中どこでも視聴/レグザリンク・シェア)

- お使いの端末機器(スマートフォンやタブレット)によって、再生できる品質が異なります。くわしくはお使いの端末機器に付属の取扱説明書や、宅外配信対応アプリのヘルプなどをお読みください。
- 本機に対応した宅外配信対応アプリなどについて、くわしくは当社ホームページでご確認ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

» 準備

- 本機とスマートフォンやタブレットなどの機器は同じルーターに接続し、同一ホームネットワークに接続しておく **138**
- 本機の以下を設定しておく
「ネットワーク連携設定」 **145**

スマホ持ち出し番組について

- スマホ持ち出し番組とは、端末機器のアプリケーションで視聴したり、持ち出ししたりできる番組のことをいいます。
- 本機では、以下の方法でスマホ持ち出し番組を作成できます。
 - ・すでに録画した番組を変換して作成する
 - ・録画するときに作成する
- 作成したスマホ持ち出し番組を確認するには、「スマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し(VR)番組の録画リストを表示する」 **85** をご覧ください。
- 録画した番組の種類によっては、スマホ持ち出し番組を再生したときに上下左右に黒い帯がつくことがあります。また、解像度によっては、小さく表示される場合があります。
- スマホ持ち出し番組は、本機と同一ネットワーク上に設定されている端末機器以外にはダビングできません。
- 録画やダビングしたときの状態によって、スマホ持ち出し番組に変換できない場合があります。
- スマホ持ち出し番組は、お使いの端末機器によって、再生できる画質が異なります。くわしくはお使いの端末機器に付属の取扱説明書や、アプリケーションのヘルプなどをお読みください。



- 複数の音声がある番組は、主音声のみ記録されます。
- 複数の映像がある番組は、放送局が指定した映像のみ記録されます。
- スマホ持ち出し番組の画質が端末機器の仕様にあっていない場合は、端末機器で番組を再生できません。
- スマホ持ち出し番組を、再度、変換することはできません。
- 録画モード【XP】～【EP】の番組は変換できません。
- スマホ持ち出し番組として予約するときに、録画モードを設定しても、【本体設定】の【スマホ持ち出し用画質】 **173** で設定されている画質で録画されます。
- 10回目のダビング(移動)となるダビング10番組またはコピーワンス(1回だけ録画可能)番組を端末機器のアプリケーションからダウンロードした場合は、オリジナルの番組が録画リストまたはプレイリストから削除されます。
- 端末機器のアプリケーションで本機のリモコン操作をする場合は、操作結果を確認できるように本機が見える位置から操作してください。
- 録画時の配信については、 **192** をご覧ください。

スマートフォンやタブレットで視聴する・つづき

変換配信

本機で録画した番組を視聴する

本機で録画した番組または録画中の番組を、家の中のテレビがない場所でも、見ることができます。

- 端末機器で再生開始の操作をします。操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

端末機器のアプリケーションで視聴中は

本機の画面表示に【変換配信中】と表示されます。

録画中の番組を配信中は、番組名の先頭に「(録画中)」と表示されます。

配信を止めるには

■を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び  を押してください。
- ご使用のアプリケーションによっては、本機からは配信を停止できないことがあります。配信停止の操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。



- 以下の番組は端末機器へ配信できません。
 - 標準画質(録画モードXP~EP)で録画された番組
 - ディスクに録画された番組
 - DVD持ち出し(VR)番組
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- ダビング中またはバックアップ中は配信できません。
- 録画中の番組を配信中は、サーチやスキップなどの動作ができず、再生すると番組の先頭からの再生となります。

ライブ配信

現在放送中の番組を配信する

放送中の番組を、家の中のテレビがない場所でも、見ることができます。

- 端末機器で視聴開始の操作をします。操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

端末機器のアプリケーションで視聴中は

本機の画面表示に【ライブ配信中】と表示されます。

配信を止めるには

■を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び  を押してください。
- ご使用のアプリケーションによっては、本機からは配信を停止できないことがあります。配信停止の操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。



- 字幕、データ放送には対応していません。
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- ライブ配信中はダビングやネットdeレックできません。
- ライブ配信中に録画モードを標準画質(XP~EP)に設定して  を押して録画すると【DR】で録画されます。(録画モードを標準画質(XP~EP)に設定した予約録画が始まると、ライブ配信は停止します。)

録画した番組を持ち出す

本機で録画した番組を、外出先などで見ることができます。録画した番組を持ち出したいときは、あらかじめスマホ持ち出し番組に変換する必要があります。くわしくは「録画した番組をスマホ持ち出し番組に変換する」[153](#)をご覧ください。なお、スマホ持ち出し番組のダウンロードや再生など操作方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。



- 端末機器にダウンロードした番組を、本機に戻すことはできません。

スマホ持ち出し番組を作成する

録画した番組をダビングでスマホ持ち出し番組に変換することができます。番組表予約時、日時指定予約時に持ち出し設定をスマホ持ち出しにすることで、録画しながらスマホ持ち出し番組を作成することができます。

録画した番組をスマホ持ち出し番組に変換する

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【ダビング】** を選び **決定** を押す
- 3 ダビング元にHDDまたはUSB-HDDを選び **決定** を押す
- 4 ダビング先に**【スマホ持ち出し用変換】** を選び **決定** を押す
- 5 **ダビングする番組を選び** **決定** を押す
 - **決定** を押すと、ダビング順を表す数字が、番組名の前に表示されます。すでにスマホ持ち出し番組に変換済みの場合は、変換済みの持ち出し番組を削除して良いかの確認画面が表示されますので、再作成する場合は**【はい】** を選び **決定** を押してください。
 - チャプターを選ぶときは**
緑 を押して、チャプター表示に切り換える
 - プレイリストを選ぶときは**
黄 を押して、プレイリスト表示に切り換える
 - 他の番組を続けて選ぶときは**
この手順を繰り返す
 - 番組の選択を解除したいときは**
解除したい番組を選び **決定** を押す
- 6 **ダビングする番組を選び終わったら、▶** を押す
- 7 **【画質選択】** を選び **決定** を押す
- 8 お好みの画質を選び **決定** を押す

- 9 **画質を選び終わったら、▶で【次へ】** を選び **決定** を押す

- ダビングリストが表示されます。
- 変換する番組を追加したり削除したりする場合は、**123** をご覧ください。

- 10 **【決定】** を選び **決定** を押す

- 11 **【ダビング開始】** を選び **決定** を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

スマホdeレグザの機能を使う

端末機器から、放送中の番組の視聴、録画番組の視聴や持ち出し、本機のリモコン操作、番組の録画予約などの操作ができます。

準備

- 本機をネットワークにつなぐ [138](#)
- パソコンの動作環境を確認しておく [140](#)
- ネットワークを設定しておく [142](#)
- スマホdeレグザを設定しておく [149](#)

スマホdeレグザを使う

スマホdeレグザの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンを使うと、設定や表示が正しくおこなわれない場合があります。

1 パソコンや端末機器で、スマホdeレグザ対応のブラウザを起動する

- 専用アプリを起動した場合は、手順2の操作は不要です。

2 アドレスに「http://DBR-W2009」、「http://DBR-W1009」または「http://DBR-W509」を入力して、パソコンの「Enter」を押す

- ユーザー名とパスワードを設定している場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- アドレスには、お使いの機器名を入力してください。
- 上記のアドレスを入力してもスマホdeレグザが起動しない場合は、[メニュー](#) → **【設定】** → **【本体設定】** → **【ネットワーク設定】** → **【ネットワークステータス表示】** で表示されている本機のIPアドレスを上記アドレスの代わりに入力してください。
- スマホdeレグザが起動します。



この数値をブラウザのアドレスバー (http://) に続けて入力してください。

デバイスネームを変更している場合

アドレスバー (http://) に続けてデバイスネームを入力してください。

- デバイスネームを確認するには、[メニュー](#) → **【設定】** → **【本体設定】** → **【ネットワーク設定】** → **【ネットワーク連携設定】** → **【利用する】** を選択すると、デバイスネーム設定画面でデバイスネームが表示されます。

放送中番組を見る

現在放送中の番組を、端末機器で視聴、録画することができます。

録画番組を見る

【録画リスト】の内容を表示します。番組の再生、番組名の変更、フォルダの指定、番組の削除ができます。

時短で見る

時短機能で本機の番組を再生することができます。

リモコン

本機を端末機器でリモコン操作することができます

- リモコン機能を使って本アプリの対応機器を電源オン・オフする場合は、操作結果を確認できるように対応機器が見える位置から操作してください。

ランキングから予約する

ランキングから録画予約が登録できます。

番組表から予約する

番組表画面が表示されます。

- 番組の予約が可能です。また、予約した番組は【録画予約一覧】画面から確認できます。

録画予約一覧

録画の予約、確認、変更、削除を行うことができます。

番組を持ち出す

端末機器へ番組を持ち出しすることができます。

スマホdeレグザ設定

本アプリ機能に必要な各種設定を行ないます。

※ 端末機器での視聴や端末機器への持ち出しには対応アプリが必要です。

※ スマホdeレグザの機能詳細は、取扱説明書「スマホdeレグザ編」を弊社Webサイトよりご参照ください。

(http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/)

eメールで録画予約する

ブロードバンド常時接続の環境であれば、eメールで録画予約をすることができます。また、録画予約の設定をメールで確認することができます。

» 準備

- 「メール予約設定」**147** をしておく
- メールソフトウェアの設定をテキスト形式に変更します。くわしくはメールソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

1 eメールの送信先(To:)を入力する

- 「メール予約設定」**147** で設定した「メールアドレス」を入力してください。

2 eメールの本文に、録画予約の内容を入力する

open password prog add 20191215 1900 2000 D011-1 DR H1 EY M2S
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

- 文字はすべて半角で入力してください。また、それぞれの項目の間には、半角スペースを1つずつ入力してください。
- お使いのメールソフトウェアや携帯電話に、録画予約メールの定型文を登録しておくくと便利です。

① open

予約メールの先頭に入れてください。

② メール予約パスワード

「メール予約設定」**147** で設定したパスワードを入力してください。

③ 固定文字

「prog」と入力してください。

④ 本機の操作

予約登録：add

予約削除：del

予約確認：list

残量確認：remain

⑤ 録画日

西暦4桁(年) 01~12(月) 01~31(日)

⑥ 録画開始時刻(時)(分)

00~23(時) 00~59(分)

⑦ 録画終了時刻(時)(分)

00~23(時) 00~59(分)

⑧ 録画チャンネル

地上デジタル：DXXX-X

BSデジタル：BSXXX

CSデジタル：CSXXX

- 「XXX」はチャンネル番号です。地上デジタルの「-X」は枝番号です。枝番号があるときは、枝番号まで正しく指定してください。枝番号を指定しないと、意図しない放送が予約されることがあります。

⑨ 録画モード

録画モードを入力してください。

DR/AF/AN/AS/AL/AE/XP/SP/LP/EP

- 通常録画用USB-HDDに録画する場合は、DR~AEを入力してください。
- SeeQVault対応USB-HDDに録画する場合は、DRを入力してください。

⑩ 録画先

HDD： H1
通常録画用USB-HDD： U1~U8
SeeQVault対応USB-HDD： S1~S4
ブルーレイディスク： B1

⑪ 予約方法

番組表予約： EY

日時指定予約： EN

- 番組表予約にすると、「⑥ 録画開始時刻(時)(分)」で入力した時刻に近い開始時刻の番組を録画予約します。
- 日時指定予約にすると、「⑥ 録画開始時刻(時)(分)」と「⑦ 録画終了時刻(時)(分)」の時刻で録画予約します。

⑫ 毎週/毎日録画

毎日： EVERY

火~土： T2S

月~土： M2S

月~金： M2F

毎週日： SUN

毎週月： MON

毎週火： TUE

毎週水： WED

毎週木： THU

毎週金： FRI

毎週土： SAT

- 単体予約をするときは、入力しないでください。
- ⑨~⑫は省略可能です。省略した場合は、それぞれの設定は以下になります。
 - ⑨ 現在の録画機器の録画モード
 - ⑩ HDD
 - ⑪ EY
 - ⑫ 単体予約

eメールで録画予約する・つづき

3 eメールを送信する



- アルファベットは大文字、小文字のどちらも使えます。
- 改行して2行目に予約名を入れることができます。
- お使いのメールソフトウェアによっては、1行目が長いと改行されてしまい、予約内容が正しく認識されないことがあります。

予約メールの受信

本機は、一定時間(「メール予約設定」**147**の【POP3設定】→【POP3アクセス間隔】で設定した時間)の間隔で、POPサーバーから予約メールを受信します。

録画予約完了メール

本機が予約メールを受信すると、録画予約の完了または録画予約の失敗の通知をメールで受信できます。

「メール予約設定」の【メール通知】の場合

- 【メール通知機能】を【指定アドレスへ通知】または【送信元アドレスへ通知】または【指定アドレスと送信元アドレスへ通知】に設定する。
- 【メール通知機能】を【指定アドレスへ通知】または【指定アドレスと送信元アドレスへ通知】に設定した場合は、【メール通知用の指定アドレス】に録画予約完了メールを受け取るメールアドレスを入力する。
- 【失敗しそうな予約の通知】を【通知する】にすると、予約を失敗しそうなときにメールを受信できます。
- 【おまかせ自動録画の通知】を【通知する】にすると、おまかせ自動録画**72**を設定している場合に、自動で録画予約が追加されたときにメールを受信できます。

録画予約ができたときは

次のようなメールで、録画予約の内容が通知されます。以下は、DBR-W2009の例です。

```

件名<SUBJECT> :
DBR-W2009からのお知らせ

本文<BODY> :
メール予約を行いました。
◆ユーザー予約◆
録画日： 2019/12/15(日)
録画開始時刻： 19:00
録画終了時刻： 20:00
チャンネル： D011-1
録画モード： DR
予約ID 368
わくわく動物めぐり
mailto： メールアドレス(【メール予約設定】の【メール予約パスワード】で設定したメールアドレス) ? subject = 件名(○○○の予約を削除します。)& body = open %20 パスワード(【メール予約設定】の【メール予約パスワード】したパスワード)%20 prog%20 del%20 予約ID(予約したID)
    
```

```

=====
=====
HDD残量
現在設定：(DR) 18時間48分
=====
=====
    
```

- mailtoとは、かんたんに予約を削除するメールが作成できる機能です。録画予約を削除したい場合は、受け取った録画予約完了メール内の「mailto」部分をクリックすることで、その録画予約を削除するメールが作成されるので、そのままメールを送信してください。ただし、mailto機能に対応した携帯電話またはメールソフトウェアであることが必要です。

録画予約に失敗したときは

録画予約ができなかった理由が通知されます。



- 以下の場合、メールでの録画予約はできません。
 - 録画開始時刻が予約メールの受信時刻から15分以内のとき
 - 録画先がHDDまたはUSB-HDDの場合は、15時間をこえる録画時間に設定しているとき
 - 録画先がブルーレイディスクの場合は、録画時間を8時間以上に設定しているとき
- 本機側でナビ画面などの表示中は、メールの送受信ができません。

eメールで録画予約の設定を確認する

eメールの本文を以下のように入力すると、録画予約の設定を確認できます。

open password prog list l d e5



- 末尾の「表示レイアウト」と「詳細」、「予約数」は省略できます。
- 「l」(エル)を入力した場合は、1行表示が長く表示され、省略すると改行された短いリストが表示されます。
- 「d」を入力した場合は、「録画予約」の詳細が表示され、省略すると簡略されたリストが表示されます。
- 「e」を入力した場合は、「e」に続けて数値を入力することで、1回のメールで受信可能な予約(録画情報)数を指定できます。指定可能な数値は1～9です。ただし、情報量が多いときには、指定された数値より少ない予約数しか得られないことがあります。

eメールで残量を確認する

eメールの本文を以下のように入力すると、HDDの残量を確認できます。

open password prog remain



宅外配信を使う

宅外配信とは、スマートフォンやタブレットの宅外配信対応アプリ(有料)を使用し、インターネットを経由して自宅の宅外配信対応機器で録画しておいた番組を外出先でも視聴できる機能のことです。なお、本機で可能な宅外配信は通常配信、変換配信、ライブ配信となります。

宅外配信でできること

登録済み機器に対して、ホームネットワークをこえて宅外まで配信できるようになります



外出先から番組を見る

準備

- 本機とネットワークを接続しておく **138**
- ネットワーク接続設定をしておく **142**
- ネットワーク連携設定をしておく **145**
- スマートフォンやタブレットなどに宅外配信対応アプリをダウンロードしてインストールしておく
- スマートフォンやタブレットなどから宅外配信用に本機を登録しておく **150**

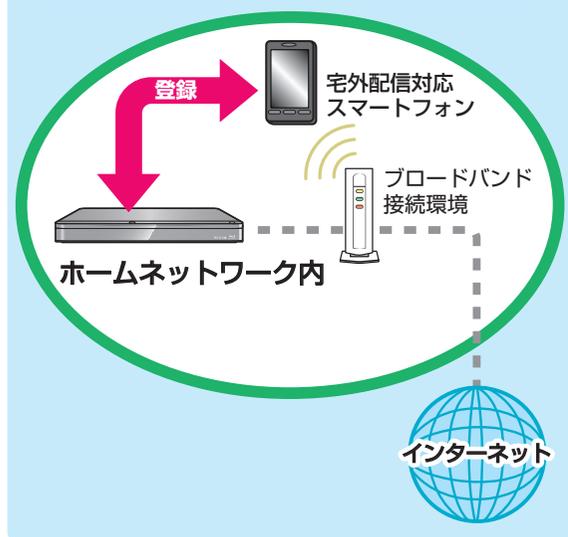
1 スマートフォンやタブレットなどで宅外配信対応アプリを起動する

2 宅外配信対応アプリの画面に従い、本機の番組を再生する

- 本機に対応した宅外配信用アプリなどについて、くわしくは当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

宅外配信する前に

事前にホームネットワーク内にてスマートフォンやタブレットなどから本機を登録しておく必要があります



ご注意

- 宅外配信は2台以上に同時配信できません。
- 以下の番組またはプレイリストは、宅外配信できません。
 - 標準画質で録画された番組
 - ディスクに録画された番組
 - チャプター編集をおこなった番組、およびその番組から作成されたプレイリスト
 - 「おまかせプレイリスト」により作成されたプレイリスト
 - 他機で編集してから本機へダビングしてきた番組
- 本機で録画モードを標準画質で録画中は、変換配信またはライブ配信を伴う宅外配信はできません。
- 本機でBDMVディスク、AVCHDディスク、写真を再生中は、宅外配信はできません。

お知らせ

- 宅外配信はネットワーク回線状況が悪いと視聴しづらいたることがあります。その際は、アプリ側で配信中の番組の画質を下げることで状況が改善されることがあります。

ご注意

- 宅外からの持ち出し用番組のダウンロードはできません。

外部機器を使う

本章では、外部機器を使った便利な機能を説明しています。

USB-HDDを接続・設定する	160
AVアンプとつなぐ	164
レグザリンク機能について	165

USB-HDDを接続・設定する

通常録画用USB-HDDで何ができるのか？

内蔵HDDと同じように、本機で受信した番組を録画したり再生したりすることができます。



- 本機への登録を解除した通常録画用USB-HDDは、録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDを、もう一度本機に登録する場合も、本機専用フォーマットで初期化しますので、番組はすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDDは、間違えないように注意してください。

SeeQVault対応USB-HDDで何ができるのか？

SeeQVault対応USB-HDDに録画したり、本機の内蔵HDDへ録画した番組をバックアップ用に記録したりできます。尚、ダビング10番組をSeeQVault対応USB-HDDに記録すると、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります。

万一、本機が故障した場合は、本機に内蔵のHDDや通常録画用に登録したUSB-HDDに録画された番組は失われますが、SeeQVault対応USB-HDDへ記録した番組は本機の修理後でも再生やダビングが可能になります。

また、本機能に対応した東芝の他の機器でも再生やダビングができますので、番組の引越し用途にも利用できます。(本機でバックアップ用に記録した番組を他社のSeeQVault対応機器で再生やダビングをしたり、他社のSeeQVault対応機種で記録した番組を本機で動作させたりすることは保証しません。)(初期化していないSeeQVault対応USB-HDDを本機に接続した場合は、接続後に表示される確認画面で【引越・バックアップ用として他機でも使用する】を選ぶ必要があります。)

USB-HDD(外付けHDD)をつなぐ前に

- 本機が対応するUSB-HDDについて
本機に接続して番組の録画/再生/引越し・バックアップが可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続して通常録画用USB-HDDとして登録すると、本機専用のフォーマットで初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していた通常録画用USB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDDが故障したりする原因となります。
- 本機とUSB-HDDまたはUSBハブを接続するときは、本機とUSB-HDD(セルフパワー型のみ)またはUSBハブの電源を必ず「切」にしてください。
【瞬速起動】が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。174
電源を「切」にしたあと、本機前面のランプがすべて消灯していることを確認してください。
 - USB-HDDの動作中に電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本機およびHDDが故障したりする原因になります。
- 通常録画用として登録したUSB-HDDに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の東芝レコーダー(同じ形名のレコーダーも含む)やパソコンなどに接続しても再生できません。
- USB-HDDに付属の取扱説明書もよくお読みください。



- 通常録画用USB-HDDは、8台まで本機に登録できます。
- USB-HDDをつなぐ場合は、USBハブを使うと4台まで同時に接続可能です。

USB-HDDをつなぐ

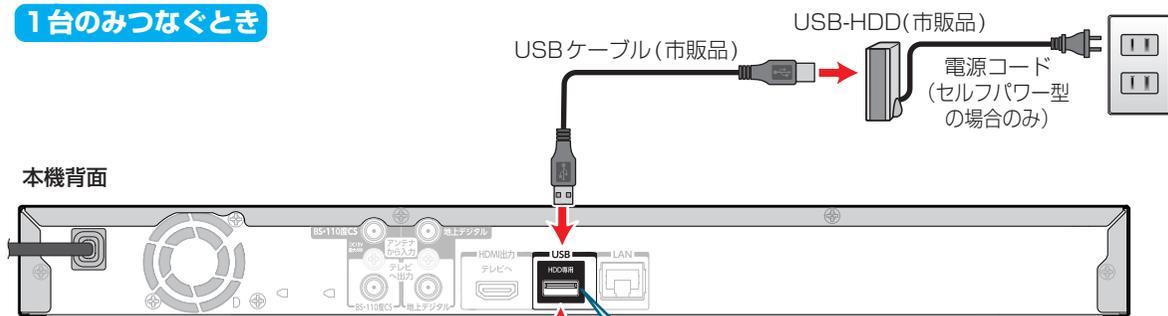
USBハブを使うときは

- USBハブを使うときに接続するUSB-HDDは、ACアダプターを使用するセルフパワー型をお使いください。(バスパワー型USB-HDDをUSBハブに接続しても使用できません。)
- USBハブに使用するACアダプターは、専用のACアダプターをご使用ください。
- USB-HDD名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録や初期化の処理が終わったら次のUSB-HDDを接続するようにしてください。
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSB-HDDを接続できません。
- 5ポート以上のUSBハブに5台以上のUSB-HDDを接続しても、本機が認識できるのは4台までです。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続した場合は、本機がUSB-HDDを認識しない場合があります。

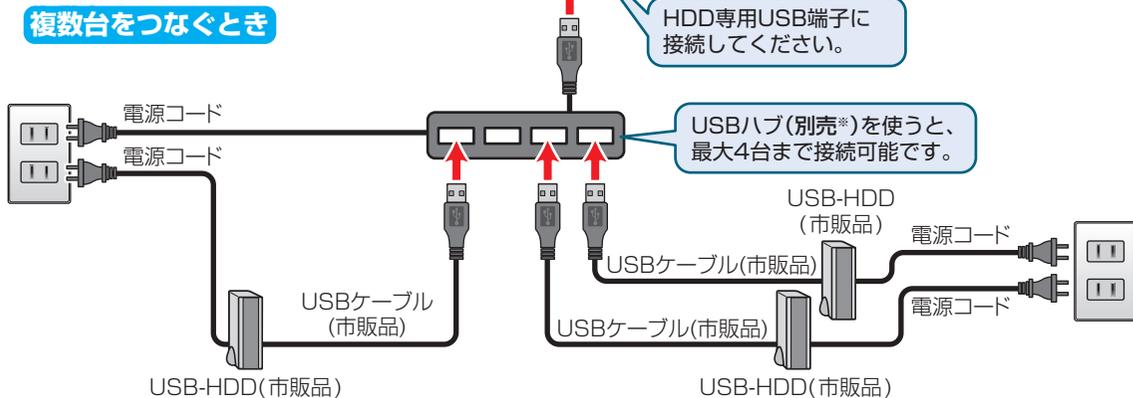
USB-HDDをつなぐ

- USB-HDDは必ず背面のHDD専用USB端子に接続してください。
- USB-HDDが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。

1台のみつなぐとき



複数台をつなぐとき



※ セルフパワー型のUSBハブは、当社接続確認済み機器をご使用ください。接続確認済み機器については、下記のホームページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。



- 本機背面のHDD専用USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

USB-HDDを接続・設定する・つづき

通常録画用USB-HDDを接続したあとは

- 本機にUSB-HDDを登録してください。(本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。)
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
 - ・【はい】を選び  を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」の手順 **3** に進んでください。

SeeQVault対応USB-HDDを接続したあとは

- 東芝のSeeQVault対応機器で、引越・バックアップ用として登録するなど他機種での使用も想定して使用していたSeeQVault対応USB-HDDは、そのまま本機で使用できます。
- 他社のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault対応USB-HDDは、本機で使用できない場合があります。
- 初期化していないSeeQVault対応USB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
 - ・引越・バックアップ用として使用する場合は、【引越・バックアップ用として他機でも使用する】を選び  を押してください。そのあと、「SeeQVault対応USB-HDDを引越・バックアップ用に初期化する」**163**の手順 **3** に進んでください。
 - ・通常録画用として使用する場合は、【通常録画用として登録する】を選び  を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」の手順 **3** に進んでください。

USB-HDDまたはUSBハブを取りはずすには

セルフパワー型のUSB-HDDまたはUSBハブを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源を「切」にしてからUSB-HDDまたはUSBハブの電源を「切」にして取りはずしてください。

USB-HDDを登録する

本機に接続したUSB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを通常録画用として登録します。

- 1**  を押して、【HDD／ディスクの管理】
→【USB-HDDメニュー】→【通常録画用】
→【USB-HDD登録設定】を選び  を押す

- 2** 【未登録】と表示されている行を選び  を押す

- ・複数の未登録USB-HDDを接続している場合は、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

- 3** 【USB-HDDを本機に登録する】を選び  を押す

- ・確認画面が2回表示されるので、【はい】を選び  を押してください。

- 4** 今すぐダビングするかしないかを選び  を押す

【今すぐダビングする】を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」**121**の手順 **3** に進んでください。

【今はダビングしない】を選んだ場合

登録を完了して放送画面に戻ります。

- ・登録したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「ディスク／USB-HDDの名前を変更する」**184**をご覧ください。

登録を解除するときは

USB-HDDの登録を解除すると、本機で記録した内容はすべて認識できなくなります。認識できなくなっても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。

- 1** 手順 **1** のあと、登録を解除したいUSB-HDDを選び  を押す
- 2** 【USB-HDDの登録を解除する】を選び  を押す
 - ・確認画面が2回表示されるので、【はい】を選び  を押してください。
 - ・設定が終わったら、 を押してください。

SeeQVault対応USB-HDDを 引越・バックアップ用に初期化する

本機に接続したSeeQVault対応USB-HDDを引越し・バックアップ用として初期化します。

1 **スタートメニュー**を押して、**【HDD/ディスクの管理】**
⇒ **【USB-HDDメニュー】** ⇒ **【引越・バックアップ用】** ⇒ **【USB-HDD初期化】**を選び
決定を押す

2 **【未登録】**または**本機／他機で初期化済みのSeeQVault対応USB-HDD**を選び **決定**を押す

- 確認画面が2回表示されるので、**【はい】**を選び **決定**を押してください。
- 複数の未登録USB-HDDを接続している場合は、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

3 **今すぐダビングするかしないか**を選び **決定**を押す

【今すぐダビングする】を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」**121**の手順**3**に進んでください。

【今はダビングしない】を選んだ場合

初期化を完了して放送画面に戻ります。

- 登録したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「ディスク/USB-HDDの名前を変更する」**184**をご覧ください。

再度初期化するときは

SeeQVault対応USB-HDDを初期化すると、本機または他機で記録した番組がすべて初期化されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。

① 手順 1～3を再度おこなう



- 以下の場合は、**【HDD/ディスクの管理】**を変更できません。
 - 通常録画中
 - ダビング中
 - ネットdeレック中



- USB-HDDを2台以上接続しているときは、**【USB】**を押すと、接続されているUSB-HDDが一覧で表示されるので、切り換えたいUSB-HDDを選び **決定**を押す
 - 通常録画用USB-HDDは、一覧上で「USB○:○○」と表示されます。
 - SeeQVault対応USB-HDDは、一覧上で「SeeQVault○:○○」と表示されます。
 - **【録画リスト】**画面表示中に **【USB】**を押して切り換えることもできます。
 - 録画中の場合は、録画に使用しているUSB-HDDのみ選ぶことができ、一覧上で「(使用中)」と表示されます。
 - 引越し・バックアップ中またはダビング中の場合は、引越し・バックアップやダビングに使用しているUSB-HDDのみ選ぶことができ、一覧上で「(使用中)」と表示されます。

レグザリンク機能について

レグザリンク機能とは？

レグザリンク機能とは、HDMI-CECを使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作をおこなうことができますが、東芝のレグザリンク対応のREGZAシリーズ機種以外については動作を保証するものではありません。

- HDMI-CECは、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

以下のような連動動作ができます。(操作の手間が省けて便利です。)

- 本機の電源「切」のときに「電源」、「再生」、「HDMI/録画」、「レグザリンク」、「録画リスト」、「番組表」、「時短」を押すと、本機の電源が「入」になり、テレビが自動的に本機が接続されているHDMI入力に切り換わります。
- 本機の電源を入れて以下のボタンを押すと、テレビが自動的に本機が接続されているHDMI入力に切り換わります。



- テレビの番組表を使って、本機に録画予約できます。
- 本機で再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生は自動的に停止状態になります。ただし、再生が自動的に停止しない場合もありますので、本機前面の再生ランプで状態をご確認ください。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。ただし、HDD、USB-HDD、ディスクのいずれかが、予約録画以外で通常録画中の場合や、本機が起動処理中の場合は電源が切れません。

レグザリンク対応のREGZA シリーズ機種について

対応機種については、当社ホームページからレグザリンク総合ナビページをご覧ください。

<http://www.toshiba.co.jp/regza/>

- 他社のHDMI-CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合がありますが、レグザリンク対応機種以外はその動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは【レグザリンク・コントローラ】を【切】にしてください。くわしくは「171」をご覧ください。

レグザリンク機能について・つづき

レグザリンク機能を設定する

レグザリンク機能を使うには、以下の手順で【レグザリンク・コントローラ】の設定を【入】にしてください。

》 準備

- 本機と東芝のレグザリンク対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく [21](#)
- テレビ側でレグザリンクの設定をしておく(くわしくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。)

- ① **スタートメニュー** を押して【設定】⇒【本体設定】⇒【HDMI接続設定】⇒【レグザリンク・コントローラ】を選び **決定** を押す
- ② 【入】を選び **決定** を押す
くわしくは [171](#) をご覧ください。



- 【レグザリンク・コントローラ】はテレビではレグザリンク(HDMI連動)と呼んでいる場合があります。

レグザリンク・ダビングとは？

本機能に対応している東芝のテレビで録画した映像を、ネットワークを使って本機に送り、ダビングするものです。

- 操作についてくわしくは [125](#) をご覧ください。
- テレビの設定や操作についてくわしくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

LANケーブルで接続する

- ① 本機とテレビをLANケーブルで接続する [138](#)
- ② 【ネットワーク接続設定】を設定する [142](#)
- ③ 【ネットワーク連携設定】を設定する [145](#)
- ④ テレビ側で必要な設定をする
 - くわしくは接続するテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

さまざまな情報

本章では、各機能の設定や、メディアや記録時間などの情報、困ったときの解決法などを説明しています。

本機や放送局からのお知らせを確認する 168

視聴制限を設定する 169

いろいろな設定を変える(本体設定)

1 スタートメニュー 押す	2 【設定】→ 【本体設定】 を選び 決定 押す	3 好みの項目 または設定を 選び 決定 押す
----------------------------	--	---

くわしくは 170

ソフトウェア情報と更新について 176

放送関連の設定を変える(放送受信設定) 177

本機で使えるメディアについて 179

本機を初期化する

1 スタートメニュー 押す	2 【設定】→【本体設定】→ 【その他】→【初期化】 を選び 決定 押す	3 好みの項目 を選び 決定 押す
----------------------------	--	--------------------------------------

くわしくは 182

ディスクを初期化する 183

メディアを管理する 184

同時にできること 187

記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について 193

各メディアに関するその他のお知らせ 194

記録時間一覧表 198

テレビ画面に表示されるメッセージ 200

困ったときは 202

症状に合わせて解決法を調べる 205

本機や放送局からのお知らせを確認する

スタートメニュー画面の【お知らせメール】で、本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード(掲示板)を確認できます。

未読のお知らせがある状態で本機の電源を入れたり、番組視聴中に新規メールを受信したりすると、テレビ画面上に【スタートメニューからメールを確認してください】というメッセージが約20秒間表示されます。

お知らせメールについて

本機ではパソコンや携帯電話の電子メールは扱えません。

内部メール

本機から以下の情報や連絡が送られてきます。

- 【送信状況変更のお知らせ】
地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
- 【自動チャンネル再設定のお知らせ】
本機が自動チャンネル再設定をおこなったとき
- 【ダウンロードのお知らせ】
更新されたダウンロード可能なソフトウェアがあるとき
- 【FW更新のお知らせ】
ソフトウェア情報と更新をおこなったとき

外部メール

- 放送局からのお知らせなどが送られてきます。
- 1 放送局につき、最大13通まで保管できます。13通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが削除されます。
- 保存期限は14日間です。
- 表示するメールは、miniB-CASカードのIDに左右されません。

ボード

- 110度CSデジタル放送からの情報や案内が表示されます。

1  を押す

2 【お知らせメール】を選び  を押す

3 【放送メール】、【CS1 ボード】、【CS2 ボード】を選び  を押す

- メールやボード(掲示板)の一覧が表示されます。

【放送メール】

本機や放送局から送られてきたメールを確認できます。

【CS1 ボード】または【CS2 ボード】

110度CSデジタル放送局の情報や案内をボード(掲示板)で確認できます。

- メッセージが表示されます。
- 未読のメールは  と表示されます。
- 確認が終わったら、 を押してください。

視聴制限を設定する

パスワードを設定して、視聴を制限できます。制限できる機能は以下になります。

- ・【インターネット接続制限】、【BD-Live接続設定】、【BD視聴制限レベル】、【DVD視聴制限レベル】

1 **スタート** を押して、【設定】→【本体設定】を選び **決定** を押す

2 【再生設定】または【ネットワーク設定】を選び **決定** を押す

3 お好みの項目を選び **決定** を押す

- ・【再生設定】を選んだ場合は、【BD視聴制限レベル】または【DVD視聴制限レベル】を選んでください。
- ・【ネットワーク設定】を選んだ場合は、【インターネット接続制限】または【BD-Live接続設定】を選んでください。

4 **1** ~ **10** でパスワード(4桁)を入力する

- ・入力した数字は、「*」で表示されます。
- ・パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

入力を間違えたときは

◀で戻るか、▲・▼で【すべてクリア】を選び **決定** を押す

パスワードを忘れたときは

4、7、3、7を入力する

- ・新しいパスワードを登録できます。

5 お好みの設定を選び **決定** を押す

- ・設定が終わったら、**終了** を押してください。



- ・本機に登録できるパスワードは1つです。

制限できる機能と内容

インターネット接続制限

本機を使ってインターネットサービスをご利用になるご家庭では、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限するため、本機能のご利用をおすすめします。以下の項目で【制限する】を選んでください。

制限しない： インターネットアクセスを許可します。

制限する： インターネットアクセスを禁止します。
(「BD-Live」機能が使えなくなります。)

BD-Live接続設定

BD-Live機能を制限します。

有効： BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。

有効(制限つき)： 証明書を持つBD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。

無効： BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。

BD視聴制限レベル

ブルーレイディスクの視聴を制限します。

無制限： 制限なく、すべてのディスクが視聴できます。

視聴可能年齢設定： 年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢制限をこえる内容が含まれるディスクは視聴できなくなります。

DVD視聴制限レベル

DVDの視聴を制限します。

無制限： 制限なく、すべてのディスクが視聴できます。

レベル8： 年齢に関係なく視聴できます。

レベル7： 18歳未満の方は視聴できません。

レベル6： 保護者の指導のもとで18歳未満の方が視聴できます。

レベル5： 保護者同伴での視聴を推奨します。

レベル4： 13歳未満の方の視聴には不適切な表現があります。

レベル3： 保護者の方の判断による視聴を推奨します。

レベル2： 一般的に視聴できる内容です。

レベル1： お子様が見ても問題のない内容です。



- ・市販品のディスクに視聴制限が設定されている場合は、パスワードを入力することで一時的に視聴制限を解除できます。(本機の電源を切るまでの間、ディスクを視聴できます。)
- ・ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載通りに動作しないことがあります。

パスワードを変更する

1 **スタート** を押して、【設定】→【本体設定】→【その他】→【パスワード変更】を選び **決定** を押す

2 **1** ~ **10** を押して、現在のパスワードを入力する

- ・入力した数字は、「*」で表示されます。
- ・新しいパスワードの入力画面が表示されます。

3 **1** ~ **10** を押して、新しいパスワードを入力する

- ・確認用の再入力画面が表示されるので、もう一度入力して **決定** を押してください。
- ・変更が終わったら、**終了** を押してください。



- ・パスワードは忘れないようにご注意ください。

いろいろな設定を変える(本体設定)

【本体設定】を使う

1 を押して、【設定】→【本体設定】を選び を押す

2 お好みの項目または設定を選び を押す

- この操作を繰り返し、お好みの設定に変更します。
- を押すと、左側の設定項目に戻ります。

確認画面が表示されるときは

【はい】を選び を押す

- 設定が終わったら、 を押してください。



- 録画中は、設定画面の設定ができないことがあります。(設定できない場合は、その項目は選べません。)
- 再生中に設定メニュー画面を表示すると、再生が自動的に停止します。

【本体設定】の項目と設定内容

映像設定

TV画面選択

4:3レターボックス : 4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに見し、上下方向に黒い帯を表示します。

4:3パンスキャン : 4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVD-Videoソフトはレターボックスで表示されます。

16:9ワイド : 16:9ワイドテレビで見るときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。

16:9シュリンク : 16:9ワイドテレビで、4:3映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ4:3映像を縮小して表示します。

- 正しい画面サイズ(画角、画面の縦横比)でプログレッシブ映像を見るにはテレビ側で画角を調整してください。
- 16:9テレビに接続するときは、【16:9シュリンク】に設定することをおすすめします。
- 4:3テレビに接続するときは、【4:3レターボックス】に設定することをおすすめします。



- HDMI 端子から 720p/1080i/1080p/1080p24/4K2K で出力している場合は、【TV画面選択】の設定に関わらず、【16:9シュリンク】のみ有効になります。
- 再生できる画面形状があらかじめ決められている市販品のブルーレイディスク/DVD-Videoなどの場合や、放送内容や再生する番組によっては、設定した画面形状通りに再生されないことがあります。

ステルモード

自動 : 表示する静止画の情報に応じて、【フィールド】または【フレーム】のどちらかで表示されます。

フィールド : 【自動】に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。【フィールド】を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

フレーム : 動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。

【フレーム】を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。

音声設定

Dolby Audio

PCM : Dolby Audio - Dolby Digital/Dolby Audio - Dolby Digital Plus/Dolby Audio - Dolby TrueHD を2chダウンミックスに変換して出力します。

自動 : HDMI端子から :
接続する機器がDolby Audio - Dolby Digital/Dolby Audio - Dolby Digital Plus/Dolby Audio - Dolby TrueHDに対応している場合は、ビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)

DTS/DTS-HD

PCM : DTS[®]、DTS-HD[®]をLPCMに変換して出力します。(コアサブストリームのみをダウンミックスして2ch PCMで出力されます。)

自動 : HDMI端子から :
接続する機器がDTS[®]、DTS-HD[®]に対応している場合は、ビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)

AAC

PCM : AAC 音声をLPCMに変換して出力します。

自動 : HDMI端子から :
接続する機器がAACに対応している場合は、HDMI端子からビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)

BD-HD 音声設定

複合音声 : BD-Videoのインタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。

HD音声 : BD-Videoのプライマリ音声のみを高品質で出力します。

Dolby D レンジ

自動 : Dolby Audio-Dolby TrueHDの再生中に、本機がディスクのDolby D レンジ情報を認識し、Dolby D レンジ設定を自動的に「入」、または「切」に設定します。音声はDolby Audio-Dolby TrueHD以外の場合は、「切」と同じ動作をします。

入 : 記録された音声の強弱の幅を調整します。

切 : 記録されたオリジナル音源で出力します。

● 効果は、番組によって異なります。

HDMI接続設定

HDMI解像度設定

自動 : おすすめの設定です。接続したHDMI機器および、コンテンツに応じて自動で適切な解像度に設定します。

480p : 480プログレッシブで出力します。

720p : 720プログレッシブで出力します。

1080i : 1080インターレースで出力します。

1080p : 1080プログレッシブ60フレームで出力します。24p記録された映像を再生中に映像のうごきがなめらかではない場合は設定を「自動」に変更してください。

1080p24 : 1080プログレッシブ24フレームで出力します。

4K2K : 4K対応テレビと接続時に1080p/24Hzのコンテンツを再生すると4K2K/24pに映像をアップコンバートして出力します。

※ 本機から4K2Kで出力する場合は、レグザコンビネーション高画質機能はオフとなります。この機能をオンにする場合は、本機能に対応したテレビと接続し、本機・テレビともに【レグザリンク・コントローラ】を「入」にして、テレビ側で4K2Kへアップコンバート動作するようにHDMI解像度の設定を「自動」にすることをおすすめします。レグザコンビネーション高画質機能がオンのときに、テレビの【レグザリンク・コントローラ】を「切」に設定しても、本機のHDMI出力解像度は、1080pから4K2Kへは切り換わりません。

HDMIディープカラー

自動 : 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合は、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。

切 : HDMI端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。

プログレッシブモード

HDMI出力端子からプログレッシブで出力する際の適切な出力方法を設定します。

自動 : 映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に適切な状態で出力します。

ビデオ : ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。【自動】設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。

HDMI音声出力

HDMI出力端子から音声を出力するかどうかを設定します。

入/切

レグザリンク・コントローラ

東芝のレグザリンク対応テレビでレグザリンク機能を使うかどうかの設定をします。**166**

入/切

● 【入】にすると【待機設定】の設定も自動的に【通常待機】になります。

● 本機とHDMI-CEC規格に準拠したレグザリンク対応テレビをHDMIケーブルでつなぐと、本機に対応しているレグザリンク連動機能を利用できます。くわしくはレグザリンク対応機器側に付属の取扱説明書をお読みください。

いろいろな設定を変える(本体設定)・つづき

3D設定

3D映像視聴設定

自動(3D)： 3D映像で出力します。

2D： 3D映像を2Dで出力します。

- ディスクによっては、2D出力できないものがあります。
- 3Dコンテンツを4Kアップコンバート出力する場合は、【2D】に設定してください。

3D奥行き設定

3D映像を出力するときの奥行き感を設定します。

3D画面表示

サイドバイサイド方式の3D映像を表示するときのメニューやメッセージ位置を設定します。

入(サイドバイサイド)： 3D映像の一部メニューやメッセージをサイドバイサイド方式で表示します。

切(通常)： 通常の方式で3D映像を表示します。

再生設定

- 言語設定はBD-Video/DVD-Video側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD-Video/DVD-Videoによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクに付属の取扱説明書をお読みください。
- BD-Video/DVD-Videoによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。

音声言語設定

BD-Video/DVD-Videoを再生するときの音声言語を設定します。

【その他の言語】を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、**175**の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。

オリジナル / 日本語 / 英語 / その他の言語

字幕言語設定

BD-Video/DVD-Videoを再生するときの字幕言語を設定します。

【その他の言語】を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、**175**の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。

切 / 日本語 / 英語 / その他の言語

ディスクメニュー言語設定

BD-Video/DVD-Videoを再生するときのディスクメニューの言語を設定します。

【その他の言語】を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、**175**の言語コード一覧表を参考に、言語コードを入力してください。

日本語 / 英語 / その他の言語

BD視聴制限レベル

ブルーレイディスクの視聴を制限します。**169**

無制限 / 視聴可能年齢設定

DVD視聴制限レベル

DVDの視聴を制限します。**169**

無制限 / レベル8 / レベル7 / レベル6 / レベル5 / レベル4 / レベル3 / レベル2 / レベル1

ワンタッチスキップ

▶を押したときに、何秒スキップするかを設定します。**91**

5秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分

ワンタッチリプレイ

◀を押したときに、何秒スキップバックするかを設定します。**91**

5秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分

アングルアイコン

【入】に設定すると、再生中に、カメラアングル(映像)が切り換え可能な場面で、画面に **193** を表示します。**95**

入 / 切

JPEGスライドショー

写真の表示時間を設定します。**97**

5秒 / 10秒

録画設定

チャプター自動生成

録画する番組に、自動的にチャプターを分割するかどうかを設定します。時間を選ぶと、指定した時間間隔でチャプターを分割します。

切： 録画するとき自動的にチャプターを分割しません。

マジックチャプター： らく見コースで再生できるようにチャプター分割します。

5分間隔 / 10分間隔 / 15分間隔 / 20分間隔 / 30分間隔 / 60分間隔

録画のりしろ

録画予約するとき、録画終了を約5秒間増やして録画する機能を使うかどうかを設定します。

デジタル放送では、地域によっては最大4秒の映像の遅れが発生することがあります。この設定をすれば、映像の遅れが発生しても録画が欠けないように対応できます。

する / しない

EPモード

6時間： 録画モードをEPにして録画するとき、通常のEPで録画します。

8時間： 通常のEPよりも長時間録画します。(画質は低下します。)

録画アスペクト(Video)

4:3： DVD-RW(Video) / DVD-R(Video)にダビングするときの画面の縦横比を4:3固定とします。

16:9： DVD-RW(Video) / DVD-R(Video)にダビングするときの画面の縦横比を16:9固定とします。

• 設定のしかたについては、**170**をご覧ください。(____ はお買い上げ時の設定です。)

二カ国語音声

主音声： 二重音声(二カ国語)を録画するときの音声を主音声で録画します。

副音声： 二重音声(二カ国語)を録画するときの音声を副音声で録画します。

スマホ持ち出し用画質

録画するときのスマホ持ち出し用画質を設定します。

1280×720(12Mbps)／1280×720(8Mbps)／
1280×720(6Mbps)／1280×720(4Mbps)／
1280×720(2.4Mbps)／640×360(1.5Mbps)／
320×240(1.0Mbps)／320×240(0.6Mbps)

DVD持ち出し(VR)用画質

録画するときDVD持ち出し(VR)用に作成するコンテンツの画質を設定します。

自動／XP(画質優先)／SP／LP／EP(容量優先)

バックアップ先設定

SeeQVault対応USB-HDDに自動バックアップするときのバックアップ先を設定します。

- 新規で購入されたSeeQVault対応USB-HDDの場合は、バックアップ先を設定する前に、引越し・バックアップ用USB-HDDとして接続・設定する必要があります。くわしくは**160**をご覧ください。
- 自動バックアップは本機の電源「切」時におこなわれますので、バックアップ先に設定したSeeQVault対応USB-HDDの電源を切ったり、USB-HDDを抜き差ししたりしないでください。

番組終了時の録画自動停止

デジタル放送を手動で録画するとき、番組終了に合わせて自動的に録画を停止するかどうかを設定します。

する： 録画している番組が終了すると自動的に録画を停止します。

しない： 録画している番組が終了しても録画を続けます。(HDDとUSB-HDDへの録画の場合は、最大15時間まで録画します。ブルーレイディスクへの録画可能時間は8時間未満です。)

ネットワーク設定

ネットワーク接続設定

ネットワーク接続を設定します。**142**

有線LAN： LANケーブルを使って接続します。

無線LAN*： 無線LANを使って接続します。

使用しない： ネットワークを使用しません。

*DBR-W2009/DBR-W1009のみ

ネットワーク連携設定

スマホdeレグザやレグザリンク、および対応アプリなど、ネットワークを利用した連携機能に関する設定をします。**145**

ネットワーク連携設定／デバイスネーム設定／
ネットワーク連携接続設定／優先モード設定

アクセス制限

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

メール予約設定

メールで録画予約をおこなうための設定をします。**147**

メール録画予約機能／メール予約パスワード／POP3設定／
SMTP設定／フィルタリング／メール通知／メールアドレス

宅外配信リスト

宅外配信用にペアリングした子機の一覧画面を表示します。

インターネット接続制限

インターネットサービスのご利用で、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限します。**169**

制限する／制限しない

BD-Live接続設定

インターネットサービスのご利用による追加映像や追加字幕のダウンロードや、インタラクティブ機能を制限します。

169

有効／有効(制限つき)／無効

ネットワークステータス表示

現在のネットワークの設定を表示します。

いろいろな設定を変える(本体設定)・つづき

その他

未使用時自動電源オフ

電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定をします。

利用しない／30分／1時間／2時間／3時間／6時間

テレビ画面保護

スタートメニュー画面などを表示中に、操作をしない状態が約15分続いた場合は、自動的にテレビ放送画面に戻ります。(音楽用CDのトラックリストまたはJPEGファイルの【録画リスト】画面表示中は、スクリーンセーバーが起動します。)

入／切

待機設定

電源「切」時に、消費電力を抑えるかどうかを設定します。

通常待機：【省エネ待機】に設定したときよりも高速で起動しますが、電源「切」時の消費電力が増えます。

省エネ待機：【通常待機】に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、電源「切」時の消費電力を抑えることができます。

- 以下の設定の場合は、【待機設定】は自動的に【通常待機】になります。
 - ・【レグザリンク・コントローラ】が【入】のとき
 - ・【ネットワーク連携設定】が【利用する】のとき
- 【通常待機】のときは内部の制御部が通電状態になるため、【省エネ待機】のときと比較して次のようなところが異なります。
 - ・電源「切」時の消費電力が増えます。
 - ・本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ることがあります。

瞬速起動

ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を【待機設定】の【通常待機】設定時よりさらに短縮できます。

- 最大2つまで設定できます。
- 設定している時間帯は内部の制御部が通電状態になるため、設定していないときと比較して次のようなところが異なります。
 - ・電源「切」時の消費電力が増えます。
 - ・本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ります。
- 設定している時間帯は絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜く場合は、その時間帯の【瞬速起動】設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。

AM7:00～AM10:00／AM10:00～PM1:00／
PM1:00～PM4:00／PM4:00～PM7:00／
PM7:00～PM10:00／PM10:00～AM1:00／
AM1:00～AM4:00／AM4:00～AM7:00

メンテナンス時刻設定

本機がメンテナンス動作をおこなう時刻を設定します。

リモコン設定

本機のリモコンを設定します。

本体リモコン設定： 本機のリモコンが他の東芝レグザサーバー(またはレコーダー)を操作しないように、リモコンと本機のリモコンコードを設定します。
リモコンコード1／リモコンコード2／
リモコンコード3／リモコンコード4／
リモコンコード5

テレビリモコン設定： 本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。くわしくは「テレビメーカーを設定する」[31](#)をご覧ください。

リモコン不一致表示： 本体リモコン設定と異なるリモコンコードを受信した場合に、リモコンコードが一致しないメッセージを表示するかどうかを設定します。
表示する／**表示しない**

ランプ設定

本機のランプの明るさを設定します。

明： ランプは常に明るくなります。

暗： ランプは常に暗くなります。

シアター： ランプは常に暗くなります。また、再生中に1分間何も操作しなければ、再び操作をするまでランプは消灯します。

時刻設定

本機の日時を設定します。

- デジタル放送受信時は自動取得するため、現在の日時を表示するのみで、設定変更はできません。

パスワード変更

画面の指示に従ってパスワードを変更できます。[169](#)

ソフトウェア情報と更新

本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使用したダウンロード、または東芝サーバーからインターネットを使用したダウンロードによる最新ソフトウェアの更新をするかどうかの設定をします。[176](#)

初期化

本機で設定されたデータを、お好みに合わせて初期化します。

[182](#)

・設定のしかたについては、**170**をご覧ください。(____ はお買い上げ時の設定です。)

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali; Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	de	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	es	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	fr	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hebrew	he	5451
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Indonesian	id	5550
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Icelandic	is	5565
Italian	it	5566
Japanese	日本語	5647
Javanese	jav	5668

言語名	画面上の表示	言語コード
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	ko	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian; Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	nl	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto; Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565

言語名	画面上の表示	言語コード
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6651
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yiddish	yi	7155
Yoruba	yo	7161
Chinese	zh	7254
Zulu	zu	7267

ソフトウェア情報と更新について

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア(制御プログラム)を改良版として公開する場合があります。ソフトウェアを更新するには、以下の方法があります。

- デジタル放送電波を使って更新する
- サーバーを使って更新する

ソフトウェア更新中は、電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの書き込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる恐れがあります。動作しなくなったときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」(裏表紙)にご連絡ください。

ソフトウェアのバージョンを確認する

現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

- 1 **スタートメニュー** を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【その他】** → **【ソフトウェア情報と更新】** → **【バージョン情報】** を選び **決定** を押す
 - ソフトウェアバージョン情報が表示されます。
 - 確認が終わったら、**終了** を押してください。

デジタル放送電波を使って更新する

本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使ってソフトウェアをダウンロードし、自動的に最新のソフトウェアに更新します。

- 1 **スタートメニュー** を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【その他】** → **【ソフトウェア情報と更新】** → **【放送波による自動更新】** を選び **決定** を押す

- 2 **【自動更新する】** を選び **決定** を押す
 - ダウンロードが実施されると、【お知らせメール】が届きます。**168分**
 - 設定が終わったら、**終了** を押してください。



- 以下の場合、ソフトウェアを自動更新できません。
 - 電源プラグが抜けている
 - 悪天候などにより受信状態が悪い
 - 本機の電源が入っている
 - ダウンロード更新時刻と予約録画が重なっている
- 本機のソフトウェア更新は、本機の電源「切」時におこなわれます。
- ダウンロード更新中に本機を操作すると、ダウンロードは中止されます。



- ダウンロードをおこない、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- ソフトウェア更新中は本機前面のHDDランプ(青)が点滅します。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

サーバーを使って更新する

インターネットを使って東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新します。

(新しいソフトウェアが公開されていないときは、ダウンロードされません。)

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送をご利用でない方は、サーバーを使って更新してください。

準備

- 本機とネットワークを接続しておく **138分**
- ネットワークの接続設定をしておく **142分**

- 1 **スタートメニュー** を押して、**【設定】** → **【本体設定】** → **【その他】** → **【ソフトウェア情報と更新】** → **【ネットワークによる更新】** を選び **決定** を押す

- メッセージが2回表示されるので、【はい】を選び **決定** を押してください。
- ダウンロード終了のメッセージが表示されたら、**決定** を押してください。
- ソフトウェアが最新のときは確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

ソフトウェアが公開されているか自動で確認するには

- 1 手順 1 で **【自動更新確認】** を選び **決定** を押す
- 2 **【更新確認する】** を選び **決定** を押す
 - ソフトウェアの確認は、本機の電源「切」のときにおこなわれます。
 - 新しいソフトウェアが公開されている場合は、本機の電源を「入」にしたときにメッセージが表示されます。ダウンロードする場合は、【はい】を選び **決定** を押してください。



- 以下の場合、ソフトウェアをダウンロードできません。
 - 録画中
 - ダビング中
- ソフトウェアを更新中は、他機への配信が停止されます。
- ソフトウェアのダウンロード中に予約録画が始まると、ダウンロードを中止します。

放送関連の設定を変える(放送受信設定)

放送関連の設定は、【放送受信設定】メニューで変更することができます。

【放送受信設定】を使う

1 を押して、【設定】→【放送受信設定】を選び を押す

2 お好みの項目または設定を選び を押す
この操作を繰り返し、お好みの設定に変更します。

- 設定が終わったら、を押してください。

【放送受信設定】の項目と設定内容

地上デジタル設定

チャンネル初期スキャン

お住まいの地域を選んでください。お住まいの地域に合った地上デジタルチャンネル設定をおこなうために必要です。引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信地域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやりなおします。(【はじめての設定】の中で実行されるスキャンと同じです。)

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

通常： 地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンします。

CATV対応：CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルを対象にスキャンします。

チャンネル再スキャン

地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンをおこない、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。
- 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。

アンテナの設定

映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。

アッテネーター[入]/[切]：アンテナレベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。【アッテネーター】の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。

物理チャンネル：リモコンの数字ボタンで、2桁の物理チャンネルを入力し、受信します。

チャンネルの設定

チャンネルの割り当て設定：リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

くわしくは  をご覧ください。

自動チャンネルリバック

入： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。

切： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的に更新しません。視聴できないチャンネルが発生した場合は、【チャンネル再スキャン】をおこなってください。

放送関連の設定を変える(放送受信設定)・つづき

● 設定のしかたについては、**177** をご覧ください。(____ はお買い上げ時の設定です。)

BS・CSデジタル設定

- BS・110度CSチャンネルに関しては、チャンネルスキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

アンテナ電源

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。

供給する(個別)： 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。おもに一戸建て住宅などで受信するときに設定します。

供給しない(共聴)： 他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、またはBS・110度CSアンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもにマンションなどの共聴受信時に設定します。

アンテナの設定

映りが悪いBS・110度CSデジタル放送チャンネルがあるとき、BS・110度CSアンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。

34

BSチャンネルの設定

チャンネルの割り当て設定： リモコンの数字ボタンにBS放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：  で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

くわしくは **33** をご覧ください。

CSチャンネルの設定

チャンネルの割り当て設定： リモコンの数字ボタンに110度CS放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：  で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

くわしくは **33** をご覧ください。

一般設定

視聴年齢制限

デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。

くわしくは「視聴可能年齢を設定する」**35** をご覧ください。

- 設定／解除するにはパスワードの作成・入力が必要です。

無制限： 年齢制限しません。

4歳～19歳： 制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限をこえる番組を視聴または録画予約するときは、パスワードの入力が必要になります。

パスワード変更

【視聴年齢制限】のパスワードを変更します。

くわしくは「視聴可能年齢を設定する」**35** をご覧ください。

B-CASカード番号表示

miniB-CASカードの状態やID番号を表示します。

アンテナ出力

本機の電源「切」のとき、背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは【入】に設定してください。【切】にすると、本機の電源「切」のときにテレビで地上デジタル放送やBS・110度CS放送が受信できなくなる場合があります。

入： 電源「切」時でも地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力します。

切： 電源「切」時は地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力しません。

文字スーパー

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合は、表示される文字スーパーの言語を設定します。

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組(強制的に文字スーパーが表示されるものなど)によっては、設定通りに表示されないことがあります。

- 【表示しない】に設定しても、緊急放送のような自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。

- 文字スーパーの対応言語は日本語、英語となります。

日本語で表示／英語で表示／表示しない

地域の設定

お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

くわしくは「地域設定を変更する」**35** をご覧ください。

郵便番号の設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。地域に密着したデータ放送をより正しく視聴するために、郵便番号を入力してください。

くわしくは「地域設定を変更する」**35** をご覧ください。

本機で使えるメディアについて

録画できるメディア

	デジタル放送	繰り返し録画
HDD(内蔵ハードディスク)	○	○
通常録画用USB-HDD/SeeQVault対応USB-HDD (外付けハードディスク)	○	○
BD-RE SL(1層)/BD-RE DL(2層)/ BD-RE TL(3層) Ver. 2.1、3.0(高速記録2倍速ディスクまで)	○	○
BD-R SL(1層)/BD-R DL(2層) BD-R TL(3層)/BD-R QL(4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0(高速記録6倍速ディスクまで)	○	×

○：ハイビジョン画質で録画できる ○：録画できる ×：録画できない

ダビングできるメディアと録画モード

デジタル放送をDVD-RW/DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。

	ダビングできる番組の画質			
	DR	AVC (HD画質)	標準 (標準画質)	SKP
HDD(内蔵ハードディスク)	○	○	○	○
通常録画用USB-HDD/SeeQVault対応USB-HDD (外付けハードディスク)	○	○	○	○
BD-RE SL(1層)/BD-RE DL(2層)/BD-RE TL(3層) Ver. 2.1、3.0(高速記録2倍速ディスクまで)	○	○	○	○
BD-R SL(1層)/BD-R DL(2層) BD-R TL(3層)/BD-R QL(4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0(高速記録6倍速ディスクまで)	○	○	○	○
DVD-RW Ver. 1.1、1.2(高速記録6倍速ディスクまで)	AVCフォーマット	×	○	×
	VRフォーマット	×	×	○
	Videoフォーマット	×	×	○ ^{*2}
DVD-R(1層)/DVD-R DL(2層) ^{*1} Ver. 2.0、2.1(高速記録16倍速ディスクまで) Ver. 3.0(高速記録8倍速ディスクまで)	AVCフォーマット	×	○	×
	VRフォーマット	×	×	○
	Videoフォーマット	×	×	○ ^{*2}

○：ダビングできる ×：ダビングできない

^{*1} DVD-Rの2層ディスクの場合は、AVCREC™方式(AF~AE)でのみダビングできます。

^{*2} DVD-RW(Video)/DVD-R(Video)にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズがおこなわれます。
(本書では、ファイナライズされたDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)はDVD-Videoとして扱います。)

本機で使えるメディアについて・つづき



- デジタル放送をダビングする場合は、「コピー」、「移動」のどちらになるかについては、**135**をご覧ください。
CATV(ケーブルテレビ)、スカパー!、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。
ただし、CATVのホームターミナル/セットトップボックス経由でダビング10(コピー9回+移動1回)番組を録画する場合は、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組として録画されます。
- 本機で対応しているDVD-RW/DVD-Rの録画方式は3種類(AVCREC™、VR、Video)です。**183**
- ファイナライズされたDVD-RW(AVCREC™)/DVD-RW(Video)に繰り返しダビングするには、初期化(再フォーマット) **186**をおこなってください。(ただし、初期化をおこなうと録画内容は消去されます。)
- 録画/ダビング動作確認済みメディアについては、以下になります。(2019年1月現在)

- DVD-R		- DVD-RW		- BD-R TL	
maxell: DRD120WPE、		maxell: DW120WPA		Verbatim: VBR520YP5V1	
DRD120PWE		Verbatim: VHW12NP10V1		- BD-RE	
MITSUBISHI: VHR12JPP10		- BD-R		Panasonic: LM-BE25P10	
- DVD-R DL		Panasonic: LM-BR25LP10		- BD-RE DL	
maxell: DRD215WPE		- BD-R DL		Panasonic: LM-BE50P10	
MITSUBISHI: VHR21HDSP10		Panasonic: LM-BR50LP10			

※ メディアへの録画/ダビング動作を確認しておりますが、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

再生できるメディア

	再生	録画リストから再生	追っかけ再生		
HDD(内蔵ハードディスク)	○	○	○		
通常録画用USB-HDD(外付けハードディスク)	○	○	○		
SeeQVault対応USB-HDD(外付けハードディスク)	○	○	○		
BD-RE SL(1層) / BD-RE DL(2層) / BD-RE TL(3層) Ver. 2.1、3.0(高速記録2倍速ディスクまで)	○	○	×		
BD-R SL(1層) / BD-R DL(2層) BD-R TL(3層) / BD-R QL(4層) Ver. 1.1、1.2、1.3、2.0(高速記録6倍速ディスクまで)	○	○	×		
DVD-RW Ver. 1.1、1.2(高速記録6倍速ディスクまで)		AVCフォーマット	○	○	×
		VRフォーマット	○	○	×
		Videoフォーマット	○	×	×
DVD-R(1層) / DVD-R DL(2層) Ver. 2.0、2.1(高速記録16倍速ディスクまで) Ver. 3.0(高速記録8倍速ディスクまで)		AVCフォーマット	○	○	×
		VRフォーマット	○	○	×
		Videoフォーマット	○	×	×
BD-Video リージョンコードに  が含まれるディスク	○	×	×		
DVD-Video リージョンコードに  や  が含まれるディスク	○	×	×		
DVD-RAM(4.7/9.4GB) Ver. 2.0、2.1、2.2 他のDVDレコーダーのVR方式で録画されて、カートリッジからディスクを取り出せるもの	○	○	×		
音楽用CD(CD-DA) 音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW / CD-R	○	○	×		
JPEG デジタルカメラで撮影された写真などが記録されたもの	○	○ (JPEG専用)	×		
AVCHD方式 デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画で記録されたもの ^{*1}	○ ^{*2}	×	×		

○：再生できる ×：再生できない

*1 ファイナライズ済みのDVD-RW / DVD-R / DVD-RAM(2層ディスクを含む)

*2 ディスクの場合：ディスクから直接再生できます。

SDカードやUSB機器の場合：本機に取り込み(ダビングし)、HDDの【録画リスト】画面から再生できます。 **127**



- HD Recの再生については、本機では対応していません。
- VCD / SVCDの再生については、本機では対応していません。
- HD DVDについては、本機では対応していません。
- +RW / +Rについては、本機では対応していません。

本機を初期化する

本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、【すべての初期化】をおこなうことをおすすめします。

1 → 【設定】 → 【本体設定】 → 【その他】 → 【初期化】を選び を押す

2 お好みの項目を選び を押す

- 初期化が終わったら、 を押してください。

初期化の項目と内容

BDビデオデータ消去

以下の中から消去方法を選んでください。
(本機のディスプレイにBD-Videoが入っている場合は、選ぶことができません。)

- 【すべてのBDビデオデータ消去】：
本機とUSBメモリに保存されたすべてのBDビデオデータを消去します。
- 【アプリケーションデータ消去】：
本機に保存されたBDビデオデータの中で、アプリケーションデータ(BDビデオのゲームスコアなど)を消去します。
- 【バーチャルパッケージ消去】：
USBメモリに保存されたBDビデオデータの中で、バーチャルパッケージ(ダウンロードしたBDビデオの特典映像・音声・字幕など)を消去します。

USBメモリ初期化

USBメモリを初期化して、本機で使えるようにします。

- USBメモリにAVCHD方式の映像が入っている場合は、USBメモリを初期化できません。お持ちのデジタルビデオカメラやパソコンでUSBメモリのAVCHD方式の映像を削除してから、初期化してください。

ネットワーク設定初期化

以下の項目をのぞき、【ネットワーク設定】で設定した内容を初期化します。

- 【宅外配信リスト】
- 【インターネット接続制限】
- 【BD-Live接続設定】

宅外配信設定初期化

宅外配信に関する設定を初期化します。初期化すると本機に登録した子機のすべてが宅外配信リストから削除されるため、再登録が必要となります。

おすすめ履歴の初期化

「時短で見る」のおすすめ履歴(「いつもの番組」や「あなたにおすすめ番組」に分類する条件)を初期化します。

本機設定初期化 1

以下の項目をのぞき、【本体設定】を初期値に戻します。

- 【BD視聴制限レベル】
- 【DVD視聴制限レベル】
- 【ネットワーク設定】
- 【リモコン設定】
- 【インターネット接続制限】
- 【BD-Live接続設定】
- 視聴制限のパスワード

本機設定初期化 2

以下の項目をのぞき、本機のすべての設定を初期値に戻し、電源が切れます。また、録画予約はすべて取り消されます。

- HDDの録画番組
- USB-HDD登録情報

すべての初期化

工場出荷状態に戻し、電源が切れます。(HDD初期化含む)



- 本機に記憶されたお客様の個人情報(メール、登録情報、ポイント情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ディスクを初期化する

お買い上げ時は初期化されていません。使用前にディスクを初期化してください。

新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する

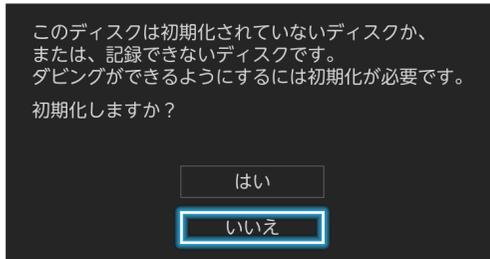
BD

新品(未使用)のディスクを入れると、初期化(フォーマット)画面が表示されるので、ディスクを初期化(フォーマット)してからお使いください。初期化(フォーマット)しないと、録画・ダビングができません。

BD-RE	• あとで初期化しなおすことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。 186)
BD-R	• 一度初期化すると初期化しなおすことはできません。

1 ディスクを入れる

2 メッセージが表示されるので、[はい]を選び **決定** を押す



- 初期化が始まると放送画面に戻ります。
- 初期化が終わるまで、数分かかります。

3 ダビング実行画面が表示されるので、今すぐダビングするかしないかを選び **決定** を押す

[今すぐダビングする]を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」**121**の手順**3**に進んでください。

[今はダビングしない]を選んだ場合

放送画面に戻ります。

新品のDVDを初期化(フォーマット)する

AVCフォーマット VRフォーマット Videoフォーマット

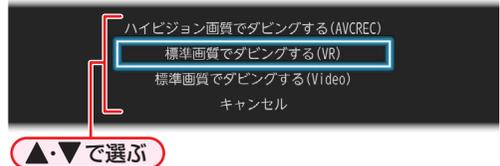
DVDは初期化(フォーマット)するときに、録画方式を選びます。初期化(フォーマット)しないとダビングできません。

DVD-RW	• あとで初期化しなおすことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。 186)
DVD-R	• 一度初期化すると初期化しなおすことはできません。

1 ディスクを入れる

2 メッセージが表示されるので、▲・▼で [はい]を選び **決定** を押す

3 お好みの録画方式を選び **決定** を押す



- VRフォーマットで初期化すると、AVCREC™フォーマットより長時間記録できます。また、他の機器で再生するときは、本機でのファイナライズ**185**とVR方式に対応したプレーヤーなどが必要です。
- Videoフォーマットで初期化すると、ダビング終了後に自動でファイナライズが始まり、終了後は多くのプレーヤーで再生できます。
- 初期化が始まると放送画面に戻ります。

4 ダビング実行画面が表示されるので、今すぐダビングするかしないかを選び **決定** を押す

[今すぐダビングする]を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」**121**の手順**3**に進んでください。

[今はダビングしない]を選んだ場合

放送画面に戻ります。

デジタル放送をダビングするときは

CPRM対応ディスクを使って、VRまたはAVCREC™方式で初期化してください。

本機で2層ディスク(DVD-R DL)を使う場合は

AVCREC™方式でのみ、初期化できます。



- ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
- 初期化は、途中で中止できません。
- 予約録画開始8分前以降は初期化できません。
- 傷や汚れなどが多いディスクは、本来可能な記録時間よりも少なくなってしまう可能性があります。

メディアを管理する

ディスク／USB-HDDの名前を変更する

USB-HDD BD AVCフォーマット VRフォーマット

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【HDD／ディスクの管理】** を選び **決定** を押す
 - メディア選択画面が表示されます。
- 3 **【BD／DVDメニュー】** または **【USB-HDDメニュー】** を選び **決定** を押す
 - **【USB-HDDメニュー】** を選んだときは、つづけて **【通常録画用】** または **【引越・バックアップ用】** を選び **決定** を押してください。
- 4 **【ディスク名変更】** または **【USB-HDD名変更】** を選び **決定** を押す
 - 編集画面が表示されます。
 - 通常録画用USB-HDDの場合は、**【USB-HDD名変更】** はUSB-HDDの登録が完了していないと選択できません。
 - 引越し・バックアップ用SeeQVault対応USB-HDDの場合は、**【USB-HDD名変更】** はUSB-HDDの初期化が完了していないと選択できません。

USB-HDDの場合

接続しているUSB-HDDの一覧で表示されるので、名前を変更したいUSB-HDDを選び **決定** を押す

- 5 **ディスク名またはUSB-HDD名を入力する**



- 入力が終わったら、**決定** を押してください。
- 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び **決定** を押してください。
- ディスク名またはUSB-HDD名が変更されます。
- 変更が終わったら、**終了** を押してください。

ディスクを保護する・保護を解除する

BD AVCフォーマット VRフォーマット

- 1 **スタートメニュー** を押す
 - 2 **【HDD／ディスクの管理】** → **【BD／DVDメニュー】** → **【ディスク保護】** を選び **決定** を押す
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び **決定** を押してください。
 - ディスクが保護(保護が解除)されます。
 - 変更が終わったら、**終了** を押してください。
- お知らせ**
- 保護されたディスクは、以下の操作ができなくなります。
 - 番組の録画やダビング
 - 番組の編集、削除
 - 初期化
 - ファイナライズ、またはファイナライズの解除

ファイナライズ後は録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。(DVD-RW(VR)の場合のみ、ファイナライズを解除できます。)

本機で記録したディスクを ファイナライズする

本機で録画した以下のディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応したほかのプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生できます。

- BD-R
- DVD-RW/DVD-R(AVC)
- DVD-RW/DVD-R(VR)

1 を押す

2 **【HDD/ディスクの管理】⇒【BD/DVDメニュー】⇒【ファイナライズ】を選び を押す**

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び を押してください。
- ファイナライズが始まると放送画面に戻ります。
- ファイナライズは、途中で中止できません。
- ファイナライズの進捗表示は目安です。ディスクによっては90%以降の表示の進捗がかなり遅くなる場合があります。
- ファイナライズは数分から数10分かかります。(録画時間が短い場合や番組数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。)

DVD-Videoの場合

ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。手動でのファイナライズできません。



- ファイナライズ中は、テレビのチャンネル切替以外の操作はできません。また、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機が故障する原因となります。
- 他機で録画されたディスクは、本機でファイナライズができないことがあります。
- 予約録画開始2分前以降はファイナライズできません。(DVD-RW/DVD-RW(VR)は、予約録画開始45分前以降はファイナライズできません。)
- チャプターの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- プレーヤー/レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- BD-RやDVD-Rのファイナライズ中に停電したときは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

ファイナライズを解除する

本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)の場合のみ、本機でファイナライズを解除できます。解除すると、再び録画や編集ができます。

1 を押す

2 **【HDD/ディスクの管理】⇒【BD/DVDメニュー】⇒【ファイナライズ解除】を選び を押す**

- メディア選択画面が表示されます。
- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び を押してください。
- ファイナライズの解除が始まると放送画面に戻ります。

メディアを管理する・つづき

消去された記録内容は、元に戻せません。記録内容をよく確認してから初期化してください。

HDD / USB-HDD 記録内容を全部消去する

HDD USB-HDD

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【HDD / ディスクの管理】** を選び **決定** を押す
 - メディア選択画面が表示されます。
- 3 **【HDDメニュー】** または **【USB-HDDメニュー】** を選び **決定** を押す
 - **【USB-HDDメニュー】** を選んだときは、つづけて **【通常録画用】** または **【引越・バックアップ用】** を選び **決定** を押してください。
- 4 保護された番組も含めすべて消去したいときは **【番組全消去】** を選び **決定** を押す
 保護された番組は残してそれ以外をすべて消去したいときは **【番組全消去(保護番組以外)】** を選び **決定** を押す
 - USB-HDDの場合は、接続しているUSB-HDDの一覧が表示されるので、番組を消去したいUSB-HDDを選び **決定** を押してください。
 - 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び **決定** を押してください。
 - 番組の消去が実行されます。
 - 番組の消去は、途中で中止できません。
 - 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。
 - **【番組全消去】** を選ぶとすべての番組と自作フォルダーが削除されます。
 - **【番組全消去(保護番組以外)】** を選ぶと、保護されていない番組が削除されます。ただし、保護されている番組と保護されている番組を含む自作フォルダーは削除されません。

HDDのスマホ持ち出し番組またはDVD持ち出し(VR)番組を全部消去する

HDD

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【HDD / ディスクの管理】** → **【HDDメニュー】** を選び **決定** を押す

3 **【スマホ持ち出し番組全消去】** または **【DVD持ち出し(VR)番組全消去】** を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、**【はい】** を選び **決定** を押してください。
- 番組の消去が実行されます。
- 番組の消去は、途中で中止できません。
- 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。

ディスクを初期化(フォーマット)しなおす

≫ 準備

- フォーマットするディスクを入れておく

BD-REやDVD-RWの場合は、一度初期化されても、以下の手順で再度初期化できます。

ディスクを初期化するとデータはすべて消去されます。

- 1 **スタートメニュー** を押す
- 2 **【HDD / ディスクの管理】** → **【BD / DVDメニュー】** → **【初期化】** を選び **決定** を押す
 - DVD-RWの場合は、続けて初期化するフォーマットを選んでください。 **183**
 - 確認画面が2回表示されるので、**【はい】** を選び **決定** を押してください。
 - 初期化が始まると放送画面に戻ります。
 - 初期化中は、途中で中止できません。
 - BD-REの初期化はBDAV方式でおこなわれます。

3 ダビング実行画面が表示されるので、今すぐダビングするかしないかを選び **決定** を押す

【今すぐダビングする】 を選んだ場合

「複数の番組をまとめてダビングする」 **121** の手順 **3** に進んでください。

【今はダビングしない】 を選んだ場合

放送画面に戻ります。

ご注意

- 初期化中は、本機の電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。ディスクの破損や本機が故障する原因となります。
- 予約録画開始8分前以降は初期化できません。
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

同時にできること

再生しているときの予約録画について

再生	予約録画	HDD	USB-HDD	BD
HDD	USB-HDD	○	△ ^{*1}	○
BD		○	○	× ^{*3}
DVD-Video	CD	○	○	× ^{*4}
	AVCフォーマット			
	VRフォーマット			
BD-Video	AVCHDフォーマット	△ ^{*2}	△ ^{*6}	× ^{*4}
JPEGフォーマット		× ^{*3}	× ^{*3}	× ^{*5}

○：できる △：一部できないものがある ×：できない

- ^{*1} USB-HDDを複数台接続している場合は、予約録画に使用するUSB-HDDのみ再生できます。(予約録画に使用しないUSB-HDDの再生は停止します。)
- ^{*2} 下記の場合は、一時的に【DR】で録画されます。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。)
- 録画モードを【XP】～【EP】で予約している場合
 - 持ち出し設定を【DVD持ち出し(VR)】に設定している場合
 - 録画モード【AF】～【AE】での予約と持ち出し設定が【スマホ持ち出し】に設定されている予約が2番組ある場合
- ^{*3} 再生を停止し、予約録画を実行します。
- ^{*4} 再生を停止し、ブルーレイディスクへの予約録画はHDDに代理録画されます。
- ^{*5} ディスクの場合：再生を停止し、ブルーレイディスクへの予約録画はHDDに代理録画されます。
SDカードやUSB機器の場合：再生を停止し、予約録画を実行します。
- ^{*6} 下記の場合は、一時的に【DR】で録画されます。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。)
- 持ち出し設定を【DVD持ち出し(VR)】に設定している場合
 - 持ち出し設定が【スマホ持ち出し】に設定されている予約が2番組ある場合

ダビングしているときの再生と予約録画について

ダビングしているときの再生

- 高速ダビング中のみ、再生できます。(等速ダビング中は、再生できません。)
- ダビング中は、写真を再生できません。

ダビング	再生	HDD	USB-HDD	ディスク	
ダビング(高速)					
HDD	↔	USB-HDD	○	△ ^{*2}	○
HDD	↔	ディスク	○	○	×
通常録画用USB-HDD	↔	ディスク	○	△ ^{*2}	×
SeeQVault対応USB-HDD	→	BD	○	△ ^{*2}	×
HDD	→	LAN	○	○	△ ^{*3}
通常録画用USB-HDD	→	LAN	○	△ ^{*2}	△ ^{*3}
AVCHDフォーマット ^{*1}	→	HDD	○	○	×

○：できる △：一部できないものがある ×：できない

- ^{*1} USB機器やSDカードからAVCHD方式の映像を取り込む(ダビングする)場合のみ。
- ^{*2} 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを複数台接続している場合は、ダビングに使用する機器のみ再生できます。
- ^{*3} BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

ダビングしているときの予約録画

- 高速ダビング中のみ、予約録画できます。(等速ダビング中に予約録画が始まると、等速ダビングを中止します。)
- 通常録画用USB-HDD、SeeQVault対応USB-HDDを複数台接続し、ダビングに使用するUSB-HDDと予約録画に使用するUSB-HDDが別々の場合は、予約録画はHDDに代理録画されます。
- ブルーレイディスクへの予約録画は、HDDに代理録画されます。

同時にできること・つづき

録画中の再生について

1 番組のみ録画しているとき

録画メディア		再生するメディア		
録画先	録画モード／持ち出し設定	HDD	USB-HDD	ディスク
HDD	【DR】	○	○	○
	【AVC】または【スマホ持ち出し】	○	○	○
	【標準】または【DVD持ち出し(VR)】	○	○	△ ^{*1}
通常録画用 USB-HDD	【DR】	○	△ ^{*2}	○
	【スマホ持ち出し】	○	△ ^{*2}	○
	【DVD持ち出し(VR)】	○	△ ^{*2}	△ ^{*1}
SeeQVault対応 USB-HDD	【DR】	○	△ ^{*2}	○
BD	【DR】	○	○	×
	【AVC】	○	○	×
	【標準】	○	○	×

○：できる △：一部できないものがある ×：できない

*1 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

*2 USB-HDDを複数台接続している場合は、現在録画中のUSB-HDDのみ再生できます。



- 録画モードを【DR】以外に設定していても一時的に【DR】で録画される場合があります。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

2番組を同時録画しているとき

録画メディア		再生するメディア			
録画先	録画モード／持ち出し設定	HDD	USB-HDD	ディスク	
HDD のみ	【DR】	○	○	○	
	【DR】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○	○	○
	【DR】	【標準】または 【DVD持ち出し (VR)】	○	○	△ ^{※2}
	【AVC】または【スマホ持ち出し】	○	○	○ ^{※1}	
USB-HDD ^{※4} のみ	【DR】	○	△ ^{※3}	○	
	【DR】	【スマホ持ち出し】	○	△ ^{※3}	○
	【DR】	【DVD持ち出し (VR)】	○	△ ^{※3}	△ ^{※2}
	【スマホ持ち出し】	○	△ ^{※3}	○ ^{※1}	
HDD と USB-HDD ^{※4}	【DR】	○	△ ^{※3}	○	
	【DR】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○	△ ^{※3}	○
	【DR】	【標準】または 【DVD持ち出し (VR)】	○	△ ^{※3}	△ ^{※2}
	【スマホ持ち出し】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○	△ ^{※3}	○ ^{※1}
HDD と BD	【DR】	○	○	×	
	【DR】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○	○	×
	【DR】	【標準】または 【DVD持ち出し (VR)】	○	○	×
	【AVC】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○	○	×
USB-HDD ^{※4} と BD	【DR】	○	△ ^{※3}	×	
	【DR】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○	△ ^{※3}	×
	【DR】	【標準】または 【DVD持ち出し (VR)】	○	△ ^{※3}	×
	【AVC】	【スマホ持ち出し】	○	△ ^{※3}	×

○：できる △：一部できないものがある ×：できない

※1 録画モードを【DR】以外に設定していても一時的に【DR】で録画される場合があります。
(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)

※2 BD-VideoとAVCHD方式のディスクは再生できません。

※3 USB-HDDを複数台接続している場合は、現在録画中のUSB-HDDのみ再生できます。

※4 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、録画モードを【DR】以外に設定できません。



● 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

同時にできること・つづき



- 録画中は、写真を再生できません。
- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。



- 録画モードを【AF】～【AE】で録画中に、再生をおこなうと、【DR】に切り換えて録画される場合があります。
- 持ち出し設定が【スマホ持ち出し】に設定されている予約を録画中に再生をおこなうと、【DR】に切り換えて録画される場合があります。
なお、優先モード設定 **173** をスマホ優先モードに設定している場合は、上記の際に再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 録画モードを【DR】に切り換えて録画された場合は、録画が終わると、電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。録画モードの変換が終了しているか確認するには、**116** をご覧ください。
- 下記の場合は、3D映像は2Dで再生されます。
 - ・ 持ち出し設定が【DVD持ち出し(VR)]に設定されている予約を録画中の場合
 - ・ 録画モード【XP】～【EP】で録画中の場合
- 通常録画用USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。

同時録画時の録画モードについて

録画モードや通常録画の組み合わせによっては、以下のような条件が発生します。

- 【DR】以外で設定された録画モードは一時的に【DR】で録画される場合があります。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- 【AVC】や【標準】を選んだ録画モードは【DR】固定に変更される場合があります。
- ● を押しても録画できない場合があります。

その他、同時録画時に変更される録画モードや条件については、以下をご覧ください。

2番組を同時録画の場合

1番組目の録画		2番組目の録画							
録画先	録画モード/ 持ち出し設定	HDD							
		【DR】		【AVC】		【スマホ持ち出し】	【標準】		【DVD持ち出し(VR)】
		予約録画	●録画	予約録画	●録画	予約録画	予約録画	●録画	予約録画
HDD	【DR】	○		○		○		○	
	【AVC】または【スマホ持ち出し】	○		○		○	△*1	△*2	△*1
	【標準】または【DVD持ち出し(VR)】	○		△*1	△*2	△*1	△*1	△*2	△*1
USB-HDD ^{*8}	【DR】	○		○		○		○	○
	【スマホ持ち出し】	○		○		○	△*1	△*2	△*1
	【DVD持ち出し(VR)】	○		△*1	△*2	△*1	△*1	△*2	△*1
BD	【DR】	○		○		○		○	○
	【AVC】	○		○		○	△*1	△*2	△*1
	【標準】	○		△*1	△*2	△*1	△*1	△*2	△*1

1 番組目の録画		2 番組目の録画									
録画先	録画モード／ 持ち出し設定	USB-HDD ^{※8}					BD				
		【DR】		【スマホ持ち出し】	【DVD持ち出し (VR)】	【DR】	【AVC】		【標準】		
		予約 録画	●録画	予約 録画	予約 録画	予約 録画	予約 録画	●録画	予約 録画	●録画	予約 録画
HDD	【DR】	○		○	○	○		○		○	
	【AVC】または 【スマホ持ち出し】	○		○	△ ^{※1}	○		○		△ ^{※3}	△ ^{※2}
	【標準】または 【DVD持ち出し (VR)】	○		△ ^{※1}	△ ^{※1}	○		× ^{※4}	△ ^{※2}	× ^{※4}	△ ^{※2}
USB-HDD ^{※8}	【DR】	△ ^{※6}	△ ^{※7}	△ ^{※6}	△ ^{※6}	○		○		○	
	【スマホ持ち出し】	△ ^{※6}	△ ^{※7}	△ ^{※6}	△ ^{※1,6}	○		○		△ ^{※3}	△ ^{※2}
	【DVD持ち出し (VR)】	△ ^{※6}	△ ^{※7}	△ ^{※1,6}	△ ^{※1,6}	○		× ^{※4}	△ ^{※2}	× ^{※4}	△ ^{※2}
BD	【DR】	○		○	○	× ^{※5}	×	× ^{※5}	×	× ^{※5}	×
	【AVC】	○		○	△ ^{※1}	× ^{※5}	×	× ^{※5}	×	× ^{※4}	×
	【標準】	○		△ ^{※1}	△ ^{※1}	× ^{※5}	×	× ^{※4}	×	× ^{※4}	×

○：できる △：一部できないものがある ×：できない

- ※1 録画モードは一時的に【DR】で録画されます。
- ※2 録画モードは【DR】固定になります。
- ※3 HDDに同時録画している【AVC】の録画モード、およびHDDや通常録画用USB-HDDに録画しているスマホ持ち出しの持ち出し設定は、一時的に【DR】で録画されます。
- ※4 HDDに代理録画され、録画モードは一時的に【DR】で録画されます。
- ※5 HDDに代理録画されます。
- ※6 USB-HDDを複数台接続している場合は、1番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDを2番組目の録画先に指定するとHDDに代理録画されます。
- ※7 USB-HDDを複数台接続している場合は、1番組目の録画先に指定したUSB-HDD以外のUSB-HDDには切り換えできません。
- ※8 録画先がSeeQVault対応USB-HDDの場合は、録画モードを【DR】以外に設定できません。



- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。

同時にできること・つづき

録画時の配信について

録画モード／持ち出し設定		通常配信 ^{*5}	変換配信 ^{*5}	ライブ配信 ^{*5}
1 番組目の録画	2 番組目の録画			
【DR】	—	○	○ ^{*3}	○ ^{*2}
【AVC】または 【スマホ持ち出し】	—	○	○ ^{*3}	○ ^{*2}
【標準】または 【DVD持ち出し(VR)】	—	○	×	×
【DR】	【DR】 ^{*6}	○ ^{*1}	○ ^{*3}	×
【DR】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】 ^{*6}	○ ^{*1}	○ ^{*3}	×
【DR】	【標準】または 【DVD持ち出し(VR)】 ^{*6}	○ ^{*1}	×	×
【AVC】または 【スマホ持ち出し】	【AVC】または 【スマホ持ち出し】 ^{*6}	○ ^{*1}	○ ^{*1,4}	×

^{*1} 録画中のチャンネルのみ視聴できます。

^{*2} 録画中またはライブ配信中のチャンネルのみ視聴できます。

^{*3} 本機の状態によっては、チャンネル切り換えできない場合があります。

^{*4} 再生を開始すると、配信を停止します。

^{*5} BD-Video/AVCHDを再生すると、配信を停止します。

^{*6} 2番組目の録画を開始するときに、本機の状態によっては配信を停止する場合があります。



- 持ち出し設定をした場合は、録画モードにかかわらず持ち出し設定が優先されます。
- スマホ持ち出し、DVD持ち出し(VR)では予約録画での持ち出し設定でのみ指定可能です。

記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について

録画メディア ()はダビング	HDD USB-HDD BD	HDD 通常録画用 USB-HDD BD (SeeQVault対応 USB-HDD AVCフォーマット)	HDD BD (USB-HDD VRフォーマット※1)
録画モード	DR	AF~AE	XP~EP
二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。*2 ・再生時に音声切替で音声を選べます。*5		
マルチ番組の映像・音声	1つの映像と複数の音声が記録されます。(再生時に音声切替で音声を選べます。)	現在放送中の番組を録画するとき HDD 通常録画用 USB-HDD BD 1つの映像と複数の音声が記録されます。 番組表から録画するとき、かんたんダビング／おまかせダビングするとき HDD 通常録画用 USB-HDD BD AVCフォーマット 1つの映像と複数の音声が記録されます。 映像：1つの映像が記録されます。 音声：音声1と【詳細設定】画面で選んだ音声の2つが記録されます。また、音声1を選んでいるときは音声1と音声2が記録されます。 日時指定予約するとき HDD 通常録画用 USB-HDD BD 1つの映像と複数の音声が記録されます。 ダビングリストからダビングするとき 高速ダビングであれば、複数の音声で記録された番組はそのままの音声数でダビングされます。 自動で引越し・バックアップ・スマホ持ち出しするとき SeeQVault対応 USB-HDD 複数の音声で記録された番組はそのままの音声数でダビングされます。	1つの映像・音声だけが記録されます。 現在放送中の番組を録画するとき 視聴中の映像・音声が記録されます。 番組表から録画するとき、かんたんダビング／おまかせダビングするとき 1つの映像と、【詳細設定】画面、【かんたんダビング】または【おまかせダビング】で選んだ音声が記録されます。 日時指定予約するとき、ダビングリストからダビングするとき 映像1・音声1が記録されます。(再生時に映像や音声の切り換えはできません。)
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。		ステレオ音声で記録されます。
字幕	字幕の情報が記録されます。*3(再生時に字幕切替で字幕表示の入／切ができます。)	HDD BD 通常録画用 USB-HDD SeeQVault対応 USB-HDD AVCフォーマット 字幕の情報が記録されます。*3,4	字幕の情報は記録されません。

※1 DVD-RW/DVD-Rのみ。

※2 DVD-RW/DVD-R(Video)へのダビング時は、【二カ国語音声】で選択している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。

※3 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングおよびAVC等速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※4 録画中は字幕の表示ができません。

※5 【音声設定】の【Dolby Audio】、【DTS/DTS-HD】または【AAC】を【自動】に設定してビットストリーム出力している場合は、音声を切り換えることができません。音声設定を【自動】から【PCM】に変更することで本機で音声切替できるようになります。171

各メディアに関するその他のお知らせ

HDDについて

HDD、ハードディスクとは？

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速でおこなうことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2分以上経過してからおこなってください。)
- HDDは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。

その他

- お客様ご自身で本機のHDDを交換した場合は、保証が無効となります。
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。



- HDDに異常が発生した場合は、再生が不能になったり、録画(録音)内容が消えたりすることがあります。

USB-HDDについて

本機とUSB-HDDを接続しているときは、USB-HDDに録画したり、USB-HDDの番組を、HDDにダビングしたりできます。本機とSeeQVault対応USB-HDDを接続しているときは、東芝の他のSeeQVault対応機器でSeeQVault対応USB-HDDに記録した番組を本機で再生したり、HDDから全番組を引越し・バックアップしたりできます。

USB-HDDで使える機能

登録したUSB-HDDは、以下の点をのぞけばHDDと同じようにお使いいただけます。操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

HDDと通常録画用USB-HDDの相違点

- USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で直接録画すると、一時的に録画モードを【DR】で録画します。(電源「切」時に、設定した録画モードに変換します。)
- USB-HDDに録画モード【XP】～【EP】で直接録画できません。

HDDとSeeQVault対応USB-HDDの相違点

- ブルーレイディスクからSeeQVault対応USB-HDDへのダビングはできません。
- SeeQVault対応USB-HDDでは以下の操作はできません。
 - 【おまかせプレイリスト】
 - 【プレイリスト作成】
 - 【録画モード変換】
 - 【持ち出し用変換】
 - 【番組分割】
 - 【番組結合】
 - 【チャプター削除】
- SeeQVault対応USB-HDDに直接録画する場合は、録画モードを【DR】以外に設定できません。

ディスクについて

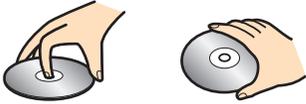
ブルーレイディスク／DVD／CD全般

次のような場合は、正常に録画・再生できません。

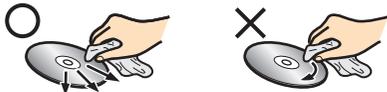
- 記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画／再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
- 本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
- パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「おかしいな?と思ったときの調べかた」[205](#)をご覧ください。
- PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
- 無許諾(海賊版など)のディスク。
- クローズド・キャプション(Closed Caption)の録画・再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面(光っている面)には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたりしたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販品のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。



クリーニングディスクについて

- 市販品のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置いたりすると、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください

- ディスク自体の破損や本機の故障の原因となります。
 - 傷が付いているディスク。
 - ラベルやシールが貼られているディスク。
 - ラベルがはがれているディスク。
 - のりがはみ出しているディスク。
 - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
 - 六角形など、特殊な形状のディスク。

8cm盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生だけができます。録画や編集はできません。
- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8cmアダプターなしで使用できます。

BD-RE／BD-R

- 他の機器で録画してファイナライズ(クローズ)していないBD-Rは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- BD-RE／BD-Rは、お買い上げ時には初期化(フォーマット)されていません。使用する前に初期化してください。(ディスクの初期化については、[183](#)をご覧ください。)
- BD-RE Ver1.0(カートリッジタイプ)は、本機では使用できません。

DVD-RW／DVD-R／DVD-RAM

- 他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- DVD-RW(AVCREC™)／DVD-R(AVCREC™)は、AVCREC™方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW(VR)／DVD-R(VR)は、VR方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。(CPRMについては、[229](#)をご覧ください。)
- DVD-RW(Video)／DVD-R(Video)は、ダビング終了後に自動的にファイナライズがおこなわれます。ファイナライズ後は、本機ではDVD-Videoと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。
- DVD-RAMについてはすべてのDVD-RAMの再生を保証するものではありません。

BD-Video／DVD-Video

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載通りに動作しないことがあります。くわしくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面にCD-TEXTマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD(コピーコントロール付きCDなど)やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。



- 以下の場合は、実際に録画できる時間は短くなります。
 - ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき
 - 映りが悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画したとき
- 高速記録対応のディスクを使用してダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。



- 保護されたディスクは、初期化(フォーマット)や録画などができません。
- ディスクでは、【ディスク保護】や【ディスク保護解除】をおこなっても、ディスク残量を消費します。

各メディアに関するその他のお知らせ・つづき

SDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠した以下に対応しています。
 - ・ exFAT形式でフォーマットされたSDXCカード
 - ・ FAT32形式でフォーマットされたSDHCカード
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードとSDXCカードのみ使用できます。すべてのSDHCカードとSDXCカードの動作を保証するものではありません。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。SDカードの動作中は、接続ケーブルを抜いたり、SDカードを抜き差ししたりしないでください。記録した内容が消えたり、SDカードが故障したりする原因となることがあります。

USB機器について

- 本機前面のメモリ専用USB端子は、以下のようなUSBマストレージクラス(大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBのデバイスタイプ)、またはUSB接続したSDカードに対応しています。
 - ・ JPEG対応のデジタルカメラ
 - ・ AVCHD方式対応のデジタルビデオカメラ
 - ・ USBメモリ
 - ・ USB接続したSDカード
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保証しておりません。
- 本機背面のHDD専用USB端子は、以下に対応しています。
 - ・ 通常録画用USB-HDD
 - ・ SeeQVault対応USB-HDD
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電はおこなわないでください。本機の故障の原因となります。

本機で再生できるJPEGファイルについて

最大認識可能フォルダー／ファイル数

CD-RW／CD-R	255 フォルダー、999 ファイル
その他のメディア	999 フォルダー、9999 ファイル

画素数

サブサンプリング (4:4:4の場合)	32 × 32 ~ 8192 × 8192
サブサンプリング (4:2:2または 4:2:0の場合)	32 × 32 ~ 8192 × 8192

- 1ファイルの再生可能容量は20MBまでです。
- 一覧のフォルダー名は、表示幅をこえるときスクロール表示します。
- フォルダー表示できる階層は9までになります。(CDのみ、フォルダー表示できる階層は8になります。)
- 次のメディアまたは機器に記録されたJPEGファイルに対応しています。
 - ・ BD-RE／BD-R
 - ・ DVD-RW／DVD-R
 - ・ CD-RW／CD-R
 - ・ SDカード
 - ・ USB機器



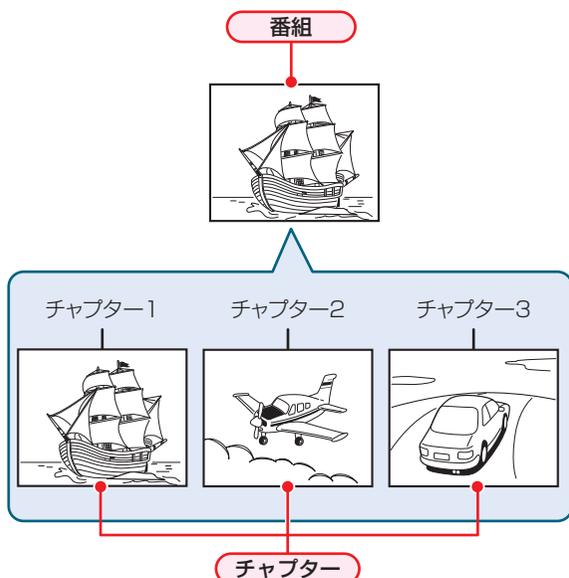
- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEG には対応していません。
- 記録状態などによっては、リストに表示されるファイルでも再生できないことがあります。

番組・チャプター・トラック・ファイル・フォルダーについて

番組とチャプター

番組： HDDやUSB-HDD、ディスクなどの内容は、録画された番組ごとに区切られています。短編集の「話」に相当します。

チャプター： **メニュー** → **【設定】** → **【本体設定】** → **【録画設定】** → **【チャプター自動生成】** **172** で **【切】** 以外に設定した番組の録画では、1つの番組の中で、場面ごとにさらに小さく区切られています。本の「章」に相当します。

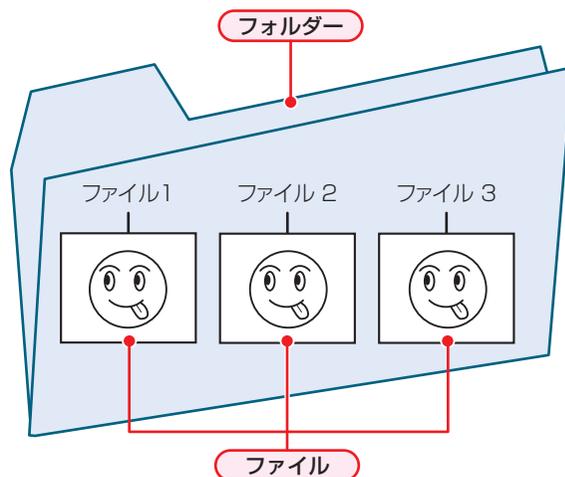


ファイルとフォルダー

JPEGファイルが記録されたメディアは、「フォルダー」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りで分かれています。パソコンなどでJPEG形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダーに分けて記録させることができます。

ファイル： ひとつひとつのデータのことです。

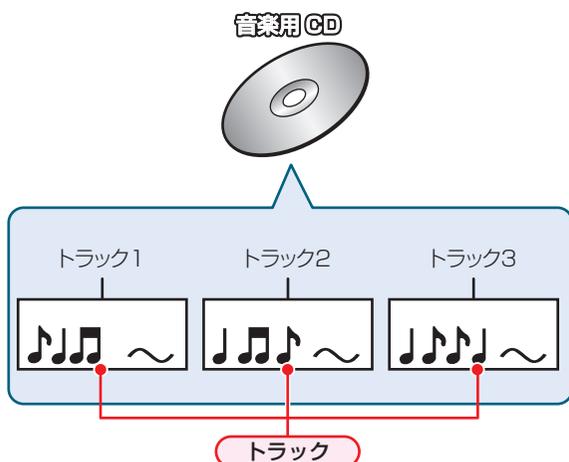
フォルダー： ファイルやフォルダーなどの集合を内包する階層のことです。



トラック

音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック： 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。



記録時間一覧表

記録時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。

- メディアの容量は、「1TB=1000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- 番組によってビットレートが異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
- 本機は、効率よく録画をおこなうために可変ビットレート方式で録画をおこなっており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大15時間です。(ブルーレイディスクへの録画の場合は、連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。)
- 「録画モード」については、[58](#)をご覧ください。
- 録画モード【EP】は【EPモード】の設定によって、録画できる時間が変わります。[172](#)
- BS・110度CSデジタル放送のSD放送は、録画モードを【DR】または【AF】～【AE】に設定して録画しても標準画質で録画されます。

HDD

- HDDに録画モードを【AF】～【AE】に設定して録画する場合は、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。その場合は、録画モードを【DR】に切り換えて録画されます。(録画終了後、HDDに空き容量があるときの電源「切」時に設定した録画モードに変換されます。[116](#))

録画先メディア		HDD(2TB)DBR-W2009	HDD(1TB)DBR-W1009	HDD(500GB)DBR-W509
録画モード				
DR	地上デジタル(HD放送)	約 259時間 47分	約 129時間 12分	約 63時間 54分
	BSデジタル(HD放送)	約 184時間 6分	約 91時間 33分	約 45時間 17分
	BSデジタル(SD放送)	約 367時間 47分	約 182時間 54分	約 90時間 29分
AVC	AF(2倍モード)	約 342時間 8分	約 170時間 9分	約 84時間 10分
	AN(3倍モード)	約 513時間 18分	約 255時間 17分	約126時間 17分
	AS(4倍モード)	約 733時間 54分	約 364時間 59分	約180時間 33分
	AL(5.5倍モード)	約 1008時間 2分	約 501時間 21分	約248時間 1分
	AE(12倍モード)	約 2181時間 42分	約1085時間 3分	約536時間 48分
標準	XP(1時間モード)	約 462時間 18分	約 229時間 55分	約113時間 44分
	SP(2時間モード)	約 921時間 57分	約 458時間 32分	約226時間 49分
	LP(4時間モード)	約 1852時間 14分	約 921時間 12分	約455時間 42分
	EP(6時間モード)	約 2734時間 23分	約1359時間 59分	約672時間 48分
	EP(8時間モード)	約 3662時間 7分	約1821時間 23分	約900時間 58分

USB-HDD

- USB-HDDの容量によって記録できる時間が異なります。

ネットdeレック機能での録画

- スーパー!プレミアムサービスチューナー側の番組内容によって記録時間が異なります。

録画先メディア コンテンツ内容	HDD(2TB)DBR-W2009	HDD(1TB)DBR-W1009	HDD(500GB)DBR-W509
AVC	約480時間 (約260~600時間)	約240時間 (約130~300時間)	約120時間 (約65~150時間)
AVC(3Dコンテンツ)	約300時間	約150時間	約75時間
SKP	約820時間 (約520~1580時間)	約410時間 (約260~790時間)	約205時間 (約130~395時間)

- CATV(ケーブルテレビ)チューナーの番組は、「HDD」198のDR、AVCをご覧ください。(番組によって録画モードや記録時間は異なります。)

ディスク

- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が表示されている場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- DVDの録画モードは、ディスクによって異なります。

AVCフォーマットの場合： [AF]~[AE]

VRフォーマットまたはVideoフォーマットの場合： [XP]~[EP]

録画モード	録画先メディア	ブルーレイディスク				DVD	
		SL(1層) 25GB	DL(2層) 50GB	TL(3層) 100GB	QL(4層) 128GB	SL(1層) 4.7GB	DL(2層) 8.5GB
DR	地上デジタル(HD放送)	約 3時間 4分	約 6時間 14分	約 12時間 27分	約 15時間 58分	記録できません	
	BSデジタル(HD放送)	約 2時間 10分	約 4時間 25分	約 8時間 49分	約 11時間 18分		
	BSデジタル(SD放送)	約 4時間 21分	約 8時間 50分	約 17時間 39分	約 22時間 37分		
AVC	AF(2倍モード)	約 4時間 2分	約 8時間 11分	約 16時間 21分	約 20時間 57分	約 0時間 46分	約 1時間 25分
	AN(3倍モード)	約 6時間 3分	約 12時間 17分	約 24時間 31分	約 31時間 26分	約 1時間 9分	約 2時間 7分
	AS(4倍モード)	約 9時間 8分	約 18時間 32分	約 37時間 0分	約 47時間 25分	約 1時間 45分	約 3時間 13分
	AL(5.5倍モード)	約 12時間 11分	約 24時間 45分	約 49時間 24分	約 63時間 18分	約 2時間 20分	約 4時間 17分
	AE(12倍モード)	約 26時間 34分	約 53時間 55分	約 107時間 38分	約 137時間 55分	約 5時間 5分	約 9時間 21分
標準	XP(1時間モード)	約 5時間 27分	約 11時間 4分	約 22時間 6分	約 28時間 19分	約 1時間 3分	記録できません
	SP(2時間モード)	約 10時間 54分	約 22時間 9分	約 44時間 13分	約 56時間 39分	約 2時間 6分	
	LP(4時間モード)	約 21時間 49分	約 44時間 18分	約 88時間 27分	約 113時間 20分	約 4時間 13分	
	EP(6時間モード)	約 32時間 41分	約 66時間 20分	約 132時間 26分	約 169時間 42分	約 6時間 20分	
	EP(8時間モード)	約 43時間 32分	約 88時間 22分	約 176時間 24分	約 226時間 1分	約 8時間 26分	

テレビ画面に表示されるメッセージ

メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。

表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 現在、その操作をおこなうことは禁止されています。 	—
まもなくオートオフ機能により電源が切れます。	<ul style="list-style-type: none"> 【未使用時自動電源オフ】が設定されているため、まもなく電源が切れます。 ➡ 何らかの操作をすると、電源は切れません。 【未使用時自動電源オフ】を無効にするときは、ｽﾀｰﾄメニュー ➡ 【設定】 ➡ 【本体設定】 ➡ 【その他】から【未使用時自動電源オフ】の設定を【利用しない】にしてください。 	174
ダビング中にこの操作はできません。	<ul style="list-style-type: none"> 現在ダビング中のため、その操作をおこなうことは禁止されています。 	187
まもなくディスクへの予約録画を開始します。 ディスクへ録画できない場合、録画先をHDDに変更します。	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能なディスクが挿入されていません。 同時操作によってディスクに録画できません。 ➡ HDDに空き容量がある場合は、代理録画されます。 	179 187
まもなく、USB-HDDへの予約録画を開始します。 USB-HDDへ録画できない場合、録画先をHDDに変更します。	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能な通常録画用USB-HDDが接続されていません。 同時操作によって通常録画用USB-HDDに録画できません。 ➡ HDDに空き容量がある場合は、代理録画されます。 	160 187
スタートメニューからメールを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 新着のお知らせメールがあります。 ➡ メールの内容を確認してください。 	168
本機が対応していないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 ディスクを取り出して確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを取り出して傷や汚れなどがいないか確認してください。 	—
リージョンエラー。 この地域での再生は禁止されています。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 ➡ ディスクを取り出してください。 	181
USB機器を確認してください。 USB機器を取りはずしてください。	<ul style="list-style-type: none"> USB機器から写真の再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 ➡ USB機器の接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。 	37
通常録画用として登録したUSB-HDDが接続されていません。 登録設定した通常録画用USB-HDDを、本機背面のHDD専用USB端子に接続してください。	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDを認識できません。もしくは認識できないUSB-HDDが接続されています。USB-HDDを確認してください。 本機で登録できるUSB-HDDの容量は、32GB～8TBになります。 登録設定したUSB-HDDが本機背面のHDD専用USB端子に接続されていない可能性があります。接続を確認してください。 保護装置がはたらいていませんか。 	160 — 160 205
対応ファイルが存在しません。 もしくは、対応していないフォーマットです。 USB-HDDを使用したい場合は、本機背面のUSB端子に接続してください。	<ul style="list-style-type: none"> 通常録画用USB-HDDやSeeQVault対応USB-HDDを本機前面のメモリ専用USB端子と接続しています。本機背面のHDD専用USB端子と接続してください。 	160

操作全般

メール

ディスク・SDカード・USB

	表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
録画	本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の動作を安定させるために、録画などの動作が停止された可能性があります。動作が改善されない場合は、205の手順 3 を試してください。(それでも動作が改善されない場合は、HDDの異常が原因の可能性があります。) 	205 217
	B-CASカードが正しく挿されてないか、録画、またはダビングが禁止された番組です。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。正しく挿入できている場合は、「録画禁止」番組を録画しようとしています。 	23 58
	録画容量不足により、録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> HDDやUSB-HDD、ディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。 	—
	録画時間が15時間をこえたため、録画を停止しました。	<ul style="list-style-type: none"> HDD、USB-HDDへの連続録画時間が最大の15時間をこえたため、録画を停止しました。 	—
	録画時間が8時間をこえたため、録画を停止しました。	<ul style="list-style-type: none"> ブルーレイディスクへの連続録画時間が最大の8時間をこえたため、録画を停止しました。 	—
予約	HDDの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、最後まで録画できません。 ディスクの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。 USB-HDDの録画容量が不足しています。録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。	<ul style="list-style-type: none"> HDD、USB-HDD、またはディスクの残量が不足しています。 ➔ 決定 を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。 	38
	予約登録数がいっぱいなので予約登録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 予約登録数が上限に達したので、不要な予約を削除してください。 	71
	番組情報が変更されました。	<ul style="list-style-type: none"> 予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。 	—
消去・編集・ダビング	本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに傷や汚れがあると、編集が正常に完了しない場合があります。 ➔ 決定 を押して放送画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないうかが確認してください。 	—
	この番組(またはディスク)は保護されているため、ダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> 「移動」になる番組やディスクが保護されているときは、ダビングができません。 ➔ 番組やディスクの保護を解除してください。 	110 184
	この番組はすでに登録しているため、選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> 「移動」になる番組、またはダビング10番組は、ダビングリストに一度しか登録できません。 	—
	最大登録数をこえるため、選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビングリストの一覧の登録番組数がいっぱいになっています。 ダビングリストの一覧に登録できる番組数は最大36番組です。 	123 —
	15時間をこえる番組はダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先がHDD、通常録画用USB-HDDの場合は、15時間をこえる番組は、ダビングできません。 	—
	8時間以上の番組はダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先がディスクの場合は、8時間以上の番組は、ダビングできません。 	—
	番組数が上限をこえています。ダビングする番組を減らしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先の番組総数が、限界をこえます。 ➔ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。 	123
	バックアップ先が設定されていません。また、バックアップ用の機器が接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> バックアップ可能なSeeQVault対応USB-HDDが接続されていません。 ➔ バックアップ可能なSeeQVault対応USB-HDDを背面に接続後、設定 ➔ 【設定】 ➔ 【本体設定】 ➔ 【録画設定】の【バックアップ先設定】でバックアップ先のUSB-HDDを設定してください。 	160 173

困ったときは

よくあるご質問

	質問	回答	ページ
準備	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか？	・ 本機には直接つなぐことはできません。アンプなどを通して接続してください。	164
	ハイビジョン映像を楽しむには、どんなテレビが必要ですか？	・ HDMI端子付きのテレビとHDMIケーブルでつないでください。	21
メディア	本機で使えるディスクは？ 本機で録画や再生が可能なディスクは？	・ 「本機で使えるメディアについて」をご覧ください。	179
	高速記録対応ディスクとは？	・ 通常よりも短時間でダビングできるディスクのことです。高速で録画ができるのは、高速ダビングのときだけです。	179
	DVDの録画方式(AVCREC™方式、VR方式、Video方式)とは？	・ DVD-RW/DVD-Rに録画するときに選べる録画方式のことです。	183
	AVCREC™方式、VR方式、Video方式はどのように使い分けるのですか？	・ 「新品のDVDを初期化(フォーマット)する」をご覧ください。	183
	1枚のディスクにAVCREC™方式、VR方式、Video方式を混在させて録画できますか？	・ 本機では対応していません。ディスクごとに録画方式を選択してください。	—
	HD Recの再生には対応していますか？	・ 本機では対応していません。	—
	市販品のビデオソフトの2層ディスクの再生はできますか？	・ 再生できます。	—
	+RW/+Rの録画・再生はできますか？	・ 本機では対応していません。	181
	DVDオーディオ、CD-ROM、ビデオCDは再生できますか？	・ 本機では対応していません。	—
	パソコンで作ったDVD・音楽用CDは再生できますか？	・ 本機では対応していません。	195
時短機能	MP3形式で記録されたディスクは再生できますか？	・ 本機では対応していません。	195
	録画した番組が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定時に選択したカテゴリーにあてはまる番組のみを表示します。(カテゴリーにあてはまらない番組は表示されません。)別のカテゴリーを表示するように条件を変更したり、カテゴリーを新規追加したりしてください。 ・ 録画中の番組は【時短で見る】画面に表示されません。 ・ ネットdeレックで記録した番組、ダビングで記録した番組は、【時短で見る】画面に表示されません。 	47 49
	再生コースの切り換えができない	・ 【らく見】時の番組の長さが10分未満となる番組は、【飛ばし見】再生はできません。	—
	番組表を使った予約には、どのような特徴がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 番組表からかんたんに録画予約をしたり、番組の詳細情報を表示したりすることができます。また、ジャンルから関連番組を探すこともできます。 ・ 自動追跡録画に対応しています。 ・ 【録画リスト】画面に番組名が自動的に入ります。 	60 67
番組表	番組表は、何日分まで表示できますか？	・ 最大8日分まで表示できます。	60

	質問	回答	ページ
番組表	番組表の利用料金はかかりますか？	・ 利用料金はかかりません。	—
	番組表は日本全国で利用できますか？	・ 番組データの内容は地域ごとに異なるため、利用するためにはそれぞれの地域で番組データを取得する必要があります。	79
	番組表をCATV(ケーブルテレビ)で利用できますか？	・ できる場合とできない場合があります。くわしくはご利用のCATV会社にご相談ください。	79
録画	二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	・ 「記録できる二重音声・字幕・マルチ番組について」をご覧ください。	193
	字幕の録画はできますか？	・ できます。	193
	デジタル放送は録画できますか？	・ HDD、USB-HDD、BD-RE／BD-Rは直接録画できます。 ・ DVD-RW／DVD-Rに記録する場合は、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(VR)／DVD-R(VR)やDVD-RW(AVCRECTM)／DVD-R(AVCRECTM)にダビングしてください。	58
	デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？	・ HDD、USB-HDD、BD-RE／BD-Rは直接録画できます。 (録画モードを【DR】、【AF】～【AE】に設定した場合のみ) DVD-RW／DVD-Rに記録する場合は、一度HDDに録画してからCPRM対応のDVD-RW(AVCRECTM)／DVD-R(AVCRECTM)にダビングしてください。	58
	デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	・ 本機では録画できません。	52
	同時録画はできますか？	・ できます。(ブルーレイディスクに2番組を同時録画できません。)	58
	ダビング10(コピー9回+移動1回)番組の録画はできますか？	・ できます。	58
予約	予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか？	・ 「予約が重なったときは」をご覧ください。	78
	電源を入れたまま予約時間になった場合は？	・ 電源の入/切にかかわらず、予約録画は始まります。	77
再生	ブルーレイ3D™ディスクが3D映像で再生されない	・ 本機と3D映像対応テレビをHDMIケーブルで接続していますか。 ・ 【3D映像視聴設定】が【2D】になっていませんか。	21 172
	海外で買ったBD-Videoは再生できますか？	・ リージョンコードに「A」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。	181
	海外で買ったDVD-Videoは再生できますか？	・ リージョンコードに「2」または「ALL」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC方式以外(PAL、SECAMなど)で記録されている場合は再生できません。	181
	本機で録画やダビングしたUSB-HDDやディスクを、他の機器で再生できますか？	・ ディスクをファイナライズすると、対応しているプレーヤーなどで再生できます。記録状態によっては再生できないことがあります。 ・ 本機で引越し・バックアップ用として登録して、引越し・バックアップまたはダビングで記録したSeeQVault対応USB-HDDは、東芝の他のSeeQVault対応機器で再生できます。本機で記録した通常録画用USB-HDDは、他の機器では再生できません。	185 —
編集	どんな編集ができますか？	・ メディアによって、編集できる機能が異なります。「本機でできる編集について」をご覧ください。	104
	ファイナライズを解除すると何ができますか？	・ すでに録画された内容を消さずに、追加で録画や消去・編集ができるようになります。(本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)のみ)	185
	市販品やレンタルのソフトからダビングできますか？	・ 著作権保護のためにコピーガードが入っているものは、ダビングできません。	—

困ったときは・っつき

質問	回答	ページ	
ダビング	本機でダビング中に録画や再生はできますか？	<ul style="list-style-type: none"> 高速ダビング時は以下の操作はできません。 <ul style="list-style-type: none"> - 写真の再生 - ディスクへのダビング中に、ディスクの再生 - 移動中に移動対象の番組の再生 - ●録画による録画(予約録画はできます。) 等速ダビング時は、録画や再生はできません。 	187
	ネットdeダビングHDができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機やダビング先の機器にブルーレイディスクやDVD(AVCREC™フォーマットやVRフォーマット)が入っている場合は、ネットdeダビングHDができないことがあります。 ダビング先の機器によっては、一部のドライブにダビングできない場合があります。 対応機器から本機にネットdeダビングHDをする場合は、本機のダビング先メディアはHDDしか選べません。 	-
ネットワーク連携接続	端末機器と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 端末機器と本機が、同じホームネットワークと接続されていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 同一サブネットに端末機器が接続されていないと、アプリケーションを使うことができません。端末機器と本機の接続や設定をご確認ください。 お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ ブロードバンドルーターが無線LANに対応していない場合は、端末機器と接続できません。 	138
	ライブ配信中に、突然番組が見られなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 本機で録画などが始まっていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 以下の場合はライブ配信で番組を視聴できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 録画中の録画モードが【標準】の場合 - 2番組同時録画中の場合 	152 192
	ライブ配信途中でチャンネル切り換えに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 本機で録画した映像を端末機器に配信するため、ライブ配信でのチャンネル切り換えには時間がかかりますが、故障ではありません。 	-
	ネットワーク再生や配信時に映像が止まることもある	<ul style="list-style-type: none"> 2.4GHz z 帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz z 帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz z 帯でのご使用をおすすめします。 	218
その他	日本全国どこでも使えますか？ 海外でも使えますか？	<ul style="list-style-type: none"> 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。 	219
	VTRとの違いは？	<ul style="list-style-type: none"> HDDに録画すれば長時間番組も録画できます。 HDDやディスクに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、削除することも可能です。 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。(ビデオテープのように早送り/巻戻しをする必要はありません。) パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。 	-

症状に合わせて解決法を調べる

おかしいな?と思ったときの調べかた

あれ?おかしいな?と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- アンテナ、テレビ、AVアンプなど、接続している機器に付属の取扱説明書もよくお読みください。

1 診断モードで本機の主な機能に故障が無いかをご確認ください。206頁

問題がないときは ↓

2 「こんなときは」(症状)と「ここをお調べください」(対処方法)をご覧ください。208頁～216頁

208頁～216頁

当てはまる症状がないときは ↓

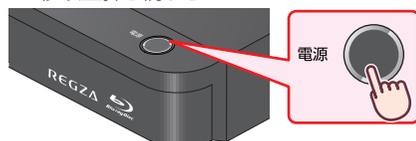
3 保護装置がはたらいていませんか?

- ディスクが取り出せる場合は、あらかじめ取り出しておいてください。USB機器が取りはずせる場合は、あらかじめ取りはずしておいてください。
- 以下の方法で、保護装置を解除してください。

① 本機の電源を切ることができる場合は、リモコンの [電源] を押しながら本機上面の電源ボタン [電源] を押し続けて本機の電源を切る

- 上記手順①にて電源が切れなかった場合は、電源ボタン [電源] を8秒間以上長押しすることにより、強制的に電源を切ることができます。

8秒以上押し続ける



- ② 本機の電源プラグをコンセントから抜いて、数分間待つ
- ③ 本機の電源プラグをコンセントに差し込む (本機が通電状態になります。)
- ④ 電源を入れて、動作を確認する

保護装置を解除してもなおらないときは ↓

4 お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 手順3で保護装置の解除をおこなったあとは、予約の設定など、必要な設定をおこなってください。



● 保護装置とは?

本機では、機器内部に何らかの異常を検知した場合は、保護のために保護装置がはたらき、強制的に電源を切る仕組みになっています。

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

【診断モード】を使う

本機の主な機能の動作確認は、【診断モード】メニューで確認することができます。

1 **メニュー**を押して、【設定】→【診断モード】を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押ししてください。

【診断モード】の項目と診断内容

本機の主な機能の診断をしたり、ディスク情報やUSB機器の情報を診断したりすることができます。

本体診断

本機の主な機能の診断をおこないます。

1 【本体診断】を選び **決定** を押す

2 お好みの診断項目を選び **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、【はい】を選び **決定** を押ししてください。
- 診断後、【診断結果】に【詳細を確認してください。】と表示された【診断項目】を確認する場合は、【診断項目】を選び、**戻る** を押すと表示される詳細画面で【診断項目】と【対処方法】をご確認ください。
- 診断が終わったら、**終了** を押ししてください。

全機能診断

【本体診断】画面に表示されている【診断項目】すべての診断をおこないます。

- 診断が終わるまでしばらく時間がかかることがあります。

HDD

本機に内蔵されているHDDの診断をおこないます。

BD/DVDドライブ

ブルーレイディスク/DVDドライブの診断をおこないます。

➤ 準備

- ディスクを取り出しておく

- 本機にディスクが挿入されている場合は、正しく診断することができません。

チューナー(地デジ)

地上デジタル用チューナーの診断をおこないます。

➤ 準備

- 本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子を同軸ケーブルでつないでおく **20**
- miniB-CASカードを挿入しておく **23**

- 本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CASカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

チューナー(BS/CS)

BS/CS用チューナーの診断をおこないます。

➤ 準備

- 本機のBS・110度CS入力端子と、壁などのアンテナ端子をBS・110度CSデジタル放送対応同軸ケーブルでつないでおく **20**
- miniB-CASカードを挿入しておく **23**

- 本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CASカードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

ネットワーク

ネットワークの診断をおこないます。

➤ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく **138**
- ネットワークの接続設定をしておく **142**

- 【ネットワーク接続設定】が【使用しない】に設定されている場合は、正しく診断することができません。

HDMI-CEC

HDMI-CECの診断をおこないます。

➤ 準備

- 本機とHDMI-CEC対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく **21**
- 【本体設定】の【HDMI接続設定】から【レグザリンク・コントローラ】を【入】に設定しておく **166**

- 本機とテレビがHDMIケーブルで接続されていない場合やテレビ側のHDMI-CEC設定が有効になっていない場合、また、テレビがHDMI-CECに対応していない場合は、正しく診断することができません。

USB-HDD

通常録画用USB-HDDの診断をおこないます。

➤ 準備

- 本機背面のHDD専用USB端子と通常録画用USB-HDDを1台だけつないでおく **160**
- 通常録画用USB-HDDを本機に登録しておく **162**

- 本機と通常録画用USB-HDDが接続されていない場合は、正しく診断することができません。

- 通常録画用USB-HDDが本機に登録されていない場合は、そのまま診断をおこなうと【診断結果】に【詳細を確認してください。】と表示されますが、そのあと、【USB-HDD】を選び **戻る** を押して、詳細画面で **戻る** を押すことで仮登録をおこない、診断のみおこなうことができます。(仮登録をおこなうと、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。)

USB機器(前面)

USBメモリの診断をおこないます。

➤ 準備

- 本機前面のメモリ専用USB端子にUSBメモリを接続しておく **37**

- 本機とUSBメモリ接続されていない場合は、正しく診断することができません。

受信チャンネル診断

現在の地上デジタル放送受信チャンネル状況を診断します。

» 準備

- 本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子を同軸ケーブルでつないでおく **20**
- miniB-CASカードを挿入しておく **23**

1 【受信チャンネル診断】を選び **決定** を押す

- スキャン完了後、チャンネル情報が検出されます。
- 【受信レベル】が低いチャンネルなど、個別に受信状態を確認したい場合は、チャンネルを選び **決定** を押すと、【アンテナの設定】画面が表示されます。(アンテナの調整についてくわしくは **34** をご覧ください。)
- 診断が終わったら、**終了** を押してください。

ディスク情報

ディスクの情報を表示します。

1 【ディスク情報】を選び **決定** を押す

2 診断するディスクを挿入する

- 読み込み完了後、ディスク情報が表示されます。
- 診断が終わったら、**終了** を押してください。

USB-HDD情報

USB-HDDの情報を表示します。

» 準備

- 本機背面のHDD専用USB端子とUSB-HDDを1台だけつないでおく **160**
- USB-HDDを本機で登録または初期化しておく **162** (すでに東芝のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault対応USB-HDDの情報を表示する場合は、初期化する必要はありません。)

1 【USB-HDD情報】を選び **決定** を押す

2 【開始】が選ばれているので、**決定** を押す

- 読み込み完了後、USB-HDD情報が表示されます。
- 診断が終わったら、**終了** を押してください。

USB機器情報(前面)

本機前面のメモリ専用USB端子に接続しているUSB機器の情報を表示します。

» 準備

- 本機前面のメモリ専用USB端子にUSBメモリを接続しておく **37**

1 【USB機器情報(前面)】を選び **決定** を押す

2 【開始】が選ばれているので、**決定** を押す

- 読み込み完了後、USB機器情報が表示されます。
- 診断が終わったら、**終了** を押してください。

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

こんなときは	ここをお調べください	ページ	
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントや本機から抜けていませんか。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➔ 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 3以降をおこなってください。 	<p>23</p> <p>17</p> <p>205</p>
	何も操作をしていないのに、勝手に電源が入る	<ul style="list-style-type: none"> 番組表の番組データを受信中(本機上面の電源ランプ(橙)が点灯)です。 ダウンロードしたソフトウェアの更新中(本機前面のHDDランプ(青)が点滅)です。 予約録画の開始時刻約2分前になると録画ランプが点滅します。(録画が始まると録画ランプは点灯に変わります。) 	<p>12</p> <p>79</p> <p>176</p> <p>77</p>
	電源を入ると、【はじめての設定】開始画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 【はじめての設定】をしていないときは、電源を入ると【はじめての設定】開始画面が表示されます。 	<p>25</p>
	テレビの電源を入/切すると、本機の電源も自動的に入/切する	<ul style="list-style-type: none"> 東芝のレグザリンク対応テレビと組み合わせるとレグザリンク機能のテレビ電源オン連動機能やテレビ電源オフ連動機能を使っているときは、テレビの電源の入/切に連動して本機の電源が自動的に入/切します。(お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります。) 	<p>165</p>
	勝手に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> 【未使用時自動電源オフ】を設定していませんか。 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➔ 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 3以降をおこなってください。 電源を「入」にした際に、本機上面の電源ランプ(橙)、本機前面のHDDランプ(青) /再生ランプ(緑)が同時に点滅しているのは、本機の高温保護機能により自動的に電源を「切」にしたことを示しています。 ➔ コンセントから電源プラグを抜いて、本機の設置場所についてご確認ください。 	<p>174</p> <p>205</p> <p>12</p>
	電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかったりする	<ul style="list-style-type: none"> システムの終了や情報の更新をおこなうため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。 	<p>—</p>
	電源を切ったあと、2時間ほど冷却ファンが回ったままになる	<ul style="list-style-type: none"> デジタル放送の有料放送と契約した場合は、しばらくの期間は放送局側からの制御により本機の内部の制御部が通電状態となり、ファンが回転し続けることがあります。 	<p>—</p>
本機の操作全般・ディスク・USB	本機が動かない 本機の操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> その操作が禁止されているときは、【】またはメッセージが表示されます。 本機とリモコンのリモコンコードが合っていますか。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ご購入後に初めて電源を入れたときは【はじめての設定】開始画面が表示されます。 【はじめての設定】実行中は、録画・再生などの操作はできません。 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➔ 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 3以降をおこなってください。 HDDに記録されている番組数が多いと、その分、本機の電源プラグを差しなおした際の起動に時間がかかります。 	<p>—</p> <p>32</p> <p>17</p> <p>25</p> <p>—</p> <p>205</p> <p>—</p>
	HDDまたはUSB-HDDの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機のHDDランプまたはUSBランプが点灯していますか。 ➔ 操作するメディアを切り換える場合は、リモコンの HDD または USB を押してください。 	<p>12</p>

こんなときは	ここをお調べください	ページ
ディスクの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機のDISCランプが点灯していますか。 ➔ DISCランプが点灯していない場合は、リモコンの DISC を押してください。 ディスクを入れていますか。 ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどできない場合があります。 	<p>12</p> <p>36</p> <p>—</p>
ディスクトレイの開閉ができない	<ul style="list-style-type: none"> ダビングリスト表示中などは、トレイの開閉ができない場合があります。 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなる場合があります。 ➔ リモコンの 電源 を押しながらか本機上面の 電源 を押して本機の電源を切ってから 電源 で電源を入れてください。それでもなおらないときは、「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 3 の 2 で降をおこなってください。 	<p>—</p> <p>205</p>
ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。 	—
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの認識と情報の読み込みをおこなうため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。 	—
本機の設定画面やサブメニューが選べない	<ul style="list-style-type: none"> 現在操作ができない項目はグレー表示されます。 テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 	<p>40</p> <p>—</p>
本機が正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 結露(露付き)が起っていませんか。 ➔ 結露(露付き)がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。しばらくの間、電源プラグをコンセントに差し込まない状態にしておき、結露(露付き)が解消されてから使用してください。 	222
本機前面のランプが正常に点灯、点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> 保護装置がはたらいている可能性があります。 ➔ 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 3 で降をおこなってください。 	205
SDカードの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機前面のメモリ専用USB端子とUSB接続できていますか。 	37
SDカードの内容が読めない	<ul style="list-style-type: none"> SDカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。 	37
USB機器の操作ができない USB機器の内容が読めない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で対応しているUSB機器を接続していますか。 USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。 SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合は、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用して写真の再生や映像取り込み(ダビング)をおこなってください。 録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。 	<p>37</p> <p>37</p> <p>127</p> <p>—</p>
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった	<ul style="list-style-type: none"> USB機器から写真の再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 ➔ USBケーブルの接続をはずして、再度つないでみてください。 	37

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

こんなときは	ここをお調べください	ページ
テレビに本機の映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナー本機ーテレビを接続していますか。 ケーブルやコードを違う端子(入力/出力も含む)につないでいませんか。 ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、【HDMI解像度設定】の設定が合っていないと、正常に映りません。 →  を5秒以上押し続けてください。設定が【自動】になり、映るようになります。 テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 	<p>20</p> <p>22</p> <p>171</p> <p>—</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がなときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 本機の電源プラグを、常にコンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。 アンテナ線とHDMIケーブル、LANケーブルなどの距離を離してください。 【一般設定】の【アンテナ出力】が【切】になっていませんか。この設定が【切】になっていると、本機の電源が切れている間は、地デジ、BS・110度CSデジタル放送アンテナ信号を送ることができません。 本機は新4K8K衛星放送には対応しておりません。新4K8K衛星放送対応のアンテナを本機のBS・110度CS入出力端子に接続し、本機を経由して新4K8K衛星放送受信用のテレビに接続した場合、新4K8K衛星放送の全て、または一部のチャンネルが受信できない場合があります。その場合は、新4K8K放送対応の分配器を使って、本機を経由せずにアンテナ線をテレビに接続してください。 <p>「新4K8K衛星放送」について詳しくは、以下のホームページでご確認ください。 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 http://www.apab.or.jp/4k-8k/</p>	<p>—</p> <p>23</p> <p>—</p> <p>178</p> <p>—</p>
	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線を地上デジタル放送用の端子につないでいますか。また、UHFアンテナ、同軸ケーブルなどは、デジタル放送対応のものを使っていますか。 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンをおこなってください。 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、【放送受信設定】の「信号品質」の数値が低くなります。信号品質の数値は、「20」以上を目安にしてください。 → 【診断モード】の【受信チャンネル診断】では信号品質を一覧で確認できます。 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、【放送受信設定】の【アッテネーター】の設定を【入】にすると、映りが改善されることがあります。 miniB-CASカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がなときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>16</p> <p>20</p> <p>177</p> <p>34</p> <p>207</p> <p>34</p> <p>23</p> <p>—</p>
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった		—
地上デジタル放送が映らない、映りが悪い		—

視聴、チャンネル切替

こんなときは	ここをお調べください	ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない、映りが悪い、音声にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線をBS・110度CSデジタル放送用の端子につないでいますか。また、BS・110度CSアンテナ、同軸ケーブル、分波器などは、BS・110度CSデジタル放送対応のものを使っていますか。 本機に付属の同軸ケーブルは地上デジタル放送専用ですので、BS・110度CSデジタル放送対応同軸ケーブル(市販品)をご使用ください。 → 【設定】 → 【放送受信設定】 → 【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定は正しいですか。 → 【設定】 → 【放送受信設定】 → 【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定を【供給する(個別)】にしているときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。 BS・110度CSアンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 次のような場合は、電波障害により一時的に映像・音声が乱れることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - 雨雲があるときや、強い降雨のとき、障害物があるときなど。 - 雪がBS・110度CSアンテナに付着しているとき。 miniB-CASカードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか。 	<p>16</p> <p>178</p> <p>178</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>23</p>
放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> 2番組を同時録画中の場合は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることができません。また、同時録画や本機の状態によっても放送やチャンネルの切り換えができないことがあります。 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。 	—
チャンネルを切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> 【はじめての設定】(【チャンネル初期スキャン】)をしましたか。 	<p>30</p> <p>177</p>
映像の左右の端が切れる	<ul style="list-style-type: none"> テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。 	—
デジタル放送の字幕や文字スーパーが出ない	<ul style="list-style-type: none"> 字幕の設定が【オフ】になっていないか確認してください。 【文字スーパー】の設定が【表示しない】になっていないか確認してください。 	<p>54</p> <p>178</p>
WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	<ul style="list-style-type: none"> 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 お持ちの機器に付属のB-CASカードで有料放送を契約済みの場合は、本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のIDに変更してください。 	—
番組表が8日分表示されない	<ul style="list-style-type: none"> はじめての設定後には、約1日分の番組表を表示します。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信すると表示されます。 	79
番組表が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> スキップ設定したチャンネルは表示されません。 番組表で【CH毎表示】にすると、1つのチャンネルのみ表示されます。 番組表で【1チャンネル表示】に設定されている放送局は、1つのチャンネルしか表示されません。 	<p>33</p> <p>61</p> <p>61</p>
番組データを受信できない	<ul style="list-style-type: none"> 番組データは、本機の電源が「切」(通電状態)のときに受信します。 	79
番組表に表示されない放送局や番組があるNHKが違う地域の番組表で表示される	<ul style="list-style-type: none"> 地域設定やチャンネルが正しく設定されていない場合は、表示されません。 → → 【設定】 → 【放送受信設定】 → 【地上デジタル放送】の【チャンネル初期スキャン】で地域設定とチャンネルを再度設定してください。 深夜時間帯などで番組が表示されていない場合は、放送が予定されていない場合があります。 	<p>177</p> <p>—</p>
予約した番組と録画された番組が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。 	60

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

こんなときは	ここをお調べください	ページ
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていますか。 「録画禁止」番組を録画していませんか。 	<p>—</p> <p>58</p>
	<ul style="list-style-type: none"> HDDやUSB-HDD、BD-RE／BD-Rの残量時間が不足していませんか。 ➔ 不要な番組を削除するか、別のUSB-HDD、BD-RE／BD-Rに録画してください。 番組数がいっぱいになっていませんか。 ➔ 不要な番組を削除するか、別のUSB-HDD、BD-RE／BD-Rに録画してください。 アンテナを本機に接続していますか。 	<p>100</p> <p>100</p> <p>20</p>
ディスクに録画できない	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能なディスクを入れていますか。 本機では、DVD-RW／DVD-Rには直接録画できません。(ダビングはできます。) 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。 ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。 ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。 	<p>179</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>195</p> <p>184</p> <p>185</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 予約スキップをしていると、録画されません。 停電があったときは、正しく録画されません。 ファイナライズ、初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 録画予約した番組が、番組変更などにより放送されなかった可能性があります。 	<p>71</p> <p>79</p> <p>—</p> <p>—</p>
録画	<ul style="list-style-type: none"> 予約が重なっていませんか。 前の予約の終了日時とあとの予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。 	<p>78</p> <p>78</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ブルーレイディスクに2番組を同時録画できません。 2番組以上を録画モード【XP】～【EP】で同時録画できません。録画モード【AF】～【AE】の番組と録画モード【XP】～【EP】の番組の同時録画もできません。 	<p>—</p> <p>190</p>
テレビ側での録画予約ができない テレビ側で録画予約した番組が録画されない テレビ側での設定通りに録画されない	<ul style="list-style-type: none"> 録画モードを【DR】、【TS】、【AF】～【AE】、【XP】～【EP】または【録画先の現在設定】以外にしていませんか。 ➔ テレビ側で予約設定をおこなう場合は、録画モードは【DR】、【TS】、【AF】～【AE】、【XP】～【EP】または【録画先の現在設定】のいずれかを選んでください。 テレビ側の設定に関わらず、本機では以下のように録画されます。 <ul style="list-style-type: none"> - DVD互換： 切 - 音質モード： M1 【レグザリンク・コントローラ】が【切】になっていませんか。 予約の周期が【月～木】となっていないですか。 ➔ 本機は【月～木】録画には対応していません。【月～木】予約をおこなう場合は【月～金】を選んでいただくか、各曜日を個別に登録してください。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>171</p> <p>68</p>
通常録画用USB-HDDやSeeQVault対応USB-HDDに録画できない	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能なUSB-HDDを接続していますか。 他機で初期化された通常録画用USB-HDDは、本機では録画できません。 保護装置がはたらいていませんか。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>205</p>

	こんなときは	ここをお調べください	ページ					
録画	録画モード【DR】以外で録画・予約録画した番組が、録画モード【DR】で録画されている	<ul style="list-style-type: none"> 通常録画用USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で録画する場合や、持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画する場合は、また、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード【DR】で録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。 	<p>80</p> <p>187</p>					
	再生できない 再生画面が出ない	<ul style="list-style-type: none"> テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 	—					
再生	ディスクの再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。 ディスクの表裏を正しく入れていませんか。 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video, AVCREC™) / DVD-R(Video, AVCREC™)は、本機では再生できません。 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。 ブルーレイディスク / DVDの視聴制限設定をしていませんか。 録画モードを【XP】～【EP】で録画している場合は、BD-VideoやAVCHDを再生できません。 	<p>181</p> <p>36</p> <p>195</p> <p>195</p> <p>195</p> <p>169</p> <p>—</p>					
	番組の最初から再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> つづき再生(レジューム停止)になっていませんか。 	83					
	映像や音声が一瞬止まる	<ul style="list-style-type: none"> 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。 	—					
	画面サイズがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 【TV画面選択】をテレビの形状に合わせて選択していますか。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>4:3</td> <td>16:9</td> <td>LB</td> <td>16:9</td> <td>PS</td> </tr> </table> のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。 	4:3	16:9	LB	16:9	PS	<p>170</p> <p>—</p>
	4:3	16:9	LB	16:9	PS			
	再生中の映像が乱れる 再生中の色がおかしくなる	<ul style="list-style-type: none"> 早送り / 早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 本機とテレビを直接つないでいますか。VTRなどを経由して本機とテレビをつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 	—					
	DVDの再生が途中で自動的に止まる	<ul style="list-style-type: none"> DVDによっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。 	—					
	音が出ない 字幕が出ない	<ul style="list-style-type: none"> AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - つないだ機器の電源が入っていますか。 - つないだ機器の入力切換が合っていますか。 - ケーブルやコードを正しく(入力 / 出力も含む) つないでいますか。 【音声設定】が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定されていますか。 字幕情報がない番組については、字幕を切り換えることができません。 ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。 	<p>—</p> <p>171</p> <p>193</p> <p>—</p>					
二カ国語音声切り換えできない 日本語と英語切り換えできない	<ul style="list-style-type: none"> 【録画設定】の【二カ国語音声】で設定されている音声で記録されます。 → 録画前に、これらの設定を確認してください。 	173						

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

こんなときは	ここをお調べください	ページ
ディスクやUSB-HDDに録画した番組が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> HDDに代理録画されていませんか。 	77
デジタル音声の二重音声が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> 【音声設定】の【Dolby Audio】、【DTS/DTS-HD】または【AAC】を【自動】に設定してビットストリーム出力しているときは、本機で二重音声(主音声/副音声)を切り換える操作をしても、音声切り換わりません。 → 設定を【PCM】にするか、テレビまたはアンプ側で音声を切り換えてください。 	171
ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクに付属の取扱説明書をお読みください。 	—
カメラアングル(映像)が切り換わらない	<ul style="list-style-type: none"> カメラアングル(映像)が切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。 	—
録画モード【DR】以外で録画した番組が、【録画リスト】画面上では【DR→〇〇変換予定】(〇〇は録画モード)または【持ち出し変換予定】・【VR変換予定】と表示されている	<ul style="list-style-type: none"> 通常録画用USB-HDDに録画モード【AF】～【AE】で録画する場合や、持ち出し設定した番組をHDDに録画モード【AF】～【AE】で録画する場合は、また、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード【DR】で録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。 録画予約時に持ち出し設定を「しない」以外に設定した番組を録画中に、同時動作制限でスマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組の作成が中断された場合は、持ち出し番組を後で変換する状態となり、録画リスト上で録画モードの箇所に【持ち出し変換予定】・【VR変換予定】と表示します。 	80 187 65
本機に録画した番組が、DLNA対応機器の録画リストに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ダビング中や通常録画中の場合は、番組数が多いと、録画リストへの更新に時間がかかり、番組が録画リストに表示されないことがあります。 → ダビング中や通常録画中の場合は、動作終了すると、内部処理がおこなわれたあとに録画リストへの更新が早くなります。 	—
番組の編集・削除ができない ディスクの編集ができない チャプターの編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 番組やメディアが保護されている場合は、消去や編集はできません。 → 番組やディスクの保護設定を解除してください。 ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。 録画モード変換予定またはスマホ持ち出し用変換予定、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組は、番組の保護/分割/結合はできません。 	110 184 185
チャプターを分割できない	<ul style="list-style-type: none"> チャプター数がいっぱいになっていませんか。 → チャプターを結合するか、不要なチャプターを削除してください。 	105
番組を削除しても、ディスクの残量が増えない	<ul style="list-style-type: none"> BD-R、DVD-R、DVD-RW(AVCREC™)は、番組を消去してもディスクの残量は増えません。 	102
削除した番組を元に戻せない	<ul style="list-style-type: none"> 削除された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、削除してください。 	100
初期化した内容を元に戻せない	<ul style="list-style-type: none"> 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。内容をよく確認してから、初期化してください。 	186
ファイナライズしても、他のDVDプレーヤーで再生できない	<ul style="list-style-type: none"> DVDプレーヤーによっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。 	—
ファイナライズが解除できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)だけです。 	185
ダビングすると、元の番組が消える	<ul style="list-style-type: none"> コピーワンス(1回だけ録画可能)番組のダビングや、ダビング10(コピー9回+移動1回)番組の10回目のダビングは、「移動」になり、録画元の番組は削除されます。 	135

再生

消去・編集・ダビング

こんなときは	ここをお調べください	ページ
ダビングしても字幕がダビングされない	<ul style="list-style-type: none"> 録画モードを【DR】、【AF】～【AE】にして録画された番組を高速ダビングした場合は、または【画質選択】で【AF】～【AE】を選び、等速ダビングした場合は、字幕の情報もダビングされます。(字幕がある場合のみ)録画モードを【XP】～【EP】にして録画された番組をダビングした場合は、または【画質選択】で【XP】～【EP】を選んでダビングした場合は、字幕情報はダビングされません。 	193
ダビングできない	<ul style="list-style-type: none"> 市販品のビデオソフトなど、違法複製防止のためにコピーガードがかかっているディスクは、ダビングできません。 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW(Video) / DVD-R(Video)は、ダビングできません。 ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 保護されたダビング10番組の10回目またはコピーワンス番組のダビング(移動)はできません。ダビング(移動)するには保護を解除してください。 以下の場合は、正しくダビングできないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> プレイリストの構造が複雑になっている プレイリストのパーツが多い プレイリストのパーツが短い 	<p>—</p> <p>—</p> <p>195</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>110</p> <p>—</p>
USB-HDDを使用できない	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDの電源が入っていますか。 ➔ USB-HDDの電源を入れたあと、本機の電源を入れてください。 USB-HDDが正しく接続・設定されていますか。 ➔ 正しく接続・設定してください。 本機でUSB-HDDを登録しましたか。 ➔ USB-HDDを使用するには、本機と接続したあと、登録する必要があります。 	<p>—</p> <p>160</p> <p>162</p>
USB-HDDに録画できない	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDに十分な空き容量がありますか。 ➔ 空き容量が少ない場合は、番組をHDDにダビングしたり、削除したりして空き容量を増やしてください。 	100 121
USB-HDDの番組が消えてしまった	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDを使用中に、雷などの瞬間的な停電、USB-HDDの電源プラグを抜く、プレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 ➔ このような場合は、記録されていた番組が消える場合があります。番組がすべて消えた場合や、USB-HDDが動作しない場合は、USB-HDDを登録しなおしてください。 	160
USB-HDDに予約録画した番組が、HDDに録画されていた	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDが無効になっていませんか。 ➔ USB-HDDを正しく接続しているか、またはUSB-HDDの電源が入っているかどうかをご確認ください。 本機に登録されていないUSB-HDDを接続していませんか。 ➔ USB-HDDを登録するか、本機に登録済みのUSB-HDDを接続してください。 USB-HDDへ予約録画中に停電があった場合は、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きはHDDへ代理録画します。 	160 162 79
USB-HDDの番組が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 録画したあとでUSB-HDDの登録を解除していませんか。 ➔ 登録を解除してしまうと、USB-HDDを接続しても番組を再生できなくなります。また、再登録する場合は、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。 	162

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
DVR-HDD	SeeQVault対応USB-HDDに自動バックアップできない	<ul style="list-style-type: none"> バックアップ先に設定したSeeQVault対応USB-HDDに十分な空き容量がありますか。 ➔ 空き容量が少ない場合は、番組を削除して空き容量を増やしたり、別のバックアップ可能なUSB-HDDをバックアップ先に設定したりしてください。 録画モード変換予定の番組、スマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組やバックアップ予定の番組が多くあると、新たにバックアップ設定できない場合があります。 ➔ スマホ持ち出し番組に変換予定の番組、DVD持ち出し(VR)変換予定の番組やバックアップ予定の番組を減らしてから、バックアップ設定してください。 本機背面のHDD専用USB端子にSeeQVault対応USB-HDDを接続していますか。 	<p>100</p> <p>173</p> <p>86</p> <p>116</p> <p>160</p>
	レグザリンク機能がはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> レグザリンク機能は、本機と東芝のレグザリンク対応テレビを組み合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定をおこなっている場合だけ、使えます。 レグザリンク機能が有効な状態で、本機の電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、レグザリンク機能が無効となります。 ➔ 電源プラグやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切替を本機の入力に切り換える、または【HDMI接続設定】から【レグザリンク・コントローラ】の設定を一度【切】に変更して決定したあともう一度設定を【入】に変更して決定すると、再びレグザリンク機能が有効になります。 	<p>165</p> <p>—</p>
	リモコンがはたらかない 本機だけ、テレビだけ、など一部ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 本機とリモコンのリモコンコードが合っていますか。 乾電池が消耗していませんか。 	<p>32</p> <p>47</p>
リモコン	HDDの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 操作先がHDD(本機のHDDランプが点灯)になっていますか。 ➔ HDD を押して操作先をHDDに切り換えてください。 	<p>12</p>
	ディスクの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 操作先がディスク(本機のDISCランプが点灯)になっていますか。 ➔ DISC を押して操作先をディスクに切り換えてください。 	<p>12</p>
	USB-HDDの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 操作先がUSB(本機のUSBランプが点灯)になっていますか。 ➔ USB を押して操作先をUSBに切り換えてください。 	<p>12</p>
	テレビの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> テレビメーカーの設定をしていますか。 乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、テレビの操作だけができないことがあります。 乾電池を交換したり乾電池が消耗したりした場合は、テレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(東芝A)に戻ることがあります。電池を交換していない場合は、リモコンの電池をすべて新品に交換してください。電池を交換したあとは、テレビメーカー番号を再設定してください。 	<p>31</p> <p>47</p> <p>23</p> <p>31</p>
	何も操作していないのに、本機の内部で音がする 本機の動作音が大きくなる	<ul style="list-style-type: none"> 番組データの受信中やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。 高速記録対応ディスクを使用してダビングしているとき動作音が大きくなります。 設置場所の温度が高いときなど本機の内部温度が上がった場合は、冷却用ファンの制御によってファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
その他	[BD視聴制限レベル]、[DVD視聴制限レベル]、[視聴年齢制限]または[インターネット接続制限]のパスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> これらの設定画面でパスワード入力画面が表示されたときに、4737を入力してください。パスワードと制限設定値がクリアされます。新しいパスワードを作成し、設定しなおしてください。 	<p>35</p> <p>169</p>
	本機の近くにある無線サービスの性能が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> 本機は新4K8K衛星放送には対応しておりませんので、本機に新4K8K衛星放送に対応したアンテナを接続した場合、他の無線サービス(無線LAN、携帯電話等)に影響を与え、通信速度の低下等を発生させる可能性があります。その場合は、無線機器を本機から離してお使いください。 <p>「新4K8K衛星放送」について詳しくは、以下のホームページでご確認ください。 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 http://www.apab.or.jp/4k-8k/</p>	<p>—</p>

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

インターネットの接続制限機能について

- 本機には、インターネットサービスを利用する際に、お客様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限する機能を搭載しています。
くわしくは **169** をご覧ください。

HDD(内蔵ハードディスク)およびUSB-HDD(外付けハードディスク)についての重要なお願い

- 本機にはハードディスク(HDD)が内蔵されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- HDDは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことに気を付けてください。
 - 振動や衝撃を与えないでください。(特に動作中)
 - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
 - 本機は水平に置いてください。USB-HDDは、メーカーの指示に従って置いてください。
 - 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないようにください。
 - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
 - 電源を入れたままの状態でも電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のプレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ずリモコンの  を押しながら本機上面の  を押して、電源ボタンのランプが消灯したことを確認してから抜いてください。録画中に電源プラグを抜いたりプレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
 - 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- HDDは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合は、データの読み書きができなくなる恐れも十分にあります。このためHDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、一時的な保管場所として使用してください。また、HDD内に壊れかけている部分がある状態で録画した場合には、その部分にブロックノイズ(四角いノイズ)が出たり、音声の乱れが発生したりすることがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきたり、最悪の場合は、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDDは壊れやすい要因を多分に含んだ非常に精密な機器です。ディスクなどへのバックアップを前提のうえで使用してください。
- 引越・バックアップ用として登録したSeeQVault対応USB-HDDに、録画番組などのデータを記録した場合でも、記録したデータが長期的に保管できることを保証するものではありません。

使用上のお願い・つづき

無線LANを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備(無線LAN)を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線LAN設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANをお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANが使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

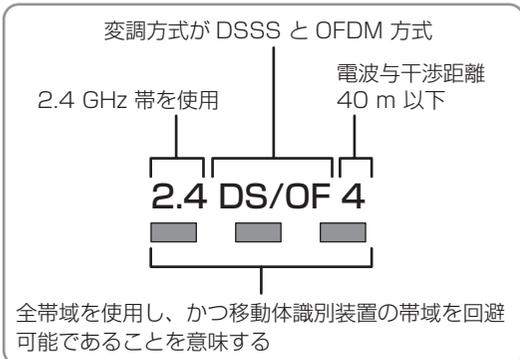
無線LANを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに無線LANの使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： 東芝DVD インフォメーションセンター
0120-96-3755

- ※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただけますようお願いいたします。
- ※ フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

- 5GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。



- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

規格	チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11 b/g/n	1~13	2.412~2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48 5.18~5.24GHz
	W53	52,56,60,64 5.26~5.32GHz
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140 5.50~5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。
 - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
 - 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
 - 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)をこえてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで必ず暗号化してお使いください。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、以下の機能はお使いになれません。
 - eメールでの録画予約
 - ネットdeレック
 - ネットdeサーバーHD
 - ネットワーク連携※ 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低いWEPの場合は、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。
- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定をおこなって製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをおすすめします。

本機について

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

取扱いに関すること

- 非常時をのぞいて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 【瞬速起動】を設定している時間帯は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでおくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間で使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱いってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
ディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

使用上のお願い・つづき

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 本機の汚れは柔らかい布（ガーゼなど）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面を変質させます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた弱い中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ったあとに拭き取ります。中性洗剤を使って拭いたあとは、温수에浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本体に水が入らないように、十分注意してください。
- 本機には内部で発生した熱を外へ逃がすために冷却ファンおよび通風孔が設けられています。通風孔がほこりなどで塞がれてしまうと放熱が不足し故障の原因となりますので、本機背面および底面の通風孔にほこりが溜まらないように本機の設置場所およびその周辺を定期的に掃除してください。

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合は、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販品のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をお読みください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合には改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。（ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。）
- 地上デジタル放送の特長
 - ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
 - ② 高音質放送（MPEG-2 AAC方式）
 - ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
 - ④ データ放送や双方向通信サービス
（通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。）
 - ⑤ 移動体受信・部分受信サービス
（本機では部分受信サービスは受信できません。）

放送、通信サービスについて

- 放送や通信サービス（インターネットを利用した映像配信サービス、その他の放送・通信サービスなど）は、予告なしに放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本機またはリモコンのボタン操作でおこなってください。手で押しつけて閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れしないでください。また、ディスクトレイ上から押し下したり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

音量について

- 市販品のブルーレイディスク/DVD-Videoの中には、音量が音楽用CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。このようなディスクの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集をおこない、正しくできることを確かめておいてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、とんだることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。この場合は、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のためコピーワンス（1回だけ録画可能）番組などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合はその内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。

本機上面の電源ランプ(橙)が点灯したときは

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中、またはダウンロード更新中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために点灯することがあります。
- 番組情報や番組データを取得中は、冷却用ファンが回るなどで動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販品のブルーレイディスク/DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作した通りに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もお読みください。
- ボタン操作中にテレビ画面に【】が表示されることがあります。【】が表示されたときは、現在本機もしくはディスクがその操作をおこなえないことを示します。

録画・録音・ダビングするときの制約

- 録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。コピーワンス番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組^{*1}は、HDD/USB-HDD(外付け)またはBD-RE/BD-Rに録画できませんが、DVD-RW/DVD-R(ビデオフォーマット)への録画はできません。(CPRM^{*2}対応のDVD-RW/DVD-R(VRフォーマット/AVCRECTMフォーマット)にはダビングできます。)ブルーレイディスク/DVD-Videoにはダビング(移動やコピー)できません。
- ブルーレイディスクに録画した番組は、コピーワンスとなります。
- SeeQVault対応USB-HDDに直接録画した番組は、コピーワンスとなります。
- HDDに録画したコピーワンス番組は、通常録画用USB-HDD(外付け)やBD-RE/BD-RまたはCPRM^{*2}対応のDVD-RW/DVD-R(VRフォーマット/AVCRECTMフォーマット)、SeeQVault対応USB-HDDへのダビングは、移動は可能ですがコピーはできません。HDDに録画したダビング10番組は、通常録画用USB-HDD(外付け)やBD-RE/BD-RまたはCPRM^{*2}対応のDVD-RW/DVD-R(VRフォーマット/AVCRECTMフォーマット)、SeeQVault対応USB-HDDへのダビング(移動やコピー)は、回数に制限があります。
- SeeQVault対応USB-HDDを引越し・バックアップ用に使用し、ダビング10番組を引越し・バックアップまたはダビングした場合は、1回分のダビングとなり、番組はコピーワンスになります。
- コピーワンス、ダビング10ともにダビングの際やその他の編集制限があります。
 - ※1 ダビング10および条件については、[222](#)をご覧ください。
 - ※2 CPRMや各ディスクについては、[135](#)、[179](#)をご覧ください。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本機内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合は、ユーザー登録をさせていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
- 本機の【放送波による自動更新】を【自動更新する】に設定しておく、放送電波(地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信できる環境と設定が必要です。)の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアを更新させることができます。(お買い上げ時は、【自動更新する】に設定されています。)
- ソフトウェアの更新や【自動更新する】については、[176](#)をご覧ください。ソフトウェアの更新中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

使用上のお願い・つづき

HDMI連動機能(レグザリンク機能)について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作を保証するものではありません。

インターネット機能について

- インターネットの利用には、ADSL、CATV(ケーブルテレビ)などのインターネット回線事業者および接続業者(プロバイダー)との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネットが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

結露(露付き)について

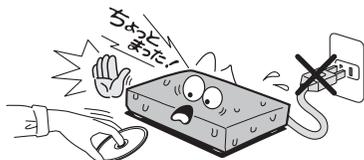
- “結露(露付き)”とは、例えば、よく冷えたビールをコップについだときのコップの表面につく水滴です。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



- “結露(露付き)”は本機が下記の状態のときにおきやすくなります。
 - 寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
 - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
 - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



- “結露(露付き)”がおきたとき、またはおきそうなときは本機のご使用を直ちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。“結露(露付き)”がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。しばらくの間、電源プラグをコンセントに差し込まない状態にしておき“結露(露付き)”が解消してから使用してください。



本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報記録されます。本機を廃棄譲渡などする場合には、各種「本機を初期化する」**182**をおこない、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- miniB-CASカードの廃棄に関しては、付属のminiB-CASカードの台紙に記載の「B-CASカード使用許諾契約約款」に従ってください。

デジタル放送の番組と録画制限について

デジタル放送には視聴が有料の番組となる場合があることに加え、録画やダビングをおこなう際にもご注意ください。また、制限事項などがあります。

番組	番組録画	ダビング(移動またはコピー)
制限なし		→ → (AVCREC™/VR/Videoフォーマット)
制限なしで録画やコピーが可能な番組		ダビング(コピーまたは移動) ^{*2} (AVCREC™/VR/Videoフォーマット)
コピーワンス		→ → (AVCREC™/VRフォーマット)
1回だけ録画可能な番組		ダビング(移動) ^{*2} ・コピーはできません
ダビング10		→ → (AVCREC™/VRフォーマット)
ダビング元がHDDのとき、コピーが最大9回と移動が1回可能な番組		ダビング(コピーまたは移動) ^{*2} (AVCREC™/VRフォーマット)

録画・コピー禁止



- ダビングについて詳しくは**118**～**136**をご覧ください。^{*1} 上記説明内のUSB-HDDには、通常録画用USB-HDDとSeeQVault対応USB-HDDを含みます。SeeQVault対応USB-HDDにダビング10番組をダビングした場合は、番組はコピーワンスとなります。

^{*2} 移動した場合は、ダビング元のHDDやメディアでは、その番組は再生できなくなります。

^{*3} ディスクにダビング10番組をダビングした場合は、番組はコピーワンスとなります。

仕様

一般	電源	AC 100 V 50/60 Hz			
	消費電力	DBR-W2009 : 22 W (BSアンテナ電源・USB電源供給時 37 W) DBR-W1009 : 22 W (BSアンテナ電源・USB電源供給時 37 W) DBR-W509 : 19 W (BSアンテナ電源・USB電源供給時 34 W)			
	待機時消費電力 ^{*1}	瞬速起動 : 設定した時間帯	アンテナ出力設定 : 入 地上デジタルアッテネーター : 切	DBR-W2009 : 約 12.8 W DBR-W1009 : 約 12.2 W DBR-W509 : 約 9.5 W	
		待機設定 : 通常待機	アンテナ出力設定 : 入 地上デジタルアッテネーター : 切	DBR-W2009 : 約 6.3 W DBR-W1009 : 約 6.3 W DBR-W509 : 約 6.0 W	
		待機設定 : 省エネ待機	アンテナ出力設定 : 切 地上デジタルアッテネーター : 入	DBR-W2009 : 約 0.06 W DBR-W1009 : 約 0.06 W DBR-W509 : 約 0.06 W	
	許容動作温度	5~40 ℃			
	許容湿度	80%最大(結露なきこと)			
	外形寸法	430 (幅) × 46 (高さ) × 210 (奥行) mm (突起部含む) 430 (幅) × 46 (高さ) × 200 (奥行) mm (突起部含まず)			
	質量	DBR-W2009 : 2.6 kg DBR-W1009 : 2.4 kg DBR-W509 : 2.1 kg			
	リモコン	SE-R0466			
HDD / ブルーレイディスク部	録画方式(ブルーレイディスク)	Blu-ray Disc™ Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc™ Recordable Format準拠			
	録画方式(DVD)	DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC™規格準拠			
	HDD容量	DBR-W2009 : 2TB(2000GB) DBR-W1009 : 1TB(1000GB) DBR-W509 : 500GB			
	録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264			
	録音圧縮方式	ドルビーデジタル、MPEG-2 AAC			
	録画可能ディスク	[本機で使えるメディアについて] 179 をご覧ください。			
	録画時間	[記録時間一覧表] 198 をご覧ください。			
	再生可能ディスク	[本機で使えるメディアについて] 179 をご覧ください。			
リージョンコード	ブルーレイディスク : Region A DVD : Region 2, ALL				
チューナー部	受信チャンネル	地上デジタル : VHF(1~12)、UHF(13~62)、CATV(C13~C63) BSデジタル : BS000~BS999チャンネル 110度CSデジタル : CS000~CS999チャンネル			
端子部	HDMI出力	HDMI端子 19ピン Type A			
	USB(前面、背面)	USB(前面 : メモリ専用) USB2.0準拠 Type A DC5 V 最大 500 mA USB(背面 : HDD専用) USB2.0準拠 Type A DC5 V 最大 900 mA			
	LAN(10/100)	10 BASE-T/100 BASE-TX			
	地上デジタル入出力	75 Ω F型コネクタ			
	BS・110度CS入出力	75 Ω F型コネクタ(最大DC15V、4W)			

無線LAN	規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac ARIB STD-T71(5GHz帯) J52 は非対応 ARIB STD-T66(2.4GHz帯)
	伝送方式	IEEE 802.11b: DSSS(DBPSK, DQPSK, CCK) IEEE 802.11a/g: OFDM(BPSK, QPSK, 16-QAM, 64-QAM) IEEE 802.11n: OFDM(BPSK, QPSK, 16-QAM, 64-QAM) IEEE802.11ac: OFDM(BPSK, QPSK, 16-QAM, 64-QAM, 256-QAM)
	周波数範囲	2.412 ~ 2.472GHz(Subject to Local Regulations) 5.180 ~ 5.700GHz(Subject to Local Regulations)
	動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応していません。)
	セキュリティ	WEP 64bit/128bit, WPA, WPA2

※1 待機時消費電力は、以下の設定で測定しております。設定を変更すると消費電力が大きくなります。

ネットワーク連携設定：利用しない／BSアンテナ電源：供給しない(共聴)

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- HDD、BD-RE／BD-Rの容量は、「1TB=1000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
地上デジタル(HD放送)：17Mbps・BSデジタル(HD放送)：24Mbps・BSデジタル(SD放送)：12Mbps
- 国外で本品を使用して有料放送サービスを楽しむことは有料放送契約上禁止されています。

(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this product in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

仕様・つづき

最大記録可能数／登録数／文字数について

上限をこえる場合は、メッセージが表示されます。

最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

項目	メディア		BD	AVCフォーマット	VRフォーマット	Videoフォーマット
	HDD	通常録画用 USB-HDD				
番組数	2000	2000	200	200	99	36
チャプター数 (1つの番組内)	999	99	100	100	上限なし ^{*1}	99
作成できるフォルダ数	99	99	(フォルダ作成できません。)			
チャプター数 (メディア内)	上限なし	上限なし	999	999	999	上限なし
メディア名の文字数	全角40文字 ^{*2}	全角40文字	全角40文字	全角40文字	全角32文字	全角40文字
番組名の文字数	全角40文字	全角40文字	全角40文字	全角40文字	全角32文字	全角28文字

*1 ディスク内の最大チャプター数(999)まで、制限はありません。

*2 HDDのメディア名は変更できません。

- 録画予約数 200
- ダビングリストの番組登録数 36



- 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby AudioおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved



- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、Blu-ray 3D™ (ブルーレイ3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™および関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。



- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。



- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



- Oracle と Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名などは各社の商標または登録商標である場合があります。



- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

x.v.Color

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License およびVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用をのぞいてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
- 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

© 1996-2019 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。



NetFront® Browser DTV Profile

この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2019 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。

リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

- SeeQVault text and logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.



- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は “Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

仕様・つづき

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。

なお、「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合は、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」(現状)の状態、かつ、明示が黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合は、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

ソフトウェアコンポーネントの使用条件などの詳細につきましては、**メニュー** → **【設定】** → **【本体設定】** → **【その他】** → **【ソフトウェア情報と更新】** → **【ライセンス情報】**に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。(東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。)

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下の通りです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文

Program name	EULA
Linux	Exhibit A
busybox	Exhibit A
dhcpcd	Exhibit A
wpa_supplicant	Exhibit A
e2fsprogs	Exhibit A
libwebsockets	Exhibit A
libiconv	Exhibit A
util-linux	Exhibit A
mtdd-utils	Exhibit A
mkdosfs	Exhibit A
exfat-utils	Exhibit A
DirectFB	Exhibit B
gmp	Exhibit B
eglibc	Exhibit B
xfsprogs	Exhibit B
libnl	Exhibit B

Program name	EULA
Oniguruma	Exhibit C
libevent	Exhibit C
dtoa	Exhibit C
picojson	Exhibit C
lighttpd	Exhibit C
universalchardet	Exhibit D
expat	Exhibit E
libxml2	Exhibit E
cURL	Exhibit E
JQuery	Exhibit E
JQuery-UI	Exhibit E
DataTables	Exhibit E
JQuery-timepicker	Exhibit E
Inline Form Validation Engine	Exhibit E

Program name	EULA
moment	Exhibit E
Remodal	Exhibit E
JQuery Alert Dialog Plugin	Exhibit E
JQuery MultiSelect UI Widget	Exhibit E
JQuery.customSelect()	Exhibit E
Swiper	Exhibit E
jQuery UI Touch Punch	Exhibit E
FreeType	Exhibit F
LibJPEG	Exhibit F
OpenSSL	Exhibit F
Vera Fonts	Exhibit F
SQLite	Exhibit F

Program name	EULA
zlib	Exhibit F
libcurl	Exhibit F
libpng	Exhibit F
boost	Exhibit F
dlmalloc	Exhibit F
php	Exhibit F
ChromePhp	Exhibit E

- Reverse engineering, disassembling, decompiling, dismantling, or otherwise attempting to analyze or modify the software included in this product is prohibited.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

総合さくいん・用語解説

数字・アルファベット順

4K2K 171

横4000×縦2000前後の高解像度の映像フォーマットのことです。単に「4K」、あるいは「4K解像度」と呼ばれることもあります。フルHD(1920×1080)の解像度の約4倍となります。

AAC(エーエーシー)

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送をおこなうこともできます。

AACS(エーエーシーエス)

Advanced Access Content Systemの略で、Blu-ray Disc™で採用されている著作権保護技術です。

AF、AN、AS、AL、AE(録画モード) 58

放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質の録画モードになります。

APOP 147

電子メールの受信に用いる通信規約であるPOP3において、パスワードの送信を暗号化して安全性を高める方式のことです。

AVC(録画モード) 58

Advanced Video Codecの略でDVDなどにハイビジョン映像を録画するための規格です。

AVCHD(エーブイシーエイチディー)方式

ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

BD-HD 音声設定 171

Blu-ray Disc-High Definitionの略でブルーレイディスクの音声規格のことです。

BD-J

BD-VideoにはJavaアプリケーションを含むものがあり、これをBD-Jと呼びます。通常のビデオ操作に加えているような双方向の機能を楽しむことができます。

BD-Live™

BD-Live™は、BD-Video(BD-ROM Profile 2.0)の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

BD-Video

BD-Videoとは、Blu-ray Disc™における映像記録用の標準的な規格のことです。市販されている映画タイトルなどの記録に用いられています。

BS・110度CSアンテナ 34

BS放送、110度CS放送を視聴するために必要なアンテナのことです。周囲に大きなビルなどの障害物があると受信できないことがあります。

CD(コンパクトディスク) 181

CPRM(シーピーアールエム) 135

Content Protection for Recordable Mediaの略で、コピーワンス(1回だけ録画可能)番組に対する著作権保護技術です。

Deep Color(ディープカラー)

従来の8ビットの色数をこえる色調表現が可能な技術で、色縞のない、より自然に近い色を再現できます。

DHCP機能 27

Dynamic Host Configuration Protocolの略のことで、ネットワークに接続する際に、機器にIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

DLNA

家電・モバイル・パソコンなどにおいて、機器やメーカーを問わず、ネットワーク経由での相互接続を容易にするためのガイドラインのことです。

DLNA対応機器同士をネットワーク接続すると、他機に保存してある動画などのデータがもう一方の機器から操作できます。

DNS 27

Domain Name Systemの略のことで、ネットワーク上の名前であるドメイン名とネットワーク上の住所であるIPアドレスとを対応付けて管理するシステムのことで、

Dolby D(ダイナミック)レンジ

Dolby Audioで記録された番組の音声レベルの最小値と最大値の差のことをいい、夜間などに音量を下げた小さい音にしたときでも聞きやすく再生できます。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)

ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。

この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Audio - Dolby Digital Plus (ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス)

Dolby Audio - Dolby TrueHD

(ドルビーオーディオ - ドルビートゥルーエイチディー)

Dolby Audio - Dolby Digital Plusは、Dolby Audio - Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。

Dolby Audio - Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

DR(録画モード) 58

放送そのままの画質になります。デジタル放送をそのままの画質で録画したいときにおすすめです。

DTS®(ディーティーエス)

DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果を得られます。

総合さくいん・用語解説・つづき

DTS-HD[®](ディーティーエス エイチディー)

DTS[®]をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTS[®]として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

DVD持ち出し(VR)番組 124

VRフォーマットのDVDディスクに高速ダビングできる番組です。
予約録画の際に、VRフォーマットのDVD持ち出し番組を作成することができます。

EP(録画モード) 58

標準画質の長時間モードになります。
容量を節約して録画したいときにおすすめです。

EPG(イーピージー)

Electronic Program Guideの略で、番組表のことをいいます。

GB(ギガバイト)

HDD/USB-HDD、ブルーレイディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

HDD(ハードディスク(ドライブ))

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速でおこなうことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。

本機は、このHDDを内蔵しています。(お客様ご自身でHDDを交換できません。)

HDDについて	194
残量時間表示	38
記録内容の全消去	186

HDMI(エイチディーエムアイ)

High Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。

映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。

HDMI接続設定	171
レグザリンク・コントローラ	171

HDMI-CEC(エイチディーエムアイシーイーシー)

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

IPアドレス

ネットワーク上の機器を識別するために指定する番号のことです。

JPEG(ジェイペグ)

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。

ファイル容量を小さくでき、画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

形式(本機で再生できるJPEG)	196
写真の再生(スライドショー)	97

LAN 138

ローカルエリアネットワークのことで、ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるネットワーク機器同士を接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

LP(録画モード) 58

標準画質の長時間モードでSPの約2倍の録画が可能です。

miniB-CASカード 18

デジタル放送用のICカードで、デジタル放送の有料放送の視聴や各種サービスを利用するための必要な情報が書き込まれます。

有料放送の契約 18**MPEG(エムペグ)、MPEG-2(エムペグツー)、MPEG-4 AVC/H.264(エムペグフォー エーブイシー エイチ)**

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。

MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。

MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

NTSC(エヌティーエスシー)

日本やアメリカなどで採用されているテレビ方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAM方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ったDVD-Videoは視聴できないことがあります。

POP3 147

Post Office Protocol Version3の略のことで、電子メールの受信に用いる通信規約のひとつです。

PINコード 96

Personal Identification Numberの略のことで、個人の識別や認証に用いられる番号のことです。

SDカード

SDカード(SD Memory Card)はフラッシュメモリの一種です。

本機では、デジタルビデオカメラ/デジタルカメラなどを接続して、写真(JPEGファイル)の再生やハイビジョン画質(AVCHD方式)動画のHDDへの取り込み(ダビング)ができます。

SDカードについて 196**SeeQVault 160**

SeeQVaultとは新コンテンツ保護技術です。機器やメディアがSeeQVaultに対応することによって、記録されたHDコンテンツを記録した機器以外の別の機器でも楽しむことを可能にする技術です。

SKP(録画モード) 58

スカパー! プレミアムサービスの録画モードのひとつです。

SMTP	148
Simple Mail Transfer Protocolの略のことで、電子メールの送信に用いる通信規約のひとつです。	
SP(録画モード)	58
標準画質の録画モードのことです。	
SSID	28
Service Set Identifierの略のことで、無線LANルーターと接続するためのアクセスポイントを識別するためのIDのことです。	
TV画面選択	170
USB (ユーエスピー)	
Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ／デジタルカメラなどを接続して、写真(JPEGファイル)の再生やハイビジョン画質(AVCHD方式)動画のHDDへの取り込み(ダビング)ができます。	
USB-HDD (ユーエスピーハードディスク(ドライブ))	
USB端子付きの外付けHDDです。USBケーブルを使って本機のUSB端子につなぐことができます。	
USB-HDDについて	194
USB-HDDの登録	162
名前を変更	184
記録内容の全消去	186
USB機器	
USB機器について	196
USBハブ	160
USB機器を複数接続するためのハブのことでUSBハブを使うとUSBポートを増やすことができます。	
セルフパワー型	
USBハブ自身がACコンセントを通して電源の供給を受けているものです。	
バスパワー型	
接続機器から電源供給を受けて動作するUSBハブのことです。	
VBR(バイビーアール)、可変ビットレート方式	
Variable Bit Rateの略で、映像の動きの多い／少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。	
VRフォーマット	183
DVDに記録する際の記録方式のひとつで、デジタル放送を標準画質で記録するのに適しています。	
XDE	56
eXtended Detail Enhancementの略で、映像をアップコンバートする際に精細感の高い画質に補正します。	
XP(録画モード)	58
標準画質の高画質録画モードです。	

あ	
頭出し	
サーチ	91
スキップ	91
ワンタッチスキップ	91
ワンタッチリプレイ	91
アスペクト(比)	172
アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比のことです。	
アッテネーター	34
信号を弱くする装置(減衰器)のことで入れることにより強すぎる信号レベルが適正なレベルになり信号品質が良くなる場合があります。	
アフターサービス	223
アングル(カメラアングル：映像)	
アングルアイコン	172
再生中の切り換え	95
アンテナレベル	34
イベントリレー	80
野球放送など(イベント)録画中に放送時間が延長された場合は、引き続き(リレー)録画できる機能のことです。	
インターフェース	
二つのものが接続・接触する箇所や、両者の間で情報や信号などをやりとりするための手順や規約を定めたものを意味します。	
インターレース(飛び越し走査)(480i)	
テレビに映像を映すときに従来からおこなわれている方式で、1つの画像(有効走査線数480本)を1本とばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒(30コマ/秒)で映します。	
お知らせメール	
外部メール	168
内部メール	168
ボード	168
音楽用CD	195
音声・音声言語	
音声言語設定	172
再生中の切り換え	94
視聴中の切り換え	54
録画	193

総合さくいん・用語解説・つづき

か	
画質レート	58
ビットレートとも言います。数値が高いほど高画質になります。	
画面表示	38
簡単シーン検索	86
結露(露付き)	222
言語コード一覧	175

コピーガード、コピー制御信号
複製防止機能のことです。
著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや番組を録画できません。

コピーワンス(1回だけ録画可能)番組 135
地上/BS・110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、1回だけ録画することが許可されている番組のことをコピーワンス番組といいます。ダビング先のメディアに移動(ムーブ)させることはできますが、ダビング元(オリジナル)のメディアからは消去されます。

さ	
再生	
一時停止	90
追っかけ再生	93
逆スロー/スロー	90
コマ戻し/コマ送り	90
再生開始位置(レジューム機能)	83
時短で見る(らく早見/飛ばし見)	46
市販品のソフトの再生	87
写真(JPEGファイル)	97
ハイビジョン画質の動画(AVCHD)	88
早見早聞/ゆっくり再生	90
早戻し/早送り	90
リピート	92
録画した番組の再生	82
録画リスト画面	84

再生コース

通常再生
録画したそのままの時間で番組を再生します。

らく見
通常再生に比べて、再生時間が短くなります。

らく早見
早見/早聞(約1.3倍速)で【らく見】再生します。

飛ばし見
【らく見】再生をしながら1/20スキップを繰り返しおこないます。

最大記録可能数/登録数/文字数 226

サブネットマスク	27
IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値のことで、同じLAN(同じネットワーク)にいる相手なのかどうかを判断するために利用されます。	
時短機能	
録る	44
残す	50
見る	46

視聴	
チャンネルで選局	53
番組表から選局	53
本機で受信できる放送	52

視聴制限(パレンタルレベル)
デジタル放送やソフト側で設定した、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように再生できます。

BD視聴制限レベル	169
DVD視聴制限レベル	169
デジタル放送の視聴制限	35

字幕放送
デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示できる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する【文字スーパー】という機能もあります。

再生中の切り換え	94
視聴中の切り換え	54
字幕言語設定	172
録画	193

瞬速起動	174
-------------	-----

初期化(フォーマット)
録画用ディスクを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときにおこないます。初期化(フォーマット)をおこなうと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

BDビデオデータ消去	182
USBメモリ	182
すべての初期化	182
宅外配信	182
ディスクのフォーマット	183
ネットワーク	182
本体設定	182

診断モード	206
本機の主な動作やチャンネル状況を診断したり、ディスク、USB-HDDなどの情報を表示したりする機能です。	

スタートメニュー	
簡単モード	41
スタートメニュー	40

スチルモード(静止画)	170
--------------------	-----

スマホ持ち出し番組

端末機器のアプリケーションで視聴したり、持ち出ししたりできるように、スマホ持ち出し用に録画したり、録画した番組を変換したりした番組のことです。

スマホ持ち出し番組の録画	65
スマホ持ち出し番組への変換	153
端末機器にダウンロード	152

スマホdeレグザ

154

スライドショー

97

選択した一連の画像(写真)を順次表示する動作のことです。

セカンダリ音声

94

セカンダリビデオ

95

接続

CATV(ケーブルテレビ)	22
HDMIケーブル	21
USB-HDD	160
USB機器	37
アンテナ線	20
オーディオ機器	164
電源プラグ	23

双方向サービス、通信

視聴者が自宅にいなから、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するためにはネットワークの接続と設定が必要です。

ソフトウェア

221

コンピュータを動作させる命令や処理手順のことです。

た

待機設定(電源「切」時の消費電力設定)

174

ダウンロード(ソフトウェア情報と更新)

176

宅外配信

DLNA対応機器間で、インターネットを経由して、録画番組や放送中の番組を外出先からでも視聴できる機能のことです。

宅外配信とは、自宅の宅外配信対応機器で録画しておいた番組を、スマートフォンやタブレットなどから宅外配信対応アプリを使用し、インターネットを介して外出先からでも視聴することができる機能のことです。

宅内配信

本機と同一ホームネットワークに接続してある端末機器への配信のことです。

ダビング

移動	135
かんたんダビング/おまかせダビング	50、120
高速ダビング	135
コピー	135
ダビング制限	129
ダビングの種類	118
ダビング方向	118
等速ダビング	135

複数番組のダビング

121

ダビング10(コピー9回+移動1回)番組

135

チャプター(録画された映像の区切り)

結合	105
削除	105
チャプター自動生成	172
チャプターとは	197
チャプターリピート	92
分割	105
マジックチャプター	172

チューナー

16

放送電波を受信する装置のことです。

本機には地上デジタル用と衛星放送用の2種類が搭載されています。

通常配信

DLNA対応機器間で、配信先に対して元の番組の解像度のまま配信することです。

ディスク

残量時間表示	38
ディスク情報	89
ディスクメニュー	87
名前の変更	184
ファイナライズ	185
保護・保護の解除	184

データ放送

52

お客様が見たい情報を選び画面に表示させることなどができます。例えば、お客様がお住まいの地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。

その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

デバイスネーム

145

ネット上で接続している機器の名前のことです。

デジタルハイビジョン

デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。有効走査線数1080本です。

デフォルトゲートウェイ

27

LANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信をおこなう場合の出入り口の役割を果たすためのネットワーク設定のことです。

テレビ画面保護

174

同軸ケーブル

16

電気信号を転送するための電線の一種です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

独立データ放送

55

番組の内容と関係なく、ニュースや天気予報、株価といった情報を視聴することができる放送サービスののことです。

総合さくいん・用語解説・つづき

トラック	197
------	-----

音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

な

ネットdeダビングHD	126
ネットdeレック	74
ネットワーク連携設定	145
ノイズリダクション(再生映像のノイズ低減)	95

は

バーチャル・パッケージ	96
-------------	----

一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。

データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送

HDはHigh Definitionの略のことで、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。

標準画質(SD放送)よりも、高画質・高音質な映像・音声を楽しめます。

はじめての設定	25
---------	----

バックアップ設定

バックアップを設定すると、番組を録画終了後の電源オフ時にその番組をSeeQVault対応USB-HDDに自動的にバックアップします。

番組／チャプター

HDDやブルーレイディスク／DVDの大きな区切りを「番組」、番組の中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

削除	100、102
番組とチャプターについて	197
番組名の変更	110
保護	110

番組表

受信	79
日時指定予約	64
番組の詳細内容	53

パンスキャン

標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

ピクチャー・イン・ピクチャー(子画面)	95
---------------------	----

引越し・バックアップ	128
------------	-----

SeeQVault対応USB-HDDに、本機のHDDから全番組の引越し・バックアップが可能です。引越し・バックアップした番組は、本機能に対応した東芝の他の機器でも再生やダビングができます。

ビットストリーム

圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ビットレート

映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

標準画質、SD(エスディー)放送

SDはStandard Definitionの略で、標準画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は480本です。

ファイナライズ

本機で録画したBD-R、DVD-RW／DVD-Rを、他のブルーレイディスクレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

フィルタリング	148
---------	-----

フィルタリングは選別という意味で、本機ではメールの仕分のことをいいます。

フォルダー	111
フォルダーの切り換え(フォルダージャンプ)	86

フォルダー内連続再生	85
------------	----

付属品	7
-----	---

プレイリスト(気に入った場面だけ集める)

おまかせプレイリスト作成	108
奇数チャプタープレイリスト作成	108
偶数チャプタープレイリスト作成	108
手動選択(プレイリスト編集画面)	109

ブロードバンド	27
---------	----

高速通信ができるインターネット接続サービスのことを言います。

プロキシ	27
------	----

プロキシとは「代理」という意味があり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定する必要があります。

プログレッシブ(順次走査)(480p)

テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線数480本)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

分波器	20
-----	----

アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110度CSデジタル信号に分ける機器のことです。

変換配信	152
------	-----

DLNA対応機器間で、配信先からの再生解像度の要求に合わせて番組の解像度を変えて配信することです。

編集(本機でできる編集)	104
--------------	-----

ホームネットワーク

家庭内にある家電・モバイル・パソコンなどを相互につないだネットワークのことです。

放送受信設定	177
放送の種類 (地上、BS、110度CSデジタル放送)	52
ポップアップメニュー	87
本機	
前面	12
背面	13
項目と設定内容	170
設定のしかた	170

ま

マルチ番組(マルチビュー)	
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送がおこなわれます。	
再生中の切り換え	95
視聴中の切り換え	55
未使用時自動電源オフ	174
メッセージ(テレビ画面に表示されるメッセージ)	200

メディア	
本機で使えるメディア	179
メディアの管理	184
文字スーパーの表示切換	178
文字入力	114

持ち出し設定	
録画予約時にスマホ持ち出し番組やDVD持ち出し(VR)番組の作成を予約できます。	
持ち出し用変換	116

や

有料放送事業者	18
別途料金がかかる放送事業者のことです。WOWOWやスカパー!などがあります。	
優先モード設定	173

ら

ライブ配信	152
DLNA対応機器間で、放送中の番組を配信することです。	
ラジオ放送	52

リージョンコード(再生可能地域番号)	
BD-Video/DVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。日本の場合は、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生できます。	

リニアPCM(ピーシーエム)	
PCMはPulse Code Modulationの略で、リニアPCMはデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。	

リモコン	
乾電池の入れかた	23
テレビ操作	31
ボタン名と働き	14
リモコンコード	32

冷却用ファン	13
本機と外部の空気を循環させるためのファンで、本機の内部が熱くなるのを防止する役割があります。	

レグザリンク	
HDMIで規格化されているHDMI-CEC(Consumer Electronics Control)を使用して、本機と東芝「REGZA」テレビとの連動操作を可能にする機能です。	
レグザリンク・コントローラ	166
レグザリンク・ダビング	125

レジューム機能(つづき再生)	83
再生中に停止したときの再生停止位置(レジュームポイント)を記憶する機能のことです。このレジュームポイントから再生を開始することをつづき再生と呼びます。	

レターボックス	
標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつかます。	

録画	
一時停止	76
一発予約	63
イベントリレー(野球放送などの自動延長録画)	80
eメールで録画予約	155
おまかせ自動録画	72
自動追跡	80
代理録画	77
日時指定予約	68
バックアップ設定を解除	86
番組検索	66
番組表予約	64
番組表からワンタッチで録画予約	63
ぴったり録画	65
毎週/毎日録画	64
メディアについて	58
予約が重なったとき	78
予約スキップ	71
予約の取り消し	71
予約の内容を変更	69
予約を確認	69
録画制限	58
録画の停止	76
録画モード	58
録画モード変換(HDDの空き容量を増やす)	116
録画予約一覧	69
録画リスト	84
ワンタッチタイマー	59

東芝 ブルーレイディスクレコーダー保証書 (表面)

持込修理

本書は、取扱説明書などの注意書による正常なご使用において、以下の保証期間中に故障した場合、裏面の記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

・ご販売店様へ

本保証書に型名、製造番号、お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、お客様にお渡しください。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので紛失しないようにたいせつに保管してください。

形 名	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げ日から 本体 1 年間
★お買い上げ日	年 月 日
★お 客 様	ご住所
	お名前 様
	電話 () -
★ご販売店	住所・販売店名
	電話 () -

修理メモ	修理年月日	年 月 日
修 理 内 容		
		担 当

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1 - 1 - 2
TEL 044-222-6283

保証書・つづき

東芝 ブルーレイディスクレコーダー保証書 (裏面)

(表面もご覧ください)

- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送などによる故障および損傷。
 - 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
- 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
 - 一般家庭以外(たとえば、業務用の長時間使用、車輛や船舶への搭載)に使用した場合の故障および損傷。
 - 接続した機器の故障によって誘発した故障および損傷。
 - 電池などの消耗品の交換。
- 出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し受けます。
- 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本製品の使用または使用不能による付随的な損害に関しては、保証・補償いたしません。詳しくは取扱説明書をご確認ください。
- ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理のご相談やご依頼ができない場合には、以下の窓口にご相談ください。

【東芝DVD インフォメーションセンター】[0120-96-3755]

なお、このフリーダイヤルは携帯電話やIP電話などではご利用になれません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

<個人情報の取扱いについて>

- 本書にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。ただ、場合がございましたら、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきます。

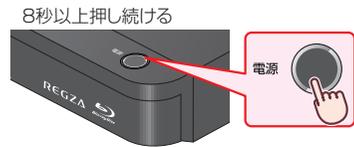
東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2
TEL 044-222-6283

商品のお問い合わせに関して

リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をお試しください

- ① リモコンの  を押しながらか本機上面の  を押し、電源を切る。
しばらくたっても電源が切れない場合は、本機の  を8秒間以上押し続けて、電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜き、数分間待つ
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込む
- ④ 電源を入れて、動作を確認する



※この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

レグザブルーレイ／レグザタイムシフトマシンのホームページからサポートページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/



商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からの ご利用は）	フリーダイヤル (通話料：無料)	0120-96-3755	（携帯電話からの ご利用は）	ナビダイヤル (通話料：有料)	0570-00-3755
			（PHSやIP電話 からのご利用は）	(通話料：有料)	03-6830-1855
			（FAX）	(有料)	03-3258-0470

※ 間違い電話が増えています。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

- ・「東芝DVD インフォメーションセンター」は東芝映像ソリューション株式会社が運営しております。
- ・お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護規程」に従い適切な保護を実施しています。
- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
- ・保証書はこの「取扱説明書」の **237** ～ **238** についておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

東芝ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー訪問サポート(有償)

以下のURLから有償訪問サポートの内容をご確認いただけます。お気軽にご連絡ください。

<http://www.qac.jp/toshiba/>

訪問サポートは委託協会のキューアンドエー株式会社がお伺いします。



長年で使用のブルーレイディスクレコーダーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

- ・再生しても音や映像が出ない。
- ・煙が出たり、異常なおいや音がする。
- ・水や異物がはいつた。
- ・ディスクが傷ついたり、取り出しができない。
- ・電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ・その他の異常や故障がある。

ご使用中

このような場合は、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

©2019 Toshiba Visual Solutions Corporation
無断複製および転載を禁ず

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

